

インクジェット複合機

LX-10000F / LX-7000F

ユーザーズガイド

本機を使用するための情報を詳しく説明します。

目次

マニュアルについて 6

マニュアルの種類	6
マニュアルの使い方と情報の探し方	6
マークの意味	8
マニュアル記載の前提	8
OS表記	8
マニュアルのご注意	9

プリンターの基本情報 10

各部の名称と働き	10
電源の入れ方/切り方	13
操作パネル	15
操作パネルの各部の名称	15
タッチパネルの操作	16
ホーム画面の見方	17
メニュー画面の見方	18
利用者制限とログオン	19

プリンターの準備 20

アドレス帳の管理	20
登録の方法	20
グループ登録	21
常用タブへの登録（常用登録）	21
コンピューターからのアドレス帳管理	22
アドレス帳のバックアップ	22
お気に入り設定の登録	22
登録の方法	22
お気に入りの使い方	23
ショートカットをホーム画面に追加	23
用紙のセット	24
印刷できる用紙とセット可能枚数	24
使用できない用紙	27
用紙の取り扱いについて	27
用紙の保管	28
用紙のセット方法	28
セットした用紙種類の設定	30
原稿のセット	31
ADFへのセット	31
原稿台へのセット	33
原稿サイズの自動検知	34

外部記憶装置のセット 35

外部記憶装置のセットと取り出し	35
-----------------------	----

設定メニューの説明 35

本体設定-基本設定メニューの説明	35
本体設定-プリンター設定メニューの説明	38
本体設定-ネットワーク設定メニューの説明	41
本体設定-Webサービス設定メニューの説明	42
本体設定-ファクス設定メニューの説明	43
本体設定-スキャン設定メニューの説明	43
本体設定-管理者用設定メニューの説明	43
印刷ページ数の確認メニューの説明	43
消耗品情報メニューの説明	43
プリンターのお手入れメニューの説明	43
言語選択/Languageメニューの説明	44
情報確認/印刷メニューの説明	44
アドレス帳管理メニューの説明	45
ユーザー設定メニューの説明	45
認証システムメニューの説明	45

省電力設定をする 46

省電力設定をする - 操作パネル	46
------------------------	----

コピー 47

コピー 47

基本のコピー	47
用紙の両面にコピーする	48
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする	48
用紙を縦横交互に90度回転して排紙する、1部 ずつずらして排紙する	49

コピーの設定項目 50

コピー時の基本設定メニュー	50
コピー時の応用設定メニュー	52

ファクス 55

ファクスの準備 55

電話回線に接続する	55
ファクスの基本設定	58
プリンターからファクスを送信する	63
ファクス送信の基本操作	63
便利な送信方法	67

プリンターでファクスを受信する 73

受信モードを設定する	73
いろいろな受信方法	74
受信した文書の保存と転送（条件なし保存・転 送）	78

特定の相手や時間に受信した文書の保存と転送 (条件保存・転送)	83
コンピューターからファクスを送信する	90
アプリケーションで作成した文書を送信する (Windows)	90
アプリケーションで作成した文書を送信する (Mac OS)	92
コンピューターでファクスを受信する	94
受信ファクスをコンピューターに保存する	94
コンピューターでファクスを受信してプリン ターで印刷もする	94
コンピューターへのファクス受信を中止する	95
新着ファクスを確認する (Windows)	95
新着ファクスを確認する (Mac OS)	96
ファクスボックスを使用する	97
受信ボックスを使用する	97
親展ボックスを使用する	98
待機文書送信ボックスを使用する	99
ポーリング送信ボックスを使用する	100
掲示板ボックスを使用する	100
その他のファクス機能を使う	101
各種ファクスレポートやリストを印刷する	101
ファクスのセキュリティを設定する	103
ファクスジョブを確認する	103
ファクスメニューの説明	105
常用	105
宛先	106
ファクス設定	106
応用	109
ファクス設定メニューの説明	110
ユーザー設定	110
基本設定	110
送信設定	112
受信設定	113
レポート設定	117
セキュリティ設定	118
ファクス診断	118
ファクス設定ウィザード	119
ファクスボックスメニューの説明	119
スキャン	120
操作パネルからスキャンする	120
スキャンした画像を共有フォルダーまたはFTP サーバーに保存	120
スキャンした画像をメールに添付する	132
コンピューターに登録した設定でスキャンする (Document Capture Pro)	135
スキャンした画像を外部メモリーに保存する	139
スキャンした画像をクラウドに保存する	142

コンピューターからスキャンする	144
利用者制限がかかったプリンターでEpson Scan 2を使用する	144
Epson Scan 2でスキャンする	145
スマートデバイスからスキャンする	148
Epson iPrintをインストールする	148
Epson iPrintでスキャンする	148
NFCマークにスマートデバイスをタッチしてス キャンする	149

印刷 151

外部メモリーのデータを印刷する	151
外部メモリー内のJPEGデータを印刷する	151
外部メモリー内のPDF、TIFFデータを印刷する	152
外部メモリーから印刷時のメニューの説明	153
Windowsプリンタードライバから印刷す る	157
プリンタードライバの開き方	157
基本の印刷	158
両面に印刷する	159
複数ページを1ページに印刷する	160
ページ順に印刷する (逆順印刷)	161
拡大縮小して印刷する	161
印刷物を縦横交互に90度回転して排紙する、1 部ずつずらして排紙する	162
合紙を入れる	163
プリンターのメモリーにデータを保存して印刷 する	163
複数用紙に分割して拡大印刷する (ポスター) ..	164
ヘッダーやフッターを入れて印刷する	170
透かしを入れて印刷する (透かし印刷)	171
データにパスワードを設定して印刷する	172
複数ファイルを1つにまとめて印刷する (まとめ てプリント)	172
カラーユニバーサルデザイン (CUD) で印刷す る	173
色補正をして印刷する	174
細い線を鮮明に印刷する	175
バーコードのにじみを抑えて印刷する	175
印刷を中止する	176
プリンタードライバのメニュー説明	176

WindowsからPostScriptプリンタードライ バーを使って印刷する	181
PostScriptプリンタードライバでオプショ ン装置を使用する	183
PostScriptプリンタードライバのメニュー 説明	184
印刷を中止する	188
Mac OSプリンタードライバから印刷す る	188
基本の印刷	188

両面に印刷する	190
複数ページを1ページに印刷する	191
ページ順に印刷する（逆順印刷）	191
拡大縮小して印刷する	192
印刷物を縦横交互に90度回転して排紙する、1部ずつずらして排紙する	193
色補正をして印刷する	193
印刷を中止する	194
プリンタードライバーのメニュー説明	194
Mac OSプリンタードライバーの動作を設定する	202
Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する	202
PostScriptプリンタードライバーでオプション装置を使用する	203
PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明	203
印刷を中止する	208
スマートデバイスから印刷する	208
Epson iPrintを使う	208
印刷中または待機中の印刷ジョブを中止する	211

オプション品 212

オプション品の種類と型番	212
フィニッシャーユニットを使うときのプリンター設定	212
フィニッシャーユニットを使った排紙やステープルの方法	212
マニュアルステープルの使い方	213
用紙カセットロックの使い方	215

消耗品 216

インクカートリッジ	216
インクカートリッジ取り扱い上のご注意	216
インクカートリッジ型番	217
インクカートリッジ交換方法	218
インク残量を確認する	218
メンテナンスボックス	218
メンテナンスボックス取り扱い上のご注意	218
メンテナンスボックスの型番	219
メンテナンスボックスの交換	219
メンテナンスボックス空き容量の確認方法	220
ステープルカートリッジ	220
ステープルカートリッジ交換方法	220
消耗品の回収	222

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内 223

文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2）	223
スキャナーの追加方法	223
コンピューターからのスキャン動作を設定するソフトウェア（Document Capture Pro）	224
ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）	225
ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）	225
ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）	226
WebブラウザからWeb Configを起動する	226
WindowsからWeb Configを起動する	227
Mac OSからWeb Configを起動する	227
ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）	228
最新のソフトウェアをインストールする	228
PostScriptプリンタードライバーをインストールする	230
PostScriptプリンタードライバーをUSB接続でインストールする - Windows	230
PostScriptプリンタードライバーをネットワーク接続でインストールする - Windows	231
PostScriptプリンタードライバーをインストールする - Mac OS	232
ソフトウェアをアンインストール（削除）する	233
ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows	233
ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS	234
ネットワークサービスを使って印刷する	234

日頃のお手入れ 236

本体の清掃	236
漏電ブレーカーを確認する	237
ノズルが目詰まりしていないか確認する	238

困ったときは 240

画面で見る説明	240
紙詰まりを解除するには	241
紙詰まりが頻繁に起こるとき	241

用紙が汚れる、こすれる	242	ネットワーク機能一覧	284
画面にメッセージが表示された	242	無線LANの仕様	286
ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する ..	244	有線LANの仕様	286
コピーのトラブル	250	セキュリティーのプロトコル	287
コピーできない	250	PostScript Level 3との互換性	287
コピー品質のトラブル	251	対応している他社サービス	287
思ったとおりにコピーできない	252	外部記憶装置の仕様	287
ファクスのトラブル	252	対応ファイルの仕様	288
思ったとおりに送信や受信ができない	252	外形寸法	288
ファクス時のその他のトラブル	258	電氣的仕様	289
スキャンのトラブル	259	動作時と保管時の環境仕様	290
スキャンできない	259	対応OS	290
スキャン品質のトラブル	260	オプション品の仕様	290
操作パネルから共有フォルダーにスキャンでき ない	263	フィニッシャーユニット仕様	290
スキャン時のその他のトラブル	270	フィニッシャー中間ユニット仕様	291
印刷のトラブル	271	大容量給紙ユニット仕様	292
コンピューターから印刷できない	271	フォント情報	292
スマートデバイス (iPhoneやiPad) から印刷で きない	273	対応フォント (PostScript 3)	292
印刷が中断される	273	規格と規制	293
印刷結果のトラブル	273	電源高調波	293
印刷時のその他のトラブル	276	瞬時電圧低下	293
PostScriptプリンタードライバー使用時のト ラブル	276	電波障害自主規制	293
オプション品のトラブル	277	著作権	294
フィニッシャーユニットや大容量給紙ユニット が認識されない	277	複製が禁止されている印刷物	294
フィニッシャーユニットに排紙されない	278	製品のご注意	294
用紙カセットロックのカギを紛失した	279	本製品の不具合に起因する付随的損害	294
その他のトラブル	279	外部記憶装置に関するご注意	294
印刷結果にスジが入る、色合いがおかしい	279	液晶ディスプレイの特性	295
電源が入らない、切れない	279	タッチパネル使用上のご注意	295
操作パネルの画面が暗くなった	279	揮発性物質の放散	295
プリンターに触れたときに電気を感じる	280	電波に関するご注意	295
動作音が大きい	280	無線LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意	296
日時、時刻がずれている	280	セキュリティーに関するご注意	296
外部メモリーが認識されない	280	本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	297
外部メモリーにデータを保存できない	280	本製品の使用限定	297
パスワードを忘れた	281	本製品の保存情報の消去	297
両面印刷が遅い	281	商標	298
操作パネルが反応しない	281	サービスとサポートのご案内	299
		保守サービスのご案内	299
		保守サービスの種類	300
		お問い合わせ先	300

付録 282

プリンターの仕様	282
プリンター部の仕様	282
スキャナー部の仕様	283
インターフェイスの仕様	284
ファクス部の仕様	284

マニュアルについて

マニュアルの種類

以下のマニュアルが用意されています。

- 使い方ガイド（紙マニュアル）
製品を安全に使用するための注意事項と、プリンターだけで使用するときの基本的な使い方、日頃のお手入れ方法やよくあるトラブルの対処方法などを説明しています。
- ユーザーズガイド（電子マニュアル）
コンピューターやスマートデバイスからの印刷を含めたプリンターの使い方全般や、メンテナンス、トラブルへの対処方法、製品仕様などを説明しています。
- システム管理者ガイド（電子マニュアル）
管理者向けに管理の仕方やプリンターの設定方法を説明しています。

次のサイトでは、最新マニュアルを始めお役立ち情報がご覧いただけます。

<http://epson.sn/>

最新版は以下からも入手できます。

- 紙マニュアル
エプソンのホームページからダウンロードします。
<http://www.epson.jp/support/>
- 電子マニュアル
コンピューターでEPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）を起動します。EPSON Software Updaterは、エプソンのウェブサイトアクセスして更新可能なソフトウェアや電子マニュアルの一覧を表示します。一覧の中に電子マニュアルがあったらダウンロードしてください。

最新マニュアルの入手方法

以下にアクセスすると、すべての最新マニュアルをご覧いただけます。

<http://epson.sn/>

アクセス後、「サポート」-「オンラインマニュアル」へお進みください。

関連情報

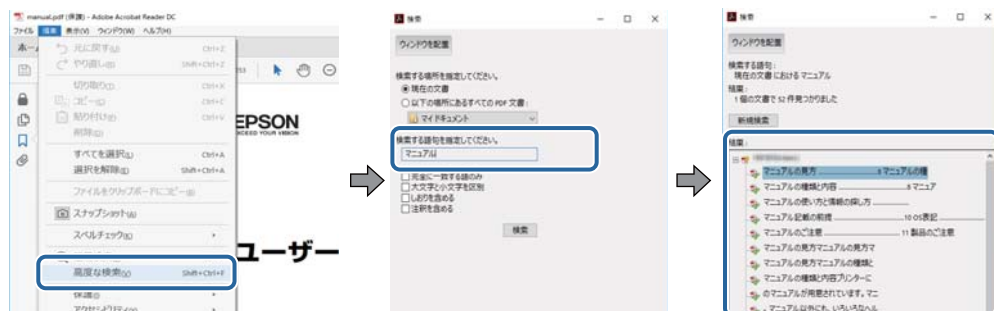
➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」 228ページ](#)

マニュアルの使い方と情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

キーワードで検索する

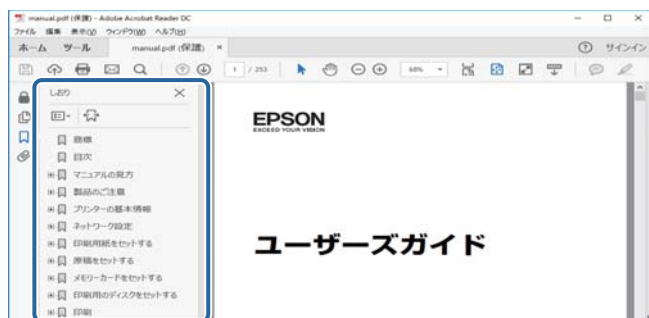
〔編集〕メニューの〔高度な検索〕をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、〔検索〕をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。



しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。〔+〕をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

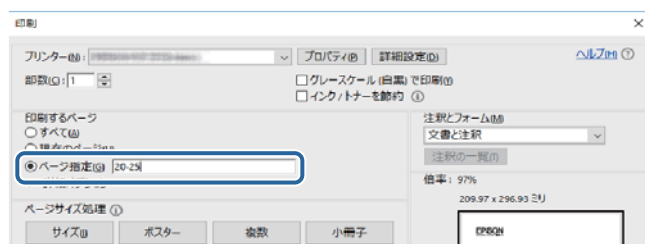
- Windows：〔Alt〕キーを押したまま←キーを押します。
- Mac OS：commandキーを押したまま←キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。〔ファイル〕メニューの〔印刷〕をクリックし、〔印刷するページ〕の〔ページ指定〕で、印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例：5,10,15



マークの意味

⚠ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が怪傷を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

! 重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- ご利用環境（OS や設定状態など）により表示される画面が異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 掲載している画面や手順は、特に指定がない限りWindows 10またはOS X El Capitanで説明しています。
- 操作パネルの画面や設定項目は、設定状況によって異なる場合があります。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「macOS Sierra」「OS X El Capitan」「OS X Yosemite」「OS X Mavericks」「OS X Mountain Lion」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.8」の総称として「Mac OS」を使用しています。

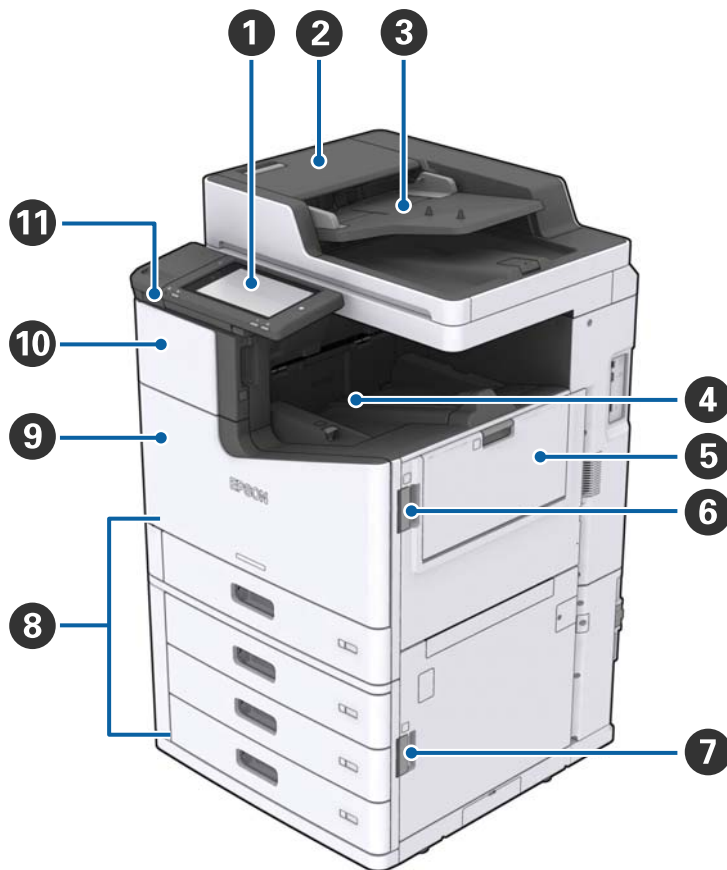
マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品の仕様や外観は、製品改良などのため、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

プリンターの基本情報

各部の名称と働き

前面・右側面

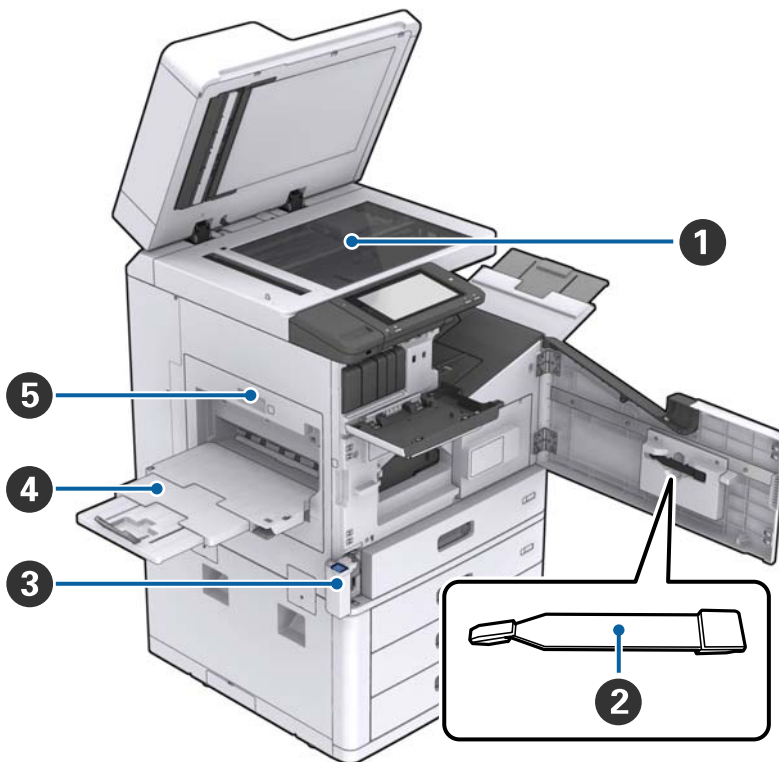


①	操作パネル	プリンターの操作や設定を行います。また、プリンターの状態を表示します。
②	ADFカバー (F)	ADF (オートドキュメントフィーダー) 内に用紙が詰まったときに開けます。
③	ADF (オートドキュメントフィーダー)	自動で原稿を読み取るための装置です。
④	フェイスダウン排紙トレイ	排紙された印刷物を保持します。
⑤	MPトレイ	印刷用紙をセットします。本製品で利用できる全ての用紙 (厚紙や封筒を含む) をセットできます。
⑥	カバー (J)	用紙が詰まったときに開けます。
⑦	カバー (E)	用紙が詰まったときに開けます。

プリンターの基本情報

⑧	用紙カセット1、2、3、4 (C1、C2、C3、C4)	印刷用紙をセットします。
⑨	前面カバー (L)	用紙が詰まったときや、メンテナンスボックスを交換するときに開けます。
⑩	インクカートリッジカバー (A)	インクカートリッジを交換するときに開けます。
⑪	外部機器接続ポート	外部メモリーを挿入します。

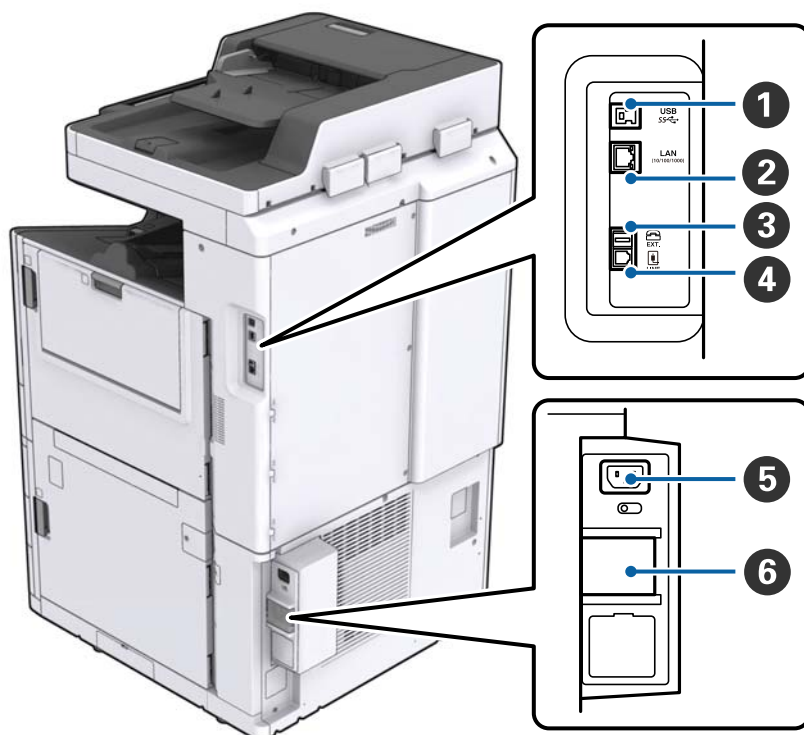
前面・左側面



①	原稿台	読み取りたい面を下にして、原稿をセットします。
②	クリーナー	プリンター内部を清掃する部品（サービス用）です。スキャナーのガラス面の清掃にも使えます。
③	メンテナンスボックスカバー (H)	メンテナンスボックスを交換するときに開けます。メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。先に前面カバー (L) を開けてから開けてください。
④	フェイスアップ排紙トレイ	排紙された印刷物を保持します。
⑤	両面印刷ユニット (D1)	用紙が詰まったときに開けます。

プリンターの基本情報

背面・右側面



①	USBポート	コンピュータと接続するためのUSBケーブルを接続します。本体に貼られているラベルで方向を確認し、正しい向きで接続してください。
②	LANポート	LANケーブルを接続します。
③	EXT.ポート	外付け電話機を接続します。 (ファクスモデルをお使いの場合)
④	LINEポート	電話回線を接続します。 (ファクスモデルをお使いの場合)
⑤	電源コネクタ	電源コードを接続します。
⑥	漏電ブレーカー	プリンターに漏電が起こったときに、電源回路を自動的に遮断します。 定期的な点検以外で、操作する必要はありません。 漏電ブレーカーがない製品もあります。

オプション装着時



①	フィニッシャーユニット	印刷物をソートやステープルして排紙する装置です。
②	フィニッシャー下トレイ	ソートやステープルされた印刷物を保持します。
③	フィニッシャー上トレイ	受信したファクスを保持します。 (ファクスモデルをお使いの場合)
④	フィニッシャー中間ユニット	本体とフィニッシャーを接続するための装置です。
⑤	大容量給紙ユニット	印刷用紙をセットします。

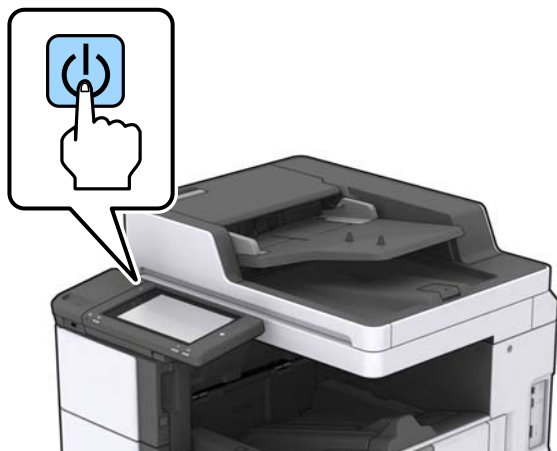
* フィニッシャーユニットとフィニッシャー中間ユニットはセットで、ステープルフィニッシャーになります。

電源の入れ方/切り方

電源の入れ方

操作パネルの電源ボタンを押して電源を入れます。⏻ ボタンは、プリンターの画面が表示されるまで押してください。

起動すると、ホーム画面が表示されます。



電源の切り方

⏻ ボタンを押し、画面に従って電源を切ります。

！重要

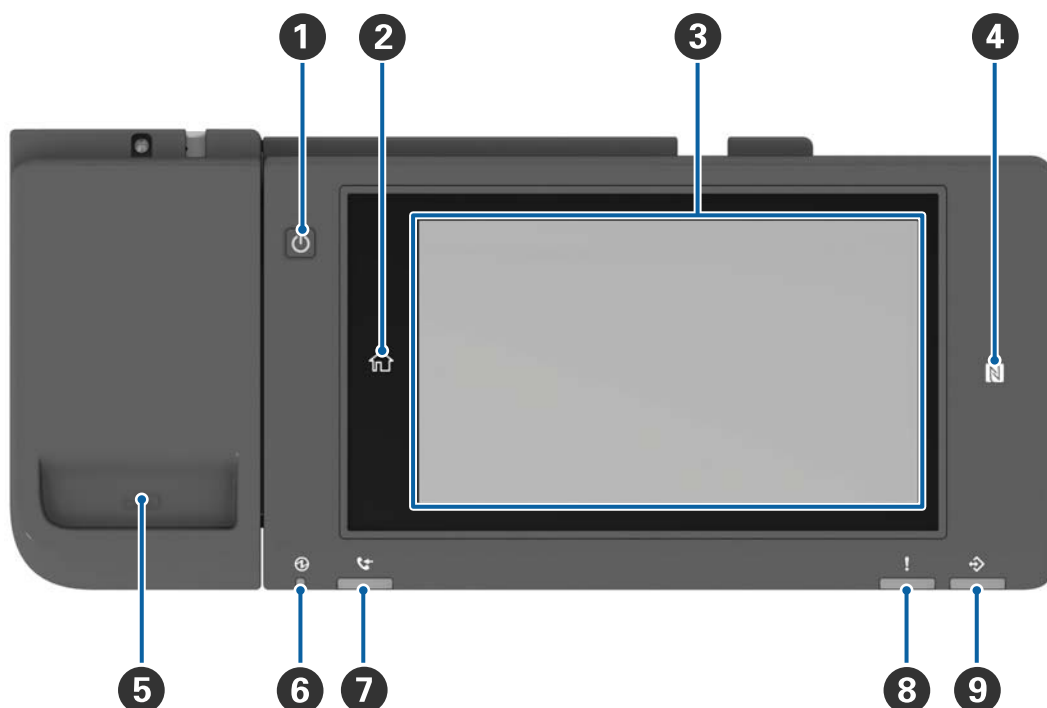
- 直接電源コードを抜いたり、漏電ブレーカーを使用して電源を切ったりしないでください。
- 電源コードを抜く場合は、電源ランプとプリンターの画面が消えてから抜いてください。

関連情報

➡ [「操作パネルの各部の名称」15ページ](#)

操作パネル

操作パネルの各部の名称

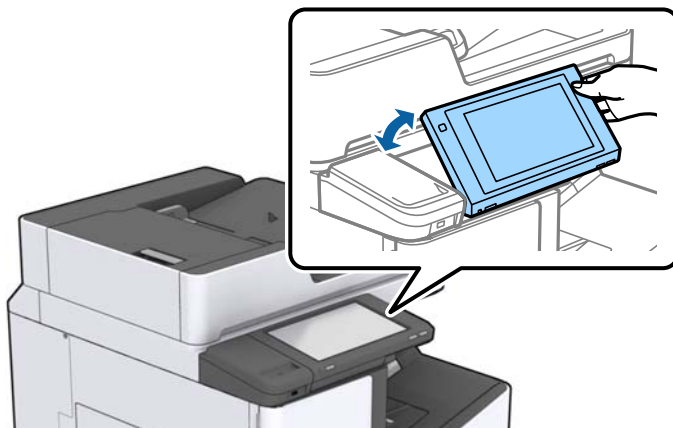


①	[電源ボタン] [Power button]
②	[ホームボタン] ホーム画面に戻ります。 [Home button] Returns to the home screen.
③	[タッチパネル] 操作項目やメッセージを表示します。 一定の時間（初期値は1分）以上操作しないとスリープモードになり、表示が消えます。タッチパネルをタップすると復帰します。 [Touch panel] Displays operation items and messages. If no operation is performed for a certain period of time (initial value is 1 minute), the device enters sleep mode and the display turns off. Tapping the touch panel returns to the previous screen.
④	[NFCマーク] ここにNFC対応デバイス（スマートフォンやタブレット）をかざして、印刷やスキャンを行います。 [NFC mark] Place an NFC-compatible device (smartphone or tablet) here to perform printing or scanning.
⑤	[クリップホルダー] [Clip holder]
⑥	[電源ランプ] 電源を入れたら点滅または点灯します。電源を切ると消灯します。 [Power lamp] The lamp blinks or turns on when power is turned on. It turns off when power is turned off.
⑦	[ファクス受信ありランプ] まだ処理していないファクスがある場合に点灯します。 （ファクスモデルをお使いの場合） [Fax reception lamp] The lamp turns on when there is a fax that has not been processed yet. (If you are using a fax model)
⑧	[エラーランプ] エラー発生時に点滅または点灯します。 [Error lamp] The lamp blinks or turns on when an error occurs.

9

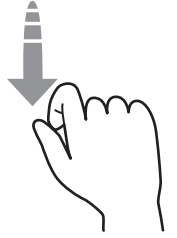
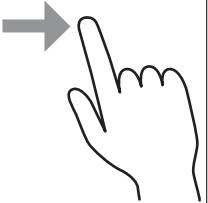
〔データランプ〕
データ処理中に点滅、待機中のジョブがあるときに点灯します。

操作パネルは角度を変えることができます。

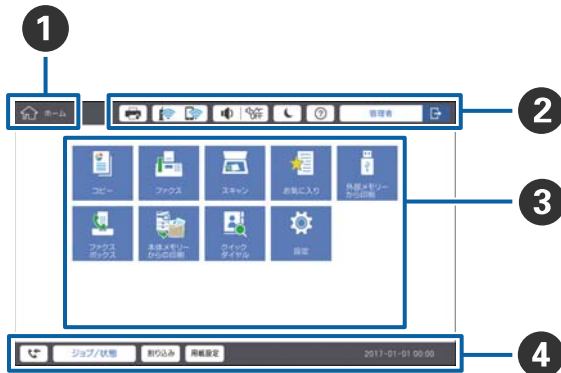


タッチパネルの操作

本製品の液晶ディスプレイは以下のタッチ操作に対応しています。

タップ		ボタンや項目を、押すまたは選びます。
フリック（はじく）		画面を素早くスクロールします。
スライド（なぞる）		項目を押したまま上下左右に移動します。

ホーム画面の見方



①	タイトル 現在の画面を示します。	
②	各項目の情報を表示します。グレー表示されているものは使用できません。	
		プリンター状態を表示します。
		ネットワーク接続状態が確認できます。タップするとネットワーク接続の案内画面が表示されます。
		タップすると音の設定画面が表示されます。
		タップするとプリンターはスリープ状態になります。
		タップするとヘルプ画面（操作方法やトラブル対処）が表示されます。
	 	タップするとログオンユーザー用の画面が表示されます。使用後はログオフアイコンをタップします。管理者がプリンターの操作を制限しているときに表示されます。
③	メニュー選択画面です。タップすると各メニュー画面になります。 また、メニューアイコンは位置や順番を動かすことができます。  が表示されているときは、スマートチャージセンターにプリンター情報（個人情報は除く）を送信できます。スマートチャージセンターの指示に従って操作してください。	

プリンターの基本情報

④	ジョブの情報やプリンターの状態を表示します。プリンターの状態によって、表示内容は変わります。	
		未確認の受信文書件数を表示します。タップすると、受信ボックス一覧と未読の件数を表示します。
	ジョブ/状態	実行中や実行待ちのジョブ数を表示します。タップするとジョブの内容や受付時間、ユーザー名などの一覧が表示されます。
	割り込み	実行中のジョブを中断して、他のジョブを割り込んで実行します。ただし、コンピューターから新しい印刷データを割り込ませることはできません。
	用紙設定	給紙装置の用紙サイズと用紙種類を設定します。
	割り込み情報/エラー情報/ジョブ名/未読ファクスあり	エラーや実行中のジョブ、割り込み中、未読ファクスなどの有無が表示されます。
	停止ボタン	実行中のジョブを一時停止、または中止します。
	時計	表示すべきプリンターの状態がないときは、現在の時刻が表示されています。

メニュー画面の見方



①	タップして設定画面を切り替えます。設定画面はメニューごとに異なります。
②	各メニューの設定項目が表示されています。タップして設定値を変更します。
③	一般的な操作ボタンを表示する領域です。 - お気に入り： タップすると、お気に入りリストを表示します。現在の設定をお気に入りとして登録したり、登録したお気に入りの読み込みができます。 - リセット： タップすると、ユーザー設定値に戻します。 - プレビュー： コピーやファクス送信前に、出力イメージを確認できます。 ◇ コピー/スキャン/ファクスの実行ボタンです。

利用者制限とログオン

利用者制限の確認方法

このプリンターは、管理者により利用者を制限できる機能があります。プリンターの画面に  が表示されていたら、利用者が制限されています。また、管理者が一部の機能をロックしているときも、 が表示されています。



ログオン方法

ログオンするには、 をタップします。一覧からユーザー名を選択し、パスワードを入力します。ログオン情報がわからないときは、管理者にお問い合わせください。



参考

プリンターの利用が終わったら、 をタップしてログオフします。

関連情報

➡ [「本体設定-管理者用設定メニューの説明」 43ページ](#)

プリンターの準備

アドレス帳の管理

アドレス帳を使うと宛先入力ができます。2000件まで登録でき、ファクスでの宛先入力や、スキャンした画像をメールで送信したり、ネットワークフォルダーに保存したりするときに利用できます。

LDAPサーバーで管理されているアドレスも利用できます。LDAPサーバー上の宛先を登録するには、システム管理者ガイド（電子マニュアル）をご覧ください。

- 参考**
- メールアドレスを登録するには、事前にメールサーバーの設定をしてください。
 - 手順の途中でパスワードの入力画面が表示されたら、管理者に連絡してください。

登録の方法

- ホーム画面で「設定」をタップします。
- 「アドレス帳管理」 - 「アドレス帳登録・変更」の順にタップします。
- 「新規登録」 - 「宛先を作成」の順にタップします。
- 登録するアドレスの種類を選択します。
 - ファクス：
ファクス送信時の宛先（ファクス番号）
 - メール：
スキャンした画像をメールに添付して送信するときや、受信ファクスを転送するときのメールアドレス
 - フォルダー：
スキャンした画像の保存先や、受信ファクスを転送するときのネットワークフォルダー

- 必要な内容を入力します。

必ず入力する項目は「XXXXXX（必須項目）」と表示されます。

 **参考** フォルダーをアドレス帳に登録する場合、[参照] アイコンを選択するとネットワークに接続されたコンピュータ上のフォルダーを検索できます。ただし、[通信モード] がSMBの場合に限ります。

6. [OK] をタップします。

関連情報

➡ [「アドレス帳管理メニューの説明」45ページ](#)

グループ登録

アドレスをグループにすると、複数のアドレスに同時にファクス送信またはスキャンした画像のメール送信ができます。グループは200件まで登録できます。

1. ホーム画面で[設定] をタップします。
2. [アドレス帳管理] - [アドレス帳登録・変更] の順にタップします。
3. [新規登録] - [グループを作成] の順にタップします。
4. 登録するアドレスの種類を選択します。
 - ファクス：
ファクス送信時の宛先（ファクス番号）
 - メール：
スキャンした画像をメールに添付して送信するときや、受信ファクスを転送するときのメールアドレス
5. グループの登録名と、その他の必要な内容を入力します。
必ず入力する項目は「XXXXXX（必須項目）」と表示されます。
6. [グループに入れる宛先（必須項目）] をタップします。
7. グループに登録するアドレスを選択して、[閉じる] をタップします。選択を解除するには、もう一度アドレスをタップします。
8. [OK] をタップします。

関連情報

➡ [「アドレス帳管理メニューの説明」45ページ](#)

常用タブへの登録（常用登録）

1. ホーム画面で[設定] をタップします。
2. [アドレス帳管理] - [常用管理] の順にタップします。
3. 登録するアドレスの種類を選択します。

4. 「[常用編集]」をタップします。
5. 頻繁に使う宛先を指定して「[OK]」をタップします。選択を解除するには、もう一度アドレスをタップします。
6. 「[閉じる]」をタップします。

関連情報

➡ [「アドレス帳管理メニューの説明」45ページ](#)

コンピューターからのアドレス帳管理

アドレス帳はEpsonNet ConfigまたはWeb Configでも作成でき、作成したアドレス帳をプリンターに登録することもできます。詳しくは『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

アドレス帳のバックアップ

プリンターに登録されているアドレス帳は、EpsonNet ConfigまたはWeb Configでコンピューターにバックアップできます。詳しくは『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

プリンターの故障などでアドレス帳のデータが消失する可能性があります。アドレス帳の更新時にバックアップすることをお勧めします。本製品の保証期間内であっても、データの消失または破損について弊社はいかなる責も負いません。

お気に入り設定の登録

コピーやファクス、スキャンでよく使う設定をお気に入りとして登録（50 件まで）できます。使うときはお気に入りリストから選択するだけで簡単に操作できます。

登録の方法

登録方法は、「[コピー]」など各機能の画面からと、ホーム画面からの二通りあります。

 **参考** お気に入りの編集や登録ができないときは、管理者によって機能が制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。

各機能の画面から登録する

1. 各機能の設定画面で、お気に入りに登録する設定をします。
2.  をタップし、「お気に入りに登録」をタップします。

3. 以下のいずれかを実施します。
 - お気に入りを新規登録するときは、[新規登録] をタップします。
 - お気に入りを編集するときは、上書きしたい対象を選択します。
4. [登録名称] をタップして名前を入力します。
5. [OK] をタップします。

ホーム画面から登録する

1. ホーム画面で[お気に入り] をタップします。
2. [新規登録] をタップし、登録する機能を指定します。
3. お気に入りにしたい設定に変更して[登録] をタップします。
4. [登録名称] をタップして名前を入力します。
5. [OK] をタップします。

お気に入りの使い方

各機能の画面の  か、ホーム画面の[お気に入り] をタップすると、登録済みのリストが表示されます。使いたいお気に入りを選択して、 をタップします。

 **参考** 各機能の画面からは、その機能で登録したリストだけが表示されます。

ショートカットをホーム画面に追加

お気に入りはショートカットにして、ホーム画面に追加することができます。タップするだけで簡単にコピーやスキャン、ファクス送信などが実行できます。

1. ホーム画面で[お気に入り] をタップします。
お気に入りの一覧が表示されます。

2. ホーム画面に追加したいお気に入りの > をタップして、[ショートカットをホーム画面に登録] をタップします。

コピーのお気に入りをホーム画面に登録するときに [今すぐコピー] で登録すると、ホーム画面でショートカットをタップするだけで直接コピーできます。



用紙のセット

印刷できる用紙とセット可能枚数

以下は2019年1月現在の情報です。これ以外の用紙を使うと、紙詰まりや故障の原因になります。

用紙は環境によって変質しやすいため、事前にお使いの環境下で十分確認を行ってから、用紙を購入することをお勧めします。再生紙や封筒など、品質のばらつきが大きい用紙は、必ず試し印刷をしてからお使いください。

プリンターの準備

用紙種類、名称		用紙サイズ	セット可能枚数		自動両面印刷
			MPトレイ	用紙カセット1～4	
普通紙 コピー用紙 レターヘッド 再生紙 色つき用紙 印刷済み用紙 厚紙 特厚紙	60～160 g/m ² の用紙	A3ノビ、SRA3	用紙ガイドの三角 マークが示す線まで (64 g/m ² 、80 g/ m ² どちらの場合も 150枚)	-	-
		A3、Tabloid、B4、 Legal、Letter、 A4、B5、 Executive、A5		用紙ガイドの三角マークが 示す線まで (64g/m ² の場合600 枚、80g/m ² の場合550 枚)	✓
		B6、A6		-	-
		ユーザー定義サイ ズ (mm) (55～330.2 x 127～1200)		-	✓*1
		ユーザー定義サイ ズ (mm) (139.7～297 x 182～431.8)		用紙ガイドの三角マークが 示す線まで (64g/m ² の場合600 枚、80g/m ² の場合550 枚)	✓*1
	161～350 g/m ² の用 紙	A3ノビ、SRA3、 A3、Tabloid、B4、 Legal、Letter、 A4、B5、 Executive、A5、 B6、A6、 ユーザー定義サイ ズ (mm) (55～330.2 x 127～1200)	用紙ガイドの三角 マークが示す線まで (または30枚)	-	-
	両面上質普通紙＜再生紙＞*2		A3、A4	80枚	450枚
フォトマット紙*2		A3ノビ、A3、A4	20枚	-	-
フォトマット紙／顔料専用*2		A3ノビ、A3、A4	20枚	-	-
スーパーファイン紙*2		A3ノビ、A3	50枚	-	-
		A4	100枚	-	-
スーパーファイン専用ハガキ*2		ハガキ	50枚	-	-
スーパーファイン専用ラベル シート*2		A4	1枚	-	-
両面マット名刺用紙*2 *4 *6		A4	1枚	-	-
郵便ハガキ*3 郵便ハガキ（インクジェット 紙）*3		ハガキ	50枚	-	-

プリンターの準備

用紙種類、名称	用紙サイズ	セット可能枚数		自動両面印刷
		MPトレイ	用紙カセット1～4	
往復ハガキ ^{*3}	往復ハガキ	50枚	-	-
四面連刷ハガキ ^{*3}	四面連刷ハガキ	50枚	-	-
封筒	長形3号、長形4号、 洋形0号 ^{*5} 、洋形2号 ^{*5} 、 洋形3号 ^{*5} 、洋形4号 ^{*5} 、 洋形6号 ^{*5} 、洋形8号 ^{*5} 、 角形2号、角形20号、	10枚	-	-

*1 : 自動両面可能範囲 139.7 mm～297 mm、長さ182 mm～431.8 mm

*2 : エプソン製専用紙（純正品）

*3 : 日本郵便株式会社製（郵便ハガキ＜インクジェット写真用＞は非対応）

*4 : Mac OSは非対応

*5 : 宛名面のみ対応

*6 : 両面マット名刺用紙のレイアウトに対応したアプリケーションソフト（Windowsのみ対応）が必要です。詳しくはエプソンのウェブサイト「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/faq/>

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「両面マット名刺」などのキーワード入力で検索できます。

参考 483mmより長い用紙をユーザー定義サイズで印刷する場合、どの用紙種類・印刷品質に設定しても、普通紙の標準品質で印刷されます。
また、印刷速度を下げても印刷されます。

関連情報

➡ 「各部の名称と働き」 10ページ

➡ 「印刷可能な用紙の厚さ」 26ページ

印刷可能な用紙の厚さ

印刷可能な用紙の厚さ（坪量：1m²当たりの紙の重量をグラムで表示したもの）は以下です。ただし、用紙の厚さを満たしていても紙質（目の方向や硬さなど）によって印刷品質の低下や紙詰まりが起こることがあります。

用紙種類	紙厚（坪量）
普通紙 コピー用紙 レターヘッド 再生紙 色つき用紙 印刷済み用紙 厚紙 特厚紙	60～350 g/m ²

用紙種類	紙厚（坪量）
封筒	長形：75～90 g/m ²
	洋形：75～100 g/m ²
	角形：80～100 g/m ²

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れ、プリンターの故障の原因になります。

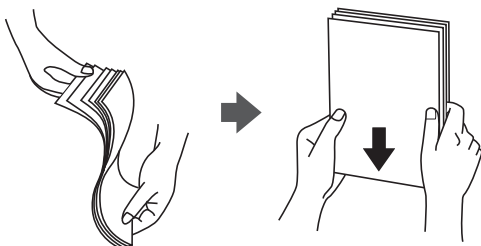
- 吸湿して波打っている、湿っている用紙
- 片面に印刷後、乾燥していない用紙
- 反っている、丸まっている用紙
- 折りがある、破れている、切れている用紙
- 厚すぎる、薄すぎる用紙
- 他のインクジェットプリンター、熱転写プリンター、ページプリンターなどのプリンターや、複写機で印刷した用紙
- ミシン目のある用紙
- シールなどが貼ってある用紙
- のり、ステープル（ホチキス）、クリップが付いた用紙
- のり付けや接着の処理が施された封筒、二重封筒、フラップが円弧や三角形の長形封筒や角形封筒
- フラップを一度折った長形封筒や一度折った往復ハガキ
- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ
- 穴あき用紙

関連情報

➡ [「印刷可能な用紙の厚さ」26ページ](#)

用紙の取り扱いについて

- 印刷用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項を確認してください。
- 印刷用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、側面を整えてください。



用紙の保管

以下の点に注意して保管してください。

- 開封後に残った用紙は、湿気を吸わないようポリ袋などに入れて密封してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。また用紙を濡らさないようにしてください。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 用紙は立てかけないで、平らな場所に置いてください。

参考 以上のように保管していても、環境によっては印刷品質の低下や紙詰まりが起こることがあります。保管後に使用する際は、一度少量の用紙をセットし、紙詰まりや印字汚れが起きないかお試しください。

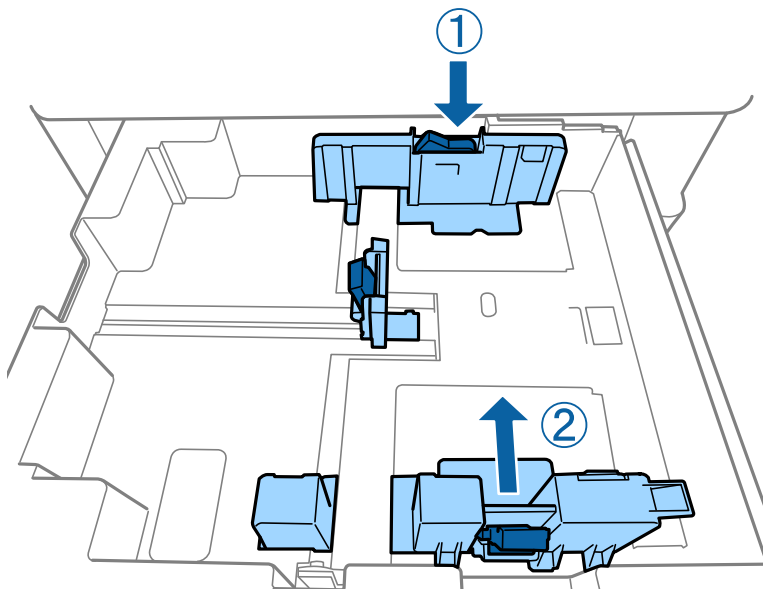
用紙のセット方法

用紙のセット方法は、プリンターのヘルプで確認できます。操作パネルで ① をタップして、[操作方法が知りたい] - [印刷用紙のセット] の順にタップします。

MPトレイに用紙をセットした後は、操作パネルに表示される設定画面で、用紙サイズや種類を設定してください。

！重要 用紙カセットはゆっくり抜き挿ししてください。大容量給紙ユニットは、セットできる用紙枚数が多く重くなるため、ゆっくり挿入してください。

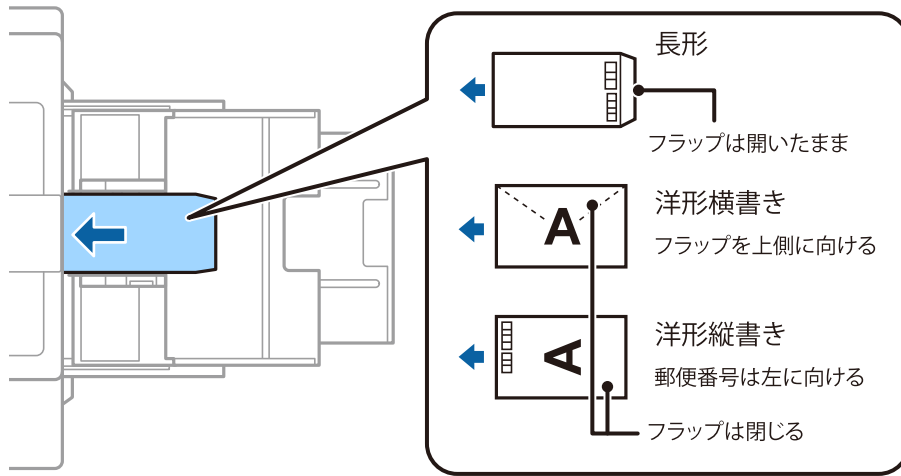
参考 用紙カセットの用紙ガイドの位置を変えたいときは、カセット奥側のロックを解除してから用紙ガイドを操作してください。操作後はロックしてください。



封筒、ハガキは以下の向きにセットしてください。

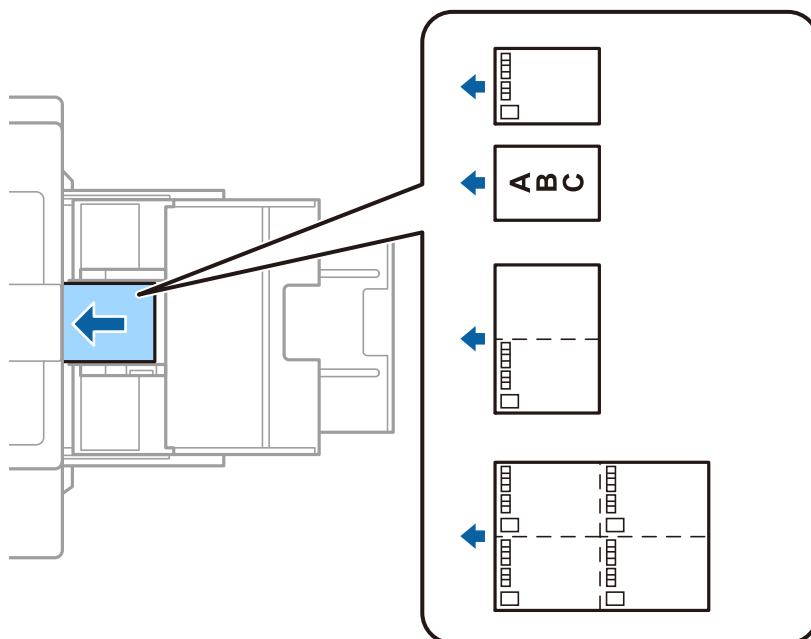
プリンターの準備

- 封筒



窓付き封筒を印刷すると、後から排紙された封筒が窓枠に引っかかり紙詰まりになることがあります。排紙された封筒は1枚ごとに取り除くことをお勧めします。

- ハガキ



- 手動で両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。
- ハガキの両面に印刷するときは、宛名面を先に印刷してください。

関連情報

- ➔ [「画面で見る説明」 240ページ](#)
- ➔ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)
- ➔ [「使用できない用紙」 27ページ](#)
- ➔ [「用紙の取り扱いについて」 27ページ](#)
- ➔ [「用紙の保管」 28ページ](#)

セットした用紙種類の設定

最適な印刷結果を得るために、印刷用紙に適した用紙種類を設定してください。
 以下は2019年1月現在の情報です。

用紙名称	用紙種類		
	操作パネル	プリンタードライバー	PostScriptプリンタードライバー
普通紙 (60～75 g/m ²)	普通紙1	普通紙1	普通紙1
普通紙 (76～90 g/m ²)	普通紙2	普通紙2	普通紙2
両面上質普通紙<再生紙>*1	普通紙1	普通紙1	普通紙1
フォトマット紙*1 PMマットハガキ*1 フォトマット紙／顔料専用*1	フォトマット紙	EPSON フォトマット紙	EPSON フォトマット紙
スーパーファイン紙*1 スーパーファイン専用ラベル シート*1	スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙
スーパーファイン専用ハガキ*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：スーパーファイン紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙	宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙
両面マット名刺用紙*1	両面マット名刺用紙	EPSON 両面マット名刺用紙	-
郵便ハガキ（インクジェット紙）*2	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ(IJ)	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
郵便ハガキ*2 往復ハガキ*2 四面連刷ハガキ*2	郵便ハガキ	郵便ハガキ	郵便ハガキ
厚紙 (91～105 g/m ²)	厚紙1	厚紙1	厚紙1
厚紙 (106～135 g/m ²)	厚紙2	厚紙2	厚紙2
厚紙 (136～160 g/m ²)	厚紙3	厚紙3	厚紙3
厚紙 (161～250 g/m ²)	厚紙4	厚紙4	厚紙4
特厚紙 (251～350 g/m ²)	特厚紙	特厚紙	特厚紙

*1：エプソン製専用紙（純正品）

*2：日本郵便株式会社製（郵便ハガキ＜インクジェット写真用＞は非対応）

原稿のセット

原稿はADF（オートドキュメントフィーダー）か原稿台に置きます。

ADFへのセット

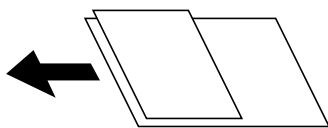
複数枚の原稿を一度にコピーやスキャンできます。

ADF にセットできる原稿

対応原稿サイズ*	A6～A3/Ledger（最大297×431.8 mm）
用紙種類	上質紙、普通紙、再生紙
坪量	52～128 g/m ²
セット可能枚数	150 枚（または16.5 mmまで）

*原稿幅が同じであれば、サイズが混ざっている原稿も読み取れます。

- A3とA4
- B4とB5



ADF にセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによって通紙できないことがあります。また、読み取り品質に影響を及ぼすこともあります。

！重要 以下のような原稿をADFにセットすると紙詰まりの原因になります。これらの原稿は原稿台にセットしてください。

- 折り跡やしわがある、破れている、劣化している、反っている原稿
- ルーズリーフや穴の開いた原稿
- のりやホチキスの針、クリップなどが付いている原稿
- シールやラベルなどが貼られている原稿
- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿
- とじられて（製本されて）いる原稿
- 透明や半透明な原稿（OHP シートなど）、感熱紙や裏カーボンのある原稿
- 印刷直後の原稿（乾燥していない、熱を持っている、など）

原稿のセット

操作パネルで  をタップして、[操作方法が知りたい] - [原稿のセット] の順にタップします。

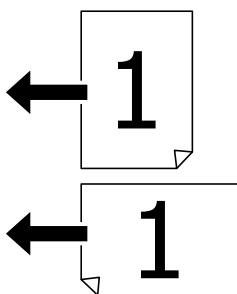
関連情報

➡ [「画面で見る説明」240ページ](#)

2面割り付けコピー時のADFへの原稿セット方法

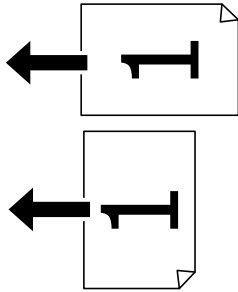
図の向きに原稿をセットして、向きを設定してください。

- 上向きにセット：操作パネルの以下のメニューで [上向き] を選択します。
[コピー] - [応用設定] - [原稿セット方向] - [上向き]
矢印の向きに原稿をセットします。



プリンターの準備

- 左向きにセット：操作パネルの以下のメニューで「左向き」を選択します。
「コピー」 - 「応用設定」 - 「原稿セット方向」 - 「左向き」
矢印の向きに原稿をセットします。



原稿台へのセット

不定形の原稿や厚手のもの、段ボール箱等を置いてコピーやスキャンできます。

原稿台にセットできる原稿

対応原稿サイズ	最大297x431.8 mm
対応原稿重量	最大2 kg

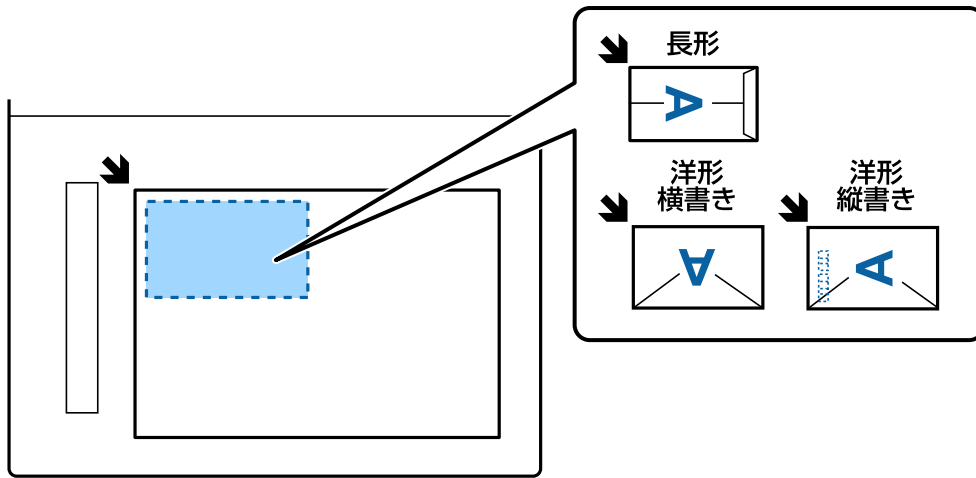
！重要

- 原稿台に強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえ付けしないでください。強く押さえ付けると、読み取った画像にシミやムラ、斑点が出る場合があります。
- 厚みのある原稿（本など）を読み取る際は、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。原稿サイズが自動で検出できないことがあります。
- 折り跡やしわがある原稿は、折り跡やしわを伸ばし、原稿台に密着するようにセットしてください。原稿台に原稿が密着していない部分の画質がぼやける場合があります。
- スキャンが終了したら、原稿を取り出してください。長時間のせたままにすると、原稿台に張り付くことがあります。

原稿のセット

操作パネルで  をタップして、「操作方法が知りたい」 - 「原稿のセット」の順に選択します。

参考 封筒のコピーは、コピーする面を下にして、以下の方向で原稿台上に置いてください。



- 参考**
- 原稿台の端から1.5mmの範囲はスキャンできません。
 - ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。

関連情報

➡ [「画面で見る説明」240ページ](#)

原稿サイズの自動検知

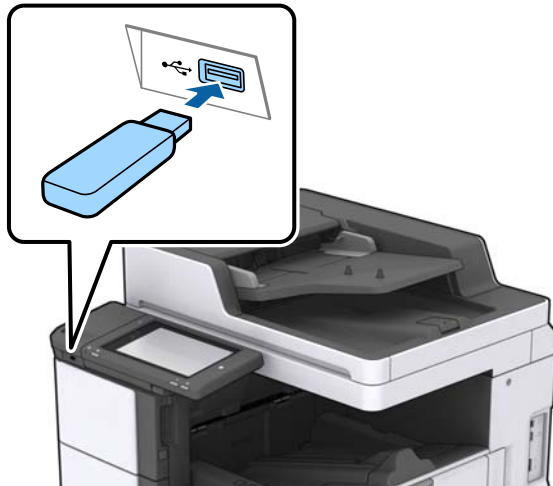
〔用紙設定〕の設定を〔自動検知〕にすると、以下の大きさの原稿は自動で検出されます。

- ADF：
A3*¹、B4*¹、A4、B5、A5*²
*1 原稿の短辺を、ADFの給紙口に向けてセットした時のみ
*2 原稿の長辺を、ADFの給紙口に向けてセットした時のみ
- 原稿台：
A3*¹、B4*¹、A4、B5、A5
*1 原稿の短辺を、原稿台の左サイドに向けてセットした時のみ

外部記憶装置のセット

外部記憶装置のセットと取り出し

1. 外部記憶装置をプリンターにセットします。



2. 印刷などが終わったら、外部記憶装置を取り出します。

関連情報

➡ [「外部記憶装置の仕様」287ページ](#)

設定メニューの説明

操作パネルのホーム画面で「設定」をタップすると、プリンターのいろいろな設定ができます。

本体設定-基本設定メニューの説明

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。（初期値は「9」）

音の設定：

音量や音の種類を設定します。

ミュート：

「オン」にすると、操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音を出しません。（初期値は「オフ」）

プリンターの準備

通常時：

- 着信音
ファクスが着信したときの音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）
- 受信完了音
ファクスの受信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- 受信印刷完了音
ファクス受信して印刷が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）
- ダイヤル中スピーカー音
ファクス送信中のダイヤル音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）
- 送信完了音
ファクスの送信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- 操作音
操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）
- エラー音
エラーの発生を知らせる音の大きさを設定します。（初期値は [5] ）
- 音の種類
音の種類を選択します。（初期値は [パターン1] ）

動作音低減モード時：

- 着信音
ファクスが着信したときの音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- 受信完了音
ファクスの受信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- 受信印刷完了音
ファクス受信して印刷が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- ダイヤル中スピーカー音
ファクス送信中のダイヤル音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- 送信完了音
ファクスの送信が完了したときの音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- 操作音
操作パネルをタップしたときやボタンを押したときの音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- エラー音
エラーの発生を知らせる音の大きさを設定します。（初期値は [0] ）
- 音の種類
音の種類を選択します。（初期値は [パターン1] ）

ADF重送検知：

有効にすると、ADFで原稿を給紙したときの重送を検知します。（初期値は [オン] ）

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。（初期値は [1分] ）

プリンターの準備

自動電源オフ：

プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切ります。切るまでの時間は任意に設定できます。（初期値は「設定しない」）

日付/時刻設定：

- 日付/時刻
現在の日時を入力します。
- 時差
協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language：

画面に表示する言語を選択します。（初期値は「日本語」）

初期モード：

プリンターの電源を入れたときや無操作タイマー設定を有効にしたときに、初期画面として表示させるモードを指定します。（初期値は「ホーム」）

ホーム画面編集：

操作パネルの画面で表示するアイコンの配置を変更します。アイコンの追加、消去、移動ができます。

ホーム背景設定：

操作パネルの画面の背景色を変更します。（初期値は「ホワイト」）
外部メモリーにある任意の画像にすることもできます。設定できる画像データはJPEG形式です。

コピー画面編集：

操作パネルのコピー画面で表示する項目の配置を変更します。変更した後に項目の配置を初期状態に戻すこともできます。

無操作タイマー設定：

「オン」にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。利用者制限の利用者として操作しているときは、メッセージが表示されて自動的にログオフされて初期画面に戻ります。状態確認画面や中止ボタンから印刷一時停止をして無操作状態が設定時間続いた場合、印刷が自動再開します。この機能を「オフ」にすると印刷一時停止をしても自動再開はされません。（初期値は「オン」）

カラー印刷枚数カウント警告：

「オン」を選択すると、グレースケール印刷がカラー印刷としてカウントされるときに、印刷を継続するか確認するメッセージを表示します。（初期値は「オン」）

ジョブ/状態の初期画面

「ジョブ/状態の初期画面」をタップしたときに表示する情報を選択します。（初期値は「プリンター状態」）

画面切替効果：

「オン」を選択すると、画面切り替え時のアニメーションの動作が有効になります。「オフ」を選択すると画面の切り替えが早くなります。（初期値は「オン」）

関連情報

➡ [「省電力設定をする」46ページ](#)

本体設定-プリンター設定メニューの説明

給紙装置設定：

用紙設定：

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。[用紙サイズの自動検知] を有効にすると、プリンターが自動的に、給紙装置にセットされた用紙サイズを判別します。（初期値は各給紙装置ともに用紙サイズ [A4] 、用紙種類 [普通紙] 、用紙サイズの自動検知 [オン] ）

MPトレイ優先：

[オン] を選択すると、MPトレイからの給紙を優先します。（初期値は [オフ] ）

A4/Letter自動切替：

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。（初期値は [オフ] ）

給紙口自動選択：

コピー、ファクス、その他（印刷全般）で使用する給紙装置を設定します。複数の給紙装置を有効にすると、印刷ジョブの用紙設定と同じ設定になっている給紙装置から自動的に給紙します。（初期値は各給紙装置ともに [オン] ）

- コピー
- ファクス
- その他(印刷全般)

エラー通知：

有効にすると、印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示します。（初期値は用紙サイズエラー [オン] 、用紙種類エラー [オン] ）

設定画面自動表示：

[オン] にすると、給紙装置に用紙をセットするときに [用紙設定] を表示させます。（初期値は [オン] ）

ユーザー定義サイズリスト：

ユーザー定義サイズの設定を変更できます。頻繁に使用する不定形の用紙サイズを設定しておくとう便利です。

排紙先：コピー：

コピーの排紙先を設定します。（初期値は [フェイスダウン排紙トレイ] ）

排紙先：ファクス：

受信したファクスの排紙先を設定します。（初期値は [フェイスダウン排紙トレイ] ）

プリンターの準備

排紙先：その他(印刷全般)：

コピーとファクス以外の、印刷全般での排紙先を設定します。（初期値は[フェイスダウン排紙トレイ]）

印刷言語：

USBまたはネットワーク接続時の印刷言語を選択します。（初期値は[Auto]）

外部機器(PC)印刷設定：

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。

上オフセット設定：

用紙の上側の余白を設定します。（初期値は[0.0]）

左オフセット設定：

用紙の左側の余白を設定します。（初期値は[0.0]）

裏面上オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。（初期値は[0.0]）

裏面左オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。（初期値は[0.0]）

白紙節約モード：

印刷データ内の白紙ページを無視して印刷します。（初期値は[オフ]）

ジョブ仕分け

[する] にすると、印刷物をジョブごとに交互にずらして排紙します。（初期値は[しない]）

90度回転

[する] にすると、複数部印刷時に、印刷した用紙を1部ずつ縦横交互に排紙します。（初期値は[しない]）

ユーザー間合紙設定

有効にすると、コンピューターから印刷するときに複数のジョブが続いた場合、送信元ごとに仕切りの紙を挿入します。仕切りの紙は指定した給紙装置から挿入されます。（初期値は[オフ]）

PDL印刷設定：

PostScript印刷時の設定ができます。

共通設定：

- 用紙サイズ
PostScript印刷時の用紙サイズを選択します。（初期値は[A4]）
- 用紙種類
PostScript印刷時の用紙種類を選択します。（初期値は[普通紙1]）
- 用紙方向
PostScript印刷時の印刷方向を選択します。（初期値は[縦]）

プリンターの準備

- 印刷品質
PostScript印刷時の印刷品質を選択します。（初期値は〔標準品質〕）
- インクセーブモード
〔オン〕を選択すると、印刷濃度を薄くしてインクを節約します。（初期値は〔オフ〕）
- 印刷順序
正順印刷：
1ページ目から印刷します。（初期値は〔正順印刷〕）
逆順印刷：
最終ページから印刷します。
- コピー枚数設定
コピー枚数を選択します。（初期値は〔1〕）
- とじ位置
用紙のとじ位置を選択します。（初期値は〔左右開き〕）
- 自動排紙設定
〔オン〕を選択すると、途中で印刷が停止したページを自動で排紙します。（初期値は〔オフ〕）
- 両面印刷
〔オン〕を選択すると、用紙の表裏に印刷します。（初期値は〔オフ〕）

PS設定：

- PS3エラーシート
〔オン〕を選択すると、PostScript印刷またはPDF印刷時にエラーが発生したときに、エラー状態を記載したシートを印刷します。（初期値は〔オフ〕）
- Coloration
PostScript印刷のカラーモードを選択します。（初期値は〔カラー〕）
- Binary
バイナリー形式の画像が含まれるデータの印刷時に〔オン〕を選択します。ドライバーの設定がASCIIになっていてもアプリケーションがバイナリーデータを送ってしまうことがありますが、この設定を有効にすると印刷できます。（初期値は〔オフ〕）
- PDF印刷 用紙サイズ
PDFファイルを印刷するときの用紙サイズを選択します。〔自動〕を選択すると、印刷データの最初のページの用紙サイズに合わせて印刷します。（初期値は〔自動〕）

自動エラー解除：

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。（初期値は〔オフ〕）

- オン
両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。
- オフ
エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

外部メモリー設定：

〔有効〕にすると、プリンターに挿入した外部メモリーに接続できるようになります。〔無効〕にすると、プリンターに挿入した外部メモリーへのデータ保存を禁止します。機密文書の不正スキャンによるデータの持ち出しを未然に防ぎます。（初期値は〔有効〕）

プリンターの準備

こすれ軽減：

有効にすると印刷時のこすれを軽減します。ただし、印刷速度が遅くなることがあるため、印刷結果にこすれがあるときだけ有効にしてください。この機能でこすれを軽減できない場合は、印刷濃度、コピー濃度を薄くしてみてください。（初期値は〔しない〕）

動作音低減モード：

有効にすると、印刷時の動作音が低減されます。ただし、印刷速度が遅くなる場合があります。用紙種類や印刷品質の設定によっては、動作音が変わらないことがあります。（初期値は〔オフ〕）

フィニッシャー仕上げ改善：

有効にするとステープル、シフト(すらし)時の用紙のぼらつきを軽減します。ただし、印刷に時間がかかります。（初期値は〔オフ〕）

印刷速度優先

〔オフ〕にすると、用紙種類や印刷データの条件に合わせ、印刷速度を下げた印刷します。速度を下げて印刷することで、排紙の乱れや紙づまりを軽減（改善）できる可能性があります。（初期値は〔オン〕）

コンピューターのUSB接続：

〔有効〕にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。〔無効〕にすると、ネットワークを経由しない印刷やスキャンなどを禁止できます。（初期値は〔有効〕）

USB I/Fタイムアウト時間設定：

USB接続したコンピューターからPostScriptプリンタードライバーを経由した印刷で、ジョブを受信してからUSB接続を切断するまでの時間を指定します。PostScriptプリンタードライバーを経由したジョブは、データの終わりが不明瞭のため、送信が終了してもUSB接続が切断されないことがあります。そのため、指定した時間が経過した後に自動で通信を遮断してジョブを終了させます。0（ゼロ）に設定すると通信の切断は行いません。（初期値は〔60分〕）

関連情報

- ➡ [「用紙のセット」24ページ](#)
- ➡ [「外部メモリー内のJPEGデータを印刷する」151ページ](#)
- ➡ [「外部メモリー内のPDF、TIFFデータを印刷する」152ページ](#)

本体設定-ネットワーク設定メニューの説明

無線LAN接続設定：

無線LANでプリンターをネットワークに接続します。接続方法を選択し、画面の指示に従って設定してください。

- ルーター
- Wi-Fi Direct

有線LAN接続設定：

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

プリンターの準備

ネットワーク情報：

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

接続診断：

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

設定項目は次の通りです。

- デバイス名
- TCP/IP
- プロキシサーバー
- メールサーバー
- IPv6アドレス（初期値は [有効] ）
- MS Network共有（初期値は [有効] ）
- NFC（初期値は [有効] ）
- Link Speed & Duplex（初期値は [自動] ）
- HTTPをHTTPSにリダイレクト（初期値は [有効] ）
- IPsec/IPフィルタリングの無効化（初期値は [無効] ）
- IEEE802.1Xの無効化（初期値は [無効] ）

本体設定-Webサービス設定メニューの説明

Epson Connect設定：

Epson Connect サービスへの登録状態を表示します。

「登録する」を選択すると表示される画面の指示に従って登録します。
登録すると以下の設定ができます。

- サービスの一時停止/再開
- 登録削除

詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

Google クラウド プリント設定：

Google クラウド プリントにプリンターが登録や接続されているかを確認します。

登録すると以下の設定ができます。

- サービスの有効/無効
- 登録削除

Google サービスへの登録やサービス利用の詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

関連情報

➡ [「ネットワークサービスを使って印刷する」234ページ](#)

本体設定-ファクス設定メニューの説明

以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ [「ファクス設定メニューの説明」110ページ](#)

本体設定-スキャン設定メニューの説明

以下の関連情報を参照してください。

関連情報

➡ [「スキャン」120ページ](#)

本体設定-管理者用設定メニューの説明

管理者向けの設定です。詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

印刷ページ数の確認メニューの説明

プリンター購入時からの総印刷ページ数、モノクロ印刷ページ数、カラー印刷ページ数を表示します。[シートを印刷]をタップすると印刷します。

[本体情報を送信]アイコンが表示される場合は、締日以降に印刷したページ（面）数を表示します。

消耗品情報メニューの説明

インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。

！マークは、インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示します。xマークは、インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。

プリンターのお手入れメニューの説明

印刷品質を保つためのプリントヘッドのお手入れができます。

プリントヘッドのノズルチェック：

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するために、チェックパターンを印刷します。

プリントヘッドのクリーニング：

プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。

関連情報

➡ [「ノズルが目詰まりしていないか確認する」238ページ](#)

言語選択/Languageメニューの説明

画面に表示する言語を選択します。（初期値は［日本語］）

情報確認/印刷メニューの説明

本体ステータスシートの印刷：

プリンター情報シート：

プリンターの状態や設定を印刷します。

消耗品情報シート：

消耗品の情報を印刷します。

使用履歴シート：

プリンターの使用履歴を印刷します。

PS3フォントリスト：

PostScript印刷で使えるフォントリストを印刷します。

ネットワーク：

有線・無線接続状態：

現在の接続状態を表示します。

Wi-Fi Direct接続状態：

現在の接続状態を表示します。

メールサーバー設定情報：

現在の設定状態を表示します。

ステータスシート印刷：

現在のネットワーク設定の内容を印刷します。

アドレス帳管理メニューの説明

アドレス帳登録・変更：

ファクス、スキャン toEメール 機能、スキャン to フォルダー 機能で使うアドレスを登録、削除します。

常用管理：

頻繁に使うアドレスを登録して簡単にアクセスできるようにします。また、アドレスの並び順を変えることができます。

アドレス帳印刷：

アドレス帳を印刷します。

アドレス帳表示方法設定：

アドレス帳の表示方法を変更します。（初期値は［タイトル表示］）

アドレス帳検索設定：

アドレス帳の検索方法を変更します。（初期値は［前方一致］）

関連情報

➡ [「アドレス帳の管理」20ページ](#)

ユーザー設定メニューの説明

スキャン、コピー、ファクス機能でよく使う設定を初期値として設定できます。設定項目の詳細は、各機能の説明をご覧ください。

関連情報

➡ [「コピーの設定項目」50ページ](#)

➡ [「ファクスメニューの説明」105ページ](#)

➡ [「スキャン」120ページ](#)

認証システムメニューの説明

認証装置の状態や、Epson Open Platformの情報を確認できます。

認証装置ステータス

認証装置の状態を表示します。

Epson Open Platform情報

Epson Open Platformの情報を表示します。

省電力設定をする

プリンターが動作していない状態が続いたときに、指定した時間でスリープ（省電力）モードに移行するように設定できます。また、電源を切るように設定もできます。

省電力設定をする - 操作パネル

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「本体設定」 - 「基本設定」の順にタップします。
3. 「自動電源オフ」または「スリープ移行時間設定」を選択して、設定値を設定します。

コピー

コピー

基本のコピー

ここでは基本的なコピー手順を説明します。

1. 原稿をセットします。
自動で複数枚の原稿をコピーする場合は、ADFに原稿をセットします。
2. ホーム画面で「コピー」をタップします。
3. 「基本設定」の設定を確認します。
必要に応じて設定項目をタップして変更します。



- 参考**
- 「応用設定」をタップすると、「原稿種類」、「原稿サイズ混載」、「詳細画質調整」などのコピー設定、「見開き→2ページ」や「IDカードコピー」のようなコピーメニューが選択できます。
 - ★をタップすると、よく使うコピー設定をお気に入りに登録できます。
 - 用紙に関する設定の組み合わせが使用できないときは、!が表示されます。アイコンをタップして詳細を確認し、設定を変更してください。

4. コピー部数の数字をタップして、キーパッド画面でコピー部数を入力します。
5. 拡大鏡アイコンをタップして、スキャン画像と用紙サイズなどの設定を確認します。

参考 ADFに原稿をセットしているときは、プレビューできません。

6. 実行アイコンをタップします。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」 31ページ](#)
- ➡ [「コピー時の基本設定メニュー」 50ページ](#)
- ➡ [「コピー時の応用設定メニュー」 52ページ](#)

用紙の両面にコピーする

複数枚の原稿や、両面の原稿を用紙の両面にコピーできます。

1. ホーム画面で **【コピー】** をタップします。
2. **【基本設定】** の **【両面設定】** で **【片面→両面】** または **【両面→両面】** を選択します。
原稿とコピー結果のセット方向や開き方向なども指定できます。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4.  をタップします。

関連情報

- ➡ [「基本のコピー」 47ページ](#)
- ➡ [「コピー時の基本設定メニュー」 50ページ](#)

複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする

2枚または4枚の原稿を、1枚の用紙に割り付けてコピーできます。

1. ホーム画面で **【コピー】** をタップします。
2. **【基本設定】** の **【ページ集約】** で **【2in1】** または **【4in1】** を選択して **【OK】** をタップします。
原稿の割り付け順序とセット方向も指定できます。
3. 必要に応じてその他の項目を設定します。
4.  をタップして、コピーのイメージを確認します。



ADFに原稿をセットしているときは、プレビューできません。

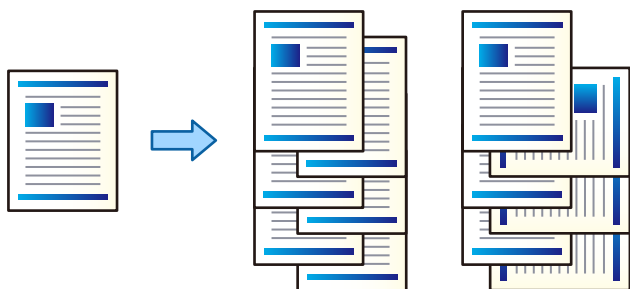
5.  をタップします。

関連情報

- ➡ [「基本のコピー」 47ページ](#)
- ➡ [「コピー時の基本設定メニュー」 50ページ](#)

用紙を縦横交互に90度回転して排紙する、1部ずつずらして排紙する

印刷物を縦横交互に排紙できます。また、オプションのフィニッシャーユニットを使用すると、1部ずつずらして排紙したり、ステープル（ホチキス）したりできます。



1. 操作パネルで【コピー】をタップします。
2. 【基本設定】タブの【仕上げ】をタップします。
3. 【排紙方法】から選択します。
 - 90度回転：複数部を印刷するときに、1部ずつ縦横交互に排紙します。この機能は、2つの給紙装置を使用します。
 - 片方の給紙装置に用紙を縦向きにセットし、もう片方に横向きにセットして、基本設定の【用紙設定】として【自動】にしている必要があります。
 - 【設定】-【排紙先：コピー】設定として【フェイスダウン排紙トレイ】が選択している必要があります。印刷物はフェイスダウン排紙トレイに排紙されます。
 - シフト(ずらし)：複数部をコピーするときに、1部ずつ交互にずらして排紙します。オプションのフィニッシャーユニットが取り付けられているときに有効になります。
4. オプションのフィニッシャーユニットを使用している場合は、必要に応じて【ステープル】からステープルする位置を選択して、【OK】をタップします。
5. 必要に応じてその他の項目を設定します。
6. ◇をタップします。

関連情報

- ➡ [「基本のコピー」 47ページ](#)
- ➡ [「コピー時の基本設定メニュー」 50ページ](#)

コピーの設定項目

コピー時の基本設定メニュー

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

カラーでコピーするかモノクロでコピーするか選択します。（初期値は［モノクロ］）

- 自動
原稿をカラーかモノクロか自動で判別してコピーします。
ただし、原稿によってはモノクロの原稿をカラーと判別したり、カラーの原稿をモノクロと判別したりすることもあります。その場合は、［カラー］または［モノクロ］を選択してコピーするか、判定の度合いを調整することをお勧めします。判定の度合いは、ホーム画面で［設定］ - ［本体設定］ - ［管理者用設定］ - ［コピーカラー判定］の順に選択すると設定できます。
- カラー
原稿をカラーでコピーします。
- モノクロ
原稿をモノクロ（白黒）でコピーします。

濃度：

コピー結果が薄いときは濃度を上げます。こすれが発生するときは濃度を下げます。（初期値は［±0］）

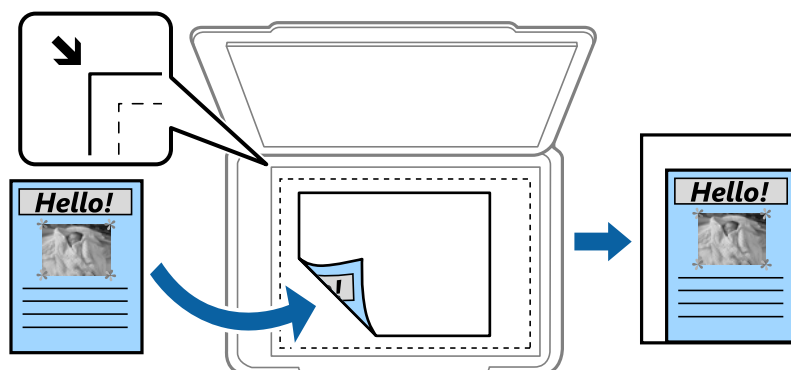
用紙設定：

使用する給紙装置を選択します。［自動］を選択すると、自動で検出された原稿サイズと、設定した倍率から、最適な用紙サイズを自動で給紙します。（初期値は［自動］）

倍率：

拡大または縮小コピーの倍率を設定します。任意の倍率（25～400％）を、数値をタップして指定してください。（初期値は［等倍］）

- 自動
原稿のスキャン範囲を自動で検出して、用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小します。原稿の周囲に余白がある場合、原点（）からの余白部分はスキャン範囲に含まれますが、原点から反対側の余白部分は切り取られることがあります。



コピー

- 小さめフィット
スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。
指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。
- 等倍
100%の倍率でコピーします。
- A3→A4など
定形サイズ of 原稿（スキャン範囲）を、定形サイズの用紙に合わせた倍率で拡大または縮小します。

原稿サイズ：

原稿のサイズと向きを選択します。〔自動検知〕を選択すると、原稿サイズが自動で検出されます。非定形サイズ of 原稿をコピーするときは、原稿サイズに近いサイズを選択してください。（初期値は〔自動検知〕）

両面設定：

両面コピー of レイアウトを選択します。（初期値は〔片面→片面〕）

- 片面→片面
原稿 of 片面を、用紙 of 片面にコピーします。
- 両面→両面
両面 of 原稿を、1枚 of 用紙の両面にコピーします。原稿 of 向きと原稿と用紙 of 開き方向を選択します。
（初期値は〔上向き〕、〔左右開き〕）
- 片面→両面
2枚 of 原稿 of 片面を、1枚 of 用紙の両面にコピーします。原稿 of 向きと用紙 of 開き方向を選択します。
（初期値は〔上向き〕、〔左右開き〕）
- 両面→片面
両面 of 原稿を、2枚 of 用紙に片面ずつコピーします。原稿 of 向きと原稿 of 開き方向を選択します。（初期値は〔上向き〕、〔左右開き〕）

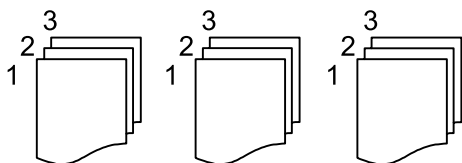
ページ集約：

コピー of レイアウトを選択します。（初期値は〔しない〕）

- しない
1ページ of 原稿を、1枚 of 用紙にコピーします。
- 2in1
2ページ of 原稿を、1枚 of 用紙に2面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿 of セット方向を選択します。（初期値は〔左→右〕、〔上向き〕）
- 4in1
4ページ of 原稿を、1枚 of 用紙に4面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿 of セット方向を選択します。（初期値は〔左上から横方向〕、〔上向き〕）

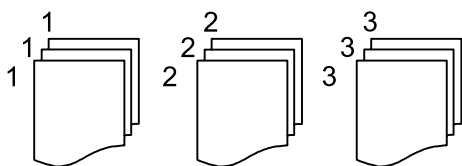
仕上げ：

複数ページ of 原稿を複数部コピーするとき of 排紙方法を選択します。（初期値は〔ソート(1部ごと)〕）
〔ソート(1部ごと)〕を選択すると、1部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。



コピー

〔グループ(ページごと)〕を選択すると、ページごとにまとめてコピーします。



- 排紙方法
 - 90度回転
印刷物を縦横交互に排紙します。この機能を使用するときは、〔用紙設定〕で〔自動〕が選択されている必要があります。
 - シフト(ずらし)*
1部ずつ交互にずらして排紙します。
(初期値は〔標準〕)
- ステープル*
ステープルの位置を選択します。(初期値は〔しない〕)

* フィニッシャーユニットが設定されているときに表示

関連情報

- ➔ [「オプション品の種類と型番」212ページ](#)
- ➔ [「フィニッシャーユニットを使った排紙やステープルの方法」212ページ](#)

コピー時の応用設定メニュー

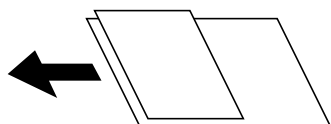
参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

原稿種類：

原稿の種類を選択します。原稿の種類に合わせて最適な品質でコピーします。(初期値は〔文字・写真〕)

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ(A3とA4、B4とB5)原稿は、混在させてADFにセットできます。混在させても原稿と同じサイズの印刷用紙に印刷します。セットするときは、図のように用紙の幅をそろえてセットしてください。(初期値は〔オフ〕)



原稿セット方向：

原稿の向きを選択します。(初期値は〔上向き〕)

見開き→2ページ：

冊子など見開きの原稿を1ページずつコピーします。(初期値は〔オフ〕)

コピー

スキャンする順番を選択します。（初期値は〔右ページ→左ページ〕）

連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のコピーとして実行できます。（初期値は〔オフ〕）

詳細画質調整：

画質の設定を調整します。（初期値は〔±0〕）

- コントラスト
明るい部分と暗い部分の差を調整します。
- 鮮やかさ
色の鮮やかさを調整します。
- 色調補正 レッド、色調補正 グリーン、色調補正 ブルー
各色の濃さを調整します。
- シャープネス
画像の輪郭を調整します。
- 色相調整
肌の色味を調整します。＋をタップすると冷たく（グリーンが増す）、－をタップすると温かく（レッドが増す）になります。
- 背景除去
背景色の濃さを選択します。＋をタップすると明るく（白く）、－をタップすると暗く（黒く）なります。
〔自動〕にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。（初期値は〔オン〕）

とじしろ：

両面コピー時に原稿のとじ位置、とじ幅、原稿の向きを選択します。（初期値は〔オフ〕）

小さめフィット：

スキャンした画像を印刷する用紙のサイズに収まるように、指定した倍率より小さめにコピーします。指定した倍率が、印刷する用紙サイズより大きいと、用紙からはみ出します。（初期値は〔オフ〕）

影消し：

冊子をコピーしたときに中央部に出る影や、厚い原稿をコピーしたときに周りが出る影を消します。（初期値は〔オフ〕）

パンチ穴消し：

パンチ穴の影を消してコピーします。（初期値は〔オフ〕）

IDカードコピー：

IDカードの両面をスキャンし、用紙の片面に並べてコピーします。（初期値は〔オフ〕）

排紙先：

コピーの排紙先を選択します。（初期値は〔フェイスダウン排紙トレイ〕）

コピー

ページ印字：

- ページ印字
[オン] を選択して、コピー結果にページ番号を印字します。（初期値は [オフ] ）
- 種類
ページ印字の種類を選択します。
- 印字位置
ページ番号を印字したい位置を選択します。
- ページ指定
どのページにページ番号を印字するか選択します。[指定ページ～最終ページ] を選択すると、ページ印字を開始したいページを指定できます。[印字開始数字] では、ページ印字の開始番号を指定できます。
- 印字サイズ設定
印字サイズを選択します。
- 背景
ページ番号部分の背景を白にするか、選択します。白以外の原稿にページ番号を印字する場合、[ホワイト] を選択するとページ番号がはっきりと見えます。

ファクス

ファクスの準備

ファクスモデルをお使いの場合は、ファクスを使用できます。ファクスモデルについては、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターまでお問い合わせください。

電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。
以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- ADSLや光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- キャッチホンなど各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプター、スプリッター、ADSLモデムなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

参考 プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときに外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

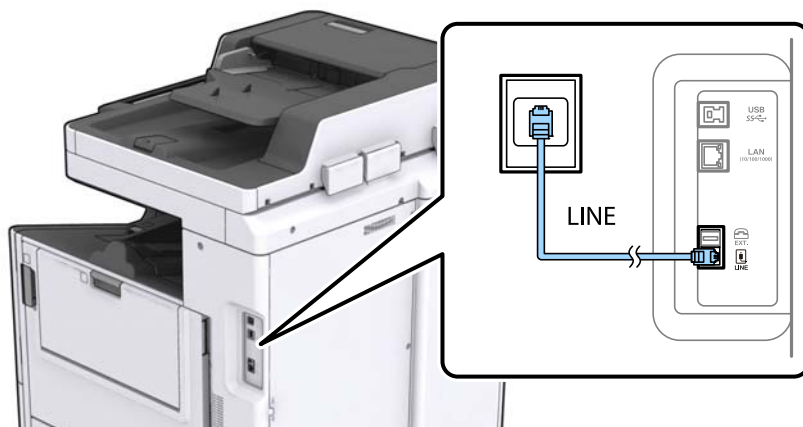
落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

1. プリンター背面部のLINEポートからキャップを取り外します。

ファクス

2. 電話回線やPBXポートとLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



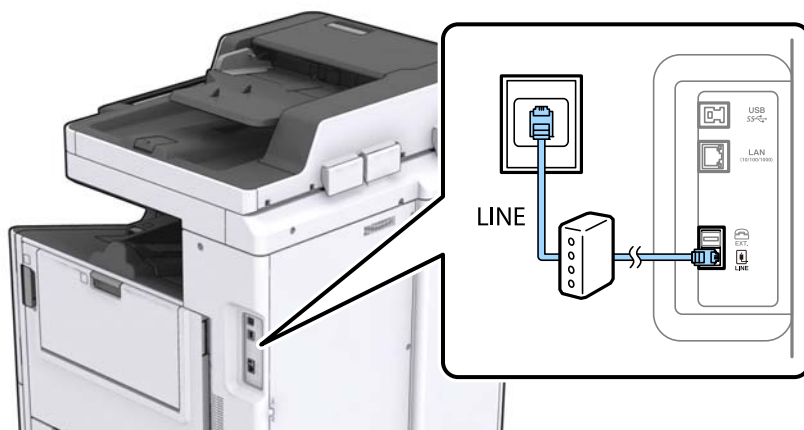
関連情報

- ➡ [「構内交換機 \(PBX\) を設定する」 60ページ](#)

ADSLまたはISDNに接続する

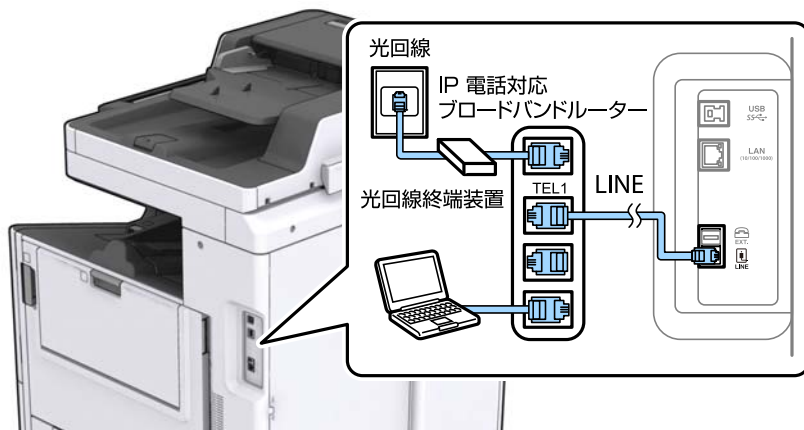
ADSLモデムまたはISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。

参考 ADSLモデムにスプリッターが内蔵されていないときは、スプリッターを接続してください。



光回線に接続する

IP電話対応のブロードバンドルーターとプリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはご契約の回線事業者にお問い合わせください。



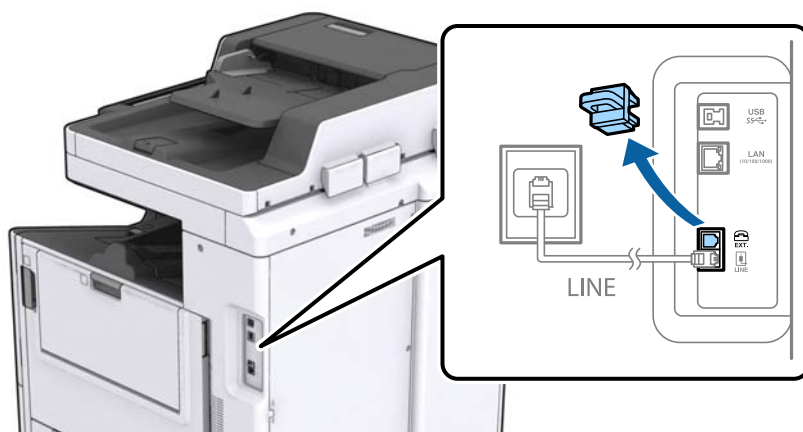
参考 2回線契約していないときは必ずルーターのTEL1（ポート名はルーターによって異なります。Aや1などの先頭の番号）に接続してください。

電話機とプリンターを接続する

1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

- 参考**
- ファクス機能付き電話は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。電話機の機種によってはファクス機能を完全に無効にできないため、外付け電話機として使用できない場合があります。
 - 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの「呼び出し回数」を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
 - ナンバーディスプレイ機能を使うときは、プリンターの「ナンバー・ディスプレイ対応」設定を変更してください。

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



ファクス

2. 電話機とEXT.ポートをモジュラーケーブルで接続します。



参考

1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. ホーム画面で「ファクス」を選択します。

4. 受話器を上げます。

以下のように◇（[送信]）が有効になれば、接続が成功しています。



関連情報

- ➡ 「留守番機能付き電話接続時の設定」 74ページ
- ➡ 「ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定」 74ページ

ファクスの基本設定

「ファクス設定ウィザード」で「受信モード」などの基本設定をしてから、その他の必要な設定をします。
「ファクス設定ウィザード」は初回電源投入時に自動で表示されます。一度設定をすれば接続環境に変更がない限り、設定し直す必要はありません。
プリンターに管理者が設定されているときは、管理者のみ設定できます。

ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする

画面の指示に従って基本的な設定をします。

1. プリンターを電話回線に接続します。

参考 最後に接続状態を確認するため、必ずプリンターを電話回線に接続してから始めてください。

2. ホーム画面で「設定」をタップします。

3. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「ファクス設定ウィザード」の順にタップします。

4. 「確認」画面で、「設定開始」をタップします。

ウィザードが起動します。

5. 発信元名の入力画面で送信者の名前（会社名など）を入力して、「OK」をタップします。

参考 発信元名と発信元番号は、送信文書のヘッダー情報になります。

6. 発信元番号の入力画面で送信者のファクス番号を入力して、「OK」をタップします。

7. 「受信モード設定」画面で、プリンターに電話機を接続して使うかどうか選択します。

- 使う：「はい」をタップして、次の手順に進みます。
- 使わない：「いいえ」をタップして手順9に進みます。「受信モード」は「自動」に設定されます。

8. 「受信モード設定」画面で、自動受信するかどうか選択します。

- 自動受信する：「はい」をタップします。「受信モード」は「ファクス/電話自動切替」に設定されます。
- 自動受信しない：「いいえ」をタップします。「受信モード」は「手動」に設定されます。

9. 「設定確認」画面で設定内容を確認し、「次へ」を押します。

修正するときはをタップしてください。

10. 「診断開始」をタップして、診断結果を印刷するメッセージが表示されたら「印刷開始」をタップします。

接続状態を確認できるファクス機能診断レポートが印刷されます。

- 参考**
- レポートにエラーが表示されたら、レポートの指示に従って対処してください。
 - 「接続回線選択」画面が表示されたら接続回線を選択してください。
 - ー 構内交換機（PBX）やターミナルアダプターに接続しているときは、「構内交換機（PBX）」を選択します。
 - ー 一般加入電話回線（「一般回線（PSTN）」）に接続しているときは、「無効」画面で「確認」を選択します。ただし、「無効」にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

関連情報

- ➡ [「プリンターを電話回線に接続する」55ページ](#)
- ➡ [「受信モードを設定する」73ページ](#)
- ➡ [「構内交換機（PBX）を設定する」60ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」110ページ](#)

項目を選んでファクスの基本設定をする

ウィザードを使わずに個別に設定もできます。また、ウィザードで設定済みの項目も変更できます。詳しくは、ファクス設定のメニューリストをご覧ください。

関連情報

➡ [「ファクス設定メニューの説明」110ページ](#)

構内交換機（PBX）を設定する

会社で内線や外線発信番号（0や9などを使用した外線に発信するための番号）を使っているときは、以下の設定をしてください。

1. ホーム画面で【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【ファクス設定】 - 【基本設定】の順に選択します。

参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 【接続回線】を選択し、【構内交換機(PBX)】を選択します。
4. 外線発信番号の代わりに#を利用して 外線番号にファクス送信したいときは、【外線発信番号】をタップして【使用する】に切り替え、外線発信番号を登録します。

参考

- ダイアルするときに外線発信番号の代わりに#を入力すると、0や9などの外線発信番号に置き換えます。
例えば、外線発信番号が「0」、電話番号が「035555XXXX」の場合、ダイヤル番号は「#035555XXXX」です。アドレス帳に登録する番号も同じです。
- 「0」や「9」などの外線発信番号付きでアドレス帳に登録した宛先は、外線発信番号の代わりに#を使用した番号で登録し直してください。または、【外線発信番号】を【使用しない】に設定してください。

5. 【OK】を選択して設定を保存します。

参考 【接続回線】の設定が【構内交換機(PBX)】のときに、外線発信番号に続けて電話番号をダイヤルすると、プリンターは次の順番で外信発信しますので、誤接続となるトラブルのリスクを低減できます。

- 構内交換機(PBX)のダイヤルトーンを検出する
- 外線発信番号（【外線発信番号】が【使用する】のときは「#」）をダイヤルする
- 外線のダイヤルトーンを検出する
- 宛先の電話番号（例：「035555XXXX」）をダイヤルする

ファクス受信時の給紙装置を設定する

ファクス受信文書やレポートを印刷する際に使用する給紙装置を限定することができます。初期設定は、全ての給紙装置を使用してファクス印刷できるようになっています。特定の給紙装置は使用せずにファクス印刷したいときは、この設定をします。

1. ホーム画面で【設定】をタップします。

2. [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [給紙口自動選択] - [ファクス] の順にタップします。
3. ファクス印刷で使いたくない給紙装置のボックスをタップします。
選択した給紙装置の設定は [オフ] に変更され、ファクス印刷で使えなくなります。

送信操作から送信完了までの時間を短縮する

クイックメモリー送信は1ページ目の原稿のスキャンが完了した時点で、ファクスの送信を開始します。通常はスキャンした文書をメモリーに保存してから送信しますが、クイックメモリー送信はスキャンとファクス送信を並行して行うため、送信完了までの時間を短縮できます。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [送信設定] の順に選択します。
 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
3. [クイックメモリー送信] ボックスをタップして [オン] にします。

関連情報

➡ [\[送信設定\] 112ページ](#)

受信情報の印刷設定をする

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号、受付ID (#001など) やページ番号 (P1など) が含まれます。受付IDで、通信管理レポートの通信履歴やファクスジョブ履歴と照合することができます。ページ番号には、[ページ分割設定] を有効にしていると分割ページ番号も含まれます。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] の順に選択します。
 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
3. [印刷設定] をタップし、[受信情報の付加] ボックスをタップして [オン] にします。

関連情報

➡ [\[印刷設定\] 116ページ](#)

受信文書を両面印刷する

複数ページの受信文書を、両面印刷します。

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「受信設定」の順にタップします。



パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 「印刷設定」をタップして、「両面印刷」をタップします。
4. 「両面印刷」をタップして「オン」にします。
5. 「とじ位置」で「短辺」または「長辺」を選択します。
6. 「OK」をタップします。

関連情報

➡ [「印刷設定」116ページ](#)

受信文書をページ分割して印刷する

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページ分割方法の設定をします。

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「受信設定」の順にタップします。



パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 「印刷設定」 - 「ページ分割設定」 - 「分割後の印刷破棄」の順にタップします。
4. ページ分割後の印刷データの削除方法を選択します。
 - 「オフ」を選択したときは、「OK」をタップして、手順6に進んでください。
 - 「上を破棄」または「下を破棄」を選択したときは、次の手順に進んでください。
5. 「しきい値」でしきい値を設定して、「OK」をタップします。
6. 「分割時の重ねあわせ」をタップします。
7. 「分割時の重ねあわせ」をタップして「オン」にします。
8. 「重ね幅」で幅を設定して、「OK」をタップします。

関連情報

➡ [「印刷設定」116ページ](#)

受信文書を縮小または分割印刷する（代行印刷）

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときの印刷方法の設定をします。

1. ホーム画面で「設定」を選択し、「[本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定]」の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

2. 「[受信紙宣言]」を設定します。

受信紙宣言で設定した用紙サイズは、受信可能な最大用紙サイズとして、ファクス受信の際に送信側に通知されます。

例えば、「[A3/11x17in]」に設定すると送信側にA3を通知します。送信側の原稿がA3サイズのときはA3のまま送信してきます。

「[自動]」に設定すると、「[設定] - [本体設定] - [給紙装置設定] - [給紙口自動選択] - [ファクス]」で選択している用紙カセットのなかで最大の用紙サイズを送信側に通知します。

3. 「[ファクス設定]」に戻り、「[受信設定] - [印刷設定] - [代行印刷]」の順に選択します。

4. 「[代行印刷]」のオプションを選択します。

- オフ：この機能を使用しません。
- オン（分割して印刷）：受信したファクス文書を他のサイズに分割して印刷します。例えば、A3サイズのファクスを受信したときに、縮小印刷せずにA4サイズで2枚に印刷します。
- オン（縮小して印刷）：受信したファクス文書を縮小して印刷します。例えば、A3サイズのファクスを受信したときに、A4サイズに縮小して印刷します。
ただし、保存データや転送データ、受信ジョブ履歴からA3用紙への再印刷は、A3サイズになります。

プリンターからファクスを送信する

ファクス送信の基本操作

カラーまたはモノクロでファクスを送信します。

- 参考**
- モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。
 - 「[送信失敗文書保存]」を有効にすると、送信できなかった文書をプリンターに保存して「[ジョブ/状態]」から再送信できます。

操作パネルからファクス送信する

操作パネルを使ってファクスの宛先を入力して送信することができます。プリンターは宛先にダイヤルしてファクス通信します。

ファクス

参考

- モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。
- 電話回線が通話やファクス送受信で使用中でも、モノクロ文書を最大50件まで予約できます。予約文書は「ジョブ/状態」で確認や削除ができます。
- 相手先が話し中などでファクスが送れなかったときは自動でリダイヤルします。リダイヤル回数やリダイヤル間隔は変更できます。

1. 原稿をセットします。

参考

一度に送信できる原稿は100ページまでです。ただし、メモリー残量によっては100ページ以下でも送信できない場合があります。

2. ホーム画面で「ファクス」をタップします。

参考

ファクス送信先をアドレス帳に登録しておくと、ホーム画面のクイックダイヤルで登録番号を入力すれば、宛先が入力されたファクス画面を表示することができます。

3. 宛先を指定します。

モノクロ送信では200件までの宛先が入力できます。 カラー送信では1件のみです。



- 直接入力：「直接入力」をタップし、画面のキーボードでファクス番号を入力して、「OK」をタップします。ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときはハイフン（-）を入力してください。[接続回線]で外線発信番号を設定したときは、外線発信番号の代わりにファクス番号の先頭に「#」を付けてください。
- アドレス帳から選択：「宛先」タブをタップし、送りたい宛先をタップします。送信したい宛先が表示されないときは、をタップしてアドレス帳に登録してください。
- 履歴から選択：「常用」または「宛先」タブのをタップして、表示されたリストから送りたい宛先を選択します。
- 常用登録した宛先から選択：「常用」タブをタップし、送りたい宛先をタップします。

参考

- 「セキュリティ設定」で「直接ダイヤル制限」が「オン」に設定されているときは、アドレス帳や履歴、クイックダイヤルから宛先を指定できません。直接入力はできません。
- 選択した宛先を解除するときは、画面の宛先表示ボックスまたは宛先件数をタップして宛先リストを表示します。選択解除したい宛先をタップして「選択を解除」を選択します。

ファクス

4. 「ファクス設定」タブをタップして、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

「カラーモード」を「カラー」に設定したときは、手順6に進みます。

参考

- 両面原稿は、「ADF自動両面」を有効にするとモノクロで送信できます。ADFから両面原稿をカラー送信できません。
- ファクスのトップ画面で （「お気に入り」）をタップすると、宛先を含めた現在の設定を「お気に入り」に登録できます。ただし宛先は、直接入力したときなど入力方法によっては登録されないことがあります。

5. ファクスを送信します。

- スキャンした文書をそのまま送信する： （送信）をタップします。
- スキャンした文書を確認してから送信する（モノクロ送信のみ）：ファクスのトップ画面で  をタップします。
そのまま送信してよければ「送信開始」を選択します。それ以外は、「中止」を選択してプレビューをキャンセルし、手順3に戻ります。



-     矢印方向に画面を移動
-   縮小、拡大
-   前ページへ移動、次ページへ移動

参考

- プレビュー後のカラー送信はできません。
- 「ダイレクト送信」が設定されているとプレビューできません。
- プレビュー中に無操作が20秒以上続くと、自動で送信を開始します。
- 相手先のファクス機の仕様に合わせるため、プレビューで確認した画質で送信されないことがあります。

6. 通信が完了したら原稿を取り除きます。

参考

- 相手先が話し中などでファクスが送れなかったときは自動でリダイヤルします。リダイヤル回数やリダイヤル間隔は変更できます。
- 送信を中止するときは、 をタップします。
- カラー送信は、読み取りながら送信するため時間がかかります。また、カラー送信中は他の機能は使用できません。

関連情報

➡ [「送信設定」112ページ](#)

- ➡ [「原稿のセット」 31ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」 105ページ](#)
- ➡ [「ファクスジョブを確認する」 103ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳の管理」 20ページ](#)
- ➡ [「お気に入り設定の登録」 22ページ](#)

外付け電話機からダイヤルして送信する

ファクスを送信する前に通話したいときや、自動で切り替わらないファクス機にファクスを送信したいときに、外付け電話機を使って送信できます。

1. 原稿をセットします。
一度の通信で100ページまで送信することができます。
2. 外付け電話機の受話器を上げて相手先のファクス番号をダイヤルします。
 相手が電話に出たら、通話できます。
3. ホーム画面で【ファクス】を選択します。
4. 【ファクス設定】タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
5. ファクス信号（ピー音）が聞こえたら、画面右上の【送受信切替】を選択して【送信】を選択します。
6. ◇（送信）をタップして電話を切ります。



外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。送信中は他の機能は使用できません。

7. 通信が完了したら原稿を取り除きます。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」 31ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定」 106ページ](#)

送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）

プリンターのスピーカーで、ダイヤル中や通信中、通話中の音声を聞きながら送信できます。ファクス情報サービスで音声ガイダンスに従って文書を受信するときにも使えます。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で【ファクス】を選択します。
3. 【ファクス設定】タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。設定したら、【宛先】タブを選択します。

4. をタップします。

ボタン表示が[オフフック]に変わり、スピーカーからダイヤルトーンが聞こえます。音量を変えたい場合は、[音量]をタップして調整します。

発信を止める場合は、[オンフック]をもう一度タップします。

参考 音量の初期設定をあらかじめ変更しておくことができます。[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [音の設定] で以下を設定します。

- [ミュート]
- [通常時] - [ダイヤル中スピーカー音]

5. 宛先をダイヤルします。

以下の方法で宛先を選択できます。

- [直接入力]
- [アドレス帳] から選択
- [宛先履歴] から選択
- [宛先] タブから選択

6. 相手先のファクスが応答してファクス信号(ピー音)が聞こえたら、画面右上の[送受信切替]を選択して[送信]を選択します。

参考 ファクス情報サービスで音声ガイダンスが流れたら、ガイダンスの指示に従って操作してください。

7. ◇ (送信) をタップします。

8. 通信が完了したら原稿を取り除きます。

関連情報

- ➡ [「操作パネルからファクス送信する」 63ページ](#)
- ➡ [「ポーリング受信する（ポーリング受信）」 76ページ](#)
- ➡ [「原稿のセット」 31ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」 105ページ](#)

便利な送信方法

大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）

モノクロ送信では、スキャンした文書をメモリーに保存します。そのため、大量の文書を読み込むとメモリーが不足して送信できなくなることがあります。外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。[ダイレクト送信]を有効にするとこのトラブルは回避できますが、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。ダイレクト送信時に指定できる宛先は1件のみです。

ホーム画面で[ファクス]をタップして、[ファクス設定]タブを選択します。[ダイレクト送信]をタップして[オン]にします。

優先して送信する（優先送信）

送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。

ホーム画面で「ファクス」をタップして、「ファクス設定」タブを選択します。「優先送信」をタップして「オン」にします。

参考 以下のときには他のファクスの割り込みができないため優先送信はできません。

- 「ダイレクト送信」を有効にしたモノクロ文書
- カラー文書送信中
- 外付け電話機を使って送信中
- コンピューターから送った文書

指定した時刻に送信する（時刻指定送信）

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。

1. ホーム画面で「ファクス」をタップします。
2. 宛先を指定します。
3. 「ファクス設定」タブをタップします。
4. 「時刻指定送信」をタップして「オン」にします。
5. 「指定時刻」をタップし、送信予定時刻を入力して、「OK」をタップします。
6. 「OK」をタップして設定を保存します。

参考 送信を中止するときは「ジョブ/状態」から削除します。

関連情報

- ➡ [「操作パネルからファクス送信する」63ページ](#)
- ➡ [「原稿のセット」31ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定」106ページ](#)
- ➡ [「ファクスジョブを確認する」103ページ](#)

発信元情報を選んで送信する

受信相手に合わせて発信元情報を付加してファクス送信できます。あらかじめプリンターに複数の発信元情報の登録が必要です。登録方法は以下です。

発信元情報を追加登録する

発信元情報は21件まで登録できます。

ファクス

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」の順にタップします。
 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
3. 「発信元設定」をタップし、「発信元番号」ボックスをタップして、電話番号を入力して「OK」をタップします。
4. 「発信元名」の下に表示されたボタンの1つをタップし、発信元情報を入力して「OK」をタップします。

関連情報

➡ [「基本設定」110ページ](#)

発信元情報を選んで送信する

ファクス送信するときに、受信相手に合わせて発信元情報を選択できます。この機能を使用するには、あらかじめプリンターに複数のヘッダー登録が必要です。

1. ホーム画面で「ファクス」をタップします。
2. 「ファクス設定」 - 「発信元情報の付加」の順にタップします。
3. どの位置に発信元名を記載するか選択します。
 - 「付加しない」：発信元情報を入れずに送信します。
 - 「原稿外」：スキャンした画像に発信元情報が重ならないように、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
 - 「原稿内」：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報が重なって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。
4. 「発信元名」をタップし、使用したい発信元情報を選択します。
5. 必要に応じて、「追加情報」の1つをタップします。
6. 「OK」をタップして設定を保存します。

関連情報

➡ [「ファクス設定」106ページ](#)

ファクスの送信結果をメールで送る

ファクスの送信結果をメールで送ることができます。

参考

事前に以下の設定を行ってください。

- プリンターのメールサーバー設定する
- 送信先のメールアドレスを登録する

1. ホーム画面から【ファクス】をタップします。
2. 【ファクス設定】 - 【送信結果メール通知】の順にタップします。
3. 【送信結果メール通知】を【オン】にします。
4. 【送信先】をタップして宛先を指定します。

ファクス送信時にデータのバックアップをとる

ファクスを送信したときに、自動的に送信内容をスキャンしてプリンターのメモリーに保存します。事前にメールサーバーの設定とアドレス帳にメールまたはフォルダーの登録が必要です。以下のときに使用できます。

- モノクロ（白黒）で送信する
- [時刻指定送信] で送信する
- [バッチ送信] で送信する
- [待機文書蓄積] で送信する

参考

送信に失敗した文書も、再送信できるようにバックアップできます。

1. ホーム画面で【ファクス】を選択します。
2. 【ファクス設定】 - 【バックアップ送信設定】の順に選択します。
3. 【バックアップ送信設定】をタップして【オン】にします。
4. 【バックアップ先】を選択して、宛先を選択します。

関連情報

➡ [「ファクス設定」106ページ](#)

Fコード(SUB)とパスワード(SID)でファクスを送信する

受信側のファクス機の親展ボックスや中継ボックスにファクスを送信できます。受信相手はボックスごとに、親展ファクスへの受信や特定の相手への転送ができます。

ファクス送信する前に、Fコードとパスワードを【アドレス帳】に登録しておく必要があります。

ホーム画面で【ファクス】をタップします。【宛先】をタップして、Fコードとパスワードを登録した宛先を選択します。【宛先】タブをタップして、【宛先履歴】から、Fコードやパスワード付きで送信した履歴を選択しても、Fコードやパスワード付きで送信できます。

受信側の操作で送信する（ポーリング送信/掲示板ボックス）

1つの文書（最大100ページ）をモノクロで「ポーリング送信」用に蓄積できます。この文書は、相手側のファクス機（ポーリング受信機能付き）からの操作で送信されます。

掲示板は10件まで利用できます。ただし、受信相手のファクス機がFコード通信機能に対応している必要があります。

ポーリング送信/掲示板ボックスを登録する

1. ホーム画面で「ファクスボックス」をタップし、「ポーリング送信/掲示板」をタップします。
2. 「ポーリング送信」または「未登録の掲示板」のいずれかをタップします。
3. パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。
4. 掲示板を登録する場合、以下全て作業します。
 - 「登録名(必須項目)」をタップし、登録名を入力して、「OK」をタップします。
 - 「Fコード(SEP)」をタップし、Fコードを入力して、「OK」をタップします。
 - 「パスワード(PWD)」をタップし、パスワードを入力して、「OK」をタップします。
5. 必要に応じて、他の項目（「送信結果メール通知」など）を入力します。

参考 項目「ボックスを開くパスワード」を設定すると、次回ボックスを開くときにパスワード入力が必要です。

6. 「OK」をタップします。

設定の変更や削除は、ホーム画面で「ファクスボックス」をタップし、「ポーリング送信/掲示板ボックス」をタップします。変更や削除したいボックスをタップして、次に「設定へ」をタップし画面の指示に従います。

ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する

1. ホーム画面で「ファクスボックス」をタップし、「ポーリング送信/掲示板」をタップします。
2. 「ポーリング送信」ボックス、または未登録の掲示板のどれかひとつをタップします。
パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力します。
3. 「文書を登録する」をタップします。
4. ファクスのトップ画面が表示されたらをタップします。

確認したい文書の保存ボックスをタップして、「文書を確認する」をタップします。開いた画面では、スキャンした原稿を閲覧、印刷、削除することができます。

関連情報

- ➡ [「操作パネルからファクス送信する」 63ページ](#)
- ➡ [「原稿のセット」 31ページ](#)
- ➡ [「応用」 109ページ](#)
- ➡ [「ファクスジョブを確認する」 103ページ](#)

宛先を指定しないで送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）

最大100ページまでのモノクロ文書を10件蓄積できます。蓄積文書を選択して宛先を設定するだけで送信できるため、定型文書の送信の手間を省きます。

1. ホーム画面で「ファクス」をタップします。
2. 「メニュー」をタップします。
3. 「待機文書蓄積」をタップして「オン」にします。
4. をタップして文書を蓄積します。

蓄積した文書をプレビューすることができます。ホーム画面で「ファクスボックス」 - 「待機文書送信」をタップして、プレビューしたい文書の入ったボックスをタップします。文書を削除するときは、をタップして画面の指示に従います。

関連情報

- ➡ [「操作パネルからファクス送信する」63ページ](#)
- ➡ [「原稿のセット」31ページ](#)
- ➡ [「応用」109ページ](#)
- ➡ [「ファクスジョブを確認する」103ページ](#)

同じ宛先にまとめて送信する（バッチ送信）

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計100ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。

ホーム画面で「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「送信設定」をタップします。「バッチ送信」をタップして設定を「オン」にします。

- 参考**
- パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。
 - 時刻指定送信文書は、宛先と時刻が一致したときに有効です。
 - 以下は「バッチ送信」の対象外です。
 - 「優先送信」にしたモノクロ文書
 - 「ダイレクト送信」にしたモノクロ文書
 - カラー文書
 - コンピューターから送った文書

異なるサイズの前稿をADFから送信する（ADF連続読込）

サイズが異なる前稿を混在させてセットすると、一番大きな前稿サイズで全ての前稿が送信されてしまいます。サイズごとまたは1枚ずつ前稿をセットすることで、適切なサイズで送信できます。

前稿をセットする前に、次の設定を行ってください。

ホーム画面で「ファクス」をタップして、「ファクス設定」タブを選択します。「ADF連続読込」を選択して「オン」にします。

スキャンされた文書は蓄積されて1つの文書として送信されます。

参考 次の原稿をセットする案内が表示されてから20秒以上操作がないと、蓄積を終了して送信を開始します。

プリンターでファクスを受信する

受信モードを設定する

〔受信モード〕は〔ファクス設定ウィザード〕でも設定できます。初めてファクスの設定をするときは、〔ファクス設定ウィザード〕を使って設定することをお勧めします。〔受信モード〕だけ変更したいときは以下の手順に従ってください。

1. ホーム画面で〔設定〕を選択します。
2. 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕 - 〔受信モード〕の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 使い方に応じて〔受信モード〕を選択します。

！重要 外付け電話機を接続しないときは、必ず〔自動〕に設定してください。

- 電話回線をファクス専用で使う：
〔自動〕を選択します。
〔呼び出し回数〕で設定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。

参考 〔呼び出し回数〕を少なく設定するのがお勧めです。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます。（無鳴動着信）

- 1つの電話回線でファクスも電話も使う（ファクスが主）：
〔ファクス/電話自動切替〕を選択してください。
〔呼び出し回数〕で設定した回数の着信音が鳴り終わると、ファクスか音声通話かをプリンターが自動で判断します。ファクスのときは自動で受信を開始し、音声通話のときは外付け電話機を〔電話呼び出し回数〕で設定した回数鳴らします。

！重要

- 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。
- 外付け電話機のナンバーディスプレイ機能は使えません。

- 1つの電話回線でファクスも電話も使う（電話が主）：
〔手動〕を選択します。
外付け電話機で電話を受け、音声電話のときは相手と通話でき、ファクスのときはプリンター操作で受信を開始します。

参考

- 〔リモート受信〕を設定すると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。
- 外付け電話機のナンバーディスプレイ機能が使えます。

関連情報

- ➡ [「ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする」 59ページ](#)
- ➡ [「手動で受信する」 74ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機の操作で受信する\(リモート受信\)」 75ページ](#)

留守番機能付き電話接続時の設定

留守番機能を使用するには設定が必要です。

- プリンターの[受信モード]を[自動]に設定してください。
- プリンターの[呼び出し回数]を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。少ないと留守番電話への録音や通話できません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。
- 外付け電話機の留守番電話機能を使用しないときは、プリンターの[受信モード]を[ファクス/電話自動切替]に設定することをお勧めします。

関連情報

- ➡ [「基本設定」 110ページ](#)

ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定

発信元の電話番号を表示するナンバーディスプレイ機能を使用するときは、以下の手順でプリンターの設定をします。

参考 電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

1. ホーム画面で[設定]をタップします。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ナンバー・ディスプレイ対応]の順にタップします。
3. 設定を選択します。
 - オン：プリンターにのみ電話番号を表示させます。アドレス帳に登録されている相手先は登録名称で表示されます。
 - 外付け電話機優先：外付け電話とプリンターの両方に電話番号を表示させます。

いろいろな受信方法

手動で受信する

外付け電話機を接続して、プリンターの[受信モード]を[手動]に設定しているときは、以下の手順で受信します。

1. 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。

2. ファクス信号（ポー音）が聞こえたら、プリンターのホーム画面で「ファクス」をタップします。



「リモート受信」を設定すると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。

3. 「送受信切替」をタップします。
4. 「受信」をタップします。
5. ◇をタップして、受話器を置きます。

関連情報

- ➡ [「外付け電話機の操作で受信する\(リモート受信\)」75ページ](#)
- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する（条件なし保存・転送）」78ページ](#)
- ➡ [「ファクス受信時の給紙装置を設定する」60ページ](#)

外付け電話機の操作で受信する(リモート受信)

手動受信では、受話器を上げた後にプリンターの操作が必要です。「リモート受信」を設定しておく、外付け電話機の操作だけでファクス受信できます。

「リモート受信」はトーン信号（ピップポップ）に対応した電話機で使用できます。

関連情報

- ➡ [「手動で受信する」74ページ](#)

リモート受信を設定する

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 - 「リモート受信」の順にタップします。



パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 「リモート受信」を有効にしてから、「起動コード」に2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力します。
4. 「OK」をタップしてから、「OK」をタップします。

リモート受信を利用する

1. 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。
2. ファクス信号（ポー音）が聞こえたら、設定した起動コードを外付け電話機で入力します。
3. プリンターが受信を開始するのを確認してから受話器を置きます。

ポーリング受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情報を受け取るときに使用します。

- 参考**
- 音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。
 - 音声ガイダンス付きのファクス情報サービスを利用するときは、[オンフック] でダイヤルするか、外付け電話機からダイヤルし、音声ガイダンスに従って外付け電話機やプリンターを操作します。

1. ホーム画面で [ファクス] をタップします。
2. [メニュー] をタップします。
3. [ポーリング受信] をタップして [オン] にします。
4. [閉じる] をタップします。
5. ファクス番号を入力します。

- 参考** [セキュリティ設定] で [直接ダイヤル制限] が [オン] に設定されているときは、アドレス帳や履歴から宛先を指定します。直接入力できません。

6. ◇をタップします。

関連情報

- ➡ [「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」 66ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」 66ページ](#)

掲示板からFコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信する（ポーリング受信）

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機の掲示板に蓄積された文書を、Fコード（SEP）とパスワード（PWD）を使って受信します。あらかじめアドレス帳にFコード（SEP）とパスワード（PWD）を設定した宛先を登録しておく必要があります。

1. ホーム画面で [ファクス] をタップします。
2. [メニュー] をタップします。
3. [ポーリング受信] をタップして [オン] にします。
4. [閉じる] をタップします。
5. [宛先] をタップして、相手先の掲示板に一致するFコード（SEP）とパスワード（PWD）を登録した宛先を選択します。
6. ◇をタップします。

関連情報

➡ [「アドレス帳の管理」20ページ](#)

迷惑ファクスの着信・受信拒否の設定をする

迷惑ファクスの着信拒否、受信拒否の設定ができます。

迷惑ファクスの着信拒否の設定をする

ナンバーディスプレイ機能を使った、迷惑ファクスの着信拒否の設定をします。

参考 ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

1. ホーム画面から**〔設定〕**を選択します。
2. **〔本体設定〕** - **〔ファクス設定〕** - **〔基本設定〕** - **〔着信・ファクス受信拒否〕**の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
3. **〔着信拒否〕**をタップして、項目を設定します。
 - **〔拒否番号リスト〕**：拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
 - **〔非通知〕**：非通知番号の着信を拒否します。
4. 拒否番号リストを使う場合は、をタップして**〔拒否番号リスト編集〕**をタップし、拒否番号リストを編集します。

迷惑ファクスの受信拒否の設定をする

迷惑ファクスの受信拒否の設定をします。

1. ホーム画面で**〔設定〕**をタップします。
2. **〔本体設定〕** - **〔ファクス設定〕** - **〔基本設定〕** - **〔着信・ファクス受信拒否〕**の順にタップします。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
3. **〔ファクス受信拒否〕**をタップして、項目を設定します。
 - **拒否番号リスト**：拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
 - **非通知**：送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
 - **アドレス帳未登録**：宛先帳に登録されていない番号の受信を拒否します。
4. **〔拒否番号リスト〕**を使う場合は、、**〔拒否番号リスト編集〕**の順にタップして拒否番号リストに登録します。

関連情報

➡ [「基本設定」110ページ](#)

受信した文書の保存と転送（条件なし保存・転送）

不特定の相手から受信したファクスを保存・転送します。

参考 特定の相手や時間に受信したファクスを保存・転送するときは、[「条件保存・転送」](#)機能を使ってください。

以下の保存・転送機能があります。

- プリンターの受信ボックスに保存する
- 外部メモリーに保存する
- コンピューターに保存する
- 他のファクス機、メールアドレスまたはサーバー上のフォルダーに転送する

参考

- これらは全て同時に処理することもできます。その場合、それぞれの保存先に同じ文書が保存され、転送先に同じ文書が転送されます。
- 未読または未処理の受信文書があると、ホーム画面の  に未処理件数が表示されます。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する（条件なし保存・転送）」78ページ](#)
- ➡ [「受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）」80ページ](#)
- ➡ [「受信文書を転送する（条件なし保存・転送）」81ページ](#)
- ➡ [「受信文書の処理結果を通知する（条件なし保存・転送）」82ページ](#)
- ➡ [「受信文書が未処理のときの表示」103ページ](#)

受信文書を受信ボックスに保存する（条件なし保存・転送）

受信した文書をプリンターの受信ボックスに200件まで保存できます。この設定をすると受信文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。

参考 保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

関連情報

- ➡ [「受信ボックスに保存する設定をする（条件なし保存・転送）」78ページ](#)
- ➡ [「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件なし保存・転送）」79ページ](#)
- ➡ [「受信ボックスを使用する」97ページ](#)

受信ボックスに保存する設定をする（条件なし保存・転送）

1. ホーム画面から[「設定」](#)をタップします。

ファクス

2. [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送] の順にタップします。

メッセージが表示されたら確認して [OK] をタップします。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. [受信ボックスに保存] ボックスをタップして、設定を [オン] にします。

メッセージが表示されたら確認して [OK] をタップします。

4. [閉じる] をタップします。

5. [共通設定] をタップします。

6. [容量限界時の動作] をタップして、受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。

- [受信して印刷する] : 受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。
- 受信しない : 相手側からの呼び出しに応答しません。

7. 必要に応じて受信ボックスにパスワードを設定します。[パスワード設定] をタップして、パスワードを設定します。パスワード設定をしてから [閉じる] をタップします。

参考 [受信して印刷する] を選んだときはパスワードは設定できません。

受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件なし保存・転送）

1. ホーム画面で [ファクスボックス] をタップします。

参考 未読の受信文書があると、ホーム画面の  に未処理件数が表示されます。

2. [受信/親展] - [受信ボックス] の順にタップします。

3. 受信ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワードか管理者パスワードを入力します。

4. 確認する文書をリストから選択します。

文書の内容が表示されます。



-  : 右に90° 回転
-  : 矢印方向に画面を移動
-  : 縮小、拡大
-  : 前ページへ移動、次ページへ移動
-  : 保存や転送などをするためのメニューを表示します。
- 操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると、表示を戻せます。

5. 確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

！重要 プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

関連情報

- ➔ [「受信文書が未処理のときの表示」103ページ](#)
- ➔ [「ファクス設定メニューの説明」110ページ](#)

受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）

受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。保存と同時に印刷することもできます。

！重要 外部メモリーに保存する前に、受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、外部メモリーはプリンターにセットしておいてください。一時保存の文書件数はホーム画面の  に表示されます。

1. 受信文書保存用の外部メモリーをプリンターにセットします。
2. ホーム画面から **【設定】** をタップします。
3. **【本体設定】 - 【ファクス設定】 - 【受信設定】 - 【保存・転送設定】 - 【条件なし保存・転送】** の順にタップします。
メッセージが表示されたら確認して **【OK】** をタップします。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

4. **【外部メモリーに保存】** をタップします。
5. **【オン】** を選択します。保存と同時に自動で印刷をしたいときは、**【オン(印刷もする)】** を選択します。
6. メッセージを確認して **【作成開始】** をタップします。

セットした外部メモリーに、受信文書保存用のフォルダーが作成されます。

関連情報

➡ [「受信文書が未処理のときの表示」103ページ](#)

受信文書を転送する（条件なし保存・転送）

受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送します。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。

参考

- 他のファクス機に転送する場合、カラーの文書は転送できません。転送失敗文書として処理されます。
- 事前に操作パネルの「日付/時刻」と「時差」が正しく設定されていることを確認してください。[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [日付/時刻設定] の順にタップします。

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「[本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送]」の順にタップします。
メッセージが表示されたら確認して「OK」をタップします。

参考

パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 「[転送]」をタップします。
4. 「[オン]」を選択します。転送と同時に自動で印刷をしたいときは、「[オン(印刷もする)]」を選択します。
5. 「[宛先を追加]」をタップします。
6. アドレス帳の一覧から転送先を選択します。

参考

転送先は5件まで指定できます。

7. 全ての転送先を指定したら「[閉じる]」をタップします。
8. 「[転送失敗時の動作]」で転送に失敗した文書を印刷するか、受信ボックスに保存するかを選択します。

！重要

受信ボックスがいっぱいになるとファクスの送受信ができません。転送失敗文書を速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の  に表示されます。

9. 「OK」をタップします。
メッセージが表示されたら確認して「OK」をタップします。
10. 「[閉じる]」をタップします。

11. 転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名が指定できます。【共通設定】をタップして、【転送設定】のボックスをタップしてから、メールの件名を入力します。

参考

- ネットワーク上のフォルダーや メールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から [スキャン] - [メール]、または [スキャン] - [フォルダー] の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンを開始します。
- ネットワーク上のフォルダーに受信文書が転送されたときに、コンピューター上で通知を出すよう設定できます (Windowsのみ)。設定はFAX Utilityで行います。詳しくはFAX Utilityのヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➔ [「受信設定」 113ページ](#)
- ➔ [「アドレス帳の管理」 20ページ](#)
- ➔ [「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件なし保存・転送）」 79ページ](#)
- ➔ [「受信文書が未処理のときの表示」 103ページ](#)
- ➔ [「スキャンした画像をメールに添付する」 132ページ](#)
- ➔ [「メール添付の設定項目」 133ページ](#)
- ➔ [「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」 128ページ](#)
- ➔ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\)」 225ページ](#)

受信文書の処理結果を通知する（条件なし保存・転送）

受信したファクスの処理結果をメールで通知します。

1. ホーム画面で【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【ファクス設定】 - 【受信設定】 - 【保存・転送設定】 - 【条件なし保存・転送】の順に選択します。
メッセージが表示されたら確認して【OK】を選択します。

参考

パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 【メール通知設定】を選択します。
4. 目的に応じて以下のオプション設定を有効にします。

参考

以下は全て同時に処理することもできます。

- 受信終了通知：ファクス受信が完了したときに宛先にメールで通知します。
- 印刷終了通知：受信ファクスの印刷が完了したときに宛先にメールで通知します。
- 外部メモリー保存終了通知：受信ファクスがメモリーに保存されたときに宛先にメールで通知します。
- 転送終了通知：受信ファクスの転送が完了したときに宛先にメールで通知します。

5. 【送信先】のボックスをタップします。

6. アドレス帳から宛先を選択します。

参考 宛先は1件のみ指定できます。宛先のリストから名称をタップして宛先を指定します。解除するときは宛先の名称をもう一度タップします。

7. 宛先を指定したら [閉じる] をタップします。

8. [OK] を選択して設定を保存します。

特定の相手や時間に受信した文書の保存と転送（条件保存・転送）

特定の相手や時間に受信したファクスを保存・転送します。最初に保存と転送の条件を設定してください。

参考 不特定の相手から受信したファクスを保存・転送するときは、[条件なし保存・転送] 機能を使ってください。

- プリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存する
- 外部メモリーに保存する
- 他のファクス機、メールアドレスまたはサーバー上のフォルダーに転送する

参考 これらは全て同時に処理することもできます。その場合、それぞれの保存先に同じ文書が保存され、転送先に同じ文書が転送されます。

- 未読または未処理の受信文書があると、ホーム画面の  に未処理件数が表示されます。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」83ページ](#)
- ➡ [「受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）」86ページ](#)
- ➡ [「受信文書を転送する（条件保存・転送）」87ページ](#)
- ➡ [「受信文書が未処理のときの表示」103ページ](#)

受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）

受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに200件まで保存できます。

参考 保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

関連情報

- ➡ [「受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定をする（条件保存・転送）」84ページ](#)
- ➡ [「受信ボックス、親展ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件保存・転送）」85ページ](#)
- ➡ [「受信ボックスを使用する」97ページ](#)
- ➡ [「親展ボックスを使用する」98ページ](#)

受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定をする（条件保存・転送）

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
 2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「受信設定」 - 「保存・転送設定」の順に選択します。
- 参考** パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。
3. 「条件保存・転送」の下にある未登録ボックスの  をタップします。
 4. 「名称」を選択して、登録する名称を入力します。
 5. 「条件」のボックスを選択して条件を設定します。設定後「閉じる」を選択します。
 - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合にファクスを受信します。
「相手先電話番号一致」のボックスをタップして、番号（最大20桁）を入力します。
 - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合にファクスを受信します。
Fコード(SUB)完全一致を有効にし、「Fコード(SUB)」のボックスを選択して、Fコードを入力します。
 - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合にファクスを受信します。
パスワード(SID)完全一致を有効にし、「パスワード(SID)」のボックスを選択して、パスワードを入力します。
 - 受信時間の設定：指定した時間帯にファクスを受信します。
「受信時間の設定」を有効にして、「適用開始時刻」と「適用終了時刻」に時刻を設定します。
 6. 「保存・転送先」のボックスを選択します。
 7. 「ボックスに保存」を選択します。
 8. 「ボックスに保存」をタップして「オン」にします。
 9. 文書を保存するボックスを選択します。
 10. 「OK」を3回選択して保存・転送設定画面に戻ります。
 11. 条件を登録したボックスを選択して、「有効」を選択します。
 12. 「共通設定」を選択します。
 13. 「容量限界時の動作」を選択して、受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。
 - 受信して印刷する：受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。
 - 受信しない：相手側からの呼び出しに応答しません。
 14. 必要に応じて受信ボックスにパスワードを設定します。「パスワード設定」を選択して、パスワードを設定します。パスワード設定をした後に「閉じる」をタップします。

参考 「受信して印刷する」を選んだときはパスワードは設定できません。

受信ボックス、親展ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件保存・転送）

1. ホーム画面から「ファクスボックス」をタップします。



未読の受信文書があると、ホーム画面のに未処理件数が表示されます。

2. 「[受信/親展]」をタップします。
3. 受信ボックスまたは親展ボックスを選択します。
4. 受信ボックスまたは親展ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワード、親展ボックス用のパスワードまたは管理者パスワードを入力します。
5. 確認する文書をリストから選択します。
文書の内容が表示されます。



-  : 右に90° 回転
-     : 矢印方向に画面を移動
-   : 縮小、拡大
-   : 前ページへ移動、次ページへ移動
-  : 保存や転送などをするためのメニューを表示します。
- 操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると、表示を戻せます。

6. 確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

！重要

プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

関連情報

- ➡ 「受信文書が未処理のときの表示」103ページ
- ➡ 「ファクス設定メニューの説明」110ページ

受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）

受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。

！重要 外部メモリーに保存する前に、受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、外部メモリーはプリンターにセットしておいてください。一時保存の文書件数はホーム画面の  に表示されます。

1. 受信文書保存用の外部メモリーをプリンターにセットします。
2. ホーム画面で **〔設定〕** をタップします。
3. **〔本体設定〕** - **〔ファクス設定〕** - **〔受信設定〕** - **〔保存・転送設定〕** の順にタップします。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
4. **〔条件保存・転送〕** の下にある未登録ボックスの  をタップします。
5. **〔名称〕** をタップして、登録する名称を入力します。
6. **〔条件〕** をタップして、条件を設定します。
 - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合、受信文書を保存・転送します。
〔相手先電話番号一致〕 を選択し、**〔番号〕** ボックスをタップしてファクス番号（最大20桁）を入力します。
 - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
〔Fコード(SUB)完全一致を有効にし、〔Fコード(SUB)〕 のボックスをタップして、パスワードを入力します。
 - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
〔パスワード(SID)完全一致を有効にし、〔パスワード(SID)〕 のボックスをタップして、パスワードを入力します。
 - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信した文書を保存・転送します。
〔受信時間の設定〕 を有効にして、**〔適用開始時刻〕** と **〔適用終了時刻〕** に時刻を設定します。
7. **〔保存・転送先〕** のボックスをタップします。
8. **〔外部メモリーに保存〕** をタップします。
9. **〔外部メモリーに保存〕** をタップして **〔オン〕** にします。
10. メッセージを確認して **〔作成開始〕** をタップします。
 セットした外部メモリーに、受信文書保存用のフォルダーが作成されます。
11. **〔OK〕** を3回タップして保存・転送設定画面に戻ります。
12. 条件を登録したボックスをタップして **〔有効〕** をタップします。

関連情報

➡ [「受信文書が未処理のときの表示」103ページ](#)

受信文書を転送する（条件保存・転送）

受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送したりします。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。

参考

- 他のファクス機に転送する場合、カラーの文書は転送できません。転送失敗文書として処理されます。
- 事前に操作パネルの「日付/時刻」と「時差」が正しく設定されていることを確認してください。「設定」-「本体設定」-「基本設定」-「日付/時刻設定」の順にタップします。

1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「本体設定」-「ファクス設定」-「受信設定」-「保存・転送設定」の順にタップします。

参考

パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 「条件保存・転送」の下にある未登録ボックスの  をタップします。
4. 「名称」をタップして、登録する名称を入力します。
5. 「条件」ボックスをタップして、条件を設定します。
 - 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合、受信文書を保存・転送します。
「相手先電話番号一致」を選択し、「番号」ボックスをタップしてファクス番号（最大20桁）を入力します。
 - Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
Fコード(SUB)完全一致を有効にし、「Fコード(SUB)」のボックスをタップして、パスワードを入力します。
 - パスワード(SID)完全一致：パスワード（SID）が完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
パスワード(SID)完全一致を有効にし、「パスワード(SID)」のボックスをタップして、パスワードを入力します。
 - 受信時間の設定：指定した時間帯に受信した文書を保存・転送します。
「受信時間の設定」を有効にして、「適用開始時刻」と「適用終了時刻」に時刻を設定します。
6. 「保存・転送先」のボックスをタップします。
7. 「転送」をタップします。
8. 「転送」をタップして「オン」にします。
9. 「宛先を追加」をタップします。
10. アドレス帳の一覧から転送先を選択します。

参考 転送先は1件のみ指定できます。
11. 宛先を指定したら「閉じる」をタップします。
12. 転送先が正しいことを確認して「閉じる」をタップします。

13. [転送失敗時の動作] で転送に失敗した文書を印刷するか、受信ボックスに保存するかを選択します。

！重要 受信ボックスがいっぱいになるとファクスの送受信ができません。転送失敗文書を速やかに確認して受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、その他の未処理件数と合わせてホーム画面の  に表示されます。

14. [OK] を3回タップして保存・転送設定画面に戻ります。
15. 条件を登録したボックスをタップして[有効] をタップします。
16. 転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名が指定できます。[共通設定] をタップして、[転送設定] のボックスをタップしてから、メールの件名を入力します。

- 参考**
- ネットワーク上のフォルダーや メールアドレスを転送先に指定したときは、実際にその宛先に送ることができるかどうかスキャンモードでテストすることをお勧めします。ホーム画面から [スキャン] - [メール] 、または [スキャン] - [フォルダー] の順に選択し、ファクスの転送先と同じ宛先を選んでスキャンを開始します。
 - ネットワーク上のフォルダーに受信文書が転送されたときに、コンピューター上で通知を出すよう設定できます (Windowsのみ) 。設定はFAX Utilityで行います。詳しくはFAX Utilityのヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「受信設定」 113ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳の管理」 20ページ](#)
- ➡ [「受信ボックス、親展ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する \(条件保存・転送\)」 85ページ](#)
- ➡ [「受信文書が未処理のときの表示」 103ページ](#)
- ➡ [「スキャンした画像をメールに添付する」 132ページ](#)
- ➡ [「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」 128ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\)」 225ページ](#)

受信文書を印刷する (条件保存・転送)

条件保存・転送した受信文書の印刷をします。

- ホーム画面で[設定] をタップします。
- [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順にタップします。

- 参考** パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

- [条件保存・転送] の下にある未登録ボックスの  をタップします。

- [名称] をタップして、登録する名称を入力します。

- [条件] ボックスをタップして、条件を設定します。

- 相手先電話番号一致：送信者のファクス番号が一致した場合、受信文書を保存・転送します。
[相手先電話番号一致] を選択し、[番号] ボックスをタップしてファクス番号 (最大20桁) を入力します。

ファクス

- Fコード(SUB)完全一致：Fコードが完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
Fコード(SUB)完全一致を有効にし、[Fコード(SUB)] のボックスをタップして、パスワードを入力します。
- パスワード(SID)完全一致：パスワード (SID) が完全一致した場合、受信文書を保存・転送します。
パスワード(SID)完全一致を有効にし、[パスワード(SID)] のボックスをタップして、パスワードを入力します。
- 受信時間の設定：指定した時間帯に受信した文書を保存・転送します。
[受信時間の設定] を有効にして、[適用開始時刻] と [適用終了時刻] に時刻を設定します。

6. 保存・転送先のボックスをタップします。
7. [印刷] をタップして [オン] にします。
8. [OK] を2回タップして保存・転送設定画面に戻ります。
9. 条件を登録したボックスをタップして [有効] をタップします。

関連情報

➡ [「印刷設定」116ページ](#)

受信文書の処理結果を通知する（条件保存・転送）

受信したファクスの処理結果をメールで通知します。

1. ホーム画面で [設定] をタップします。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順にタップします。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. [条件保存・転送] の下の  をタップして登録済みボックスを選択します。
4. [メール通知設定] のボックスをタップします。
5. 目的に応じて以下のオプション設定を有効にします。

参考 以下は全て同時に処理することもできます。

- [受信終了通知]：ファクス受信が完了したときに送信先にメールで通知します。
- [印刷終了通知]：受信文書の印刷が完了したときに送信先にメールで通知します。
- [外部メモリー保存終了通知]：受信したファクスのメモリーへの保存が完了したときに送信先にメールで通知します。
- [転送終了通知]：受信したファクスの転送が完了したときに送信先にメールで通知します。

6. [送信先] のボックスをタップします。

7. アドレス帳から宛先を選択します。

参考 宛先は1件のみ指定できます。

8. 宛先を指定したら [閉じる] をタップします。
9. [OK] を2回タップして保存・転送設定画面に戻ります。

コンピューターからファクスを送信する

コンピューターからのファクス送信は、FAX UtilityとPC-FAXドライバーで行います。

参考 FAX Utilityは、ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）を使用してインストールします。更新用のソフトウェアのインストール方法は、関連リンクを参照ください。また、Windowsをお使いの場合は、付属のソフトウェアディスクからもインストールできます。

関連情報

- ➔ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」 228ページ](#)
- ➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」 228ページ](#)

アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）

Microsoft WordやExcelなどの [印刷] メニューから、ご使用のファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます。

参考 ここでは、Microsoft Word 2010を例に説明します。ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
2. [ファイル] メニュー内の [印刷] をクリックします。
アプリケーションソフトの [印刷] ウィンドウが表示されます。

ファクス

3. プリンターから [XXXXXX (FAX)] (XXXXXXはご使用のプリンター名) を選択し、ファクス送信設定を確認して、[印刷] をクリックします。
FAX Utilityの送付先設定画面が表示されます。

- [印刷部数] では、[1] を入力してください。[2] 以上を入力すると正常に送信できないことがあります。
- [ファイルへ出力] など、出力ポートを変更する機能は使用できません。
- 1回のファクス送信につき、送付状を含めて100ページまで送信できます。

参考

- [プリンターのプロパティ] をクリックすると、[用紙サイズ]、[用紙方向]、[色]、[画質]、[文字の濃さ] を設定できます。詳しくはPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。
- お使いのコンピューターで初めて送信するとき、発信者（ご自分）の情報を登録する画面が表示されます。必要事項を入力して、[OK] をクリックしてください。
- よみがなは、FAX Utilityで管理するための名前です。送付状には表示されません。

4. 送付先を設定し、[次へ] をクリックします。

- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：
[直接入力] タブを選択し、必要事項を入力して [▲追加] をクリックします。画面上部の [送付先一覧] に追加されます。

参考

- プリンターで接続回線設定を [構内交換機(PBX)] にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」をご覧ください。
- FAX Utility（メイン画面）の [オプション設定] で [送信時にファクス番号を2回入力する] の設定を有効にしている場合は、[▲追加] または [次へ] をクリックした後、もう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。

- 電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、[電話帳]（PC-FAX電話帳）をクリックします。一覧から送付先を選択して [▲追加] をクリックします。画面上部の [送付先一覧] に追加されます。

参考 プリンターで接続回線設定を [構内交換機(PBX)] にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」をご覧ください。

5. 送付状の内容を設定します。

送付状を付けるときは、[送付状] で送付状のデザインを選択します。[件名] と [コメント] を入力して [次へ] をクリックしてください。送付状のデザインを追加したり作成したりすることはできません。

送付状が不要のときは、[送付状なし] で [送付状] を選択してください。

- 参考**
- [送付状書式設定] をクリックすると、送付状に表示される項目の並び順を変更できます。[用紙サイズ] で送付状のサイズを選択できます。送信する文書と異なる用紙サイズを選択することもできます。
 - [フォント] をクリックすると、送付状に表示される文字のフォントを変更できます。
 - [発信元設定] をクリックすると、発信元情報を変更できます。
 - [詳細プレビュー] をクリックすると、件名やコメントが反映された送付状のイメージを確認できます。

6. 送信内容を確認して [送信] をクリックします。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。[プレビュー] をクリックすると、送付状と送信する文書のイメージを確認できます。

送信が始まると、送信状態を確認できる画面が表示されます。

- 参考**
- 送信を中止するときは、送信データを選択して [中止]  をクリックしてください。プリンターのパネル操作で中止することもできます。
 - 送信中にエラーになると [通信エラー] 画面が表示されます。エラー内容を確認して再送信してください。
 - FAX Utility（メイン画面）の [オプション設定] で [送信時にファクス送信モニターを表示] をチェックしていないとき、ファクス送信モニター画面（上記の送信状態を確認できる画面）は表示されません。

関連情報

➔ [「基本設定」110ページ](#)

アプリケーションで作成した文書を送信する（Mac OS）

市販アプリケーションソフトの [印刷] メニューからファクス対応プリンター（PC-FAXドライバー）を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。

参考 ここでは、Mac OS添付のテキストエディットを例に説明します。

- アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
- [ファイル] メニュー内の [印刷] をクリックします。
アプリケーションの [印刷] ウィンドウが表示されます。

3. [名前] からご使用のプリンター（ファクス名）を選択し、▼をクリックして詳細設定を表示し、[OK] をクリックします。

4. 次の設定をします。

- [印刷部数] では、[1] を入力してください。[2] 以上を入力しても、実際に送信されるのは1部のみです。
- 1度の通信で100ページまで送信できます。

参考 ファクスできる文書のページサイズは、プリンターからファクスできる用紙のサイズと同じです。

5. ポップアップメニューでファクス設定を選択して、各項目を設定します。

各設定項目の説明はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

PC-FAXドライバーのヘルプは、画面左下の  をクリックします。

6. ポップアップメニューで送付先設定を選択して、送付状を設定します。

- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：

[追加] 項目に必要な事項を入力して  をクリックしてください。画面上部の送付先一覧に追加されます。

PC-FAXのドライバー設定で「送信時にファクス番号を2回入力する」が有効になっている場合は、 をクリックするともう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。

ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

参考 接続回線設定を「構内交換機(PBX)」にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

- 電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：

送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、 をクリックします。一覧から送付先を選択して [追加] をクリックし、[OK] をクリックしてください。

ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

参考 接続回線設定を「構内交換機(PBX)」にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

7. 宛先設定して、[ファクス] をクリックします。

送信が始まります。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

- 参考**
- Dock内のプリンターアイコンをクリックすると送信状況確認画面が表示されます。送信を中止するときは、送信データをクリックして [削除] をクリックしてください。
 - 送信中にエラーになると「送信失敗」というメッセージが表示されます。[ファクス送信記録] 画面で送信記録を確認してください。
 - 用紙サイズの異なるページが混在するドキュメントは、正常に送信できないことがあります。

関連情報

➔ [「基本設定」110ページ](#)

コンピューターでファクスを受信する

プリンターで受信したファクス文書を、プリンターに接続したコンピューターにPDF形式で保存できます。保存はFAX Utilityで行います。保存先フォルダーの指定なども、FAX Utilityから行います。

参考 FAX Utilityは、以下からインストールします。

- ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）を使用
- 付属のソフトウェアディスクを使用(Windowsをお使いのときのみ)

！重要

- コンピューターで受信するときは、プリンターのファクス受信設定を〔自動〕または〔ファクス/電話自動切替〕に設定にしてください。
- 保存先のコンピューターは起動しておいてください。受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されるため、電源を切ったままにしておくと、プリンターのメモリーが不足して送受信できなくなります。
- 一時保存の文書件数はホーム画面の  に表示されます。
- 受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

関連情報

➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」228ページ](#)

受信ファクスをコンピューターに保存する

設定はFAX Utilityで行います。事前にコンピューターにFAX Utilityをインストールしてください。操作方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。

参考 プリンターで受信するのと同時に印刷もできます。

関連情報

➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」225ページ](#)

コンピューターでファクスを受信してプリンターで印刷もする

プリンターで以下を設定します。事前に、受信ファクスをコンピューターに保存する設定をしておいてください。

1. 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕の順にタップします。
2. 〔保存・転送設定〕 - 〔条件なし保存・転送〕 - 〔PC-FAXで受信〕を〔オン(印刷もする)〕にします。

関連情報

➡ [「受信ファクスをコンピューターに保存する」94ページ](#)

➡ [「受信設定」113ページ](#)

コンピューターへのファクス受信を中止する

コンピューターへの保存をやめるには、プリンターから設定します。

参考 FAX Utilityからも変更できますが、コンピューターに保存されていない受信文書があるときは変更できません。

1. [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] の順にタップします。
2. [保存・転送設定] - [条件なし保存・転送] - [PC-FAXで受信] を [オフ] にします。

関連情報

- ➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）」225ページ](#)
- ➡ [「受信設定」113ページ](#)

新着ファクスを確認する（Windows）

受信ファクスを保存する設定をしたコンピューターでは、Windowsのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。ファクス受信を通知する設定にすると、デスクトップ画面右下に受信通知ウィンドウが表示され新着ファクスを確認できます。

- 参考**
- コンピューターに受信ファクスデータが保存されると、プリンターの内部メモリーからは削除されます。
 - 受信ファクスの閲覧はPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

タスクバーのファクスアイコンを使う

受信ファクスを保存するコンピューターのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。

1. アイコンを確認します。
 - ：待機中
 - ：新着ファクスの有無を確認中
 - ：新着ファクスの取り込みが完了した状態
2. アイコンを右クリックして [保存フォルダーを開く] をクリックします。

保存フォルダーが開きます。ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。待機中のときは、[新着ファクスの確認] を選択すると、新着ファクスがあるかどうかをすぐに確認します。

- 参考** 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxx_nnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）

受信通知ウィンドウを使う

新着ファクスをコンピューターに通知する設定にすると、新着ファクスがあるたびに画面右下に受信通知ウィンドウが表示されます。

1. 表示された受信通知ウィンドウを確認します。

参考 何もせずに一定時間が経過すると、受信通知ウィンドウは非表示になります。受信通知ウィンドウの表示時間や通知の有無は設定できます。

2. 受信通知ウィンドウの、 ボタン以外の場所をクリックします。

新着ファクスを保存したフォルダーが開きます。ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。

参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）

新着ファクスを確認する（Mac OS）

新着ファクスは、以下の方法で確認できます。[「ファクス保存」（このコンピューターで保存する）]を設定したコンピューターのみ可能です。

- 保存フォルダー（[受信ファクスの出力設定]で指定）を開く
- ファクス受信モニターを開き、[新着ファクスの確認]をクリックする
- ファクスの新着通知を受け取る
FAX Utilityの[ファクス受信モニター] - [環境設定]で[ファクス受信をDockで通知する]をチェックするとDockのファクス受信モニターアイコンがジャンプして新着ファクスを知らせます。

ファクス受信モニターから保存フォルダーを開く

[「ファクス保存」（このコンピューターで保存する）]を設定したコンピューターでは、ファクス受信モニターから保存フォルダーを開くことができます。

1. Dockのファクス受信モニターアイコンをクリックして[ファクス受信モニター]を開きます。
2. プリンターを選択して[保存フォルダーを開く]をクリックするか、プリンターをダブルクリックします。
3. ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ（PDF）を開きます。

参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnnn （年/月/日/時/分/秒_送信元番号）
送信元番号は送信元から送られた情報が表示されます。送信元によっては番号がないこともあります。

ファクスボックスを使用する

ファクスボックスは5つのボックスで構成されています。

- 受信ボックス：受信文書を保存します。
- 親展ボックス：受信文書を保存します。条件保存・転送機能での文書保存先として指定することで、親展受信機能を提供します。
- 待機文書送信ボックス：待機文書を蓄積します。
- ポーリング送信ボックス：ポーリング送信文書を蓄積します。
- 掲示板ボックス：選択ポーリング送信文書を蓄積します。

関連情報

- ➡ [「受信ボックスを使用する」 97ページ](#)
- ➡ [「親展ボックスを使用する」 98ページ](#)
- ➡ [「待機文書送信ボックスを使用する」 99ページ](#)
- ➡ [「ポーリング送信ボックスを使用する」 100ページ](#)
- ➡ [「掲示板ボックスを使用する」 100ページ](#)

受信ボックスを使用する

受信文書を受信ボックスに保存できます。受信ボックスと親展ボックスに合わせて200件まで保存できます。この設定をすると受信文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。



保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する（条件なし保存・転送）」 78ページ](#)
- ➡ [「受信ボックスの文書を確認する」 97ページ](#)
- ➡ [「受信ボックスを設定する」 98ページ](#)

受信ボックスの文書を確認する

受信ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面から「ファクスボックス」をタップします。
2. 「受信/親展」をタップします。
3. 「受信ボックス」のボックスをタップします。
4. 確認するジョブを選択します。
文書の内容が表示されます。

受信ボックスを設定する

受信ボックスに文書が保存されていると、その文書の印刷の他に、外部メモリーへの保存や削除、受信ボックスのパスワード設定ができます。受信ボックスに文書が保存されていないときにできるのは、パスワード設定のみです。

1. ホーム画面で「ファクスボックス」をタップします。
2. 「受信/親展」をタップします。
3. 「受信ボックス」のボックスをタップします。
4.  をタップします。
5. 使いたい機能を選択して画面の指示に従います。

親展ボックスを使用する

受信文書を親展ボックスに保存できます。受信ボックスと親展ボックスに合わせて200件まで保存できます。

 **参考** 保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、200件まで保存できないことがあります。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」83ページ](#)
- ➡ [「親展ボックスの文書を確認する」98ページ](#)
- ➡ [「親展ボックスを設定する」98ページ](#)

親展ボックスの文書を確認する

親展ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面で「ファクスボックス」をタップします。
2. 「受信/親展」をタップします。
3. 確認したい親展ボックスをタップします。
4. 確認するジョブを選択します。
文書の内容が表示されます。

親展ボックスを設定する

親展ボックスに文書が保存されていると、その文書の印刷の他に、外部メモリーへの保存や削除、親展ボックスのパスワード設定、設定のクリアができます。親展ボックスに文書が保存されていないときにできるのは、パスワード設定とボックスの削除です。

1. ホーム画面で「ファクスボックス」をタップします。
2. 「受信/親展」をタップします。
3. 設定する親展ボックスをタップします。
4.  をタップします。
5. 使いたい項目を選択して画面の指示に従います。

待機文書送信ボックスを使用する

待機文書送信ボックスに100ページまでのモノクロ文書を10件まで保存できます。

 **参考** 保存した文書のファイルサイズなどにより、10件まで保存できないことがあります。

関連情報

- ➡ [「宛先を指定しないで送信文書を蓄積する（待機文書蓄積）」 72ページ](#)
- ➡ [「待機文書送信ボックスの文書を確認する」 99ページ](#)
- ➡ [「待機文書送信ボックスを設定する」 99ページ](#)

待機文書送信ボックスの文書を確認する

待機文書送信ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面から「ファクスボックス」をタップします。
2. 「待機文書送信」をタップします。
3. 確認するジョブを選択します。
文書の内容が表示されます。

待機文書送信ボックスを設定する

待機文書保存ボックスに保存された文書の印刷、外部メモリーへの保存、削除や、待機文書保存ボックスのパスワード設定ができます。

1. ホーム画面で「ファクスボックス」をタップします。
2. 「待機文書送信」をタップします。
3.  をタップします。
4. 使いたい機能を選択して画面の指示に従います。

ポーリング送信ボックスを使用する

100ページまでの1つのモノクロ文書を、ポーリング送信用に蓄積できます。

関連情報

- ➡ [「ポーリング送信/掲示板ボックスを登録する」 71ページ](#)
- ➡ [「ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する」 71ページ](#)
- ➡ [「ポーリング送信ボックスの文書を確認する」 100ページ](#)
- ➡ [「ポーリング送信ボックスを設定する」 100ページ](#)

ポーリング送信ボックスの文書を確認する

ポーリング送信ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面から【ファクスボックス】をタップします。
2. 【ポーリング送信/掲示板】をタップします。
3. 【ポーリング送信】のボックスをタップします。
4. 【文書を確認する】をタップします。
文書の内容が表示されます。

ポーリング送信ボックスを設定する

ポーリング送信ボックスに保存した文書を削除できます。ポーリング送信ボックスのパスワード設定や、ポーリング送信後に自動で文書を削除したり、送信結果を通知する設定ができます。

1. ホーム画面で【ファクスボックス】をタップします。
2. 【ポーリング送信/掲示板】をタップします。
3. 【ポーリング送信】のボックスをタップします。
4. 【設定へ】をタップします。
5. 使いたい機能を選択して画面の指示に従います。

掲示板ボックスを使用する

掲示板ボックス1つにつき、100ページのモノクロ文書を1件保存できます。掲示板ボックスは10個あるので、最大10件の文書を保存できます。

 **参考** 保存した文書のファイルサイズなどにより、10件まで保存できないことがあります。

関連情報

- ➡ [「ポーリング送信/掲示板ボックスを登録する」 71ページ](#)
- ➡ [「ポーリング送信/掲示板ボックスに文書を蓄積する」 71ページ](#)
- ➡ [「ポーリング送信ボックスの文書を確認する」 100ページ](#)
- ➡ [「掲示板ボックスを設定する」 101ページ](#)

掲示板ボックスの文書を確認する

掲示板ボックスに保存した文書を確認できます。

1. ホーム画面で【ファクスボックス】をタップします。
2. 【ポーリング送信/掲示板】をタップします。
3. 確認したい掲示板をタップします。
4. 【文書を確認する】をタップします。
文書の内容が表示されます。

掲示板ボックスを設定する

掲示板ボックスにFコードやパスワード設定ができます。掲示板ボックスのパスワード設定、ポーリング送信後に自動で文書を削除したり、送信結果の通知、文書削除、設定のクリアなどができます。

1. ホーム画面で【ファクスボックス】をタップします。
2. 【ポーリング送信/掲示板】をタップします。
3. 設定する掲示板をタップします。
4. 使いたい項目を選択して画面の指示に従います。

その他のファクス機能を使う

各種ファクスレポートやリストを印刷する

手動でファクスレポートを印刷する

1. ホーム画面で【ファクス】をタップします。

2. [メニュー] をタップします。
3. [ファクスレポート印刷] をタップします。
4. 項目を選択して画面の指示に従います。

参考 レポート形式は変更できます。ホーム画面で [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] の順に選択して、[レポート内画像添付] または [レポート形式] を設定してください。

関連情報

- ➡ [「応用」109ページ](#)
- ➡ [「レポート設定」117ページ](#)

ファクスレポートの自動印刷設定をする

以下のレポートを自動で印刷できます。

通信結果レポート印刷

ホーム画面で [ファクス] - [ファクス設定] - [通信結果レポート印刷] の順にタップして、[オン] または [エラー時のみ] を選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

転送結果レポート

ホーム画面で [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] - [転送結果レポート] の順にタップして、[オン] または [エラー時のみ] を選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

通信管理レポート

ホーム画面で [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] - [通信管理レポート] の順にタップして、[オン(30件毎)] または [オン(指定時刻)] を選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

関連情報

- ➡ [「ユーザー設定メニューの説明」45ページ](#)
- ➡ [「レポート設定」117ページ](#)

ファクスのセキュリティを設定する

ファクスの誤送信や受信ファクスの紛失や漏えいを防ぐためのセキュリティが設定できます。またバックアップデータの削除方法も選択できます。

1. ホーム画面から「設定」をタップします。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「セキュリティ設定」の順にタップします。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

3. 項目を選択して、設定します。

関連情報

➔ [「セキュリティ設定」118ページ](#)

ファクスジョブを確認する

受信文書が未処理のときの表示

未処理の受信文書があると、ホーム画面のに未処理件数が表示されます。未処理とは下表で示す状態です。



受信文書の処理設定	未処理状態
印刷する*1	印刷待ちまたは印刷中の受信文書がある。
受信ボックスまたは親展ボックスに保存する	受信ボックスまたは親展ボックスに未読の受信文書がある
外部メモリーに保存する	受信文書保存専用フォルダーを作成した外部メモリーがプリンターに接続されていないなどの原因により、保存されていない受信文書がある。
コンピューターに保存する	保存先のコンピューターが起動していないなどの原因により、保存されていない受信文書がある。

受信文書の処理設定	未処理状態
転送する	転送されていない、または転送に失敗した受信文書* ² がある。

- *1 保存や転送の処理を設定していないとき、または外部メモリーやコンピューターへの保存と同時に印刷する設定にしているとき。
- *2 転送失敗文書を受信ボックスに保存する設定にしているときは未読状態。転送失敗文書を印刷する設定にしているときは印刷されていない状態。

参考 受信文書の処理を複数設定していると、1つの受信文書の未処理件数が2件や3件など複数になることがあります。例えば、受信ボックスとコンピューターの両方に保存する設定の場合、1つの受信文書が両方とも処理されなかったときは未処理件数が2になります。

関連情報

- ➔ [「受信文書を受信ボックスに保存する（条件なし保存・転送）」78ページ](#)
- ➔ [「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」83ページ](#)
- ➔ [「受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）」80ページ](#)
- ➔ [「受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）」86ページ](#)
- ➔ [「受信文書を転送する（条件なし保存・転送）」81ページ](#)
- ➔ [「受信文書を転送する（条件保存・転送）」87ページ](#)
- ➔ [「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件なし保存・転送）」79ページ](#)
- ➔ [「受信ボックス、親展ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する（条件保存・転送）」85ページ](#)
- ➔ [「実行中のファクスジョブを確認する」104ページ](#)

実行中のファクスジョブを確認する

処理が完了していないファクスのジョブを画面に表示して確認できます。確認画面に表示されるジョブは以下です。この確認画面から、印刷前のファクスの印刷や送信失敗文書の再送信もできます。

- 受信ファクス
 - 印刷前のファクス（印刷する設定の場合）
 - 未保存のファクス（保存先が設定されている場合）
 - 未転送のファクス（転送先が設定されている場合）
- 送信に失敗したファクス文書（「送信失敗文書保存」を有効にしてある場合）

確認画面を表示する手順は以下です。

1. ホーム画面で「ジョブ/状態」をタップします。
2. 「ジョブ状態」タブをタップして、「実行中」をタップします。
3. 確認するファクスジョブを選択します。

ファクス送受信履歴を確認する

ファクスの送受信履歴（宛先や日時、送受信結果など）が確認できます。

1. ホーム画面で「ジョブ/状態」をタップします。
2. 「ジョブ状態」タブ-「履歴」の順にタップします。
3. 画面右上の「>」をタップして「送信」または「受信」を選択します。

確認するジョブ履歴が新しい順に一覧表示されます。確認する履歴をタップすると詳細が表示されます。

履歴印刷もできます。ホーム画面から「ファクス」 - （メニュー） - 「通信管理レポート」の順に選択してください。

印刷した受信文書を再印刷する

印刷履歴から、印刷した受信文書を再印刷できます。

ただし、プリンターのメモリーがいっぱいになると、印刷した受信文書は古いものから順に削除されます。

1. ホーム画面で「ジョブ/状態」をタップします。
2. 「ジョブ状態」タブ-「履歴」の順にタップします。
3. 画面右上の「>」をタップして「印刷」をタップします。
印刷ジョブ履歴の一覧が表示されます。一番上が最新の印刷ジョブです。
4.  アイコンのあるジョブをリストから選択します。
印刷したい文書かどうか、受信日時や送付元で確認します。
5. 「再印刷」をタップして文書を印刷します。

ファクスメニューの説明

常用

操作パネルで以下の順に選択します。

「ファクス」 - 「常用」

事前に登録されているよく使う宛先、または発信履歴からファクスを送信できます。



クイックダイヤルリストから宛先を選択します。

ファクス



発着信履歴から宛先を選択します。着信履歴はナンバーディスプレイ機能を有効にしていると表示されます。履歴からアドレス帳に登録することもできます。

よく使う宛先

〔設定〕 - 〔アドレス帳管理〕 - 〔常用〕に登録した宛先を表示します。

クイック操作ボタン

〔通信履歴表示〕や〔原稿種類〕など4つのファクス設定を表示できます。使用頻度の高い項目を登録しておく、すばやく表示できるので設定が簡単になります。〔使用しない〕が表示された項目は、ファクス設定指定されていません。

事前に〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ユーザー設定〕 - 〔クイック操作ボタン〕の項目を指定する必要があります。

宛先

操作パネルで以下の順に選択します。

〔ファクス〕 - 〔宛先〕

アドレス帳

五十音順でアドレス帳を表示します。宛先を選択できます。



新規登録

新規の宛先またはグループをアドレス帳に登録できます。



クイックダイヤルリストから宛先を選択します。



発着信履歴から宛先を選択します。着信履歴はナンバーディスプレイ機能を有効にしていると表示されます。履歴からアドレス帳に登録することもできます。

ファクス設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔ファクス〕 - 〔ファクス設定〕

クイック操作ボタン：

〔通信履歴表示〕や〔原稿種類〕など使用頻度の高い項目を4つまで表示できます。すばやく簡単に設定できるようになります。

ファクス

事前に [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [ユーザー設定] - [クイック操作ボタン] の項目を指定する必要があります。

- [クイック操作ボタン] は4つまであります。
初期設定は、[クイック操作ボタン1] は [通信履歴表示]、[クイック操作ボタン2] は [原稿種類]、
[クイック操作ボタン3] は [画質]、[クイック操作ボタン4] は [濃度] です。

読み取り設定：

- 原稿サイズ(原稿台)
原稿台にセットした原稿の、サイズと方向を選択します。
初期設定は [自動検知] です。
- 原稿種類
原稿の種類を選択します。
初期設定は [文字] です。
- カラーモード
カラーまたはモノクロのどちらでスキャンするか選択します。
初期設定は [モノクロ] です。
- 画質
送信する文書の画質を選択します。画質を優先するとデータのサイズが大きくなり、送信に時間が掛かります。
初期設定は [精細] です。
- 濃度
送信する文書の濃度を設定します。+にすると濃くなり、-にすると薄くなります。
初期設定は [0] です。
- 背景除去
背景の明るさを選択します。+にすると背景が明るくなり、-にすると暗くなります。
[自動] にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。
初期設定は [自動] です。
- シャープネス
画像の輪郭を設定します。+にすると輪郭が鮮明になり、-にするとぼやけます。
初期設定は [±0] です。
- ADF自動両面
モノクロ送信時に、ADFにセットした原稿の両面をスキャンします。
初期設定は [オフ] です。
- ADF連続読込
通常、ADFで複数枚の原稿をスキャンする場合、途中で原稿を追加することはできません。サイズが異なる原稿を混在させてADFにセットすると、一番大きな原稿サイズとして全ての原稿が送信されてしまうため、サイズは混在しないでください。この設定を有効にすると、セットした原稿のスキャンが終わるたびに追加原稿の有無を確認するメッセージが表示されます。サイズごとに分けて原稿をセットすれば、サイズごとにスキャンされるため、原稿と同じサイズでまとめて一度に送信できます。
初期設定は [オフ] です。

ファクス

送信設定：

- **ダイレクト送信**
宛先（1件のみ）につながってから原稿をスキャンしてモノクロで送信します。スキャンしながら同時に送信するのでメモリーを使いません。通常のモノクロ送信は、スキャンした文書をメモリーに保存してから送信するため（メモリー送信）、大量の原稿をスキャンするとメモリーが不足して送信できなくなります。この設定を有効にすると、時間はかかりますが送信可能になります。ただし、宛先が複数のときやADF自動両面を有効にしているときは使えません。
初期設定は「オフ」です。
 - **優先送信**
送信待ち文書があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信できます。
初期設定は「オフ」です。
 - **時刻指定送信**
指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。
初期設定は「オフ」です。
 - **発信元情報の付加**
 - **発信元情報の付加**
発信元情報（発信元の名前とファクス番号）を送信文書に入れる位置、または、入れずに送信するかを選択します。
「付加しない」を選択すると、発信元情報を入れずに送信します。
「原稿外」を選択すると、スキャンした画像に発信元情報がかぶらないよう、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
「原稿内」を選択すると、スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報がかぶって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。
 - **発信元名**
宛先に合わせて発信元情報を選択します。あらかじめ発信元情報を複数登録しておく必要があります。
 - **追加情報**
追加したい情報を、「[発信元番号]」と「[宛先情報]」から1つ選択できます。
初期設定は「[発信元番号]」です。
- 初期設定は[発信元情報の付加]が[原稿外]、[追加情報]が[発信元番号]です。
- **送信結果メール通知**
ファクス送信後に、送信結果を通知します。
初期設定は「オフ」です。
 - **通信結果レポート印刷**
ファクスを送信すると結果レポートを印刷します。「[エラー時のみ]」を選択すると送信でエラーが起こったときのみ自動で印刷します。
初期設定は「[エラー時のみ]」です。
 - **バックアップ送信設定**
スキャンしてプリンターのメモリーに保存された送信ファクスのバックアップを保存します。
初期設定は「オフ」です。

応用

操作パネルで以下の順に選択します。

[ファクス] - [メニュー]

通信履歴表示：

ファクスの送受信履歴が確認できます。

ファクスレポート印刷：

- 通信結果レポート
最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。
- 通信管理レポート
送受信結果を印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。
[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] - [通信管理レポート]
- 蓄積文書リスト
未完了のジョブなど、プリンターのメモリーに蓄積されているファクス文書のリストを印刷します。
- ファクス機能設定リスト
現状のファクス設定を印刷します。
- 条件保存・転送リスト
条件保存・転送リストを印刷します。
- プロトコルログ
最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

拡張ファクス：

- ポーリング受信
相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積されたポーリング用文書を受信します。ファクス情報サービスなどからファクスで情報を入手できます。
初期設定は [オフ] です。
- ポーリング送信/掲示板
ポーリング送信ボックス1つと掲示板ボックス10個で構成されています。100ページまでの1つの文書をモノクロでポーリング送信ボックスに蓄積します。蓄積した文書は、ポーリング受信機能付きの受信側ファクス機からの操作で送信されます。各々の掲示板ボックスは1つの文書をモノクロで蓄積します。蓄積した文書は、ポーリング受信機能およびFコード機能付きの受信側ファクス機からの操作で送信されます。
初期設定は [オフ] です。
- 待機文書蓄積
100ページまでの文書をモノクロで10件まで蓄積します。同じ文書を何度も送信するときに、送信のたびのスキャン時間が省けます。
初期設定は [オフ] です。

ファクスボックス：

[ファクスボックス] 機能にアクセスします。詳しくは、ファクスボックスの設定を説明しているページをご覧ください。

ファクス設定：

「ファクス設定」機能にアクセスします。詳しくは、ファクス設定の設定を説明しているページをご覧ください。

パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

関連情報

➔ [「ファクスボックスメニューの説明」119ページ](#)

➔ [「ファクス設定メニューの説明」110ページ](#)

ファクス設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」

ユーザー設定

操作パネルで以下の順に選択します。

「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「ユーザー設定」

参考

パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

初期表示

ファクスメニューのトップ画面で最初に表示したいタブを選択します。

初期設定は、「常用」です。

クイック操作ボタン

「ファクス」 - 「常用」と「ファクス設定」で表示する操作ボタンを4つまで登録できます。使用頻度の高い設定項目を登録しておくとう便利です。

初期設定は、「クイック操作ボタン1」は「通信履歴表示」、「クイック操作ボタン2」は「原稿種類」、「クイック操作ボタン3」は「画質」、「クイック操作ボタン4」は「濃度」です。

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。

「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」

参考

パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

ファクス

通信モード：

通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときや海外と通信するとき、またはIP電話環境で通信するときは [9.6kbps(G3)] をお勧めします。

初期設定は[33.6kbps (スーパーG3)]です。

エラー訂正(ECM)：

回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します (ECM機能)。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。

初期設定は [オン] です。

ダイヤルトーン検出：

ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。PBX (構内交換機) やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は [接続回線] を [構内交換機(PBX)] にしてください。それでも接続できないときは本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

初期設定は [オン] です。

ダイヤル種別:

接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。ダイヤルしたとき受話器から「ピッポッパ」と音がするときは、プッシュ回線です。「ジージージ」または「カタカタカタ」と音がするときは、ダイヤル回線です。回線が分からないときは [プッシュ] → [ダイヤル(20PPS)] → [ダイヤル(10PPS)] の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してください。

初期設定は [プッシュ] です。

ナンバー・ディスプレイ対応:

ナンバーディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。詳しくは、ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定を説明しているページをご覧ください。

初期設定は [オフ] です。

接続回線:

プリンターを接続した回線を選択します。内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、[構内交換機(PBX)] を選択して外線発信番号を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに # を入力します。ADSLモデムやターミナルアダプターなどを使用している環境でも [構内交換機(PBX)] に設定することをお勧めします。

初期設定は [一般回線 (PSTN)] です。

発信元設定:

発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。発信元名は40文字、発信元番号は20文字まで入力できます。

受信モード:

受信モードを選択します。

初期設定は [自動] です。

呼び出し回数:

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます (無鳴動着信)。

ファクス

電話呼び出し回数:

〔受信モード〕が〔ファクス/電話自動切替〕になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。

リモート受信:

外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で開始コードを入力するだけでファクス受信を開始します。

初期設定は〔オフ〕です。

着信・ファクス受信拒否:

迷惑ファクス拒否の設定をします。

初期設定は全て〔オフ〕です。

受信紙宣言:

受信可能な最大用紙サイズとして、ファクスを受信する際に送信側に通知される用紙サイズを選択します。送信側では、受信可能な最大用紙サイズよりも大きな原稿を縮小して送信することができます。〔自動〕に設定すると、以下で選択している用紙力セットのなかで最大の用紙サイズを送信側に通知します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔給紙装置設定〕 - 〔給紙口自動選択〕 - 〔ファクス〕。

初期設定は〔自動〕です。

送信設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔送信設定〕



パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

回転送信:

ADFまたは原稿台に、A4サイズの前稿の長辺を左側にして縦置きにセットすると、通常はA3サイズの文書として送信されます。この設定を有効にすると、A4サイズの文書になるように回転させて送信できます。

初期設定は〔オン〕です。

クイックメモリー送信:

クイックメモリー送信は1ページ目の前稿のスキャンが完了した時点で、ファクスの送信を開始します。この設定を無効にすると、すべてのページをスキャンしてメモリーに保存した後にファクス送信します。この設定を有効にすると、スキャンとファクス送信を並行して行うので、全体の操作時間を短縮できます。

初期設定は〔オン〕です。

バッチ送信:

宛先が同じ複数の予約文書を、自動でまとめて送信できます。5文書（合計100ページ）まで送信できます。通信回数が減るため通信費が削減できます。

初期設定は〔オフ〕です。

ファクス

自動リダイヤル回数：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤル回数を選択します。
初期設定は [3] です。

自動リダイヤル間隔：

相手先にファクスが送れないときのリダイヤルする間隔を選択します。
初期設定は [5] です。

送信失敗文書保存：

送信に失敗した文書をメモリーに保存します。[ジョブ/状態] から再送信できます。
初期設定は [オフ] です。

受信設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定]

 **参考** パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

保存・転送設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定]

条件なし保存・転送

受信文書を受信ボックスや外部メモリー、コンピューターに保存したり、転送したりする設定をします。

受信ボックスに保存：

受信した文書をプリンターの受信ボックスに保存します。
初期設定は [オフ] です。

PC-FAXで受信：

受信した文書をPDFに変換して、プリンターに接続されているコンピューターに保存します。
初期設定は [オフ] です。

外部メモリーに保存：

受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。
初期設定は [オフ] です。

ファクス

転送：

受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送したりします。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。初期設定は「転送」が「オフ」で、「転送失敗時の動作」が「印刷する」です。

メール通知設定：

ファクスの受信、外部メモリーへの保存、転送が完了したことを、指定した宛先にメールで通知します。初期設定は全て「オフ」です。

条件保存・転送

あらかじめ設定しておいた条件に従って、保存や転送、印刷をします。

設定した条件を有効または無効にするには、ボックスの  以外の場所をタップします。

 をタップすると、条件を設定できます。

初期設定は「無効」です。

名称：

条件名を入力します。

条件：

条件を選択して設定します。

- 相手先電話番号一致
相手方のファクス番号が一致した場合、受信文書を保存・転送します。
初期設定は「オフ」です。
- Fコード(SUB)完全一致
Fコードが完全に一致した場合、受信文書を保存・転送します。
初期設定は「オフ」です。
- パスワード(SID)完全一致
パスワードが完全に一致した場合、受信文書を保存・転送します。
初期設定は「オフ」です。
- 受信時間の設定
指定した時間帯に受信した文書を保存・転送します。
初期設定は「オフ」です。

保存・転送先：

条件に一致した受信文書を保存・転送するための保存先を選択します。

- ボックスに保存
受信した文書をプリンターの受信ボックスまたは親展ボックスに保存します。
初期設定は「オフ」です。
- 外部メモリーに保存
受信した文書をPDFに変換して、プリンターにセットした外部メモリーに保存します。
初期設定は「オフ」です。

ファクス

- 転送
受信した文書を、他のファクス機にそのまま転送したり、PDFに変換してネットワーク上のフォルダーやメールアドレスに転送したりします。転送された文書はプリンターから削除されます。事前にアドレス帳の登録が必要です。また転送先をメールアドレスにするときは、メールサーバーの設定もしてください。
初期設定は「転送」が「オフ」で、「転送失敗時の動作」が「印刷する」です。
- 印刷
印刷するかどうかを選択します。
初期設定は「オフ」です。

メール通知設定：

ファクスの受信、外部メモリーへの保存、転送が完了したことをメールで通知します。
初期設定は全て「オフ」です。

結果レポート印刷：

－エラー時のみ：受信ファクスを保存したり転送したりしたときにエラーが起こると、結果レポートを印刷します。
－オン：受信ファクスを保存したり転送したりするごとに結果レポートを印刷します。
－オフ：受信ファクスを保存したり転送したりしても結果レポートを印刷しません。
初期設定は「エラー時のみ」です。

共通設定

受信ボックス設定：

- 容量限界時の動作
受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。「受信して印刷する」は、受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。「受信しない」は、相手側からの呼び出しに応答しません。
初期設定は「受信しない」です。
- パスワード設定
誰でも簡単に受信ボックスを開いて見るできないように受信ボックスにパスワードを設定します。設定したパスワードを変更するときは「変更」を、パスワード設定を解除するときは「設定クリア」を選択します。変更や初期化をするときも現在設定されているパスワードの入力が必要です。

転送設定：

転送先をメールアドレスにしたときの、メールの件名が指定できます。



(メニュー)

条件保存・転送リスト印刷

画面右上のをタップします。条件保存・転送リストを印刷します。

印刷設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [印刷設定]

自動縮小印刷：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙サイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると縮小されず、複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。

初期設定は [オン] です。

ページ分割設定：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページ分割方法を指定します。

初期設定は [分割後の印刷破棄] が [下を破棄] で、[分割時の重ねあわせ] が [オン] です。

代行印刷：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときの印刷方法の設定をします。

初期設定は [オフ] です。

自動回転印刷：

A5、B5、A4またはLetterサイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転して最適なサイズの用紙に印刷します。ファクスで使用する給紙装置いずれかの用紙サイズが A5、B5、A4またはLetterのときに適用されます。ファクスで使用する給紙装置は、[設定] > [本体設定] > [プリンター設定] > [給紙装置設定] の [給紙口自動選択] で、用紙サイズは [用紙設定] > [用紙サイズ] で確認できます。

初期設定は [オン] です。

受信情報の付加：

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号、受付ID（#001など）やページ番号（P1など）が含まれます。[ページ分割設定] を有効にしているときは、分割ページ番号も含まれます。

初期設定は [オフ] です。

両面設定：

複数ページの受信文書を、両面印刷します。

初期設定は [両面印刷] が [オフ] で、[印刷とじ位置] が [長辺] です。

印刷開始設定：

受信文書の印刷を開始するタイミングを設定します。

全ページ受信後：全ページを受信後に、1ページ目から印刷を開始します。[正順印刷] 機能が有効なときは、最後のページから印刷を開始して、正しいページ順に並べます。

最初のページ受信後：1ページ目を受信したところで印刷を開始します。他のジョブを印刷中などで印刷を開始できないときは、印刷可能になったところでまとめて印刷を開始します。

初期設定は [全ページ受信後] です。

正順印刷：

受信文書を最後のページから印刷して、正しいページ順に並べます。メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。

初期設定は [オン] です。

印刷停止時間の設定：

指定の時間帯に受信した文書を印刷せずにメモリーに保存します。再開時刻になると自動で印刷されます。夜間の騒音防止や不在時の機密漏洩防止などに活用できます。メモリーに十分な空き容量があることを確認してからお使いください。再開時刻前でも、[ジョブ/状態] から個別に確認して印刷できます。初期設定は[オフ] です。

動作音低減モード：

ファクス印刷時の動作音が静かになります。ただし、印刷速度は遅くなることがあります。初期設定は[オフ] です。

レポート設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定]

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

転送結果レポート：

受信文書が転送されたときのレポートを印刷します。初期設定は[エラー時のみ]です。

バックアップエラーレポート：

[バックアップ先] が有効のとき、送信した文書をバックアップできなかったときにレポートを印刷します。[バックアップ先] は、[ファクス] - [ファクス設定] - [バックアップ送信設定] で設定できます。初期設定は[オン] です。

通信管理レポート：

通信管理レポートを自動で印刷します。[オン(30件毎)] を選択すると、通信履歴が30件に達したときに印刷されます。[オン(指定時刻)] を選択すると、指定の時刻に印刷されます。ただし、通信履歴が30件に達すると指定時刻の前でも印刷されます。初期設定は[オフ] です。

レポート内画像添付：

[通信結果レポート印刷] に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷します。[添付する(画像大)] を選択すると、ページの一部(冒頭部分)を縮小せずに印刷します。[添付する(画像小)] を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。初期設定は[添付しない] です。

レポート形式：

[プロトコルログ] 以外のファクスレポートの表示形式を選択します。[詳細情報] にするとエラーコードも印刷されます。初期設定は[簡易情報] です。

レポート出力先：

ファクスレポートの出力先を選択します。
初期設定は「印刷」です。

セキュリティ設定

操作パネルで以下の順に選択します。

「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「セキュリティ設定」

参考 パスワード画面が表示されたら管理者に問い合わせてください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

直接ダイヤル制限：

ファクス番号の直接入力ができなくなります。アドレス帳かワンタッチダイヤル、または履歴から宛先を選択します。「2回入力」を選択すると、ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要です。
初期設定は「オフ」です。

宛先一覧確認：

送信開始前に宛先確認画面を表示します。
初期設定は「オフ」です。

バックアップデータ自動消去：

停電や誤操作による電源オフに備えて、送受信文書のバックアップデータがメモリー内に一時保存されています。この設定を有効にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になったときに、自動でバックアップデータが消去されます。
初期設定は「オフ」です。

バックアップデータを消去：

メモリー内に一時保存されたバックアップデータを全て消去します。プリンターを譲渡または廃棄するときに実行してください。

ファクス診断

操作パネルで以下の順に選択します。

「設定」 - 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「ファクス診断」

プリンターが電話回線に接続されていて送受信ができる状態かどうかを診断し、結果をA4サイズの普通紙に印刷します。

ファクス設定ウィザード

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [ファクス設定ウィザード]



パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

ファクスの送受信に必要な最低限の設定を画面に従って設定します。詳しくは、ファクスの基本設定を説明しているページをご覧ください。

ファクスボックスメニューの説明

操作パネルのホーム画面から「ファクスボックス」をタップしてメニューを表示します。

- 受信/親展
- 待機文書送信
- ポーリング送信/掲示板

詳しくは、ファクスボックスの設定を説明しているページをご覧ください。

関連情報

➡ [「ファクスボックスを使用する」97ページ](#)

スキャン

操作パネルからスキャンする

プリンターの操作パネルからは、以下の項目を宛先にしてスキャンできます。

フォルダー

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存できます。宛先には、コンピューターに作成した共有フォルダー（SMBプロトコルを使用したもの）、またはFTPサーバー上のフォルダーを指定できます。事前に共有フォルダーまたはFTPサーバーの設定が必要です。

メール

スキャンした画像を、プリンターから直接メールで送信できます。事前にメールサーバーの登録と設定が必要です。

Document Capture Pro

スキャンソフトウェア『Document Capture Pro』で設定したジョブを、プリンターの操作パネルから実行できます。スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブを作成しておき、プリンターでそのジョブを実行すると、スキャンした画像をコンピューターに保存できます。事前にコンピューターにDocument Capture Proをインストールして、ジョブを設定する必要があります。

外部メモリー

スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。事前の設定は必要ありません。

クラウド

スキャンした画像をクラウドサービスに保存できます。事前にEpson Connectの設定が必要です。

スキャンした画像を共有フォルダーまたはFTPサーバーに保存

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存できます。宛先には、コンピューターに作成した共有フォルダー（SMBプロトコルを使用したもの）、またはFTPサーバー上のフォルダーを指定できます。



- プリンターとコンピューターは、同じネットワークに接続されている必要があります。ネットワークの設定確認・変更は、管理者に問い合わせてください。
- FTPサーバー上のフォルダーに保存したい場合は、FTPサーバーの管理者に必要な情報を確認してください。

共有フォルダーに保存するときは、以下の3つを全て行ってください。

- 準備1：コンピューター名を確認する
- 準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する
- 準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録

参考

共有フォルダーの作成方法は、OSやご利用の環境によって異なります。本書では、例としてWindows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7の情報を記載しています。共有フォルダーの設定方法について、詳しくはお使いのコンピュータのマニュアルをご覧ください。

準備1：コンピューター名を確認する

共有フォルダーを作成するコンピューターの名前を確認します。

コンピューター名には半角英数字および半角記号を使用してください。それ以外の文字が含まれると、プリンターから接続できないことがあります。

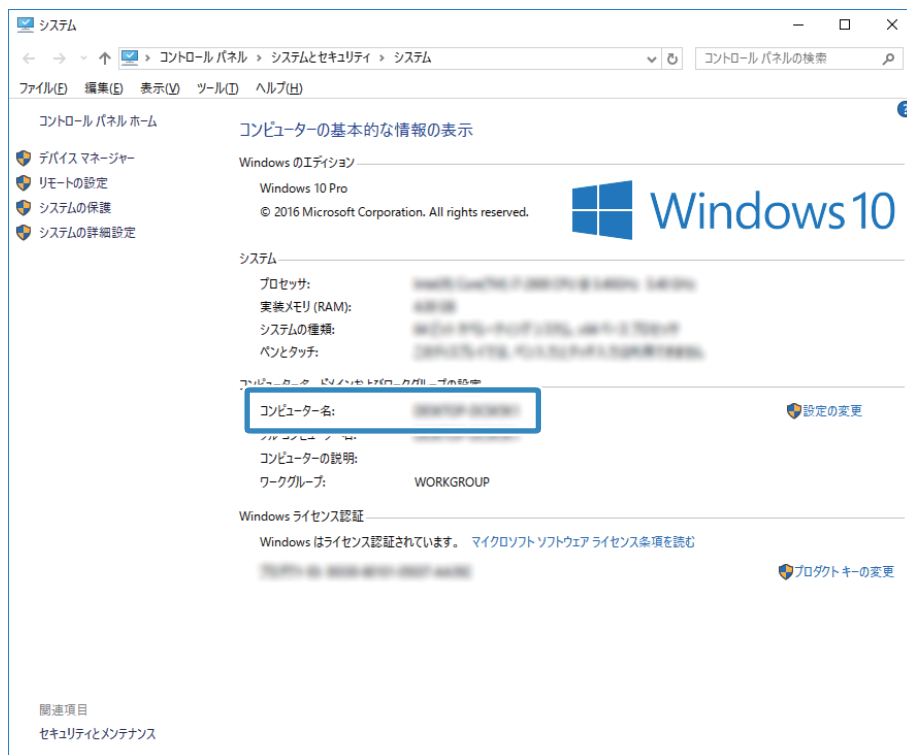
参考

共有フォルダーの作成方法は、OSやご利用の環境によって異なります。本書では、例としてWindows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7の情報を記載しています。共有フォルダーの設定方法について、詳しくはお使いのコンピュータのマニュアルをご覧ください。

1. コンピューターのシステムの画面を開きます。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8 :
キーボードのWindowsキーを押したままXキーを押し、一覧から「システム」を選択します。
- Windows 7 :
スタートボタンをクリックし、「コンピューター」を右クリックして「プロパティ」を選択します。

2. 「システム」の画面で「コンピューター名」を確認します。



参考

コンピューター名には半角英数字および半角記号を使用してください。ひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字、全角記号が使用されているときはコンピューター名を変更します。詳しくは管理者に問い合わせてください。

以上で「準備1：コンピューター名を確認する」は終了です。

次に「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」を行います。

関連情報

➡ 「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」 122ページ

コンピューターにフォルダーを作成し、ネットワーク上で共有できるように設定します。

準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する

コンピューターにフォルダーを作成し、ネットワーク上で共有できるように設定します。

ここでは、パスワードが設定されているコンピューターで、デスクトップに「scan」というフォルダーを作成することを例に説明します。

デスクトップやドキュメントフォルダーなどユーザーフォルダー配下のフォルダーは、ログオンしたユーザーとコンピューターの管理者権限を持つユーザーがアクセスできます。

1. エクスプローラーを起動します。

2. デスクトップにフォルダーを作成し「scan」と名前を付けます。

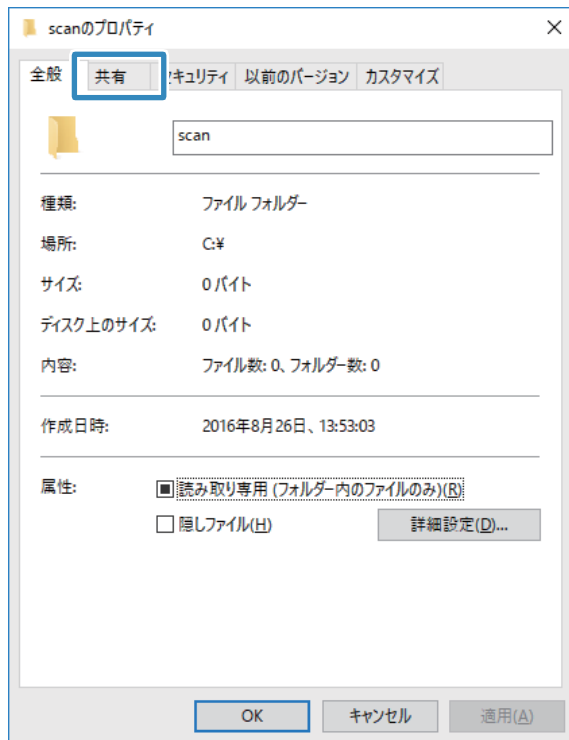
フォルダー名は、半角英数字12文字以内で入力してください。文字数を超えると、お使いの環境によっては正常にアクセスできないことがあります。

3. 作成したフォルダーを右クリックし、[プロパティ]を選択します。



ユーザーアカウントの共有アクセス許可に変更アクセス許可を付与します。ネットワーク経由でアクセスするときに適用されます。

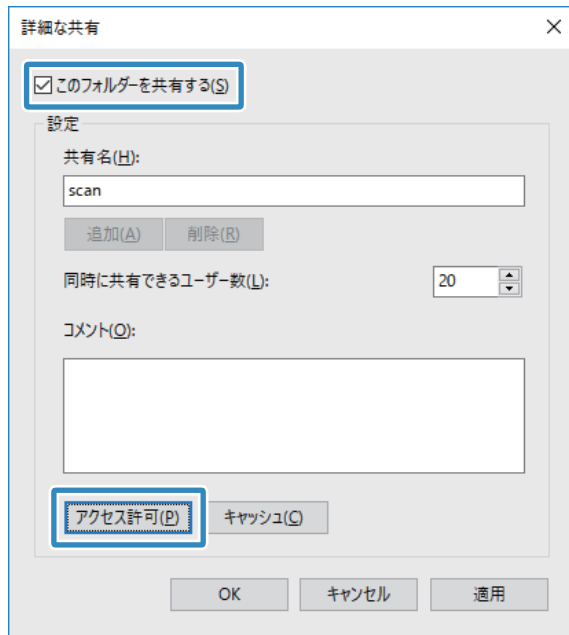
4. 「プロパティ」の画面で「共有」タブを選択します。



5. 「共有」タブの画面で「詳細な共有」をクリックします。



6. 「詳細な共有」の画面で、「このフォルダーを共有する」にチェックを入れ、「アクセス許可」をクリックします。



7. 「共有アクセス許可」タブの画面で、「グループ名またはユーザー名」の「Everyone」グループを選択して「変更」のアクセス許可にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

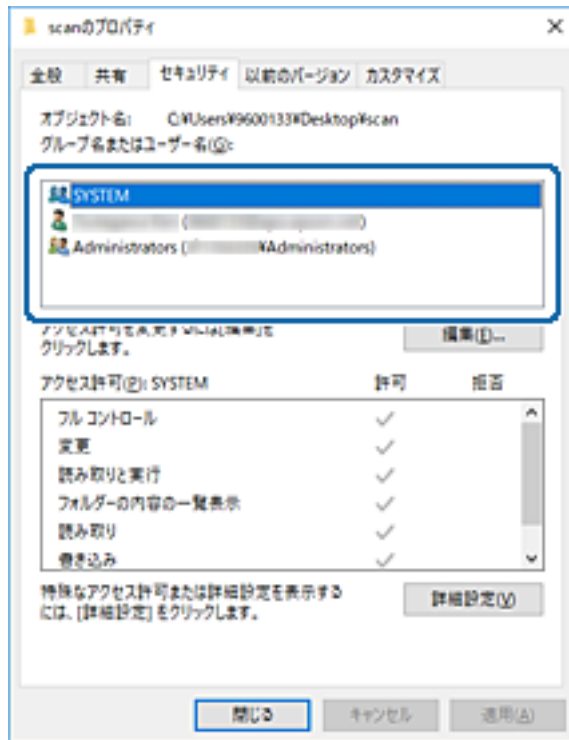


8. 「OK」をクリックします。
9. 「セキュリティ」タブを選択します。

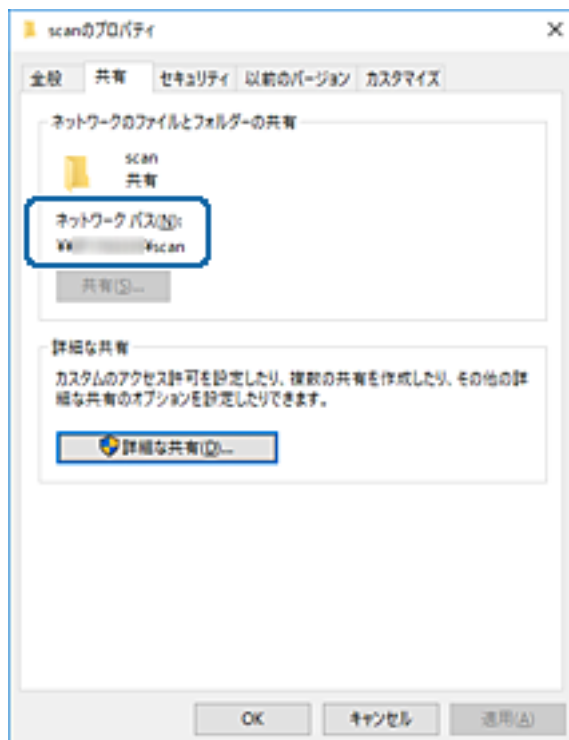
10. 「グループ名またはユーザー名」にあるグループまたはユーザーを確認します。

ここに表示されているグループまたはユーザーが共有フォルダーにアクセスできます。

この場合はこのコンピューターにログオンしているユーザーとAdministratorが共有フォルダーにアクセスできます。



11. 「共有」タブを選択します。共有フォルダーのネットワークパスが表示されます。プリンターのアドレス帳の登録で使用するので、メモしておくか、コピーしておいてください。



12. [OK] または [閉じる] をクリックして、画面を閉じます。

参考 フォルダーは共有化してもフォルダーのアイコン表示は変わりません。フォルダーを開いた画面の [状況] に [共有] と表示されます。

以上で「準備2：コンピューターに共有フォルダーを作成する」は終了です。
次に「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」を行います。

関連情報

➡ [「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」 126ページ](#)

共有フォルダーのパスをプリンターのアドレス帳に登録しておく、アドレス帳から選択するだけで宛先に指定できます。

準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録

共有フォルダーのパスをプリンターのアドレス帳に登録しておく、アドレス帳から選択するだけで宛先に指定できます。

アドレス帳に登録するには以下の情報が必要です。

- コンピューターにログオンするときのユーザー名とパスワード
- 共有フォルダーのネットワークパス
- プリンターのIPアドレスまたはプリンター名（コンピューターから登録するときのみ）

アドレス帳に登録する方法は複数あります。どの方法でも登録できる内容は同じです。詳しくは、以下の関連リンクを参照してください。

参考 共有フォルダーの作成方法は、OSやご利用の環境によって異なります。本書では、例としてWindows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7の情報を記載しています。共有フォルダーの設定方法について、詳しくはお使いのコンピューターのマニュアルをご覧ください。

プリンターの操作パネルから登録する

プリンターの操作パネルからアドレス帳に登録できます。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
2. [アドレス帳管理] を選択し、[アドレス帳登録・変更] を選択します。
3. [新規登録] を選択し、[宛先を作成] を選択します。
4. [フォルダー] を選択します。

5. 必要な情報を入力します。

- 登録番号：アドレスの登録番号を設定します。
- 登録名：アドレス帳に表示される名称です（最大30文字）。
- よみがな(検索名)：アドレス帳の検索で使います（最大30文字）。
- 通信モード：SMBを選択します。
- 保存先(必須項目)：共有フォルダーのネットワークパスを入力します。
 [参照]を選択すると、ネットワーク接続されたコンピュータのフォルダーを検索して設定できます。
 アルファベット、数字、記号を入力するときは、半角文字と全角文字を正しく指定してください。半角文字と全角文字の設定が間違っていると、共有フォルダーに保存できません。
- ユーザー名：コンピュータにログオンするユーザー名を入力します。（コンピュータにパスワードが設定されているときのみ）
- パスワード：ユーザー名に対応するパスワードを入力します。
- 常用指定：アドレスを常用登録します。アドレス指定するときのトップ画面に表示されるようになります。

6. [OK] を選択します。アドレス帳への共有フォルダーの登録は完了です。

以上で「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」は終了です。操作パネルから共有フォルダーに保存する準備が完了しました。

関連情報

➡ [「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」128ページ](#)

コンピュータからブラウザーで登録する

コンピュータから、ブラウザーでプリンターの設定画面（Web Config）にアクセスして、アドレス帳に登録できます。共有フォルダーを作成した後、コンピュータ上で引き続き作業できます。
 アプリケーションのインストールは不要です。
 ここではInternet Explorerを例に説明します。

1. Internet Explorerを起動します。
2. Internet ExplorerのアドレスバーにプリンターのIPアドレスを入力して、Enterキーを押します。

3. [このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。] をクリックします。

Google Chromeでは、[詳細設定] をクリックし、[x.x.x.x.にアクセスする。（安全ではありません）] をクリックします。

参考 Web Configにアクセスできないときは、管理者に問い合わせてください。

4. プリンターに管理者パスワードが設定されているときは、[管理者ログオン] をクリックし、パスワードを入力して、管理者としてログオンしてください。

管理者パスワードが設定されていないときはこの操作は不要です。手順5に進んでください。

5. [スキャン/コピー] をクリックします。

6. [アドレス帳] をクリックします。

7. アドレス帳の画面で、まだ使用していない番号を選択し、[編集] をクリックします。

8. 必要な情報を入力し、[適用] をクリックします。

- 登録名：アドレス帳に表示される名称です（最大30文字）。
- 検索名：アドレス帳の検索で使います（最大30文字）。
- 種別：[ネットワークフォルダー (SMB)] を選択します。
- 常用指定：アドレスを常用登録します。アドレス指定するときのトップ画面に表示されるようになります。
- 保存先：共有フォルダーのネットワークパスを入力します。
- ユーザー名：コンピューターにログオンするユーザー名を入力します。（コンピューターにパスワードが設定されているときのみ）
- パスワード：ユーザー名に対応するパスワードを入力します。

9. 設定が終了したメッセージが表示されたら、登録は完了です。ブラウザーを閉じてください。

以上で「準備3：プリンターのアドレス帳に共有フォルダーを登録」は終了です。操作パネルから共有フォルダーに保存する準備が完了しました。

関連情報

➡ [「スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する」128ページ](#)

スキャンした画像をネットワークフォルダーまたはFTPサーバーに保存する

スキャンした画像をネットワーク上の指定フォルダーに保存できます。保存先を直接指定することもできますが、事前にアドレス帳にフォルダー情報を登録しておくとう便利です。

- 参考**
- 事前にプリンターの[日付/時刻]と[時差]が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [日付/時刻設定]の順に選択します。
 - スキャンする前に送信先を確認できます。[設定] - [本体設定] - [スキャン設定]の順に選択し、[読み取り前宛先確認]を有効にしてください。

1. 原稿をセットします。

参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

スキャン

2. ホーム画面で「スキャン」をタップします。
3. 「フォルダー」をタップします。
4. 保存先を指定します。



- 常用登録した宛先を選択する：「常用」タブに登録されている宛先を選択します。
- 直接入力：「直接入力」をタップします。「通信モード」を選択し、「保存先(必須項目)」に保存先を入力します。必要に応じてその他を設定します。
保存先は、以下の書式で入力します。
通信モードがSMBの場合（コンピューター上の共有フォルダーを使用する場合）：¥¥ホスト名（コンピューター名）¥フォルダーパス
通信モードがFTPの場合（FTPサーバーを使用する場合）：ftp://ホスト名（サーバー名）/フォルダーパス
- アドレス帳から選択：「宛先」タブをタップし、登録されている宛先を選択します。
宛先を検索するには、🔍 をタップしてください。

参考 「メニュー」をタップすると、フォルダー保存の履歴を印刷できます。

5. 「スキャン設定」をタップして保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。



参考 ☆ をタップすると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。

6. ◇をタップします。

関連情報

- ➡ [「アドレス帳の管理」20ページ](#)
- ➡ [「原稿のセット」31ページ](#)
- ➡ [「お気に入りの使い方」23ページ](#)

フォルダー保存のスキャン設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

保存先編集：

- 通信モード
通信モードを選択します。
- 保存先(必須項目)
スキャンした画像を保存するフォルダーのパスを入力します。
- ユーザー名
認証用のユーザー名を入力します。
- パスワード
認証用のパスワードを入力します。
- 接続モード
接続モードを選択します。
- ポート番号
ポート番号を入力します。

モノクロ/カラー：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は [カラー] ）

ファイル形式：

- ファイル形式
スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は [PDF] ）
- 圧縮率
スキャン画像をどのくらい圧縮するかを選択します。（初期値は [標準圧縮] ）
- PDF設定
保存形式を [PDF] にすると、PDFのセキュリティが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は [設定しない] ）

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は [片面] ）

- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は [上向き] ）

スキャン

- 開き方向(原稿)
原稿のとじ位置を選択します。（初期値は「左右開き」）

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、「自動検知」を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、「最大範囲」を選択します。（初期値は「自動検知」）

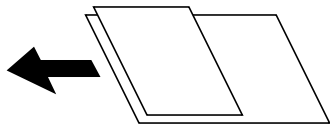
- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は「上向き」）

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は「文字」）

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在させてADFにセットできます。混在させても原稿と同じサイズにスキャンします。セットするときは下図のようにセットしてください。（初期値は「オフ」）



濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

背景除去：

背景色の濃さを調整します。+をタップすると明るく（白く）、-をタップすると暗く（黒く）なります。
「自動」にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。（初期値は「[オン]」）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は「オフ」）

- 枠幅
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅
スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は「オフ」）

- 消し位置（初期値は「左端」）
パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向（初期値は「上向き」）
原稿の向きを選択します。

スキャン

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は「オフ」）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。
- 日付を入れる：
ファイル名に日付を追加します。（初期値は「オン」）
- 時刻を入れる：
ファイル名に時間を追加します。（初期値は「オン」）

スキャンした画像をメールに添付する

スキャンした画像を、プリンターから直接メールで送信できます。事前にメールサーバーの登録と設定が必要です。

詳しくは『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

頻繁に使用するメールアドレスをアドレス帳に登録しておくと、宛先を素早く指定できます。

参考

- 事前にプリンターの「日付/時刻」と「時差」が正しく設定されていることを確認してください。操作パネルで「設定」 - 「本体設定」 - 「基本設定」 - 「日付/時刻設定」の順に選択します。
- 操作パネルで「Document Capture Pro」を宛先にすると、この機能と同等の（メールを直接送信する）ことができます。事前にDocument Capture Proでメールを送信するジョブを作成し、コンピューターの電源を入れておく必要があります。
- スキャンする前に送信先を確認できます。「設定」 - 「本体設定」 - 「スキャン設定」の順に選択し、「読み取り前宛先確認」を有効にしてください。

1. 原稿をセットします。

参考

複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

2. ホーム画面で「スキャン」をタップします。

3. 「メール」をタップします。

4. 宛先を指定します。



スキャン

- 常用登録した宛先を選択する：[常用] タブに登録されている宛先を選択します。
- 直接入力：[直接入力] をタップして宛先を入力し、[OK] をタップします。
- アドレス帳から選択：[宛先] タブをタップし、登録されている宛先を選択します。
宛先を検索するには、 をタップしてください。
- 履歴から選択：[常用] タブの  （上から3番目）をタップし、履歴から宛先を選択します。

参考

- 選択した宛先の数画面の右側に表示されます。メールは最大10件の宛先（アドレスまたはグループ）に送信できます。
宛先にグループが含まれるときは、グループ内のアドレスも合計して最大200件のアドレスに送信できます。
- 画面上部のボックスをタップすると、選択したアドレスの一覧を確認できます。
- [メニュー] をタップすると、送信履歴を表示または印刷したり、メールサーバーの設定を変更したりできます。

5. [スキャン設定] をタップして保存形式などの設定を確認し、必要に応じて変更します。



参考

-  をタップすると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
-  をタップすると、ユーザー設定値に戻ります。

6.  をタップします。

関連情報

- ➔ [「アドレス帳の管理」20ページ](#)
- ➔ [「コンピューターに登録した設定でスキャンする（Document Capture Pro）」135ページ](#)
- ➔ [「原稿のセット」31ページ](#)
- ➔ [「お気に入りの使い方」23ページ](#)

メール添付の設定項目

参考

他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

カラーモード：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は[カラー]）

スキャン

ファイル形式：

- ファイル形式
スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は [PDF] ）
- 圧縮率
スキャン画像をどのくらい圧縮するかを選択します。（初期値は [標準圧縮] ）
- PDF設定
保存形式を [PDF] にすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は [設定しない] ）

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は [片面] ）

- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は [上向き] ）
- 開き方向(原稿)
原稿のとじ位置を選択します。（初期値は [左右開き] ）

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、[自動キリトリ] を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、[最大範囲] を選択します。（初期値は [自動検知] ）

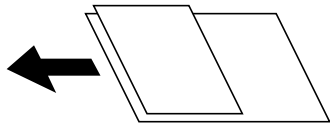
- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は [上向き] ）

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は [文字] ）

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在させてADFにセットできます。混在させても原稿と同じサイズにスキャンします。セットするときは下図のようにセットしてください。（初期値は [オフ] ）



濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

背景除去：

背景色の濃さを調整します。+をタップすると明るく（白く）、-をタップすると暗く（黒く）なります。
[自動] にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。（初期値は [[オン]] ）

スキャン

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は［オフ］）

- 枠幅
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅
スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は［オフ］）

- 消し位置
パンチ穴の影を消す位置を指定できます。（初期値は［左端］）
- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は［オフ］）

件名：

メールの件名を半角英数字または記号で入力します。

添付最大ファイルサイズ：

メールに添付するファイルの最大サイズを選択します。（初期値は5 MB、最大値は30 MB）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。
- 日付を入れる：
ファイル名に日付を追加します。（初期値は［オン］）
- 時刻を入れる：
ファイル名に時間を追加します。（初期値は［オン］）

コンピューターに登録した設定でスキャンする（Document Capture Pro）

Document Capture Proでは、スキャン処理の設定を『ジョブ』として登録して使うことができます。登録したジョブは、プリンターの操作パネルから実行できます。

スキャンした画像をコンピューターに保存するジョブを作成しておき、プリンターでそのジョブを実行すると、スキャンした画像をコンピューターに保存できます。

参考 操作方法は、OSおよびソフトウェアのバージョンによって異なります。機能の詳しい説明は、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➡ 「原稿のセット」 31ページ
- ➡ 「コンピューターからのスキャン動作を設定するソフトウェア（Document Capture Pro）」 224ページ

Document Capture Proをインストールする

Document Capture Proは、エプソンのホームページからダウンロードしてインストールしてください。

参考 Document Capture Proをインストールするには、事前にEpson Scan 2（スキャナードライバー）をインストールしておいてください。Epson Scan 2もエプソンのホームページからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/support/>

ジョブを設定する

Document Capture Proで、お使いのコンピューターにジョブを登録します。

参考 操作方法は、OSおよびソフトウェアのバージョンによって異なります。機能の詳しい説明は、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ジョブを作成、登録する（Windows）

参考 操作方法は、OSおよびソフトウェアのバージョンによって異なります。機能の詳しい説明は、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1. Document Capture Proを起動します。
2. トップ画面で「ジョブ設定」をクリックします。
「ジョブリスト」が表示されます。
3. 「新規作成」をクリックします。
「ジョブ設定」画面が表示されます。
4. 「ジョブ設定」画面でジョブを作成します。
 - 「ジョブ名」：登録するジョブの名前を入力します。
 - 「スキャン設定」：原稿サイズや解像度など、スキャンの設定をします。
 - 「保存設定」：保存場所や保存形式の指定、ファイル名の付け方などを設定します。
 - 「転送先設定」：スキャンした画像の転送先を選択します。
5. 「OK」をクリックして「ジョブリスト」画面に戻ります。
作成したジョブが「ジョブリスト」に登録されます。
6. 「OK」をクリックしてトップ画面に戻ります。

ジョブを作成、登録する (Mac OS)

参考 操作方法は、OSおよびソフトウェアのバージョンによって異なります。機能の詳しい説明は、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1. Document Captureを起動します。
2. メイン画面で  アイコンをクリックします。
[ジョブリスト] 画面が表示されます。
3. +アイコンをクリックします。
[ジョブ設定] 画面が表示されます。
4. [ジョブ設定] 画面でジョブを作成します。
 - [ジョブ名] : 登録するジョブの名前を入力します。
 - [スキャン] : 原稿サイズや解像度など、スキャンの設定をします。
 - [保存設定] : 保存場所や保存形式の指定、ファイル名の付け方などを設定します。
 - [転送先] : スキャンした画像の転送先を選択します。
5. [OK] をクリックして [ジョブリスト] 画面に戻ります。
作成したジョブが [ジョブリスト] に登録されます。
6. [OK] をクリックして、メイン画面に戻ります。

プリンターの操作パネルに表示するコンピューター名を設定する

Document Capture Proで、プリンターの操作パネルに表示するコンピューター名を半角英数字で設定できます。

参考 操作方法は、OSおよびソフトウェアのバージョンによって異なります。機能の詳しい説明は、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

1. Document Capture Proを起動します。
2. メイン画面のメニューバーで、[オプション] - [ネットワークスキャンの設定] の順に選択します。

参考 Windowsでは、標準モードのみで [オプション] が表示されます。簡単モードでは、[標準モードへ切り替え] をクリックして標準モードに切り替えます。
3. [ネットワークスキャンの設定] 画面で、操作パネルに表示する名前を [コンピューター名 (半角英数字)] に入力します。
4. [OK] をクリックします。

動作モードを設定する

スキャンする前に、Document Capture Proのインストールされたコンピューターに合わせ、プリンターの操作パネルで動作モードを設定します。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「[本体設定] - [スキャン設定] - [Document Capture Pro設定]」の順に選択します。
3. 動作モードを選択します。



- クライアントモード：WindowsまたはMac OSにDocument Capture Proがインストールされているときに選択します。
- サーバーモード：Windows ServerにDocument Capture Proがインストールされているときに選択します。続いて、サーバーアドレスを入力します。

4. 動作モードを変更したら、設定が正しいことを確認し、「[設定開始]」を選択します。

Document Capture Proで設定した内容でスキャンする

スキャンの前に以下を準備します。

- お使いのコンピューター（サーバー）にDocument Capture Proをインストールし、ジョブを作成する。
- お使いのコンピューター（サーバー）をネットワークに接続する。
- 操作パネルで動作モードを設定する。

1. 原稿をセットします。

参考 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

2. ホーム画面で「スキャン」を選択します。
3. 「[Document Capture Pro]」を選択します。

スキャン

4. 「コンピューターを選択してください。」を選択して、Document Capture Proでジョブを作成済みのコンピューターを選択します。



- 参考**
- 操作パネルには、Document Capture Proがインストールされたコンピューターが最大100台表示されます。
 - Document Capture ProまたはDocument Captureで「オプション」-「ネットワークスキャンの設定」の順に選択し、「パスワードで保護する」を有効にしているときは、パスワードを入力します。
 - 動作モードを「サーバーモード」にしているときは、この手順は必要ありません。

5. 「ジョブを選択してください。」を選択して、ジョブを選択します。

- 参考**
- Document Capture Pro Serverの設定で「パスワードで保護する」を有効にしている場合は、パスワードを入力します。
 - ジョブを1つしか作成していないときは、ジョブを選択する必要はありません。次の手順に進みます。

6. ジョブ内容が表示されている部分を選択して、ジョブの詳細を確認します。

7. ◇をタップします。

関連情報

➡ [「原稿のセット」31ページ](#)

スキャンした画像を外部メモリーに保存する

スキャンした画像を外部メモリーに保存できます。

1. プリンターの外部機器接続ポートに、外部メモリーを挿入します。
2. 原稿をセットします。

- 参考** 複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

3. ホーム画面で「スキャン」をタップします。
4. 「外部メモリー」をタップします。

5. 保存形式などを設定します。



6. その他の設定を確認し、必要に応じて変更します。

参考

- をタップすると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
- をタップすると、ユーザー設定値に戻ります。

7. をタップします。

関連情報

- ➔ [「各部の名称と働き」 10ページ](#)
- ➔ [「外部記憶装置のセットと取り出し」 35ページ](#)
- ➔ [「原稿のセット」 31ページ](#)
- ➔ [「お気に入りの使い方」 23ページ](#)

外部メモリー保存のスキャン設定項目

参考

他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

モノクロ/カラー：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は [カラー] ）

ファイル形式：

- ファイル形式
スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は [PDF] ）
- 圧縮率
スキャン画像をどのくらい圧縮するかを選択します。（初期値は [標準圧縮] ）
- PDF設定
保存形式を [PDF] にすると、PDFのセキュリティーが設定できます。
開くときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、文書を開くパスワードを設定します。印刷したり編集したりするときにパスワードが必要なPDFファイルを作成するには、権限パスワードを設定します。（初期値は [設定しない] ）

スキャン

解像度：

スキャン解像度を選択します。（初期値は200 dpi、最大値は600 dpi）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は [片面] ）

- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は [上向き] ）
- 開き方向(原稿)
原稿のとじ位置を選択します。（初期値は [左右開き] ）

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、[自動キリトリ] を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、[最大範囲] を選択します。（初期値は [自動検知] ）

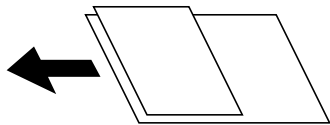
- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は [上向き] ）

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は [文字] ）

原稿サイズ混載：

用紙の幅が同じ（A3とA4、B4とB5）原稿は、混在させてADFにセットできます。混在させても原稿と同じサイズにスキャンします。セットするときは下図のようにセットしてください。（初期値は [オフ] ）



濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は±0、最大値は±4）

背景除去：

背景色の濃さを調整します。+をタップすると明るく（白く）、-をタップすると暗く（黒く）なります。
[自動] にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。（初期値は [[オン]] ）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は [オフ] ）

- 枠幅
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅
スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は [オフ] ）

スキャン

- 消し位置（初期値は〔左端〕）
パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向（初期値は〔上向き〕）
原稿の向きを選択します。

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は〔オフ〕）

ファイル名：

- ファイルヘッダー：
画像のファイル名の先頭部分を、半角英数字または記号で入力します。
- 日付を入れる：
ファイル名に日付を追加します。（初期値は〔オン〕）
- 時刻を入れる：
ファイル名に時間を追加します。（初期値は〔オン〕）

スキャンした画像をクラウドに保存する

スキャンした画像をクラウドサービスに保存できます。この機能を使う前に、Epson Connectの設定をしておいてください。詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

1. Epson Connectの設定が事前に完了していることを確認します。
2. 原稿をセットします。



複数枚の原稿をスキャンするときや両面スキャンをするときは、全ての原稿をADFにセットします。

3. ホーム画面で〔スキャン〕をタップします。
4. 〔クラウド〕をタップします。
5. 画面上部の  をタップして、宛先を選択します。

6. 保存形式などを設定します。



7. その他の設定を確認し、必要に応じて変更します。

- 参考**
- ★ をタップすると、ここで設定した内容をお気に入りに登録できます。
 - 🔧 をタップすると、ユーザー設定値に戻ります。

8. ◇をタップします。

関連情報

➡ [「原稿のセット」31ページ](#)

クラウド保存の設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

モノクロ/カラー：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。（初期値は［カラー］）

JPEG/PDF：

スキャンした画像の保存形式を選択します。（初期値は［PDF］）

両面設定：

原稿の両面をスキャンします。（初期値は［片面］）

- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は［上向き］）
- 開き方向(原稿)
原稿のとじ位置を選択します。（初期値は［左右開き］）

原稿読み取り：

スキャンする範囲を選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、［自動キリトリ］を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、［最大範囲］を選択します。（初期値は［自動検知］）

スキャン

- 原稿セット方向
原稿の向きを選択します。（初期値は [上向き] ）

原稿種類：

原稿の種類を選択します。（初期値は [文字] ）

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。（初期値は ±0、最大値は ±4）

背景除去：

背景色の濃さを調整します。+をタップすると明るく（白く）、-をタップすると暗く（黒く）なります。
[自動] にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。（初期値は [[オン]] ）

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。（初期値は [オフ] ）

- 枠幅
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅
スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。（初期値は [オフ] ）

- 消し位置（初期値は [左端] ）
パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿セット方向（初期値は [上向き] ）
原稿の向きを選択します。

ADF連続読込：

大量の原稿を複数回に分けて（継ぎ足して）セットし、一度のスキャンとして実行できます。（初期値は [オフ] ）

コンピューターからスキャンする

利用者制限がかかったプリンターでEpson Scan 2を使用する

利用者制限されているプリンターでは、Epson Scan 2でのスキャン時にユーザー名とパスワードが要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。

1. Epson Scan 2を起動します。
2. Epson Scan 2で、[スキャナー] に選択されているプリンターが正しいことを確認してください。

スキャン

3. 「[スキャナー]」で「[設定]」を選択し、「[スキャナーの設定]」画面を開きます。
4. 「[利用者制限]」をクリックします。
5. 「[利用者制限]」画面で、スキャンの権限を持つ「[ユーザー名]」と「[パスワード]」を入力します。
6. 「[OK]」をクリックします。

Epson Scan 2でスキャンする

スキャナードライバーのEpson Scan 2（エプソン スキャン ツー）でスキャンします。書類や文書に適した画質調整ができます。

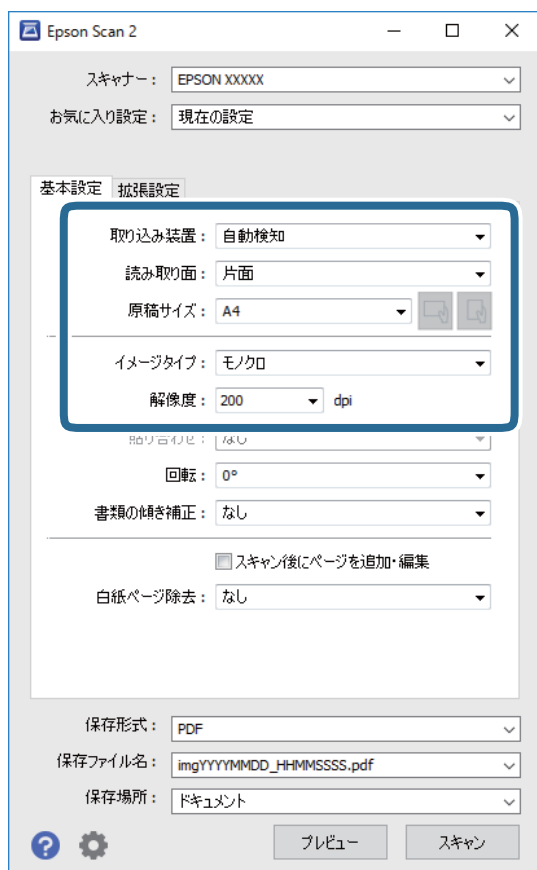
各設定項目の説明はEpson Scan 2のヘルプをご覧ください。

1. 原稿をセットします。



複数枚の原稿をスキャンするときは、全ての原稿をADFにセットしてください。

2. Epson Scan 2を起動します。
3. 「[基本設定]」タブで以下の設定をします。



- 取り込み装置：原稿をセットした装置を選択します。

スキャン

- 読み取り面：ADFからスキャンする場合に、スキャンする原稿の面を選択します。
- 原稿サイズ：セットした原稿のサイズを選択します。

- （原稿のセット方向）ボタン：原稿のセット方向を選択します。原稿のサイズによっては自動的に選択され、変更できません。
- イメージタイプ：スキャンした画像を保存するときの色を選択します。
- 解像度：解像度を設定します。

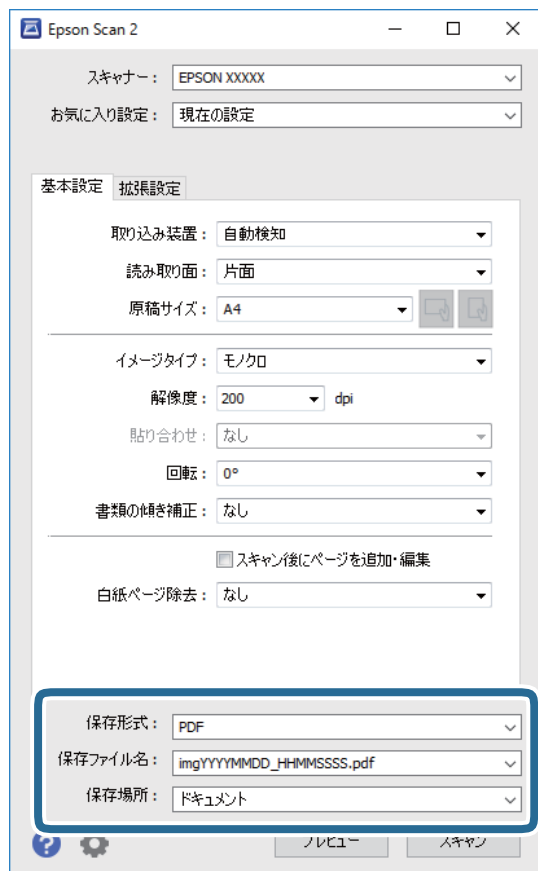
4. 必要に応じて、その他のスキャン設定をします。

- [プレビュー] ボタンをクリックすると画像をプレビューできます。プレビュー画面が開き、プレビュー画像が表示されます。
ADFでプレビューしたときは、ADFから原稿が排紙されます。原稿をセットし直してください。
- [拡張設定] タブでは、書類に適した以下のような画像調整ができます。
 - 背景除去：原稿の背景を除去できます。
 - 文字くっきり：ぼやけている書類の文字をくっきりとさせます。
 - 画像はっきり：画像付きの書類をモノクロでスキャンするときに、文字部分をくっきりとした白黒に、画像部分をなめらかな白黒にします。
 - 色強調：スキャンした画像を指定の色だけ強調して、グレーまたはモノクロで保存します。
 - しきい値：モノクロ2値（白と黒）の境を調整できます。
 - アンシャープマスク：画像の輪郭部分を強調してシャープにします。
 - モアレ除去：雑誌などの印刷物のスキャンで発生するモアレ（網目状の陰影）を除去します。
 - フチ消し：スキャンした画像のフチに写った影を除去します。
 - ダブルイメージ出力（Windowsのみ）：1回のスキャンで、出力設定の異なる2つの画像を同時に保存します。

参考

他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

5. ファイルの保存設定をします。



- 保存形式：スキャンした画像の保存形式を選択します。
 BITMAPとPNG以外は、保存形式の選択後にもう一度リストを開いて「詳細設定」を選択すると、詳細な設定ができます。
- 保存ファイル名：表示されているファイル名を確認します。
 「設定」を選択すると、ファイル名の設定を変更できます。
- 保存場所：スキャンした画像の保存場所を選択します。
 「その他」を選択すると、別のフォルダーの選択や新しいフォルダーの作成ができます。

6. 「スキャン」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」 31ページ](#)
- ➡ [「文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2）」 223ページ](#)

スマートデバイスからスキャンする

プリンターと同じ無線LANに接続したスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、Epson iPrint（エプソン アイプリント）で写真や文書をスキャンできます。スキャンしたデータはスマートデバイスやクラウドサービスに保存したり、メールで送信したり、印刷したりできます。



Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。

<http://ipr.to/c>



Epson iPrintでスキャンする

スマートデバイスでEpson iPrintを起動して、ホーム画面で使いたい項目を選択します。

スキャン

以下の画面は予告なく変更されることがあります。



①	起動時に表示されるホーム画面です。
②	プリンターの設定方法やFAQなどの情報ページを表示します。
③	プリンターの選択や設定をする画面を表示します。一度プリンターを選択すれば、次回からは選択しなくても使えます。
④	スキャン画面を表示します。
⑤	解像度などの設定画面を表示します。
⑥	スキャンした画像が表示されます。
⑦	スキャンを開始します。
⑧	スキャンしたデータをスマートデバイスやクラウドサービスに保存する画面を表示します。
⑨	スキャンしたデータをメールで送信する画面を表示します。
⑩	スキャンしたデータを印刷する画面を表示します。

NFCマークにスマートデバイスをタッチしてスキャンする

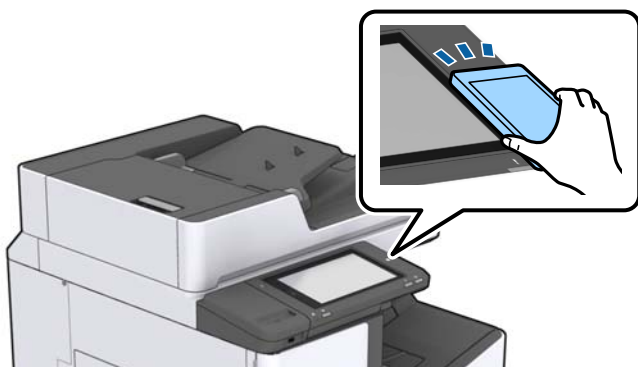
NFC(Near Field Communication)に対応したスマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねるだけで、プリンターと簡単に接続してスキャンできます。

以下の設定を事前に済ませてください。

スキャン

- スマートデバイスでNFCの設定を有効にしてください。
Android 4.0以降のデバイスのみNFCに対応しています。
スマートデバイスによってNFCの位置が異なります。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。
- Epson iPrintをスマートデバイスにインストールしておいてください。
スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねてインストールします。
- プリンターでWi-Fi Directを有効にしておいてください。

1. プリンターに原稿をセットします。
2. スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねます。



参考 プリンターのNFCマークとスマートデバイスのNFCの間に金属などの障害物があると、通信できないことがあります。

Epson iPrintが起動します。

3. Epson iPrintでスキャンのメニューを選択します。
4. 再度スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねます。
スキャンが始まります。

関連情報

➡ [「原稿のセット」31ページ](#)

印刷

外部メモリーのデータを印刷する

プリンターにセットした外部メモリー内のJPEGやPDF、TIFFデータを印刷します。

外部メモリー内のJPEGデータを印刷する

参考 外部メモリーに999以上の画像が入っていると、画像は自動的にグループ化され、グループ選択画面が表示されます。画像は撮影日順に表示されます。

1. プリンターの外部接続USBポートに外部メモリーを挿入します。
2. ホーム画面で「外部メモリーから印刷」をタップします。
3. 「JPEG印刷」をタップします。

読み込まれたデータはサムネイル表示されます。

「画像の並び順」の変更、「全ての画像を選択」、「画像の選択解除」、「グループ選択」の設定をするときは、をタップします。

4. 印刷するファイルをタップします。

選択した画像はチェックマークが付きます。



1つの画像をプレビューするときは、[全面表示] をタップします。拡大して見たいときは  をタップします。前後の画像を見たいときは  や  をタップします。



5. [基本設定] タブで給紙装置やカラーなど印刷設定をします。
6. 必要に応じて[応用設定] タブの設定をします。
設定項目の詳細は、外部メモリーから印刷時のメニューの説明をご覧ください。
7. 印刷部数をタップして設定します。
8.  をタップして印刷を開始します。
9. プリンターから外部メモリーを取り出します。

関連情報

- ➡ [「外部記憶装置のセットと取り出し」 35ページ](#)
- ➡ [「JPEG印刷時の基本設定メニュー」 154ページ](#)
- ➡ [「JPEG印刷時の応用設定メニュー」 154ページ](#)

外部メモリー内のPDF、TIFFデータを印刷する

1. プリンターの外部接続USBポートに外部メモリーを挿入します。
2. ホーム画面で[外部メモリーから印刷] をタップします。

3. 「PDF印刷」または「TIFF印刷」をタップします。

読み込まれたデータはリスト表示されます。



4. 印刷するファイルをタップします。
5. 「基本設定」タブで給紙装置やカラーなど印刷設定をします。
6. 必要に応じて「応用設定」タブの設定をします。
設定項目の詳細は、外部メモリーから印刷時のメニューの説明をご覧ください。
7. 印刷部数をタップして設定します。
8. ㊦をタップして印刷を開始します。
9. プリンターから外部メモリーを取り出します。

関連情報

- ➡ 「外部記憶装置のセットと取り出し」 35ページ
- ➡ 「PDF印刷時の基本設定メニュー」 155ページ
- ➡ 「PDF印刷時の応用設定メニュー」 155ページ
- ➡ 「TIFF印刷時の基本設定メニュー」 156ページ
- ➡ 「TIFF印刷時の応用設定メニュー」 156ページ

外部メモリーから印刷時のメニューの説明

操作パネルのホーム画面で「外部メモリーから印刷」をタップすると、外部メモリー内のデータを直接、簡単に印刷することができます。

JPEG印刷時の基本設定メニュー



(写真メニュー) :

画像ファイルの表示順、選択や選択解除を設定します。([ファイルの並び順] の初期値は [昇順])

用紙設定 :

使用する用紙の設定をします。(初期値は [C1])

レイアウト :

JPEGファイルの配置方法を選択します。[1面] は、1枚の用紙に1ファイルを印刷します。[20面] は、1枚の用紙に20ファイルを印刷します。[インデックス] は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。(初期値は [1面])

トリミング :

[オン] にすると、選択画像の上下(または左右)を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱい印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。(初期値は [オフ])

カラーモード :

[カラー(自動)] にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ(白黒)固定で印刷したい場合は、[モノクロ] を選択してください。(初期値は [カラー(自動)])

JPEG印刷時の応用設定メニュー

仕上げ :

- 仕上げ
複数ページの文書を部単位で印刷するには [ソート(1部ごと)] を選択します。ページ単位でまとめて印刷するには [グループ(ページごと)] を選択します。(初期値は [ソート(1部ごと)])
- [排紙方法]
印刷した用紙を1部ずつ交互にずらして排紙するには [シフト(ずらし)] * を選択します。(初期値は [標準])
- [ステーブル] *
ステーブルで留める位置を選択します。(初期値は [しない])

* フィニッシャーユニットが設定されているときに表示

印刷品質 :

[きれい] にすると、高品質で印刷できます。ただし、印刷に時間がかかります。(初期値は [標準])

自動画質補正 :

エプソン独自の画像解析・処理技術を使って自動的に高画質化します。自動補正をしたくないときは、[自動補正なし] を選択します。(初期値は [オートフォトファイン!EX(自動)])

赤目補正：

〔オン〕 にすると、赤く撮影された目の色を補正することができます。元のファイルは補正しません。画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されてしまうことがあります。（初期値は〔オフ〕）

日付表示：

撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。（初期値は〔オフ〕）

関連情報

- ➡ [「オプション品の種類と型番」 212ページ](#)
- ➡ [「フィニッシャーユニットを使った排紙やステープルの方法」 212ページ](#)

PDF印刷時の基本設定メニュー

外部メモリー内のPDF形式ファイルを印刷するときの設定項目です。

ファイルの並び順：

操作パネルの画面で表示するファイルの順番を選択します。（初期値は〔昇順〕）

用紙設定：

使用する給紙装置を指定します。（初期値は〔自動〕）

両面設定：

〔オン〕 にすると両面印刷ができます。また、〔とじ位置〕 も指定できます。初期値は、両面印刷〔オフ〕 とじ位置〔左右開き〕

印刷順序：

印刷するページの順番が指定できます。（初期値は〔正順印刷〕）

カラーモード：

〔カラー(自動)〕 にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ（白黒）固定で印刷したい場合は、〔モノクロ〕 を選択してください。（初期値は〔カラー(自動)〕）

PDF印刷時の応用設定メニュー

仕上げ

- 仕上げ：
複数ページの文書を部単位で印刷するには〔ソート(1部ごと)〕 を選択します。ページ単位でまとめて印刷するには〔グループ(ページごと)〕 を選択します。（初期値は〔ソート(1部ごと)〕）
- 排紙方法：
印刷した用紙を1部ずつ縦横交互に排紙するには〔90度回転〕 を選択します。この機能を使うには〔自動〕 で〔用紙設定〕 を選択してください。印刷した用紙を1部ずつ交互にずらして排紙するには〔シフト(ずらし)〕 *を選択します。（初期値は〔標準〕）

- ステープル*:
ステープルで留める位置を選択します。（初期値は [しない] ）

* フィニッシャーユニットが設定されているときに表示

関連情報

- ➡ [「オプション品の種類と型番」 212ページ](#)
- ➡ [「フィニッシャーユニットを使った排紙やステープルの方法」 212ページ](#)

TIFF印刷時の基本設定メニュー

外部メモリー内のTIFF形式ファイルを印刷するときの設定項目です。

ファイルの並び順：

ファイル名の昇順または降順にファイルを並べ替えます。（初期値は [昇順] ）

用紙設定：

使用する用紙の設定をします。（初期値は [C1] ）

レイアウト：

マルチTIFFファイルの配置方法を選択します。[1面] は、1枚の用紙に1ページ印刷します。[20面] は、1枚の用紙に20ページ印刷します。[インデックス] は、撮影情報付きのインデックス印刷をします。（初期値は [1面] ）

トリミング：

[オン] にすると、選択画像の上下（または左右）を自動的に切り取って指定の印刷レイアウトにフィットするように印刷します。画像データと用紙サイズの縦横比が異なる場合、画像の短辺を用紙の短辺に合わせて印刷領域いっぱい印刷します。長辺は印刷領域からはみ出る部分が切り取られます。また、パノラマ写真では設定が無効になることがあります。（初期値は [オフ] ）

カラーモード：

[カラー(自動)] にしておくと、印刷データを自動で判別して印刷します。モノクロ（白黒）固定で印刷したい場合は、[モノクロ] を選択してください。（初期値は [カラー(自動)] ）

TIFF印刷時の応用設定メニュー

仕上げ：

- 仕上げ
複数ページの文書を部単位で印刷するには [ソート(1部ごと)] を選択します。ページ単位でまとめて印刷するには [グループ(ページごと)] を選択します。（初期値は [ソート(1部ごと)] ）
- [排紙方法]
印刷した用紙を1部ずつ交互にずらして排紙するには [シフト(ずらし)] *を選択します。（初期値は [標準] ）

- [ステーブル] *
ステーブルで留める位置を選択します。（初期値は [しない] ）

* フィニッシャーユニットが設定されているときに表示

印刷品質：

[きれい] にすると、高品質で印刷できます。ただし、印刷に時間がかかります。（初期値は [標準] ）

印刷順序：

マルチTIFFファイルの印刷するページの順番が指定できます。（初期値は [正順印刷] ）

日付表示：

撮影日を入れて印刷するときの表示方法を指定します。レイアウトによっては日付が印刷できません。
（初期値は [オフ] ）

関連情報

- ➡ [「オプション品の種類と型番」 212ページ](#)
- ➡ [「フィニッシャーユニットを使った排紙やステーブルの方法」 212ページ](#)

Windowsプリンタードライバーから印刷する

プリンタードライバーの設定が変更できないときは、管理者によって使用可能な機能が制限されている可能性があります。管理者に問い合わせてください。

プリンタードライバーの開き方

コンピュータのコントロールパネルからプリンタードライバーを表示して設定を変更すると、その設定が全てのアプリケーションソフトに適用されます。

コントロールパネルからの表示方法

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンター] - [ハードウェアとサウンド] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

印刷

- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。

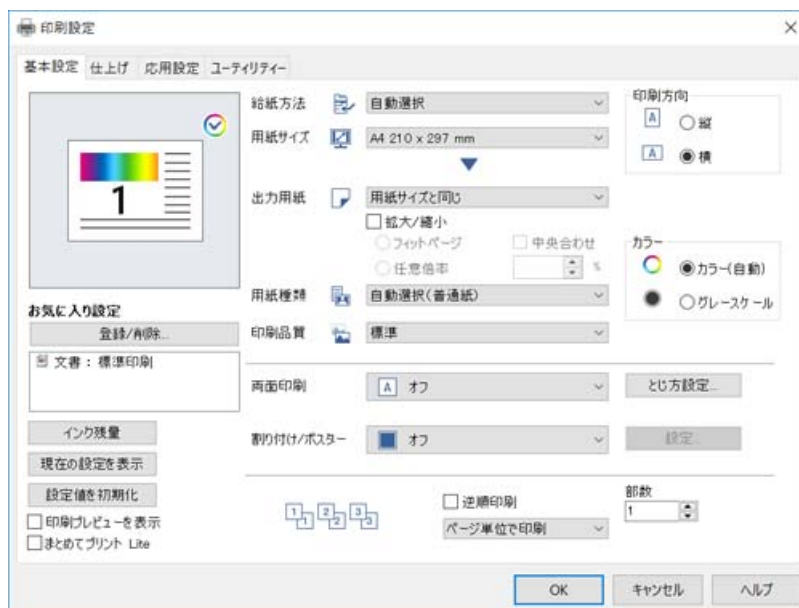
プリンターアイコンをクリックして [プリンター設定] を選択すると、コントロールパネルから表示させたときと同じ印刷設定画面が表示できます。プリンターアイコンをダブルクリックすると、プリンタの状態を確認できます。

参考 タスクバーにプリンターアイコンが表示されていない場合は、プリンタードライバーの画面を表示させて [ユーティリティ] タブの [通知の設定] をクリックして、[呼び出しアイコンをタスクバーに登録する] をチェックしてください。

基本の印刷

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

- 印刷するファイルを開きます。
プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。
- [ファイル] メニューの [印刷] (または [プリント] など) を選択します。
- プリンターを選択します。
- [プロパティ] (または [詳細設定] など) をクリックして、プリンタードライバー (詳細な印刷設定) の画面を表示させます。



- 必要に応じて設定を変更します。
各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

参考

- 各項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプでも確認できます。項目上で右クリックすると「ヘルプ」が表示されます。
- 「印刷プレビューを表示」にチェックすると、印刷を開始する前に印刷イメージを確認できます。

6. 「OK」をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じます。

7. 「印刷」をクリックします。

参考

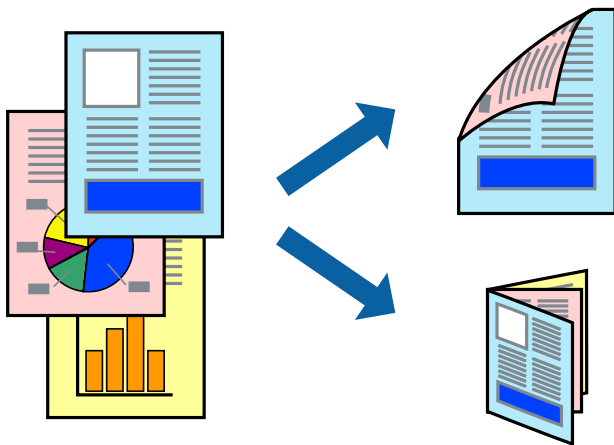
「印刷プレビューを表示」にチェックしていると、プレビュー画面が表示されます。設定を変更する場合は、「キャンセル」をクリックして手順2からやり直してください。

関連情報

- ➔ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)
- ➔ [「用紙のセット方法」 28ページ](#)
- ➔ [「セットした用紙種類の設定」 30ページ](#)
- ➔ [「プリンタードライバーのメニュー説明」 176ページ](#)

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。また、折り上げたときに冊子になるように、ページを並び替えて印刷することもできます。



参考

- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

- ➔ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)

設定方法

1. プリンタードライバーで、「基本設定」タブの「両面印刷」から、「両面(自動) - 長辺とじ」または「両面(自動) - 短辺とじ」を選択します。

2. 「とじ方設定」をクリックし、各項目を設定して「OK」をクリックします。

冊子を作成するには「ブックレット」にチェックします。

3. 「印刷」をクリックします。

関連情報

- ➡ 「基本の印刷」 158ページ
- ➡ 「基本設定タブ」 176ページ

複数ページを1ページに印刷する

1枚の用紙に2ページまたは4ページのデータを割り付けて印刷できます。



設定方法

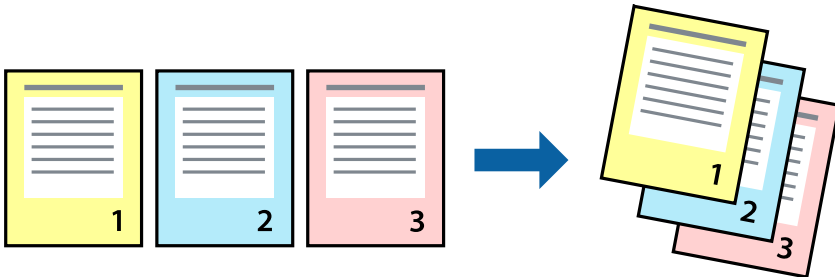
プリンタードライバーで、「基本設定」タブの「割り付け/ポスター」から、「2 ページ割付」または「4 ページ割付」を選択します。

関連情報

- ➡ 「基本の印刷」 158ページ
- ➡ 「基本設定タブ」 176ページ

ページ順に印刷する（逆順印刷）

【仕上げ】タブの【排紙先】設定でフェイスアップ排紙トレイを選択してこの機能を使用すると、最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように排紙できます。



設定方法

プリンタードライバーの【基本設定】タブで、【逆順印刷】にチェックします。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」158ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」176ページ](#)

拡大縮小して印刷する

任意の倍率や用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーで、【基本設定】タブの【用紙サイズ】から、印刷データのサイズを選択します。【出力用紙】で印刷したい用紙サイズを選択します。任意の倍率で拡大または縮小印刷するには、【任意倍率】を選択して倍率を入力します。

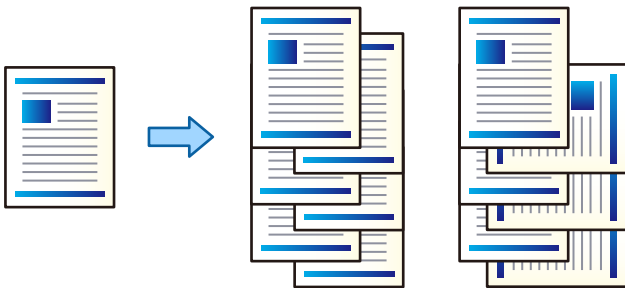
「中央合わせ」にチェックすると、出力用紙に余白ができるときに用紙の中央に印刷されます。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」 158ページ](#)
- ➔ [「基本設定タブ」 176ページ](#)

印刷物を縦横交互に90度回転して排紙する、1部ずつずらして排紙する

印刷物を縦横交互に排紙できます。また、オプションのフィニッシャーユニットを使用すると、1部ずつずらして排紙したり、ステープル（ホチキス）したりできます。



設定方法

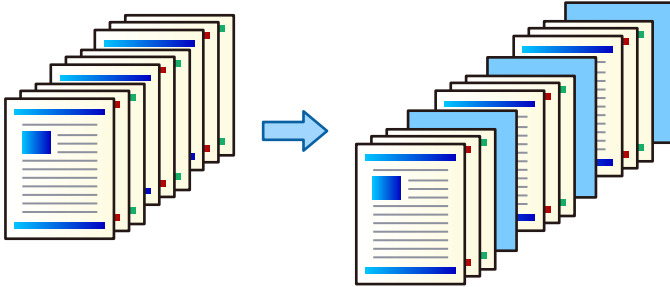
1. プリンタードライバーで、**「仕上げ」** タブの**「排紙方法」** から、複数部印刷するときの排紙方法を選択します。
 - **「90度回転」**：複数部を印刷するときに、1部ずつ縦横交互に排紙します。
この機能は、2つの給紙装置を使用します。片方の給紙装置に用紙を縦向きにセットし、もう片方に横向きにセットして、**「給紙方法」** 設定として**「自動選択」** にしている必要があります。また、**「排紙先」** 設定として**「自動選択」** または**「フェイスダウン排紙トレイ」** が選択している必要があります。印刷物はフェイスダウン排紙トレイに排紙されます。
 - **「シフト（ずらして排紙）」**：複数部を印刷するときに、1部ずつ交互にずらして排紙します。オプションのフィニッシャーユニットが取り付けられているときに有効になります。
2. オプションのフィニッシャーユニットを使用している場合は、必要に応じてステープルする位置を選択します。
3. 他の項目を設定して、**「OK」** をクリックします。
4. **「印刷」** をクリックします。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」 158ページ](#)
- ➔ [「仕上げタブ」 178ページ](#)

合紙を入れる

部数間やジョブ間に合紙を入れられます。



参考 プリンターの操作パネルの [設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [外部機器(PC)印刷設定] - [ユーザー間合紙設定] で、コンピューターから印刷時に送信者が異なる場合にユーザー間に合紙を入れることもできます。

設定方法

1. プリンタードライバーの [仕上げ] タブで [給紙方法] の隣にある [合紙] をクリックして、印刷物に合紙を入れる方法を選択します。
 - 部数間合紙：部数間に合紙を入れます。
 - ジョブ間合紙：ジョブの先頭に合紙を入れます。
2. 合紙に使用する給紙装置を選択します。
3. [部数間合紙] の場合は、[合紙挿入の部数] で合紙をどの部数の終わりに入れるかを指定します。
[基本設定] タブの [部数] 設定で、複数部数の指定が必要です。
4. [OK] をクリックして [合紙機能] 画面を閉じます。
5. 他の項目を設定して、[OK] をクリックします。
6. [印刷] をクリックします。

プリンターのメモリーにデータを保存して印刷する

大量の文書を印刷する前に、1部だけ印刷して内容を確認することができます。2部目以降はプリンターの操作パネルを操作して印刷します。

設定方法

1. プリンタードライバーで [仕上げ] タブの [印刷方法] 設定から [試し印刷] を選択します。

2. 「設定」をクリックし、「ユーザー名」と「ジョブ名」を入力して、「OK」をクリックします。
ジョブ名を設定することで、プリンターの操作パネル上でジョブが識別できます。
3. 他の項目を設定して、「OK」をクリックします。
4. 「印刷」をクリックします。
1部だけ印刷され、2部目以降はプリンターのメモリーに保存されます。
保存されたデータは、プリンタの電源を切ると削除されます。

関連情報

- ➡ 「基本の印刷」 158ページ
- ➡ 「仕上げタブ」 178ページ

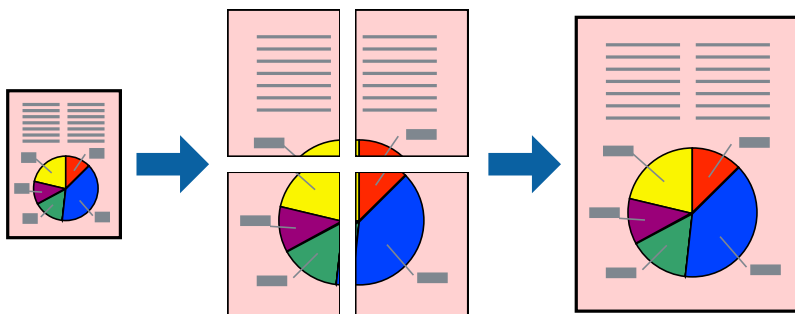
保存されているデータの印刷

1. 操作パネルで「本体メモリーからの印刷」をタップします。
2. 印刷するジョブを選択します。
一覧から「ユーザー名」を選択して、印刷したいジョブを選びます。パスワードの入力を要求されたら、プリンタードライバーで設定したパスワードを入力します。
3. 𠂇をタップして印刷を開始します。

参考 メモリーから削除したい場合は、「削除」をタップします。

複数用紙に分割して拡大印刷する（ポスター）

1ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせるとポスターのような大きな印刷物になります。



設定方法

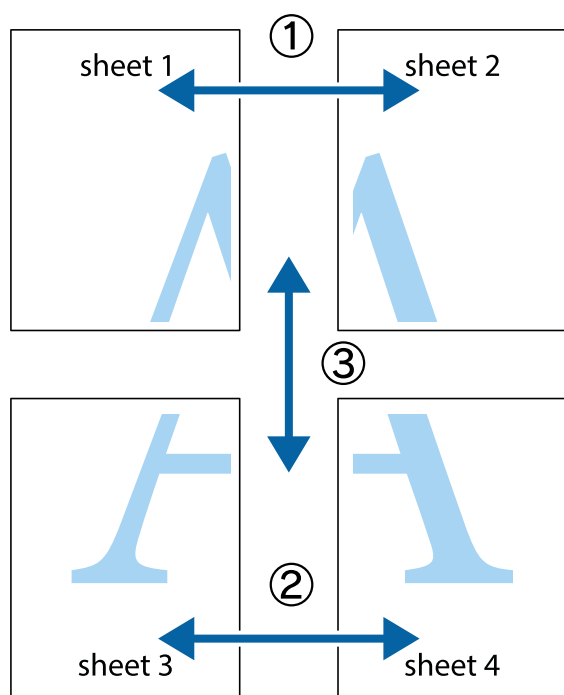
プリンタードライバーで、[基本設定] タブの [割り付け/ポスター] から [2×1 ポスター]、[2×2 ポスター]、[3×3 ポスター] または [4×4 ポスター] のいずれかを選択します。[設定] をクリックすると、印刷しないページや貼り合わせ時のガイドを印刷するかどうかを設定できます。

関連情報

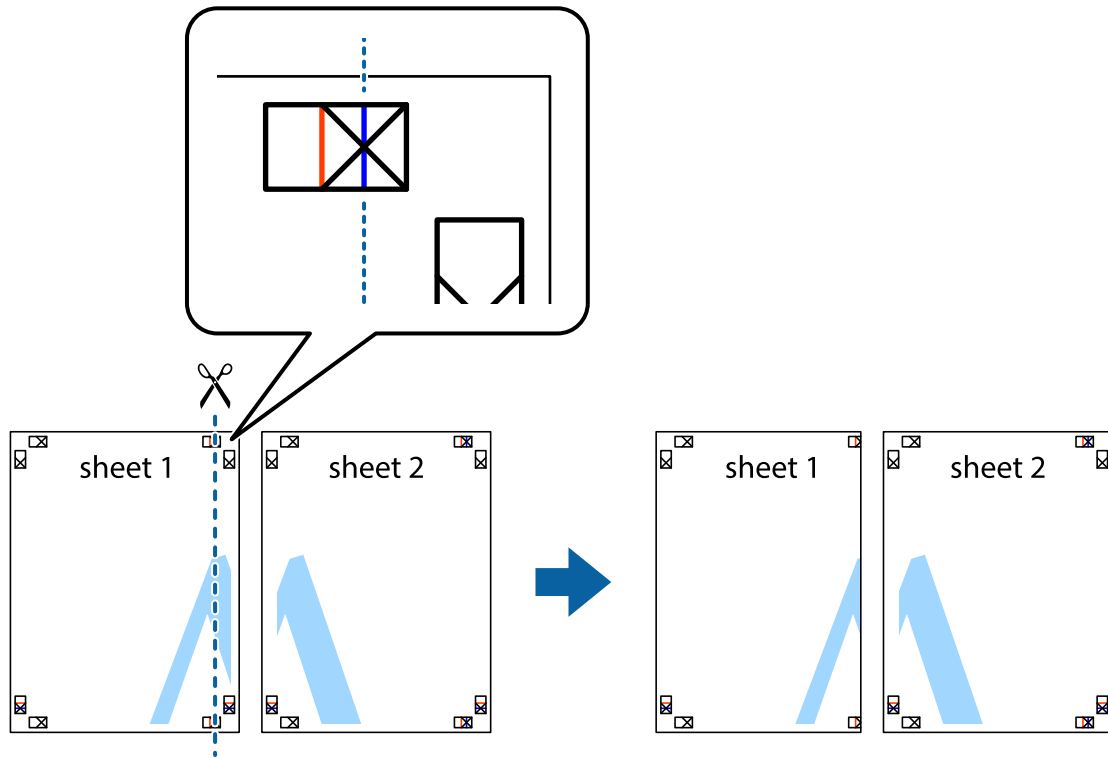
- ➡ [「基本の印刷」 158ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 176ページ](#)

「貼り合わせガイドを印刷」を使ってポスターを作る

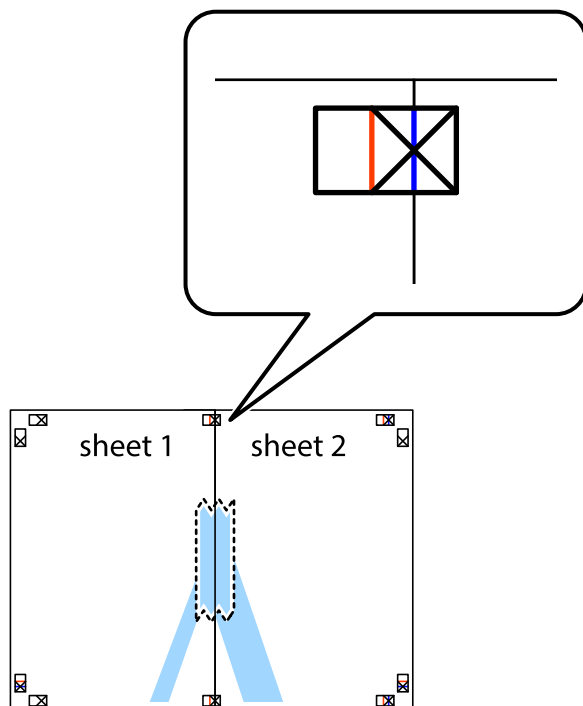
ここでは [2×2 ポスター] を選択して、[ガイド印刷] を [貼り合わせガイドを印刷] にしたときの用紙の貼り合わせ方を例に説明します。



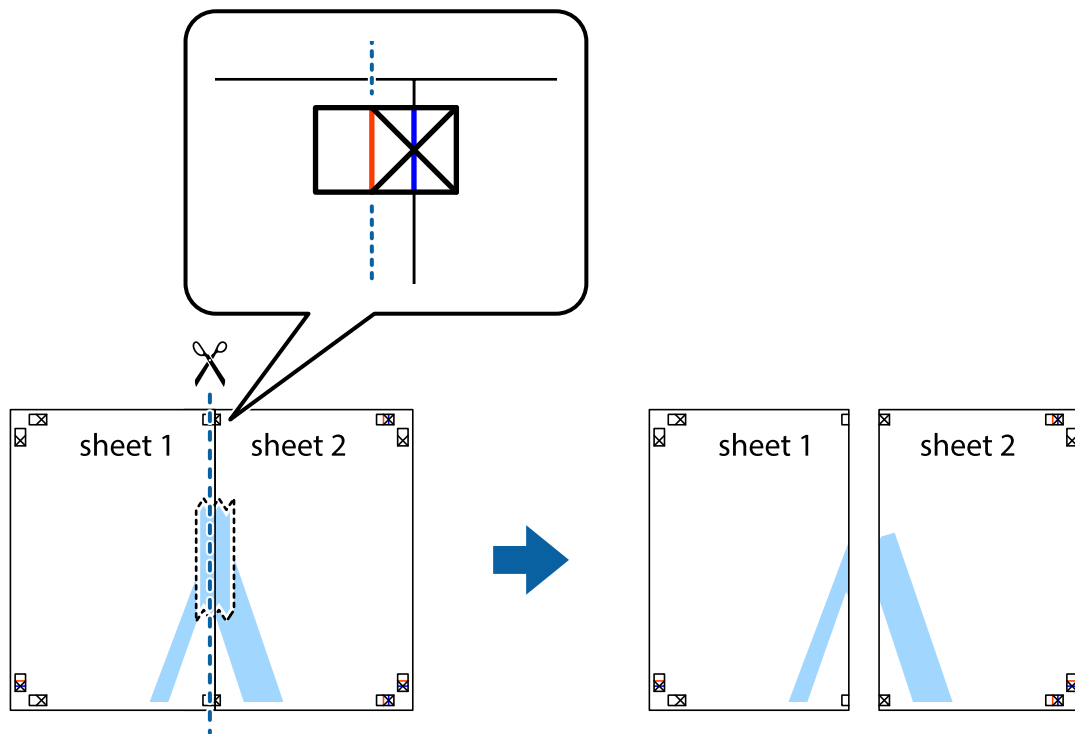
1. Sheet 1とSheet 2を用意します。Sheet 1を、×印と交わっている縦線（青色）を結ぶ線で切ります。



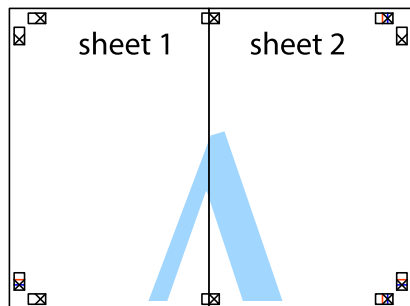
2. Sheet 1をSheet 2の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



3. ×印の左側の縦線（赤色）を結ぶ線で切ります。

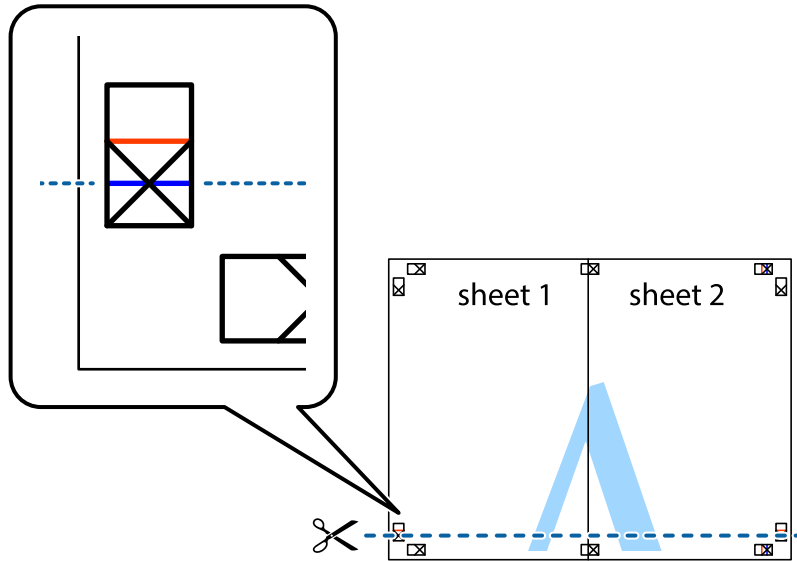


4. 裏面にテープを貼って合わせます。

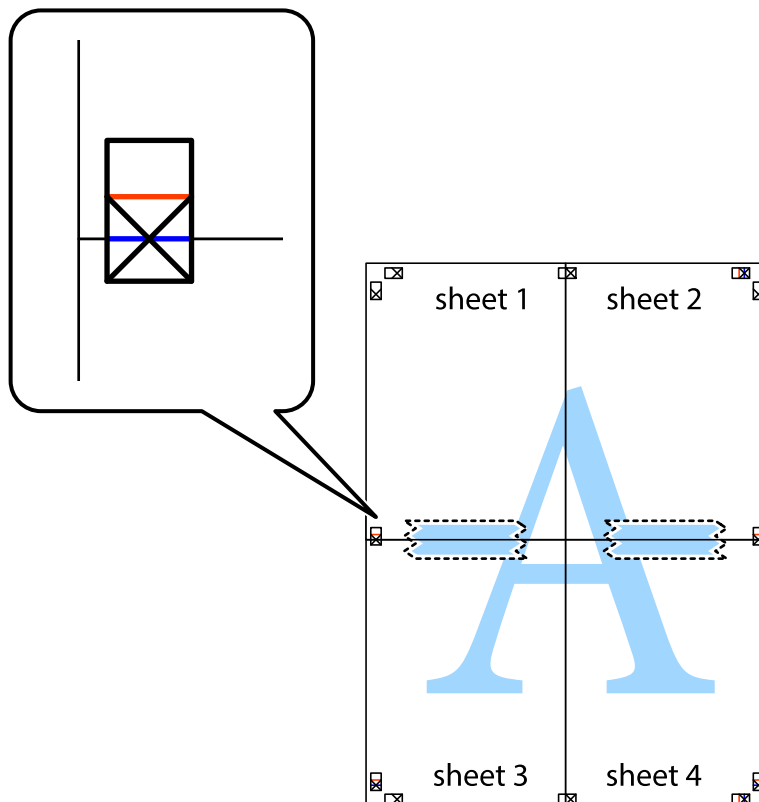


5. Sheet 3とSheet 4も手順1～4と同じように貼り合わせます。

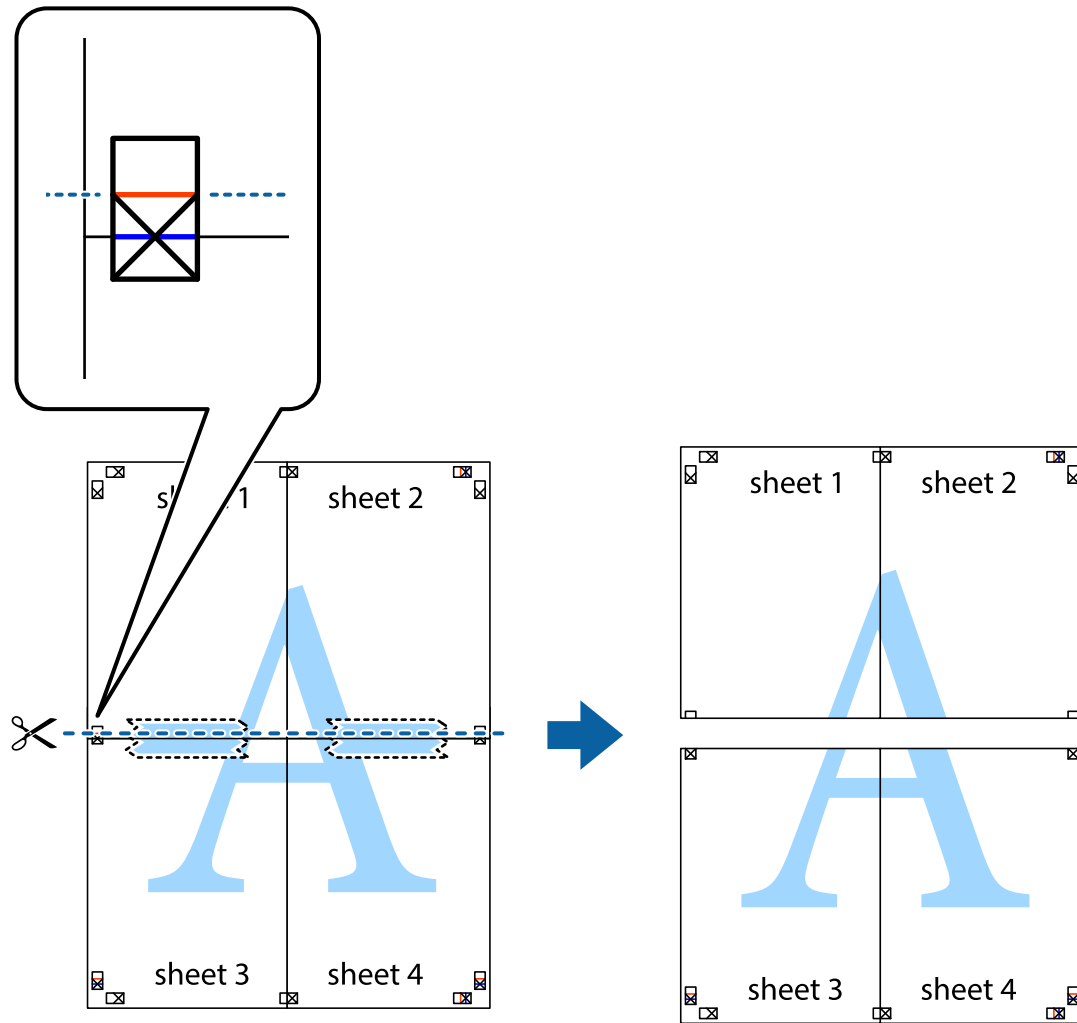
6. Sheet 1とSheet 2を、×印に交わった横線（青色）を結ぶ線で切ります。



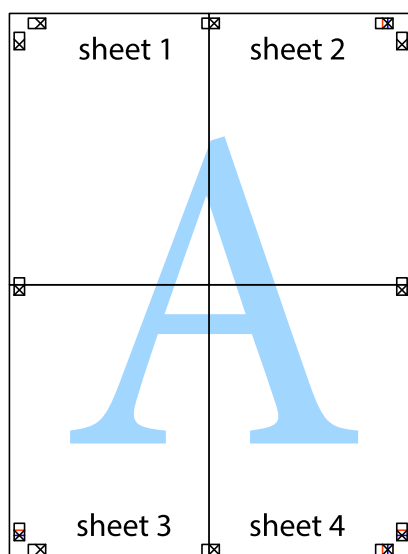
7. Sheet 1とSheet 2をSheet 3とSheet 4の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



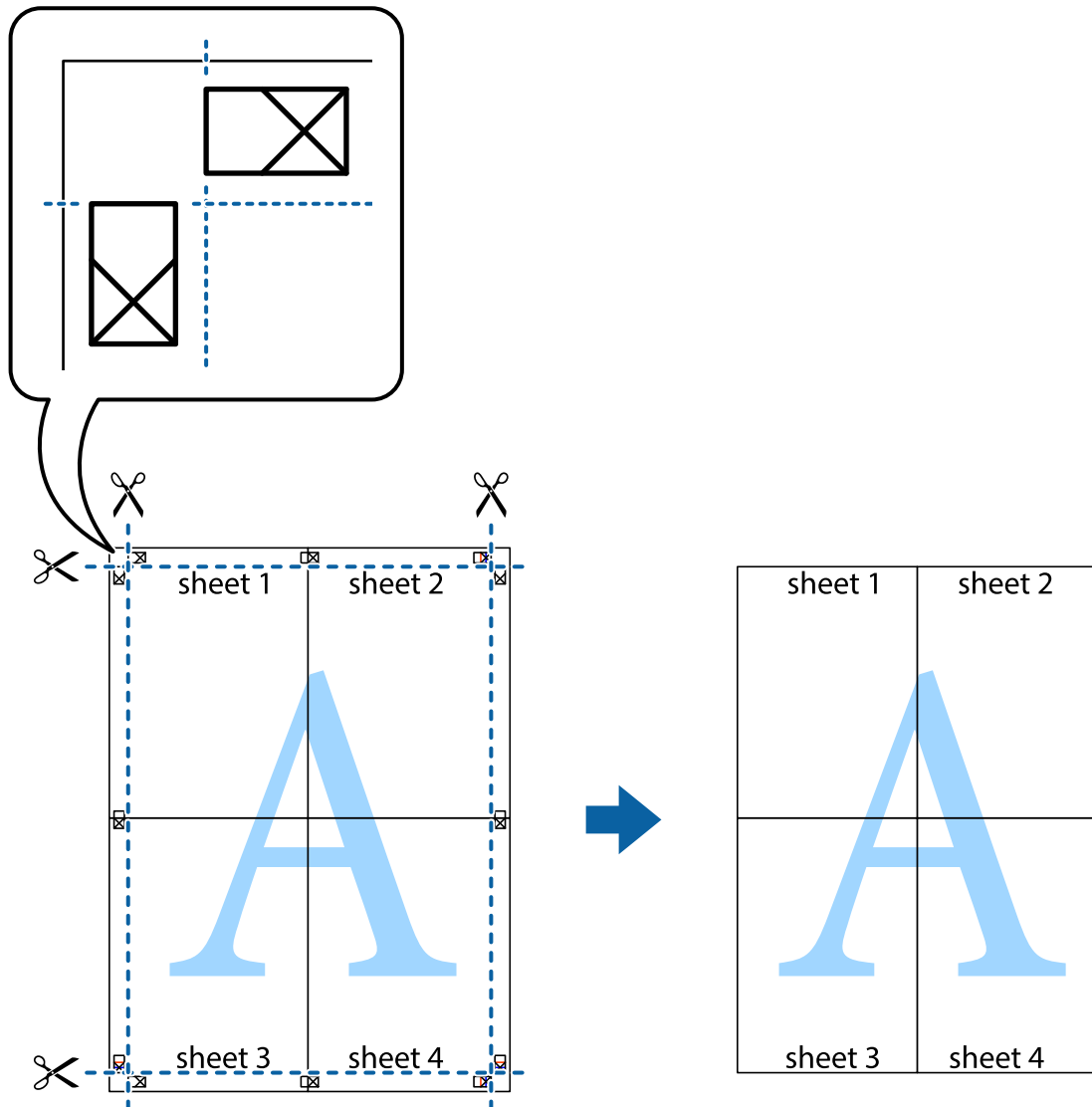
8. ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切ります。



9. 裏面にテープを貼って合わせます。

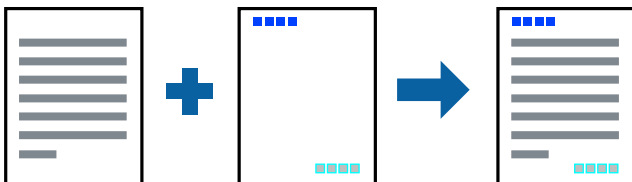


10. 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



ヘッダーやフッターを入れて印刷する

用紙のヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーの「応用設定」タブで「背景の設定」をクリックして、「ヘッダー/フッター」にチェックします。
「設定」をクリックして印刷したい項目を選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」158ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」179ページ](#)

透かしを入れて印刷する（透かし印刷）

印刷データに「マル秘」などのマークや、「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるように印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙、厚紙
- 印刷品質：標準
- 自動両面印刷：無効
- 色補正：自動

参考 任意のマークや透かし文字も登録できます。

設定方法

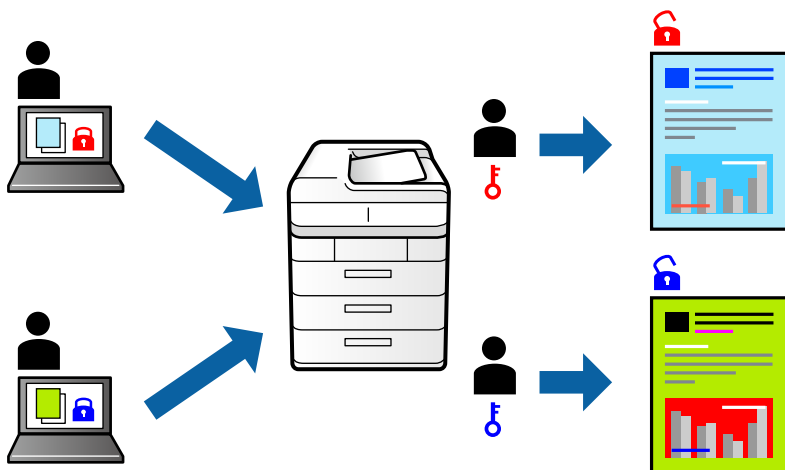
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「背景の設定」をクリックして、透かし印刷やスタンプマークの種類を選択します。「設定」をクリックすると、透かしのサイズ、濃度、位置などが変更できます。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」158ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」179ページ](#)

データにパスワードを設定して印刷する

印刷ジョブにパスワードを設定して、プリンターの操作パネルからパスワードが入力されるまで印刷できないようにします。



設定方法

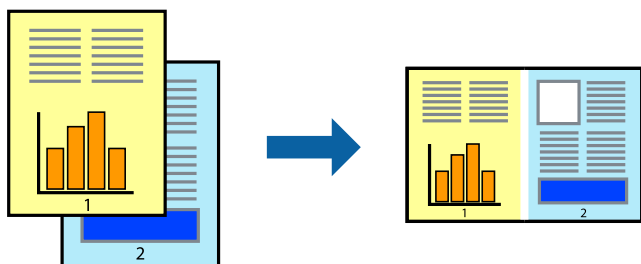
プリンタードライバーで「仕上げ」タブの「印刷方法」から「パスワード印刷」を選択して、パスワードを入力します。印刷するには、プリンターのホーム画面で「パスワード印刷」をタップします。印刷するジョブを選択してパスワードを入力します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 158ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 179ページ](#)

複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめてプリント）

まとめてプリントLiteを使うと、異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを1つにまとめて割り付け印刷や両面印刷ができます。



設定方法

プリンタードライバーの「基本設定」タブで、「まとめてプリントLite」にチェックします。印刷を開始するとまとめてプリントLite画面が表示されます。まとめてプリントLite画面を表示したまま1つにまとめたい他のファイルを開き、作業を繰り返します。

まとめてプリントLite画面の印刷プロジェクトに追加された印刷データを選択すると、割り付け順序などが編集できます。

「ファイル」メニューの「印刷」をクリックして印刷を開始してください。

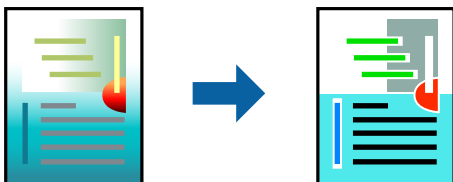
参考 全ての印刷データを印刷プロジェクトに追加する前にまとめてプリントLite画面を閉じると、それまでの作業が取り消されます。「ファイル」メニューの「保存」をクリックして現在の作業が保存できます。保存したファイルの拡張子は"ecl"です。
保存したファイルを開くには、プリンタードライバーの「ユーティリティ」タブで「まとめてプリントLite」をクリックして、まとめてプリントLite画面を開きます。その後「ファイル」メニューの「開く」から、対象のファイルを選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」158ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」176ページ](#)

カラーユニバーサルデザイン（CUD）で印刷する

文字や画像の視認性を向上させて印刷できます。



カラーユニバーサルプリントは、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙、レターヘッド、再生紙、色つき用紙、印刷済み用紙、厚紙
- 印刷品質：「標準」以上の高品位
- 印刷の色：「カラー」
- アプリケーションソフト：Microsoft® Office 2007以降
- 文字サイズ：96ポイント以下

設定方法

プリンタードライバーで「応用設定」タブの「色補正」設定から「画像処理設定」をクリックします。「カラーユニバーサルプリント」の種類を選択します。「装飾の設定」をクリックすると、詳細な装飾の方法を設定できます。

参考

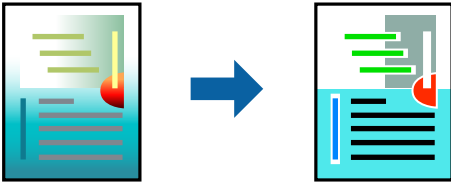
- 装飾すると文字の意味が変わってしまうことがあります（「+」が「土」に見えるなど）。
- アプリケーションソフトの機能で装飾した文字やグラフなどは、正常に印刷されないことがあります。
- 写真などの画像はカラーユニバーサルプリントで印刷すると、画質が低下することがあります。
- カラーユニバーサルプリントを有効にすると、印刷速度が遅くなります。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 158ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 179ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。



参考

元データは補正しません。

設定方法

プリンタードライバーの「応用設定」タブの「色補正」設定で「ユーザー設定」を選択します。「設定」をクリックして「色補正」画面を開き、色補正の方法を選択します。

参考

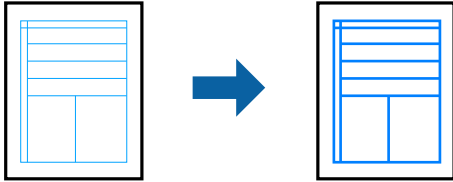
- 初期値は、「応用設定」タブで「自動」に設定されています。用紙種類と印刷品質の設定に合わせて、最適な色合いに自動補正されます。
- 「色補正」画面の「オートフォトファイン!EX」は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、「オートフォトファイン!EX」以外のモードで印刷してください。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 158ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 179ページ](#)

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーで「応用設定」タブの「色補正」から「画像処理設定」をクリックします。「細線を鮮明にする」から項目を選択します。

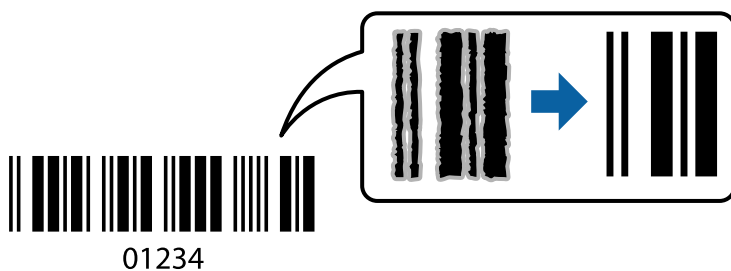
参考 細い線をそのままの細さで印刷したいときは、「細線を鮮明にする」で「オフ」を選択してください。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」 158ページ](#)
- ➔ [「応用設定タブ」 179ページ](#)

バーコードのにじみを抑えて印刷する

インクのにじみを抑えて、バーコードを読み取りやすくします。印刷したバーコードがうまく読み取れないときに設定してください。



このモードは以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙、コピー用紙レターヘッド、再生紙、色つき、印刷済み、郵便ハガキ、厚紙、封筒
- 印刷品質：標準

参考 お使いのアプリケーションによっては、バーコードが読み取りやすくないことがあります。

設定方法

プリンタードライバーの「ユーティリティ」タブで「拡張設定」をクリックして、「バーコードモード」にチェックします。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 158ページ](#)
- ➡ [「ユーティリティタブ」 180ページ](#)

印刷を中止する

コンピュータから印刷を中止できます。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピュータからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

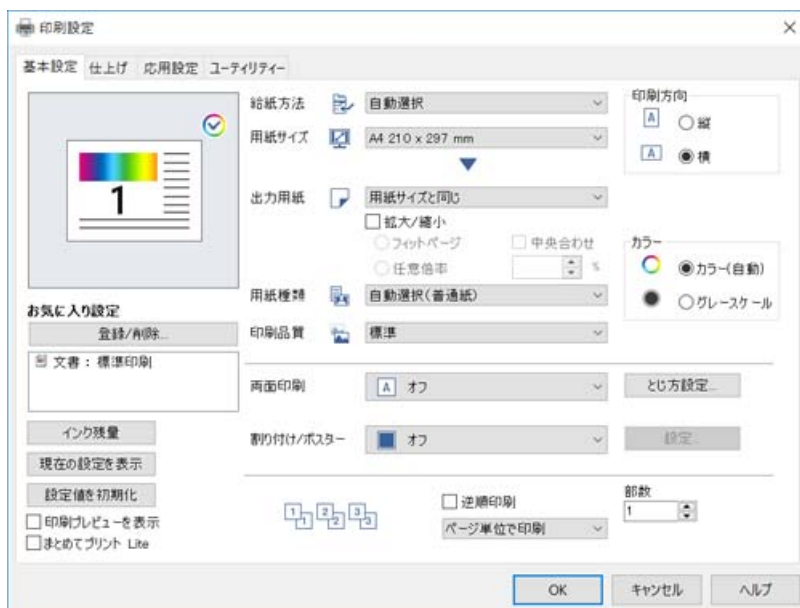
コンピュータの［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとファクス］）で、お使いのプリンターを右クリックします。［印刷ジョブの表示］をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、［キャンセル］を選択します。

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

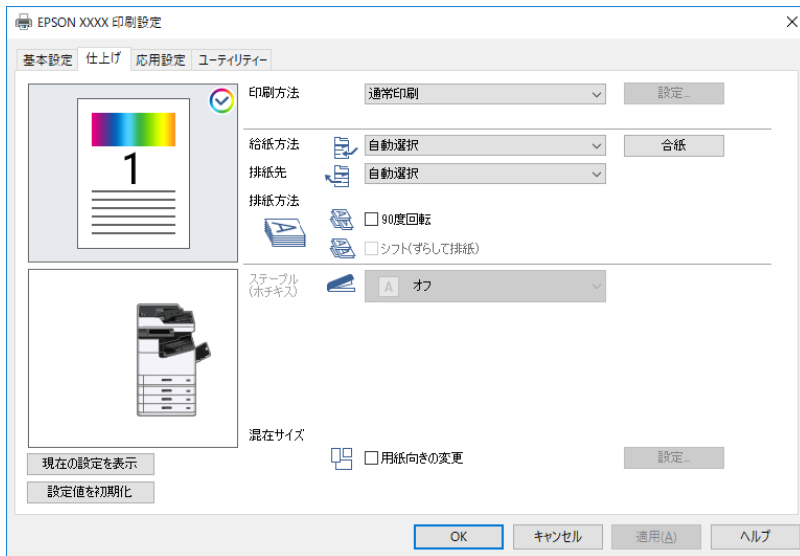
基本設定タブ



印刷

お気に入り設定	登録/削除	多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。
インク残量	インク残量の目安を表示します。	
現在の設定を表示	〔基本設定〕タブや〔仕上げ〕タブ、〔応用設定〕タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。初期化は、〔仕上げ〕タブや〔応用設定〕タブにも適用されます。	
印刷プレビューを表示	印刷を開始する前に印刷イメージを表示します。	
まとめてプリントLite	まとめてプリントLiteを使用して印刷するときに選択します。	
給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。〔自動選択〕にしておくと、プリンターの〔用紙設定〕と一致する給紙装置を自動で選択します。	
印刷方向	印刷の向きを選択します。	
用紙サイズ	印刷するデータのサイズを選択します。〔ユーザー定義サイズ〕は、用紙の幅と長さを入力します。	
出力用紙	出力する用紙サイズを選択します。〔出力用紙〕と〔用紙サイズ〕が異なるときは、〔拡大/縮小〕と〔フィットページ〕が自動的に選択されます。任意の倍率で拡大または縮小印刷するには、〔任意倍率〕を選択して倍率を入力します。 〔中央合わせ〕にチェックすると、出力用紙に余白ができるときに用紙の中央に印刷されます。	
カラー	印刷する色を選択します。	
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。	
印刷品質	印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。	
両面印刷	両面印刷を有効にします。	
	とじ方設定	出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を用紙の表または裏から印刷するかを選択できます。
割り付け/ポスター	割り付け印刷やポスター印刷を有効にします。〔設定〕では、ページの配置順などが設定できます。	
逆順印刷	〔排紙先〕設定でフェイスアップ排紙トレイを選択してこの機能を使用すると、最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように排紙できます。	
部単位で印刷/ページ単位で印刷	複数ページのデータを、一部ずつ印刷するかページごとで印刷するかを選択します。	
部数	印刷する部数を設定します。	

仕上げタブ

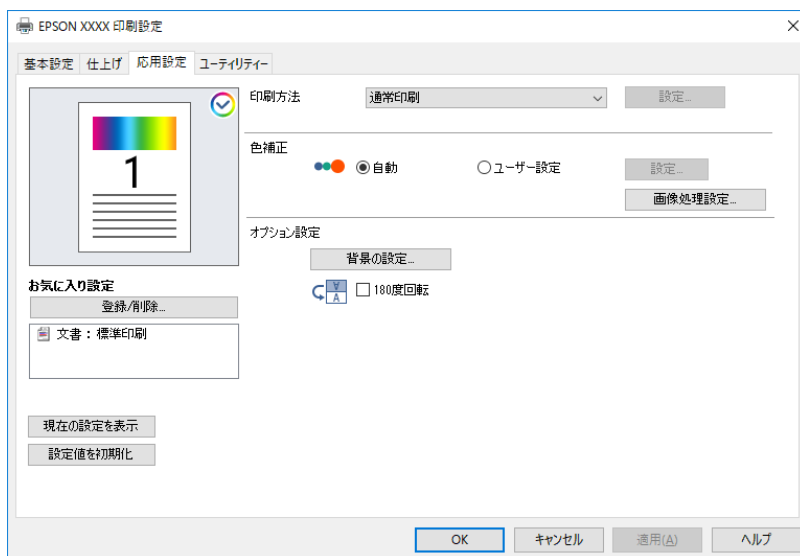


設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。初期化は、〔基本設定〕タブや〔応用設定〕タブにも適用されます。	
現在の設定を表示	〔基本設定〕タブや〔仕上げ〕タブ、〔応用設定〕タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
印刷方法	印刷データをプリンターのメモリーに保存して印刷するかどうかを選択します。	
	通常印刷	印刷データは保存されません。
	パスワード印刷	印刷ジョブにパスワードを設定します。パスワードを設定すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。〔設定〕で、入力した内容の変更ができます。
	試し印刷	複数部印刷するときに、最初の1部だけを印刷して内容を確認することができます。プリンターの操作パネルを操作することで、2部目以降を印刷します。〔設定〕をクリックして、〔ユーザー名〕と〔ジョブ名〕を設定します。
	プリンターに保存して印刷	印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。〔設定〕をクリックして、〔ユーザー名〕と〔ジョブ名〕を設定します。
	認証印刷	印刷ジョブに認証情報を設定します。認証情報を設定すると、プリンターで認証情報を入力するまで印刷されません。認証印刷を使用するときのみ表示されます。
給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。〔自動選択〕にしておくと、プリンターの〔用紙設定〕と一致する給紙装置を自動で選択します。 〔用紙毎に給紙装置を分ける〕を選択すると、文書のページ毎に複数の給紙装置を選択できます。おもて表紙、うら表紙に印刷するかどうかを選択できます。	
	合紙	印刷物に合紙を入れる設定をします。
排紙先	印刷後の用紙をどこに排紙するかを選択します。設定の組み合わせによっては自動で設定されることがあります。	

印刷

排紙方法	複数部印刷するときの排紙方法を選択します。	
	90度回転	印刷した用紙を1部ずつ縦横交互に排紙します。この機能を使うには、[給紙方法] で [自動選択] を選び、[排紙先] で [自動選択] または [フェイスダウン排紙トレイ] を選択します。フェイスダウン排紙トレイに積み重ねて排紙されます。
	シフト（ずらして排紙）*	印刷した用紙を1部ずつ交互にずらして排紙します。この機能を使うには、[排紙先] で [フィニッシャー下トレイ] を選択します。
ステーブル（ホチキス）*	ステーブルで留める位置を選択します。	
混在サイズ	以下の原稿サイズが混在している場合は、大きなサイズ of 用紙の短辺と小さなサイズ of 用紙の長辺を合わせて印刷物を積み重ねます。[用紙向きの変更] を選択し、[設定] をクリックして用紙の向きと綴じ代を設定します。 • A3/A4 • B4/B5	

応用設定タブ

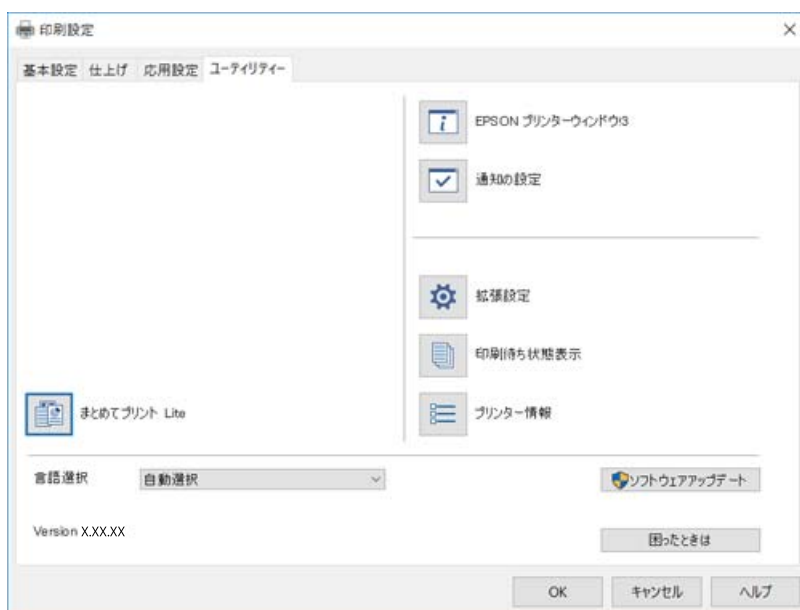


お気に入り設定	登録/削除	多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。
現在の設定を表示	[基本設定] タブや [仕上げ] タブ、[応用設定] タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。初期化は、[基本設定] タブや [応用設定] タブにも適用されます。	

印刷

印刷方法	通常印刷	印刷データは保存されません。
	パスワード印刷	印刷ジョブにパスワードを設定します。パスワードを設定すると、プリンターでパスワードを入力するまで印刷されません。〔設定〕で、入力した内容の変更ができます。
	試し印刷	複数部印刷するときに、最初の1部だけを印刷して内容を確認することができます。プリンターの操作パネルを操作することで、2部目以降を印刷します。 〔設定〕をクリックして、〔ユーザー名〕と〔ジョブ名〕を設定します。
	プリンターに保存して印刷	印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネルを操作して再印刷します。 〔設定〕をクリックして、〔ユーザー名〕と〔ジョブ名〕を設定します。
	認証印刷	印刷ジョブに認証情報を設定します。認証情報を設定すると、プリンターで認証情報を入力するまで印刷されません。 認証印刷を使用するときのみ表示されます。
色補正	自動	画像などの色を自動で補正して印刷します。
	ユーザー設定	画像などの色を手動で補正して印刷します。〔設定〕を選択すると、色補正の詳細な方法が選択できます。
	画像処理設定	カラーユニバーサルプリントや赤目補正などの印刷品質オプションを設定できます。細い線を鮮明にする設定もできます。
オプション設定	背景の設定	透かし印刷やスタンプマーク、ヘッダー、フッターの設定をします。
	180度回転	データを180度回転して印刷します。

ユーティリティタブ



まとめてプリントLite	まとめてプリントLiteの画面を表示します。保存したデータを開いて編集できます。
EPSON プリンター ウィンドウ!3	EPSON プリンターウィンドウ!3の画面を表示します。プリンターや消耗品の状態が確認できます。
通知の設定	EPSON プリンターウィンドウ!3の画面に表示する項目などを設定します。
拡張設定	より詳細な印刷設定ができます。設定項目の詳細は、項目上で右クリックしてヘルプをご覧ください。
印刷待ち状態表示	印刷を待っているジョブを表示します。ジョブの状況の確認や一時停止、再開などが操作できます。
プリンター情報	総通紙枚数の確認や、利用者情報の登録ができます。利用者制限が有効になっているプリンターは、利用者を登録しておかないと印刷できません。
言語選択	プリンタードライバーの言語を変更します。変更を適用するには、プリンタドライバーを閉じてからもう一度開きます。
ソフトウェアアップ デート	EPSON Software Updaterを起動して、インターネット上に更新できるソフトウェアがあるかを自動で確認します。
困ったときは	エプソンのウェブサイト「よくあるご質問（FAQ）」に接続します。

WindowsからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する

PostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

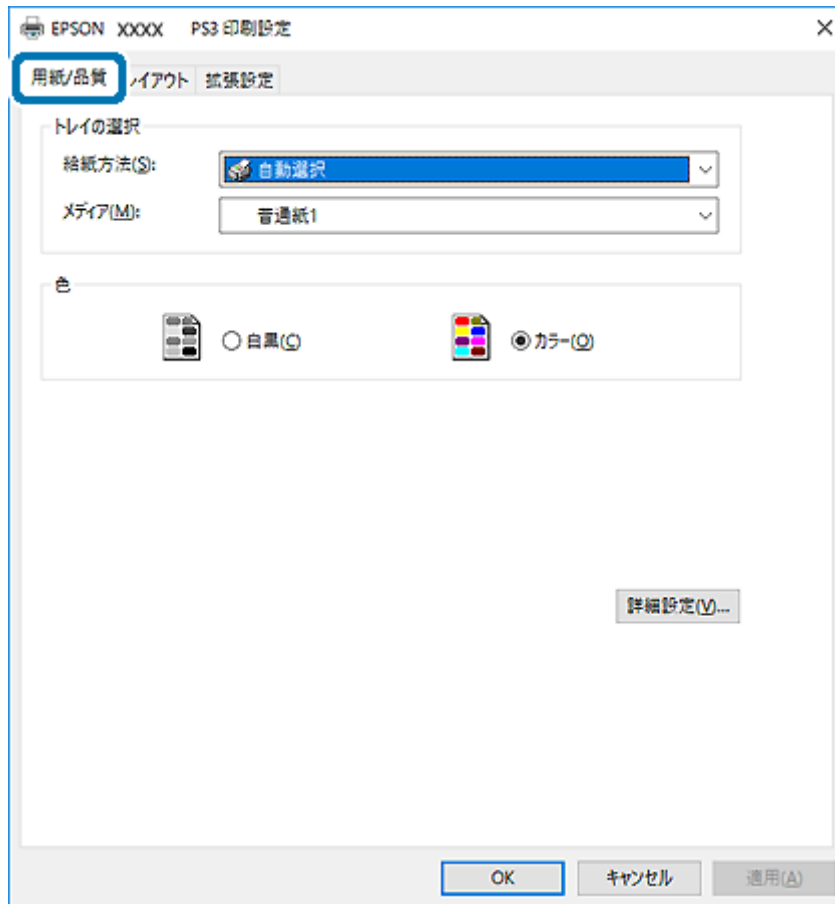
1. 印刷するファイルを開きます。

プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。

2. [ファイル] メニューの[プリント]（または[印刷設定] など）選択してプリント画面を表示させます。

3. お使いのプリンターを選択します。

4. 「プロパティ」（または「詳細設定」など）をクリックして、プリンタドライバ（詳細な印刷設定）の画面を表示させます。



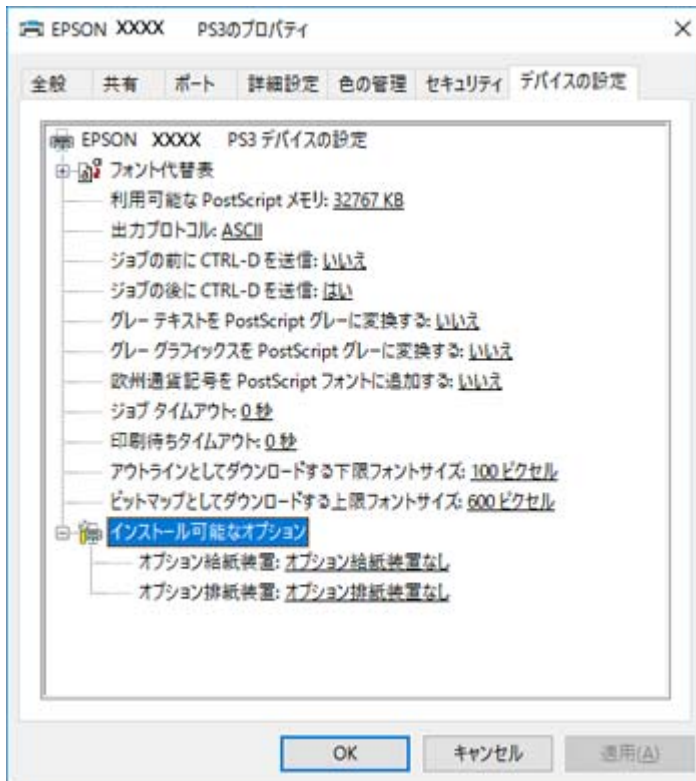
5. 必要に応じて設定を変更します。
各項目の詳細は、プリンタドライバのメニュー説明をご覧ください。
6. 「OK」をクリックしてプリンタドライバの詳細画面を閉じます。
7. 「プリント」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)
- ➡ [「用紙のセット方法」 28ページ](#)
- ➡ [「セットした用紙種類の設定」 30ページ](#)
- ➡ [「レイアウトタブ」 185ページ](#)
- ➡ [「用紙/品質タブ」 184ページ](#)

PostScriptプリンタードライバでオプション装置を使用する

オプション装置を使用するには、デバイスの設定が必要です。



設定

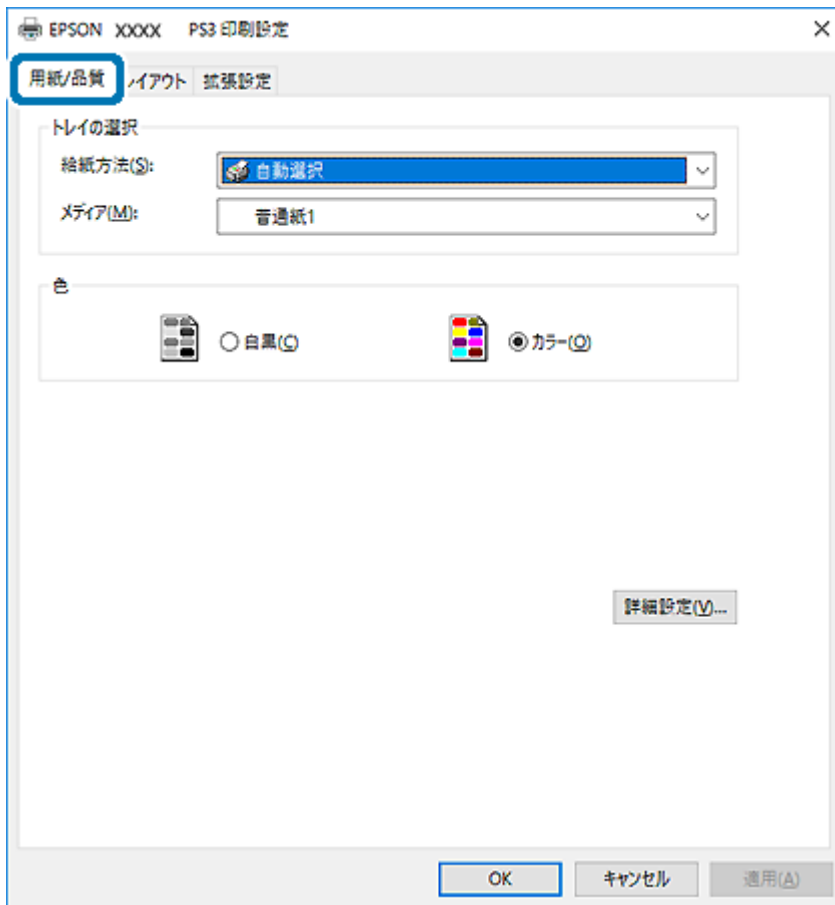
- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択します。[デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] で [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択します。[デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選択します。[デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [プロパティ] を選択します。[デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [プロパティ] を選択します。[デバイスの設定] タブの [インストール可能なオプション] でオプション装置を選択します。

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

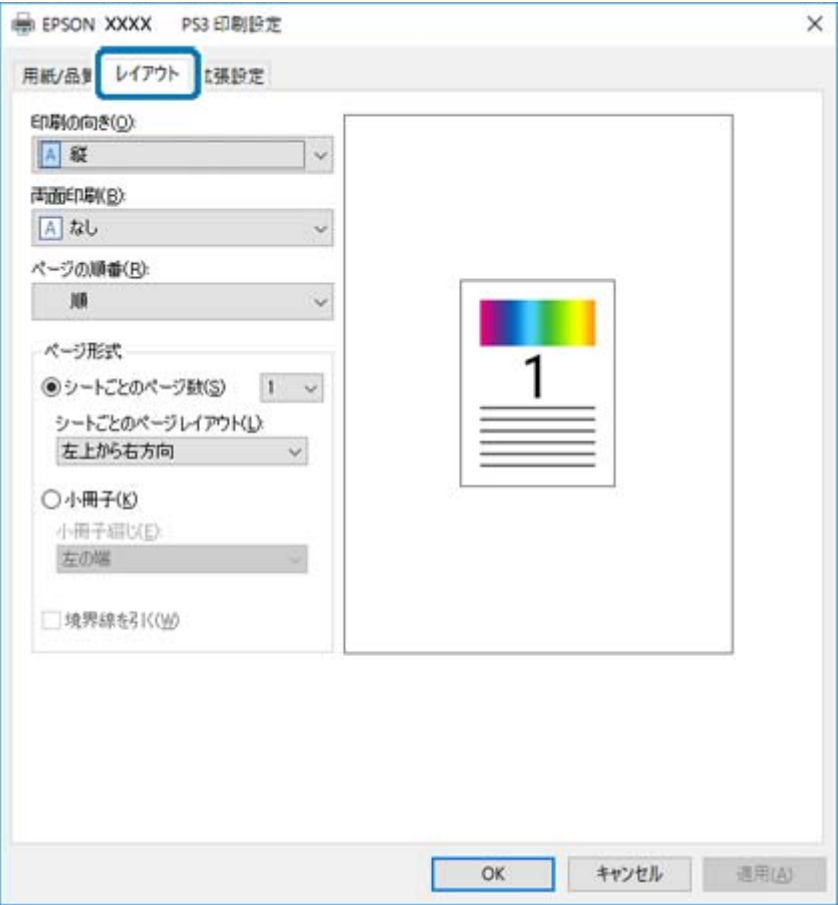
参考 項目は選択した内容によって異なります。

用紙/品質タブ



トレイの選択	給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。 [自動選択] にしておくと、プリンターの [用紙設定] と一致する給紙装置を自動で選択します。
	メディア	印刷する用紙の種類を選択します。
色	印刷する色を選択します。	

レイアウトタブ



印刷の向き	印刷の向きを選択します。	
両面印刷	両面印刷を有効にします。	
ページの順序	複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。【フェイスアップ排紙トレイ】選択時に【逆】を選択するとページ順に仕上がります。	
ページ形式	シートごとのページ数	割り付け印刷を有効にします。
	シートごとのページレイアウト	割り付け印刷時のページの配置順が設定できます。
	小冊子	冊子を作成したいときに選択します。
	小冊子綴じ	冊子を作成するときの綴じる位置を選択します。

拡張設定タブ

EPSON XXXX

PS3 印刷設定

×

用紙/品質

レイアウト

拡張設定

利用者制限設定

プリンターで利用者制限が設定されているときは、利用者情報を登録して印刷してください。

☐ 情報の登録

ユーザー名

パスワード

ジョブ保存設定

☐ ジョブ保存設定

ユーザー名

☒ 試し印刷

ジョブ名

☐ プリンターに保存して印刷

パスワード

☐ パスワード印刷

OK

キャンセル

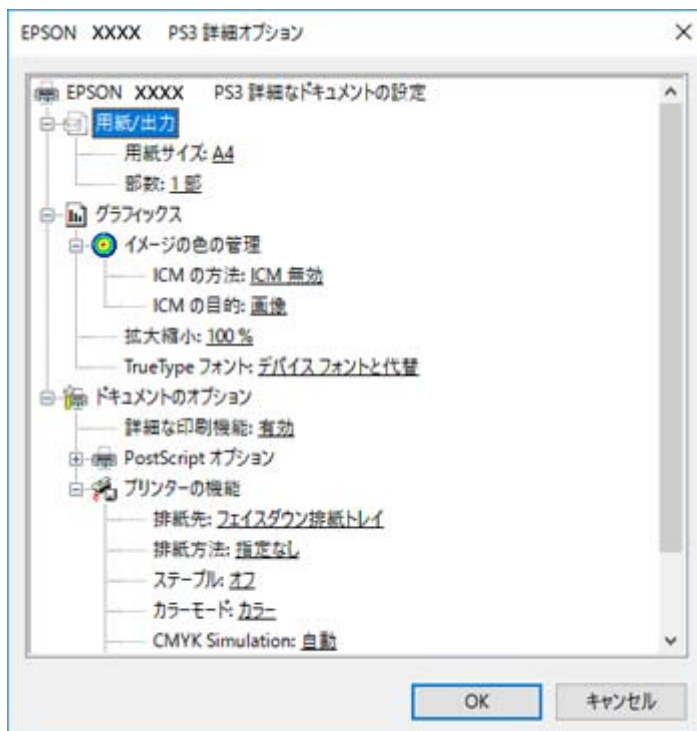
適用(A)

利用者制限設定	管理者によってプリンターの使用が制限されている場合は、プリンタードライバーに許可されているユーザー名とパスワードを登録すると印刷できます。ログオン情報はプリンターの管理者に確認してください。	
	情報の登録	ユーザー名とパスワードの入力を有効にします。
	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
	パスワード	ファイルに設定されているパスワードを入力します。

印刷

ジョブ保存設定	印刷データをプリンターのメモリーに保存して印刷するかどうかを選択します。	
	パスワード	〔ジョブ保存設定〕、〔試し印刷〕、〔パスワード〕の選択を有効にします。
	プリンターに保存して印刷	印刷したデータをプリンターのメモリーに保存できます。プリンターの操作パネル操作して再印刷します。
	試し印刷	複数部印刷するときに、最初の1部だけを印刷して内容を確認することができます。プリンターの操作パネルを操作することで、2部目以降を印刷します。
	パスワード印刷	印刷ジョブのパスワードを入力します。
	ユーザー名	ユーザー名を入力します。
	ジョブ名	ジョブ名を入力します。
	パスワード	ファイルに設定されているパスワードを入力します。

詳細設定メニュー



用紙/出力	用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。
	部数	印刷する部数を設定します。

印刷

グラフィックス	イメージの色の管理	ICMの方法や目的を選択します。	
	拡大縮小	拡大、縮小印刷を有効にします。	
	TrueTypeフォント	フォント代替処理をTrueTypeフォントに設定します。	
ドキュメントのオプション	詳細な印刷機能	有効にすると詳細な印刷機能が設定できます。	
	PostScriptオプション	オプションの設定ができます。	
	プリンターの機能	出力設定	印刷後の用紙をどこに排紙するかを選択します。
		排紙方法	複数部印刷するときの排紙方法を選択します。
		ステープル	ステープルで留める位置を選択します。
		カラーモード	カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを選択します。
		CMYK Simulation	オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択できます。
		インクセーブ	印刷濃度を薄くしてインクを節約します。
		180度回転	印刷データを180度回転して印刷します。

印刷を中止する

コンピュータから印刷を中止できます。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピュータからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

コンピュータの［デバイスとプリンター］（または［プリンタ］、［プリンタとファクス］）で、お使いのプリンターを右クリックします。［印刷ジョブの表示］をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、［キャンセル］を選択します。

Mac OSプリンタードライバーから印刷する

基本の印刷

 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

印刷

1. 印刷するファイルを開きます。

プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。

2. [ファイル] メニューの [プリント] (または [印刷] など) を選択してプリント画面を表示させます。

詳細設定が隠れているときは、[詳細を表示] (または▼) をクリックして詳細設定画面を開いてください。

3. お使いのプリンターを選択します。

4. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。



参考 OS X Mountain Lion以降で [印刷設定] メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。



メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。追加方法は以下をご覧ください。

<http://epson.sn>

5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

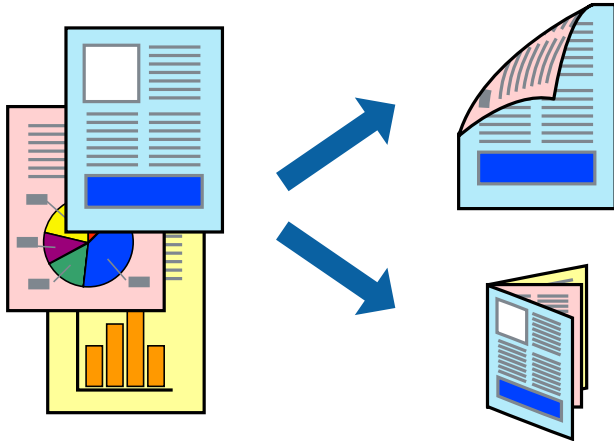
6. [プリント] をクリックします。

関連情報

- ➡ 「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ
- ➡ 「用紙のセット方法」 28ページ
- ➡ 「セットした用紙種類の設定」 30ページ
- ➡ 「プリンタードライバーのメニュー説明」 176ページ

両面に印刷する

用紙の両面に自動で印刷できます。



参考

- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

➡ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)

設定方法

ポップアップメニューから「自動両面印刷設定」を選択して、とじ位置を選択します。
冊子を作成するには、「自動両面印刷設定」で「長辺とじ」を選択して、「ブックレット印刷」と「ブックレットのとじ方」を設定してください。

参考

ブックレット印刷は、Adobe社製アプリケーションでは非対応です。アプリケーションのブックレット機能をお使いください。

関連情報

➡ [「基本の印刷」 188ページ](#)

➡ [「レイアウトメニュー」 195ページ](#)

複数ページを1ページに印刷する

1枚の用紙に2ページまたは4ページのデータを割り付けて印刷できます。



設定方法

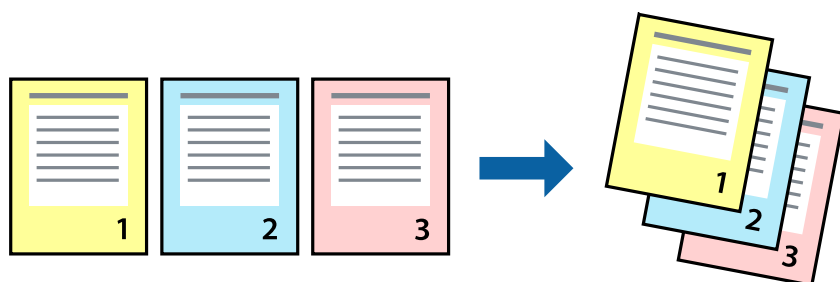
ポップアップメニューの「レイアウト」を選択します。「ページ数/枚」、「レイアウト方向」、「境界線」を設定します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 188ページ](#)
- ➡ [「レイアウトメニュー」 195ページ](#)

ページ順に印刷する（逆順印刷）

ポップアップメニューから「仕上げ」を選択し、「出力トレイ」設定でフェイスアップ排紙トレイを選択してこの機能を使用すると、最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように排紙できます。



設定方法

ポップアップメニューの「用紙処理」を選択します。「ページの順序」で「逆送り」を選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 188ページ](#)
- ➡ [「用紙処理メニュー」 196ページ](#)

拡大縮小して印刷する

任意の倍率や用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷できます。



設定方法

用紙のサイズに合わせて拡大縮小印刷するときは、ポップアップメニューから「用紙処理」を選択して、「用紙サイズに合わせる」をチェックします。「出力用紙サイズ」でプリンターにセットした用紙のサイズを選択します。縮小印刷するときは、「縮小のみ」にチェックします。

任意の倍率で印刷するときは、アプリケーションソフトの「ファイル」メニューから、「プリント」または「ページ設定」を選択します。「プリンタ」と「用紙サイズ」を設定し、「拡大縮小」に倍率を入力して「OK」をクリックします。

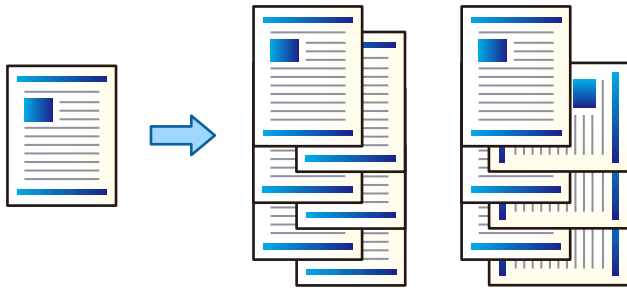
参考 「用紙サイズ」は、印刷するデータのサイズを選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 188ページ](#)
- ➡ [「用紙処理メニュー」 196ページ](#)

印刷物を縦横交互に90度回転して排紙する、1部ずつずらして排紙する

印刷物を縦横交互に排紙できます。また、オプションのフィニッシャーユニットを使用すると、1部ずつずらして排紙したり、ステープル（ホチキス）したりできます。



設定方法

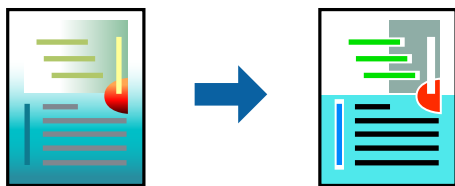
ポップアップメニューの「仕上げ」を選択して、排紙方法設定から排紙の仕上げ方法を選択します。オプションのフィニッシャーユニットを使用している場合は、ステープルする位置を設定できます。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」188ページ](#)
- ➔ [「仕上げメニュー」200ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。



参考 元データは補正しません。

設定方法

ポップアップメニューの「カラー・マッチング」を選択し、「EPSON Color Controls」を選択します。ポップアップメニューの「カラーオプション」を選択して、色補正の種類を選択します。[詳細設定] 横の矢印をクリックすると、さらに詳細な色補正の方法が選択できます。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 188ページ](#)
- ➡ [「カラー・マッチングメニュー」 196ページ](#)
- ➡ [「カラーオプションメニュー」 199ページ](#)

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

[Dock] 内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、以下のいずれかを行います。

- OS X Mountain Lion以降
プログレスメーター横の  をクリックします。
- Mac OS X v10.6.8~v10.7.x
[削除] をクリックします。

プリンタードライバのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

 **参考** 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

レイアウト

ページ数/枚：1

レイアウト方向：

境界線：なし

両面：切

ページの方向を反転

左右反転

キャンセル

プリント

シートごとのページ数	用紙1枚に対し、印刷したいページ数を選択します。
レイアウト方向	ページの並べ方を選択します。
境界線	ページを区切る境界線の設定をします。
両面	両面印刷を有効にします。
ページの方向を反転	印刷データを180度回転して印刷します。
左右反転	データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： ☒ すべて
☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

カラー・マッチング

☐ ColorSync ☒ EPSON Color Controls

キャンセル プリント

ColorSync	色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。
EPSON Color Controls	

用紙処理メニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1 ☐ 両面

ページ： ☒ すべて
☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

用紙処理

☒ 丁合い

プリントするページ： すべてのページ

ページの順序： 自動

☐ 用紙サイズに合わせる

出力用紙サイズ： 推奨用紙： A4

☐ 縮小のみ

キャンセル プリント

丁合い	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。
プリントするページ	印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

印刷

ページの順序	複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。	
用紙サイズに合わせる	出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。	
	出力用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	縮小印刷時に選択します。

表紙メニュー

プリンタ： EPSON XXXX
 プリセット： デフォルト設定
 部数： 1 ☐ 両面
 ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1
 用紙サイズ： A4 210 x 297 mm
 方向：  
 表紙
 表紙をプリント： ☒ なし ☐ 書類の前 ☐ 書類の後
 表紙のタイプ： 標準
キャンセル プリント

表紙をプリント	表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、[書類の後]を選択します。
表紙のタイプ	表紙に印刷される内容を選択します。

印刷設定メニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

印刷設定

給紙方法：自動選択

用紙種類：自動選択 (普通紙)

印刷品質：標準

☐ グレースケール

キャンセル

プリント

給紙方法	どの給紙装置から給紙するかを選択します。給紙装置が1つだけの機種では表示されません。[自動選択] にしておくと、プリンターの [用紙設定] と一致する給紙装置を自動で選択します。
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。
印刷品質	印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。
グレースケール	白黒で印刷したいときに選択します。

カラーオプションメニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

カラーオプション

手動設定

オートフォトファイン！EX

色補正なし

▶ 詳細設定:

キャンセル

プリント

手動設定	画像などの色を手動で補正して印刷します。〔詳細設定〕では、色補正の詳細な方法が選択できます。
オートフォトファイン！EX	エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動で画像を高画質にして印刷します。
色補正なし	色補正せずに印刷します。

仕上げメニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

仕上げ

排紙先：自動選択

排紙方法：指定なし

ステープル（ホチキス）：オフ

▽ 排紙プレビュー

1



キャンセル

プリント

排紙先	印刷後の用紙をどこに排紙するかを選択します。設定の組み合わせによっては自動で設定されることがあります。	
排紙方法	複数部印刷するときの排紙方法を選択します。	
	[90度回転]	印刷した用紙を1部ずつ縦横交互に排紙します。この機能を使うには、ポップアップメニューから[印刷設定]を選択し、[給紙方法]設定で[自動選択]を選択します。次に、ポップアップメニューから[仕上げ]を選択し、[排紙先]設定で[自動選択]または[フェイスダウン排紙トレイ]を選択します。フェイスダウン排紙トレイに積み重ねて排紙されます。
	[シフト（ずらして排紙）]*	印刷した用紙を1部ずつ交互にずらして排紙します。この機能を使うには[排紙先]で[フィニッシャー下トレイ]を選択します。
ステープル（ホチキス）*	ステープルで留める位置を選択します。	

* フィニッシャーユニットが設定されているときに表示

用紙調整メニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

用紙調整

印刷濃度：

0

-50

+20 (%)

キャンセル

プリント

印刷濃度	写真などの濃度の濃いデータは、印刷濃度を薄くするときれいに印刷できることがあります。
------	--

自動両面印刷設定メニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数：1

ページ：

すべて

開始：1 終了：1

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向：

自動両面印刷設定

自動両面印刷：オフ

ブックレット印刷：オフ

ブックレットのとり方：左

キャンセル

プリント

自動両面印刷	用紙の両面に印刷します。
ブックレット印刷	冊子を作成するときに選択します。

ブックレットのとり方

冊子のとり方を選択します。

Mac OSプリンタードライバーの動作を設定する

Mac OSプリンタードライバーの動作設定画面の開き方

メニューの[システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または[ドライバ]）の順にクリックします。

Mac OSプリンタードライバーの動作設定メニューの説明

- こすれ軽減：印刷こすれを軽減させて印刷します。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。紙の汚れを軽減するためには、[モード1]を選択します。汚れが軽減されないときは[モード2]を試してください。
- 白紙節約する：印刷データの白紙ページを印刷しません。
- ワーニングを通知する：ワーニング（警告）が発生したときにメッセージなどを表示します。
- 印刷時に双方向通信をサポート：通常は[オン]のままにしてください。Windowsで共有されているプリンターなど、プリンターからの情報が取れない場合は[オフ]にします。
- オプション排紙装置：オプションの排紙装置が取り付けられていない場合は、[オプション排紙装置なし]を選択します。オプションの排紙装置が取り付けられている場合は、取り付けた排紙装置の名前を選択します。オプションの排紙装置を取り付けたり取り外したりするときは、この項目を設定する必要があります。
- オプション給紙装置：オプションの給紙装置が取り付けられていない場合は、[オプション給紙装置なし]を選択します。オプションの給紙装置が取り付けられている場合は、その給紙装置の名前を選択します。オプションの給紙装置を取り付けたり取り外したりするときは、この項目を設定する必要があります。
- フィニッシャー仕上げ改善：有効にするとステープル、シフト(ずらし)時の用紙のばらつきを軽減します。ただし、印刷に時間がかかります。

Mac OSからPostScriptプリンタードライバーを使って印刷する

PostScript（ページ記述言語）を使って出力するドライバーです。

1. 印刷するファイルを開きます。

プリンターに用紙がセットされていなければセットしてください。

2. [ファイル]メニューの[プリント]（または[印刷]など）選択してプリント画面を表示させます。

必要であれば[詳細を表示]（または▼）をクリックして詳細設定画面を開きます。

3. お使いのプリンターを選択

4. ポップアップメニューの「プリンタの機能」を選択します。

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1 ☐ 両面

ページ: ☒ すべて ☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向: ☒ 縦向き ☐ 横向き

プリンタの機能

機能セット: 印刷品質

用紙種類: 普通紙1

キャンセル プrint

5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

6. 「プリント」をクリックします。

関連情報

- ➡ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)
- ➡ [「用紙のセット方法」 28ページ](#)
- ➡ [「セットした用紙種類の設定」 30ページ](#)
- ➡ [「プリンターの機能メニュー」 207ページ](#)

PostScriptプリンタードライバーでオプション装置を使用する

オプション装置を使用するには、デバイスの設定が必要です。

メニューの「システム環境設定」-「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、［プリントとファクス］）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。［オプションとサブライ］-［オプション］（または［ドライバ］）の順にクリックします。使用したいオプション装置に対して設定をします。

PostScriptプリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー

プリンタ：EPSON XXXX

プリセット：デフォルト設定

部数： ☐ 両面

ページ：☒ すべて
☐ 開始： 終了：

用紙サイズ：A4 210 x 297 mm

方向： 

レイアウト

ページ数/枚：

レイアウト方向：   

境界線：

両面：
☐ ページの方向を反転
☐ 左右反転

キャンセル

シートごとのページ数	用紙1枚に対し、印刷したいページ数を選択します。
レイアウト方向	ページの並べ方を選択します。
境界線	ページを区切る境界線の設定をします。
両面	両面印刷を有効にします。
ページの方向を反転	印刷データを180度回転して印刷します。
左右反転	データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー

プリンタ： EPSON XXXX
 プリセット： デフォルト設定
 部数： 1 ☐ 両面
 ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1
 用紙サイズ： A4 210 x 297 mm
 方向：  
 カラー・マッチング ▼
☒ ColorSync ☐ プリンタのカラー
 プロファイル： 自動
キャンセル プリント

ColorSync	色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。
プリンタのカラー	

用紙処理メニュー

プリンタ： EPSON XXXX
 プリセット： デフォルト設定
 部数： 1 ☐ 両面
 ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1
 用紙サイズ： A4 210 x 297 mm
 方向：  
 用紙処理 ▼
☒ 丁合い
 プリントするページ： すべてのページ
 ページの順序： 自動
☐ 用紙サイズに合わせる
 出力用紙サイズ： 推奨用紙：A4
☐ 縮小のみ
キャンセル プリント

丁合い	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。
プリントするページ	印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。

印刷

ページの順序	複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。	
用紙サイズに合わせる	出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。	
	出力用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	縮小印刷時に選択します。

給紙メニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1 ☐ 両面

ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：

給紙

☒ すべてのページ： 自動選択

☐ 先頭ページのみ： MPトレイ

☐ 残りのページ： MPトレイ

キャンセル プrint

全てのページから	どの給紙装置から給紙するかを選択します。
開始ページ／終了ページ	〔自動選択〕にしておく、プリンターの〔用紙設定〕と一致する給紙装置を自動で選択します。 また、ページの給紙方法も選択できます。

表紙メニュー

プリンタ： EPSON XXXX
 プリセット： デフォルト設定
 部数： 1 ☐ 両面
 ページ： ☒ すべて
 ☐ 開始： 1 終了： 1
 用紙サイズ： A4 210 x 297 mm
 方向：  
 表紙 ▼
 表紙をプリント： ☒ なし
 ☐ 書類の前
 ☐ 書類の後
 表紙のタイプ： 標準
キャンセル プリント

表紙をプリント	表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、〔書類の後〕を選択します。
表紙のタイプ	表紙に印刷される内容を選択します。

プリンターの機能メニュー

プリンタ： EPSON XXXX
 プリセット： デフォルト設定
 部数： 1 ☐ 両面
 ページ： ☒ すべて
 ☐ 開始： 1 終了： 1
 用紙サイズ： A4 210 x 297 mm
 方向：  
 プリンターの機能 ▼
 機能セット： 印刷品質
 用紙種類： 普通紙1
キャンセル プリント

機能セット	印刷品質	用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。
	出力設定	排紙先	印刷後の用紙をどこに排紙するかを選択します。
		排紙方法	複数部印刷するときの排紙方法を選択します。
		ステープル	ステープルで留める位置を選択します。
	カラー設定	カラーモード	カラーで印刷するか、モノクロで印刷するかを選択します。
		CMYK Simulation	オフセット印刷機のCMYKインク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするCMYKインクの色を選択できます。
	その他の設定	インクセーブ	印刷濃度を薄くしてインクを節約します。

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

〔Dock〕内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、以下のいずれかを行います。

- OS X Mountain Lion以降
プログレスメーター横の  をクリックします。
- Mac OS X v10.6.8～v10.7.x
〔削除〕をクリックします。

スマートデバイスから印刷する

Epson iPrintを使う

Epson iPrint（エプソン アイプリント）は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、写真やWebページ、文書などが印刷できるアプリケーションです。プリンターと同じ無線LANに接続したスマートデバイスから印刷するローカルプリントと、インターネット経由で外出先から印刷するリモートプリントがあります。リモートプリントを使うには、プリンターをEpson Connectサービスに登録してください。



関連情報

➡ 「ネットワークサービスを使って印刷する」 234ページ

Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。

<http://ipr.to/c>



Epson iPrintで印刷する

スマートデバイスでEpson iPrintを起動して、ホーム画面で使いたい項目を選択します。
以下の画面は予告なく変更されることがあります。



①	起動時に表示されるホーム画面です。
②	プリンターの設定方法やFAQなどの情報ページを表示します。
③	プリンターの選択や設定をする画面を表示します。一度プリンターを選択すれば、次回からは選択しなくても使えます。
④	写真や文書、Webページなど、印刷したいものを選択します。

5	用紙サイズや用紙種類などの印刷設定をする画面を表示します。
6	用紙サイズを表示します。ボタン形状になっているときは、ボタンを押すとプリンターの用紙設定情報を表示します。
7	選択した写真や文書を表示します。
8	印刷を開始します。

参考 iOSで動作するiPhone、iPad、iPod touchからドキュメントメニューで印刷するときは、iTunesのファイル共有機能で印刷するドキュメントを転送してからEpson iPrintを起動してください。

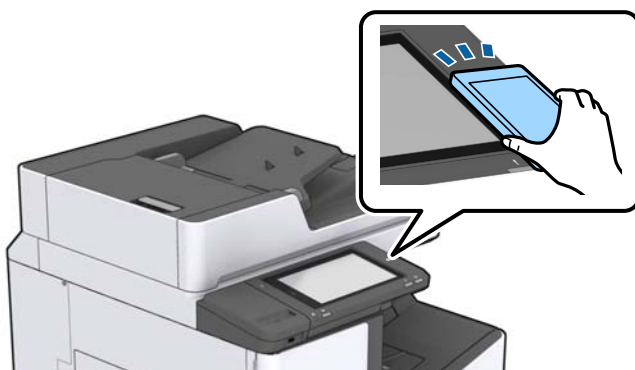
NFCマークにスマートデバイスをタッチして印刷する

NFC(Near Field Communication)に対応したスマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねるだけで、プリンターと簡単に接続して印刷できます。

以下の設定を事前に済ませてください。

- スマートデバイスでNFCの設定を有効にしてください。
Android 4.0以降のデバイスのみNFCに対応しています。
スマートデバイスによってNFCの位置が異なります。詳しくはスマートデバイスのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスにEpson iPrintをインストールする。
スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねてインストールします。
- プリンターのWi-Fi Direct設定を有効にします。
詳しくは『システム管理者ガイド』をご覧ください。

1. プリンターに印刷用紙をセットします。
2. スマートデバイスをプリンターのNFCマークに重ねます。
Epson iPrintが起動します。



- 参考**
- プリンターのNFCマークとスマートデバイスのNFCの間に金属などの障害物があると、通信できないことがあります。
 - プリンターの管理者によって使用制限されているときは、プリンターのNFCマークにスマートデバイスを重ねても音を発するだけでアプリケーションは起動しません。

3. Epson iPrintで印刷するファイルを選択します。

4. 印刷アイコンをタップして表示したプレビュー画面で、再度プリンターのNFCマークにスマートデバイスのNFCを重ねます。
印刷が始まります。

印刷中または待機中の印刷ジョブを中止する

 印刷中のジョブはプリンターの⑦をタップしても中止できます。

1. ホーム画面で [ジョブ/状態] をタップします。
2. [ジョブ状態] タブの [実行中] をタップします。
印刷中または待機中のジョブがリストに表示されます。
3. 中止したいジョブを選択します。
4. [中止] または [削除] をタップします。

オプション品

オプション品の種類と型番

本製品で利用できるオプション品は以下の通りです。

ステープルフィニッシャー	LXA3FNS1
大容量給紙ユニット	LXA3LPU1
用紙力セットロック	LXPCL1

関連情報

➔ [「各部の名称と働き」10ページ](#)

フィニッシャーユニットを使うときのプリンター設定

オプションのフィニッシャーユニットに排紙するにはプリンターの設定が必要です。

- コピーの場合
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [排紙先：コピー] で [フィニッシャー下トレイ] を指定します。
- ファクス受信の場合
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [排紙先：ファクス] で [フィニッシャー上トレイ] または [フィニッシャー下トレイ] を指定します。
- 印刷（コンピュータや外部メモリーからの印刷など）の場合
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [排紙先：その他(印刷全般)] で [フィニッシャー下トレイ] を指定します。
コンピュータから印刷するときは、プリンタードライバーの [排紙先] でフィニッシャーへの排紙も指定できます。

フィニッシャーユニットを使った排紙やステープルの方法

オプションのフィニッシャーユニットを使うと、印刷結果をシフトして排紙したり、ステープルしたりすることができます。[コピー]、[外部メモリーから印刷]、プリンタードライバーでの印刷で使えます。

- [コピー]
ホーム画面で [コピー] をタップし、[基本設定] タブで [仕上げ] をタップして設定します。設定の詳細は、[コピー] のメニュー項目の説明をご覧ください。
- [外部メモリーから印刷]
ホーム画面で [外部メモリーから印刷] をタップし、ファイル形式を選択します。[応用設定] タブで [仕上げ] をタップして設定します。設定の詳細は、[外部メモリーから印刷] のメニュー項目の説明をご覧ください。

オプション品

- プリンタードライバーからの印刷（Windows）
プリンタードライバーの「仕上げ」タブで、「排紙方法」の設定からオプションを選択してください。設定の詳細は、プリンタードライバーのメニュー項目の説明をご覧ください。
- プリンタードライバーからの印刷（Mac OS）
ポップアップメニューから「仕上げ」を選択して、「排紙方法」の設定からオプションを選択してください。フィニッシャーユニットが取り付けられているときは、必要に応じてステープルの位置を選択してください。設定の詳細は、プリンタードライバーのメニュー項目の説明をご覧ください。

！重要 フィニッシャー下トレイに排紙するときは、印刷の途中で印刷物を回収しないでください。印刷中の用紙が乱れたり、ステープル（ホチキス）の位置がずれたりすることがあります。

関連情報

- ➔ [「コピーの設定項目」50ページ](#)
- ➔ [「外部メモリーから印刷時のメニューの説明」153ページ](#)
- ➔ [「仕上げタブ」178ページ](#)
- ➔ [「仕上げメニュー」200ページ](#)

マニュアルステープルの使い方

オプションのフィニッシャーユニットには、手動でステープル操作を行う機能があります。印刷物をステープルし忘れたときや、原稿をステープルしたいときに便利な機能です。

マニュアルステープルできる枚数：

使用できる用紙サイズは、設置時に固定されます。

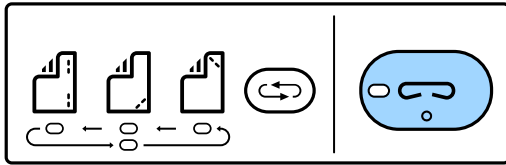
A4またはA3のとき

- 用紙サイズ：A4
60～90 g/m²：50枚
91～105 g/m²：30枚
- 用紙サイズ：A3
60～90 g/m²：30枚
91～105 g/m²：20枚

LetterまたはLedger

- 用紙サイズ：Letter
60～90 g/m²：50枚
91～105 g/m²：30枚
- 用紙サイズ：Ledger
60～90 g/m²：30枚
91～105 g/m²：20枚

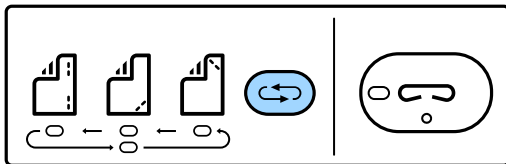
1. ステープルボタンを押します。



排紙部のシャッターが開き、マニュアルステープルモードになります。

2. ステープルする位置を設定します。

ステープル位置切り替えボタンを数回押すと、設定が切り替わります。選択されているステープル位置のランプ(緑色)が点灯します。ボタンを押すごとにランプの点灯は移動します。



3. 用紙をセットします。

用紙の表面を下向きにして、排紙部のシャッターが開いたところにセットします。
ステープルする位置に合わせて、用紙をセットする位置を調整してください。

⚠ 注意 シャッターが開いたところに手を入れないでください。



- ステープル位置切り替えボタンは、用紙をセットする前に押してください。用紙をセットすると、ステープル位置切り替えボタンは使用できません。
- 用紙を正しくセットすると、ステープルボタンのランプが点灯します。点灯しない場合は、用紙をセットし直してください。

4. ステープルします。

用紙から手を離し、ステープルボタンを押します。

マニュアルステープルモードを終了するには、ステープル位置切り替えボタンを数回押して、ランプが消灯した状態にします。



異常が起こった場合は、プリンター本体の操作パネルにあるエラーランプが点滅や点灯し、メッセージが表示されます。

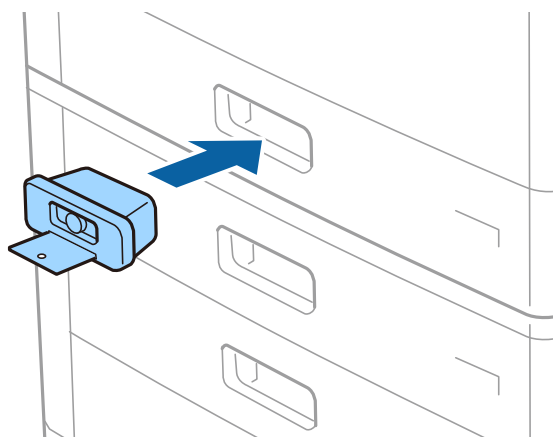
関連情報

- ➡ [「オプション品の種類と型番」 212ページ](#)
- ➡ [「ステープルカートリッジ」 220ページ](#)

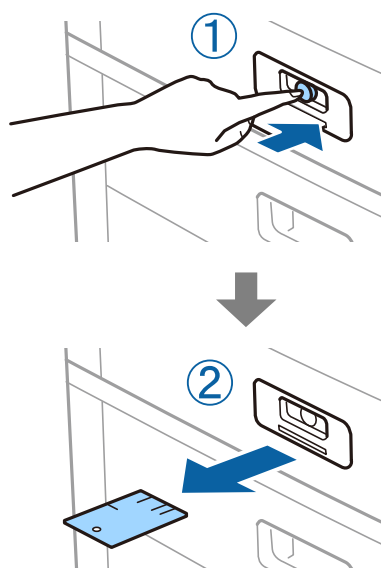
用紙カセットロックの使い方

用紙カセット1～4には、オプションの用紙カセットロックを取り付けられます。管理者が用紙を管理したい場合に便利です。鍵はなくさないように保管してください。

1.用紙カセットロックを取り付けます。



2.中央のボタンを押して、鍵を抜きます。
鍵はなくさないように保管してください。



用紙カセットロックを取り外すときは、鍵を奥まで差し込み、中央のボタンが出たことを確認してから取り外してください。

関連情報

➡ [「オプション品の種類と型番」212ページ](#)

消耗品

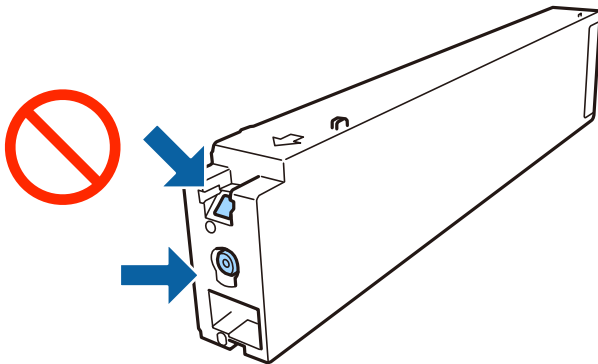
インクカートリッジ

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

インクカートリッジを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

取り扱い上のご注意

- インクカートリッジは常温で直射日光を避けて保管してください。
- インクカートリッジは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- 良好な印刷品質を得るために、箱の底面を下にして保管してください。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、12時間以上室温で放置してからお使いください。
- イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



- インクカートリッジは全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態でプリンターを放置したり、カートリッジ交換中に電源を切ったりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、プリンターと同じ環境で、インク供給孔部を横にして保管してください。ただし、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- インクカートリッジに再生材を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

消耗品

- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。

インクの消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

インクカートリッジ型番

純正品の型番は以下の通りです。

LX-10000F用

BK1, BK2: ブラック	C: シアン	M: マゼンタ	Y: イエロー
LXBK01	LXC01	LXM01	LXY01

LX-7000F用

BK1, BK2: ブラック	C: シアン	M: マゼンタ	Y: イエロー
LXBK02	LXC02	LXM02	LXY02

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジ交換方法

操作パネルに交換メッセージが表示されたら、[案内を見る] をタップして手順をみながら交換します。



関連情報

➡ [「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」216ページ](#)

インク残量を確認する

操作パネルからの確認

ホーム画面の  をタップして [消耗品・その他] を選択すると、インク残量（目安）を表示します。本製品はブラックのインクカートリッジが2本装着されています。1本目から2本目には自動的に切り替わるので、どちらかのインク残量が少なくなってもそのまま印刷が続けられます。プリンタードライバーを使うと、コンピューターからも確認できます。

参考 インクが少なくなっても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。

関連情報

➡ [「ホーム画面の見方」17ページ](#)

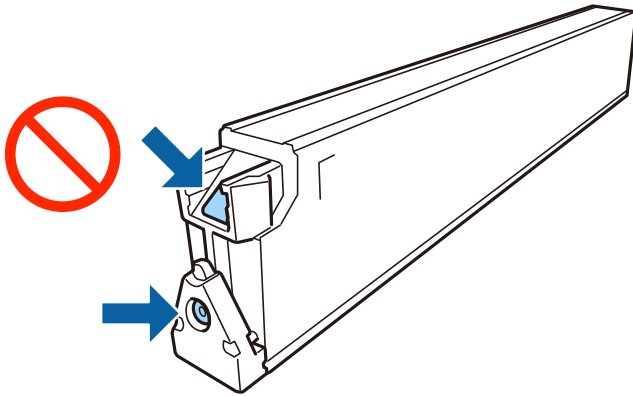
➡ [「プリンタードライバーの開き方」157ページ](#)

メンテナンスボックス

メンテナンスボックス取り扱い上のご注意

メンテナンスボックスを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

- イラストで示した部分には触らないでください。プリンターが正常に動作しなくなったり、インクが付着したりするおそれがあります。



- メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。
- 交換時以外はカバーやメンテナンスボックスを取り外さないでください。インクが漏れるおそれがあります。

メンテナンスボックスの型番

エプソン純正品のメンテナンスボックスを使用することをお勧めします。

純正品の型番は以下の通りです。

LXMB01

メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。吸収量が限界に達する時期は使用状況によって異なります。

メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。



インクあふれ防止のため、いっぱいになるとボックスを交換するまで印刷できませんが、ファクス送信や外部メモリーへのデータ保存などはできます。

関連情報

- ➡ [「メンテナンスボックスの型番」 219ページ](#)
- ➡ [「メンテナンスボックス取り扱い上のご注意」 218ページ](#)

メンテナンスボックス空き容量の確認方法

操作パネルからの確認

ホーム画面の  をタップして「消耗品・その他」を選択すると、メンテナンスボックスの空き容量（目安）を表示します。

本製品はブラックのインクカートリッジが2本装着されています。1本目から2本目には自動的に切り替わるので、どちらかのインク残量が少なくなってもそのまま印刷が続けられます。
プリンタードライバーを使うと、コンピューターからも確認できます。

関連情報

- ➡ [「ホーム画面の見方」17ページ](#)
- ➡ [「プリンタードライバーの開き方」157ページ](#)

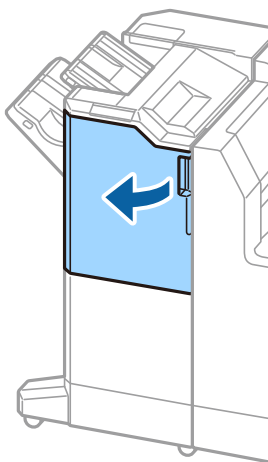
ステープルカートリッジ

エプソン純正品のステープルカートリッジを使用することをお勧めします。
純正品の型番は以下の通りです。
ステープルカートリッジ LXFNSND1

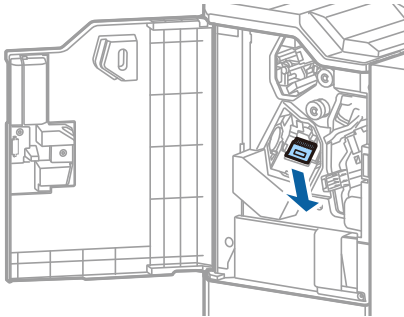
ステープルカートリッジ交換方法

以下の手順で交換します。

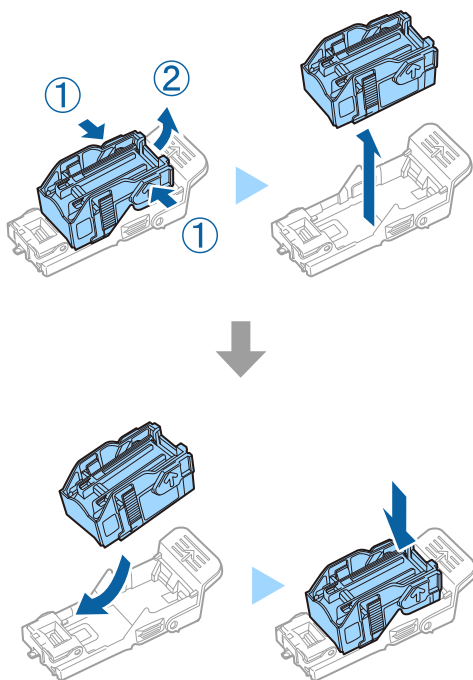
1. フィニッシャーユニットの前カバーを開けます。



2. ステープルカートリッジホルダーを取り外します。

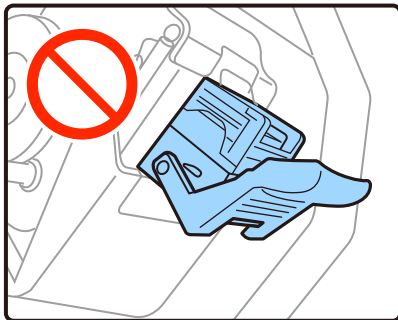
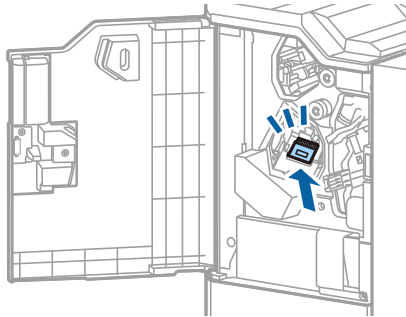


3. ステープルカートリッジを交換します。

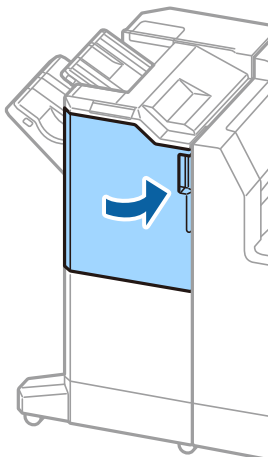


参考 カートリッジは針が空にならないと、ホルダーから取り外せません。

4. ステー플カートリッジホルダーを装着します。



5. 前カバーを閉めます。



消耗品の回収

資源の有効活用と地球環境保全のため、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。

エプソンのスマートチャージで使用した消耗品（インクカートリッジやメンテナンスボックス）は、「引取回収サービス」をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.epson.jp/recycle/>

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内

プリンターが対応しているネットワークサービスとソフトウェアを紹介します。ソフトウェアはエプソンのWebサイトからインストールできます。

文書や写真をスキャンするソフトウェア（Epson Scan 2）

Epson Scan 2（エプソン スキャン ツー）は、スキャナーを制御するドライバーで、画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。以下の起動方法の他、TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

参考 Windows Server OSをお使いの場合、[デスクトップエクスペリエンス] がインストールされていることを確認してください。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

参考 Epson Scan 2はMac OSのファストユーザスイッチ機能には対応していません。この機能を無効にしてください。

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

関連情報

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」228ページ](#)

スキャナーの追加方法

Epson Scan 2を使用する前に、スキャナーを追加します。

1. ソフトウェアを起動し、[スキャナーの設定] 画面で [追加] をクリックします。

参考

- [追加] がグレーアウトになっているときは、[編集を許可] をクリックします。
- Epson Scan 2のメイン画面が表示されたときは、すでにスキャナーと接続されています。別のネットワークスキャナーと接続するときは、[スキャナー] - [設定] の順に選択して、[スキャナーの設定] 画面を表示します。

2. ネットワークスキャナーを追加します。以下の項目を入力、確認して、[追加] をクリックします。

- [機種] : 接続したいスキャナーを選択します。
- [名前] : スキャナー名を入力します。32文字まで入力できます。
- [ネットワークを検索] : お使いのコンピューターとスキャナーが同じネットワーク内にあればIPアドレスが表示されます。表示されない場合、 ボタンをクリックします。IPアドレスが見つからなかったときは [アドレスを入力] を選択し、アドレス欄にIPアドレスを直接入力します。

3. [スキャナーの設定] 画面で追加されたスキャナー名を選択し、[OK] をクリックします。

コンピューターからのスキャン動作を設定するソフトウェア (Document Capture Pro)

Document Capture Pro* (ドキュメント キャプチャー プロ) は、コンピューターとネットワーク接続しているプリンターからのスキャンを、どのように処理するか設定するソフトウェアです。

スキャナーから原稿を読み込んで画像を確認した後、保存形式や保存先・転送先など、一連の動作をコンピューター上で設定できます。Document Capture Proの操作方法について、詳しくはヘルプをご覧ください。

*: Windowsでの呼称。Mac OSではDocument Capture、Windows ServerではDocument Capture Pro Serverです。

Windowsでの起動方法

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [Document Capture Pro] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Document Capture] の順に選択します。

関連情報

- ➔ [「コンピューターに登録した設定でスキャンする \(Document Capture Pro\)」 135ページ](#)
- ➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」 228ページ](#)

ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）

FAX Utility（ファクス ユーティリティ）は、コンピューターを使ってファクスの送受信をするための設定をするソフトウェアです。送信時に使うアドレス帳の作成や管理、プリンターが受信した文書をPDFにしてコンピューターに保存する設定などができます。詳しくはソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考

- Windows Server OSは非対応です。
- FAX Utilityをインストールする前に、プリンタードライバー（PostScriptプリンタードライバーを除く）がインストールされている必要があります。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法



メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（FAX）を選択します。[オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。

関連情報

- ➔ [「コンピューターでファクスを受信する」 94ページ](#)
- ➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」 228ページ](#)

ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）

PC-FAXはアプリケーションソフトで作成した文書を、コンピューターからそのままファクス送信するソフトウェアです。FAX Utilityをインストールすると、一緒にインストールされます。詳しくはソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考

- Windows Server OSは非対応です。
- アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

Windowsでの表示方法

アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューの [印刷]（または [印刷設定] など）を選択します。お使いのプリンター（FAX）を選択して [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。

Mac OSでの表示方法

アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューの [プリント]（または [印刷] など）を選択します。[プリンタ] でお使いのプリンター（FAX）を選択して、ポップアップメニューから [ファクス設定] または [送付先設定] を選択します。

関連情報

- ➡ [「コンピューターからファクスを送信する」 90ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 228ページ](#)

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）

Web Config（ウェブ コンフィグ）は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器からInternet ExplorerやSafariなどのWebブラウザー上で起動できるソフトウェアです。プリンターの状態の確認やネットワークサービスの設定、プリンターの設定変更などができます。Web Configを使うには、プリンターと機器を同じネットワークに接続してください。

以下のブラウザーに対応しています。

OS	ブラウザー
Windows XP SP3以降	Microsoft Edge、Internet Explorer 8以降、Firefox*、Chrome*
Mac OS X v10.6.8以降	Safari*、Firefox*、Chrome*
iOS*	Safari*
Android 2.3以降	標準ブラウザー
Chrome OS*	標準ブラウザー

*： 最新バージョンでお使いください。

WebブラウザーからWeb Configを起動する

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

ホーム画面でネットワークアイコンをタップして接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

 **参考** IPアドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。

2. コンピューターやスマートデバイスでWebブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

書式：

IPv4：http://プリンターのIPアドレス/

IPv6：http://[プリンターのIPアドレス]/

例：

IPv4：http://192.168.100.201/

IPv6 : http://[2001:db8::1000:1]/

 スマートデバイスでは、Epson iPrintのプリンターのメンテナンス画面からもWeb Configを起動できます。

関連情報

- ➔ [「Epson iPrintを使う」 208ページ](#)
- ➔ [「本体設定-ネットワーク設定メニューの説明」 41ページ](#)

WindowsからWeb Configを起動する

プリンターとWSDで接続しているときは、以下の方法でWeb Configを起動できます。

1. Windowsのデバイスとプリンターの画面を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] (または [ハードウェア]) の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。
2. プリンターのアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
3. [Webサービス] タブを選択して、URLをクリックします。

Mac OSからWeb Configを起動する

1.  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. [オプションとサブライ] - [プリンターのWebページを表示] をクリックします。

ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）

EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）は、インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認して、インストールするソフトウェアです。プリンターのマニュアルも更新できます。

参考 Windows Server OSは非対応です。

インストール方法

付属のソフトウェアディスクからSoftware Updaterをインストールするか、エプソンのウェブサイトからダウンロードします。

<http://www.epson.jp/support/>

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考 EPSON Software Updaterはデスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

関連情報

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」228ページ](#)

最新のソフトウェアをインストールする

参考 再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてから行ってください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。

2. Software Updaterを起動します。

画面はWindowsでの一例です。



3. Windowsの場合は、お使いのプリンターを選択し、をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。
4. インストールや更新が必要なソフトウェアにチェックを入れて、画面右下のインストールをクリックします。

！重要 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

参考

- 最新版のソフトウェアはエプソンのウェブサイトからもダウンロードできます。
www.epson.jp/support/
- Windows Server OSをお使いの場合、Epson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

関連情報

- ➡ 「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」 228ページ
- ➡ 「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」 233ページ

PostScriptプリンタードライバーをインストールする

PostScriptプリンタードライバーをUSB接続でインストールする - Windows

1. ウィルスチェックのソフトウェアを停止させます。
2. プリンター付属のソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、「Driver/PostScript」フォルダをダウンロードします。

 **参考** コンピューターにCD/DVDドライブが無いときは、以下からドライバーをダウンロードしてください。
<http://www.epson.jp/support/>

3. プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続して、プリンターの電源を入れます。

 **参考** Windows Vista/Windows XPで、「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されたら「後で再確認します」をクリックしてください。

4. プリンターを追加します。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しし、「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」の順に選択して、「プリンターの追加」をクリックします。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
「デスクトップ」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」の順に選択して、「プリンターの追加」をクリックします。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」の順に選択して、「プリンターの追加」をクリックします。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」の順に選択して、「プリンタのインストール」をクリックします。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」 - 「プリンタとその他のハードウェア」 - 「プリンタとFAX」 - 「プリンタのインストール」の順に選択して、「次へ」をクリックします。

5. ローカルプリンターを追加します。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
「探しているプリンターはこの一覧にはありません」をクリックし、「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択して、「次へ」をクリックします。
- Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
「ローカルプリンターを追加します」をクリックします。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
「このコンピューターに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外して、「次へ」をクリックします。

6. 「既存のポートを使用」を選択し、「USB001 (USBの仮想プリンターポート)」を選択して、「次へ」をクリックします。
7. 「ディスク使用」をクリックし、ソフトウェアディスクまたはホームページからダウンロードした「PostScript/eppsnt.inf」ファイルを指定して、「OK」をクリックします。
8. お使いのプリンターを選択して、「次へ」をクリックします。
9. 画面の指示に従ってインストールします。

PostScriptプリンタードライバーをネットワーク接続でインストールする - Windows

1. ウィルスチェックのソフトウェアを停止させます。
2. プリンター付属のソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、「Driver/PostScript」フォルダをダウンロードします。



コンピューターにCD/DVDドライブが無いときは、以下からドライバーをダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/support/>

3. プリンターを追加します。
 - Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しし、「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」の順に選択して、「プリンターの追加」をクリックします。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」の順に選択して、「プリンターの追加」をクリックします。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」の「デバイスとプリンターの表示」の順に選択して、「プリンターの追加」をクリックします。
 - Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」の「プリンタ」の順に選択して、「プリンタのインストール」をクリックします。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」 - 「プリンタとその他のハードウェア」 - 「プリンタとFAX」 - 「プリンタのインストール」の順に選択して、「次へ」をクリックします。
4. ローカルプリンターを追加します。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
「探しているプリンターはこの一覧にはありません」をクリックし、「ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する」を選択して、「次へ」をクリックします。
 - Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008
「ローカルプリンターを追加します」をクリックします。

- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して、[次へ] をクリックします。

5. [新しいポートの作成] を選択し、[Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ] をクリックします。



Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003で、[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード] が表示されたら [次へ] をクリックしてください。

6. プリンターのIPアドレスを入力して、[次へ] をクリックします。



- ホーム画面でネットワークアイコンを選択し接続済みのネットワークを選択して、IPアドレスを確認します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003で、[標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード] が表示されたら [完了] をクリックしてください。

7. [ディスク使用] をクリックし、ソフトウェアディスクまたはホームページからダウンロードした「PostScript/eppsnt.inf」ファイルを指定して、[OK] をクリックします。

8. お使いのプリンターを選択して、[次へ] をクリックします。

9. 画面の指示に従ってインストールします。

PostScriptプリンタードライバーをインストールする -Mac OS

以下のホームページからプリンタードライバーをダウンロードして、インストールします。

<http://www.epson.jp/support/>

インストール時にプリンターのIPアドレスが必要です。

ホーム画面でネットワークアイコンをタップして接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

プリンタードライバーを追加する (Mac OSのみ)

1.  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択します。
2. [+] をクリックして、[プリンタまたはスキャナを追加] を選択します。
3. お使いのプリンターを選択して、[追加] をクリックします。



- プリンター名がリストに表示されないときは、コンピューターとプリンターの接続状態が正しいか、プリンターの電源が入っているかを確認してください。
- USB接続やIP接続、Bonjour接続では、プリンタードライバーの追加後に増設カセットユニットの設定を手動で行ってください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1.  ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
 2. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。
 3. [コントロールパネル] を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。
 4. [プログラムのアンインストール]（または[プログラムの追加と削除]）を表示させます。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2016/
Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server
2008
[プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[プログラムの追加と削除] をクリックします。
 5. 削除するソフトウェアを選択します
印刷ジョブが残っていると、プリンタードライバーをアンインストールできません。印刷ジョブを削除するか、印刷が終わるのを待ってからアンインストールをしてください。
 6. ソフトウェアをアンインストールします。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2016/
Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server
2008
[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[変更と削除] または [削除] をクリックします。
-  **参考** [ユーザーアカウント制御画面] が表示されたら、[続行] をクリックします。
7. 画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する -Mac OS

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードします。
一度ダウンロードすれば、アンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。
2.  ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
3. プリンタードライバー、またはPC-FAXドライバーを削除するときは、 メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャン]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。
4. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了させます。
5. [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Uninstaller] の順に選択します。
6. 削除するソフトウェアをチェックして、[アンインストール] をクリックします。

！重要 Uninstallerは、コンピューターにインストールされているエプソン製インクジェットプリンターのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製インクジェットプリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのプリンタードライバーを削除した後、使いたいプリンターのドライバーを再インストールしてください。

参考 一覧に表示されないソフトウェアはUninstallerでは削除できません。[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップしてください。

関連情報

➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」228ページ](#)

ネットワークサービスを使って印刷する

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録）が必要です。

インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

- メールプリント
プリンターに割り当てられたメールアドレスに、印刷したい写真や文書を添付してメールを送ると、メールの本文や添付ファイルが印刷できます。離れた場所から、自宅やオフィスのプリンターに印刷できます。
- Epson iPrint
スマートフォンやタブレット端末から印刷、またはスキャンするためのiOS、Android専用のアプリケーションです。同じ無線LAN内にあるプリンターに写真や文書、ホームページなどを直接印刷できます。
- スキャン to クラウド機能（スキャンしてクラウドへ）
プリンターのパネル操作でスキャンしたデータを別のプリンターに送信して印刷できます。また、スキャンしたデータを対応するクラウドサービスにアップロードして共有ができます。

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内

- リモートプリントドライバー

リモートプリントドライバー対応の共有ドライバーです。いつものアプリケーションの印刷画面からプリンターを切り替えるだけで、離れたプリンターに印刷できます。

詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

関連情報

➡ [「Epson iPrintを使う」 208ページ](#)

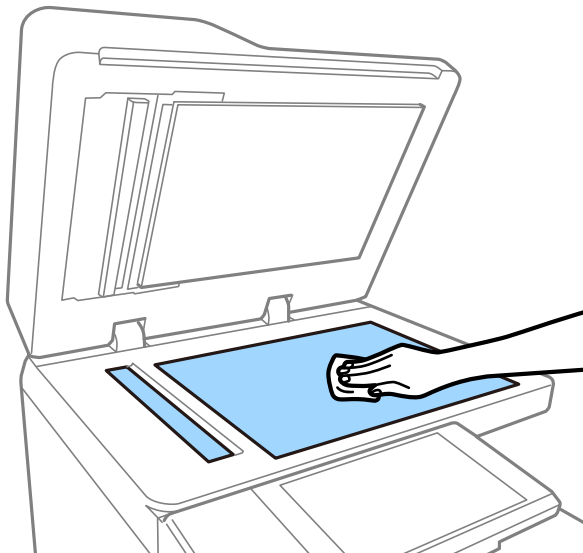
日頃のお手入れ

本体の清掃

スキャン結果や印刷結果に汚れやムラがあるときは、原稿台とADFを清掃してください。

！重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

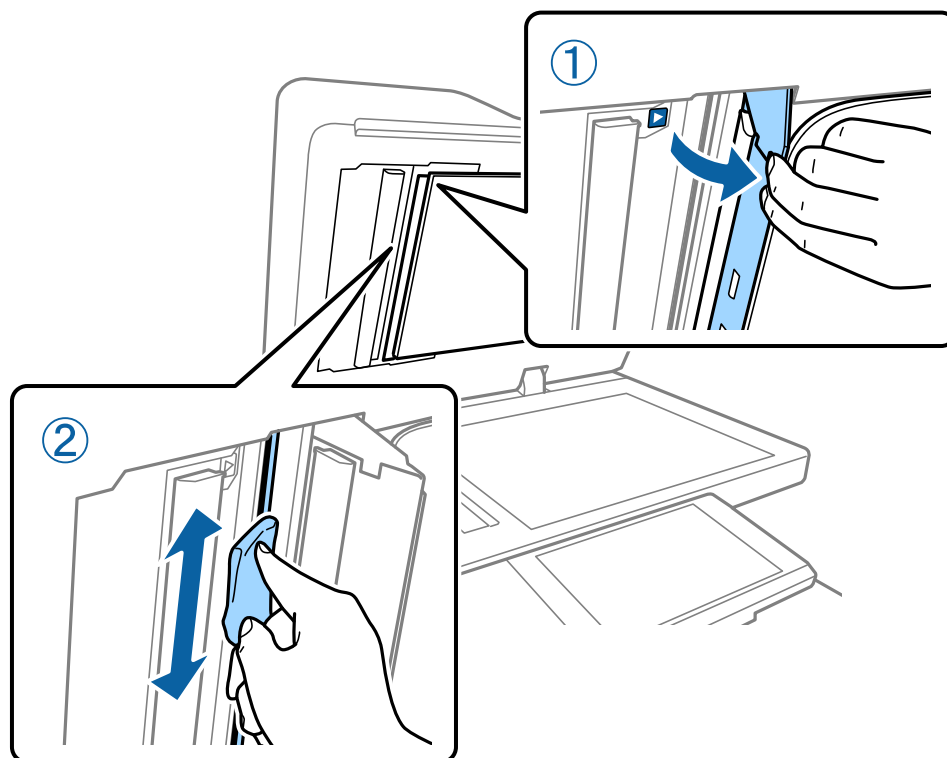
1. 原稿カバーを開けます。
2. 原稿台のガラス面と左側のガラス部分を、柔らかい布でから拭きします。



！重要 ガラス面を強く押したりこすったり、傷をつけたりしないようにご注意ください。傷がつくとスキャン品質が低下するおそれがあります。

参考 ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。

3. ADF内部のガラス部分を、柔らかい布で拭きします。



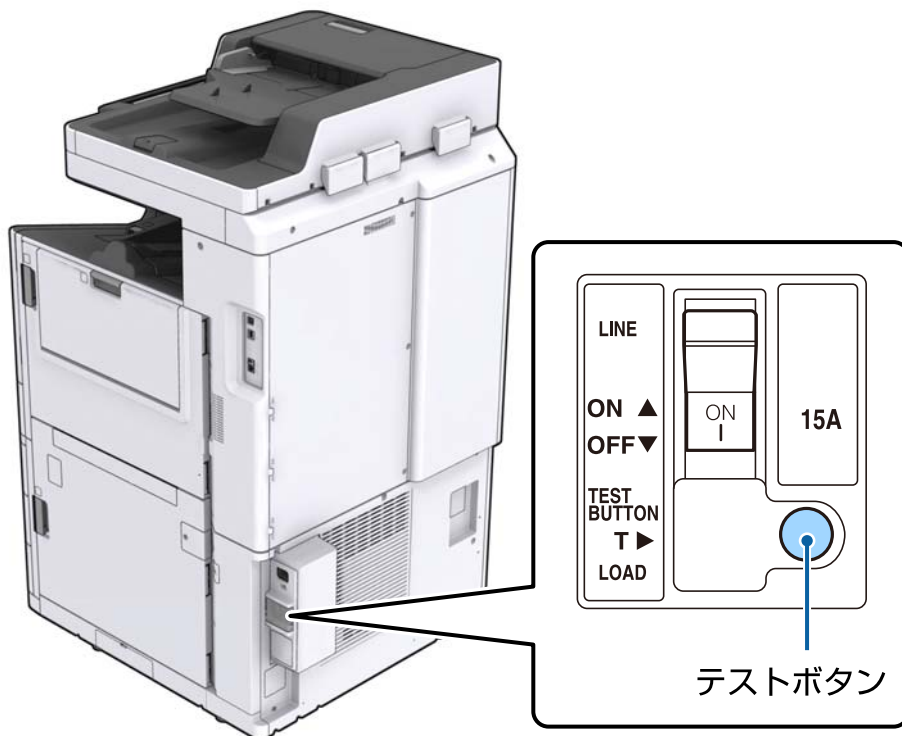
漏電ブレーカーを確認する

漏電ブレーカーは、プリンターに漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断します。1ヵ月に1回程度、以下の動作確認をしてください。ブレーカーの表記やテストボタンの位置が多少変わっても、操作の手順は同じです。ブレーカーは予告なしに変更または削除することがあります。

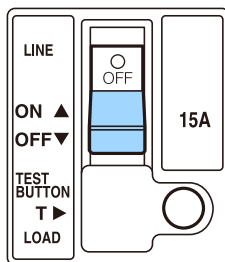
1. ㊦ ボタンを押して電源を切ります。

電源プラグはコンセントに接続した状態にしておいてください。また、漏電ブレーカーの動作確認時はアース線の接続が必要です。アース線については「安全上のご注意」を確認してください。

2. 漏電ブレーカーのカバーを開け、ボールペンなど先の細いものでテストボタンを押します。



3. ブレーカースイッチがOFFになれば正常です。正常に動作したら、ブレーカースイッチをONにします。
異常がある場合は、管理者またはサービス担当者にご連絡ください。



関連情報

➔ [「電源の入れ方/切り方」13ページ](#)

ノズルが目詰まりしていないか確認する

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときや大量に印刷する前に、ノズルチェック機能を使用してノズルの状態を確認することをお勧めします。ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。

！重要 クリーニング中は、電源を切ったり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

参考

- ・ クリーニングはインクを消費するため、インク残量が少ないと実行できないことがあります。
- ・ 目詰まりの主な原因は乾燥です。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源は必ず $\text{\text{⏻}}$ ボタンで切ってください。電源が入ったまま、直接電源コードを抜いたり、漏電ブレーカーをオフにしたりしないでください。

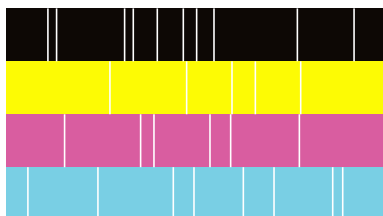
1. ホーム画面で「設定」をタップします。
2. 「プリンターのお手入れ」をタップします。
3. 「プリントヘッドのノズルチェック」をタップします。
4. 画面の指示に従って、A4普通紙をセットしている給紙装置を選択します。
5. 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。
6. 印刷したパターンを見て、ノズルに目詰まりがあるか確認します。

目詰まりがない場合は、[OK] をタップして終了します。

OK



NG



7. 目詰まりがある場合は、[NG] をタップしてクリーニングに進みます。
8. クリーニングが終わったら、再度ノズルチェックパターンを印刷して、目詰まりが解消されたか確認します。解消されない場合は、クリーニングとノズルチェックを繰り返します。

関連情報

- ➡ [「電源の入れ方/切り方」 13ページ](#)
- ➡ [「プリンターのお手入れメニューの説明」 43ページ](#)

困ったときは

画面で見る説明

いつでも確認できる [ヘルプ]

画面上の ① をタップして [ヘルプ] の一覧を表示し、確認したい項目を選択します。



動作中の案内

動作の途中で問題が発生した場合、画面上にメッセージと共に案内ボタンが表示されます。案内ボタンをタップすると、問題を解決する手順を確認できます。

困ったときは

動画の場合は一つの動作を繰り返し表示しています。➤をタップすると次の手順に切り替わります。



紙詰まりを解除するには

紙が詰まった場合は、画面上にメッセージと共に案内ボタンが表示されます。案内ボタンをタップして画面に従い、用紙が詰まっている個所を順番に確認して、紙を取り除いてください。

⚠ 注意 プリンター内部に手を入れて用紙を取り出すときは、突起などでけがをしないように注意してください。

！重要 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張るとプリンターが故障することがあります。

関連情報

- ➡ [「画面で見る説明」 240ページ](#)
- ➡ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)

紙詰まりが頻繁に起こるとき

- 本製品で利用できる用紙が確認してください。

- セット方法やセット枚数を確認してください。
- 用紙の状態を確認してください。用紙は吸湿すると波打ったり丸まったりして、トラブルの原因になります。
- 頻繁に詰まる場合は、新しく開封した用紙を使用してみてください。
- 一度開封した用紙は、ポリ袋に入れて密封して保管してください。
- 「印刷速度優先」を無効にしてお試しください。ホーム画面で「設定」 - 「本体設定」 - 「プリンター設定」 - 「印刷速度優先」の順にタップして設定してください。

関連情報

- ➡ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」24ページ](#)
- ➡ [「使用できない用紙」27ページ](#)
- ➡ [「用紙の取り扱いについて」27ページ](#)
- ➡ [「用紙の保管」28ページ](#)
- ➡ [「セットした用紙種類の設定」30ページ](#)

用紙が汚れる、こすれる

- 本製品で使える用紙か確認してください。
- セット方法やセット枚数を確認してください。
- 用紙の状態を確認してください。用紙は吸湿すると波打ったり丸まったりして、トラブルの原因になります。
- 頻繁に汚れやこすれが発生する場合は、新しく開封した用紙を使用してみてください。
- 一度開封した用紙は、ポリ袋に入れて密封して保管してください。
- 「こすれ軽減」モードをお試しください。「設定」 - 「本体設定」 - 「プリンター設定」 - 「こすれ軽減」の順にタップして設定してください。設定値の種類は、本体画面をご覧ください。
- 「こすれ軽減」を有効にしてもこすれが軽減できないときは、印刷濃度、コピー濃度を薄くしてください。
- 手動で両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。
- ハガキの両面に印刷するときは、宛名面を先に印刷してください。

関連情報

- ➡ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」24ページ](#)
- ➡ [「使用できない用紙」27ページ](#)
- ➡ [「用紙の取り扱いについて」27ページ](#)
- ➡ [「用紙の保管」28ページ](#)
- ➡ [「セットした用紙種類の設定」30ページ](#)

画面にメッセージが表示された

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。

困ったときは

メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンターやオプションの内部に紙片が残っていたら取り除いてください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、エラーコードを控えてから保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご連絡ください。
プリンターエラーが発生しました。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンターが故障している可能性があります。保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに修理を依頼してください。ただし、スキャンなど、印刷以外の機能は使用できることがあります。
XXが故障したため、印刷できません。別のカセットからは印刷できます。	電源を入れ直して、用紙カセットをセットし直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに修理を依頼してください。
HDDが故障しました。電源を入れ直してください。それでも解決しないときはxxxxxxxへご相談ください。	HDDが故障しています。保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに、HDD交換を依頼してください。 HDDが故障すると、ファクスの受信ができなくなります。また、以下の印刷やコピーができない可能性があります。 - 画像が含まれる原稿は印刷できない可能性があります。 - A4の原稿で文字・写真で50ページ以上のコピーは失敗する可能性があります。
ファクス電源回路が故障しています。xxxxxxxにご相談ください。	印刷やコピーには通常通り使用できます。ファクスは送受信できますが、一部の機能が使えないため早めに修理を依頼してください。
xxxxxxxが交換時期に近づいています。	交換時期に達するとプリンターが使用できなくなります。保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに交換を依頼してください。
xxxxxxxが交換時期に達しました。	保守サービス実施店またはスマートチャージセンターへ連絡してください。
xxxxxxxが交換時期です。交換してください。	保守サービス実施店またはスマートチャージセンターへ連絡してください。
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。手順を確認し、交換してください。	プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジに交換してください。
ダイヤルトーンが検出できません。	[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [接続回線] の順にタップして、[構内交換機(PBX)]を選択すると問題が解決することがあります。外線発信番号が必要な環境では、[構内交換機(PBX)]を選択した後に、外線発信番号を登録してください。登録後に外線の宛先にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#（シャープ）を入力します。これにより通信がより確実になります。 それでも同じメッセージが表示される場合は、[ダイヤルトーン検出]を無効にしてください。ただし、ファクス番号の最初の番号が抜けるなど、間違った番号にダイヤルしてしまう可能性があります。
ファクスデータ量が上限に達したため、ファクス受信できませんでした。ホーム画面下部の[ジョブ/状態]を押して確認してください。	印刷や保存していない受信文書があります。 - 印刷していない場合 プリンターが何らかのエラーで印刷できません。エラーの内容を確認しエラーを解除してください。 - コンピューターまたは外部メモリーに保存していない場合 保存先のコンピューターを起動する、または外部メモリーをプリンターに接続してください。

困ったときは

メッセージ	対処方法
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。
このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	Web Configを起動してルート証明書を更新してください。
コンピューターでプリンターのポート設定(IPアドレスなど)やドライバーの状態が正しいか確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	[プリンター] メニューの [プロパティ] - [ポート] で、以下の正しいポートが選択されていることを確認してください。 USB接続： [USBXXX] ネットワーク接続： [EpsonNet Print Port]
コンピューターで、印刷ポートの設定や、ドライバーの状態などを確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1. コンピューターとプリンターをUSB接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 2. エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

関連情報

- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 228ページ](#)
- ➡ [「お問い合わせ先」 300ページ](#)

ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する

実行したジョブに何らかのエラーが発生すると、ジョブ履歴にエラーコードが表示されます。エラーの内容は操作パネルの  ボタンを押して、[ジョブ状態] をタップすると確認できます。エラーの状況と対処方法は以下の表をご覧ください。

コード	状況	対処方法
001	停電でプリンターの電源が切れたため、ジョブがキャンセルされました。	-
101	プリンターのメモリー不足で印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす

困ったときは

コード	状況	対処方法
102	プリンターのメモリー不足で1部しか印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。サイズを小さくしたくないときは、1部ずつ印刷してください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
103	プリンターのメモリー不足で印刷品質を下げて印刷しました。	印刷品質を下げずに印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
104	プリンターのメモリー不足で逆順印刷できなかったため、正順で印刷しました。	逆順で印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
106	コンピューターからの印刷が制限されているため、印刷できません。	プリンターの管理者に問い合わせてください。
107	ユーザー認証に失敗したため、ジョブがキャンセルされました。	- ユーザー名とパスワードが正しいか確認してください。 〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔管理者用設定〕 - 〔セキュリティー設定〕 - 〔利用者制限〕の順にタップします。利用者制限を有効にして、認証情報がないジョブを許可してください。
108	プリンターの電源が切られたため、パスワード印刷データが破棄されました。	-
109	受信文書が削除されたため、再印刷できません。	-
110	両面印刷に対応していない用紙が設定されたため、片面で印刷しました。	両面で印刷したいときは、両面印刷対応の用紙をセットしてください。
111	プリンターのメモリー不足で、途中で排紙しました。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
120	Open Platformで接続するサーバーと正常に通信できません。	サーバーとネットワークに問題がないか確認してください。

困ったときは

コード	状況	対処方法
130	プリンターのメモリー不足で1部しか印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。サイズを小さくしたくないときは、1部ずつ印刷してください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
131	プリンターのメモリー不足で逆順印刷できなかったため、正順で印刷しました。	逆順で印刷したいときは、以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 印刷品質または解像度を低くする - 保存形式を変更する - 印刷データで使われている画像や文字の数、フォントの種類を減らす
132	プリンターのメモリー不足で印刷できませんでした。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 用紙サイズを小さくする - 印刷データ内の画像や、フォントの種類を減らすなどして、印刷データを簡略化する
133	プリンターのメモリー不足で両面印刷できません。片面で印刷します。	以下の方法で印刷データのサイズを小さくしてください。 - 用紙サイズを小さくする - 印刷データ内の画像や、フォントの種類を減らすなどして、印刷データを簡略化する
141	プリンターのHDD故障により、ジョブがキャンセルされました。	保守サービス実施店またはスマートチャージセンターに、HDD交換を依頼してください。
151	ログイン中のユーザー名とパスワード印刷のユーザー名が一致しなかったため印刷できませんでした。	パスワード印刷のユーザー名と一致するユーザー名でログインしてから印刷を行ってください。
201	文書を送信または受信中にプリンターのメモリーが一杯になりました。	〔ジョブ/状態〕の〔ジョブ状態〕で、印刷されていない受信文書を印刷してください。 〔ジョブ/状態〕の〔ジョブ状態〕で、受信ボックスに保存されているデータを削除してください。 1件の宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用すると送信できます。 - 複数枚の原稿は分割して送信してください。
202	文書を送信または受信中に、相手のファクス機によって通信が切断されました。	しばらくしてから再送信するか、相手先に確認してください。

困ったときは

コード	状況	対処方法
203	ダイヤルトーンが検出できません。	- モジュラーケーブルが正しく接続され、回線が正しく動作することを確認してください。 - プリンターを構内交換機 (PBX) またはターミナルアダプターに接続しているときは、[接続回線] 設定を [構内交換機 (PBX)] に変更してください。 [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤルトーン検出] の順にタップして、ダイヤルトーン検出を無効にしてください。
204	相手のファクス機が話中です。	- しばらくしてから再送信してください。 - 送信先のファクス番号を確認してください。 それでも送信できない場合は、[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤル種別] を選択して、ダイヤル種別を変更してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらくしてから再送信してください。
206	モジュラーケーブルがLINEポートとEXT.ポートに正しく接続されていません。	プリンターのLINEポートとEXT.ポートの接続を確認してください。
207	プリンターが電話回線に接続されていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先に文書を送信できませんでした。	ファクスモードの [ファクスレポート印刷] で [通信管理レポート] か、直前のジョブの場合は [通信結果レポート] を印刷して送信できなかった宛先を確認してください。 [送信失敗文書保存] 設定を有効にしていると、[ジョブ/状態] の [ジョブ状態] から再送信できます。
301	外部メモリーの容量が不足しています。	- 外部メモリーの容量を増やしてください。 - 原稿の枚数を減らしてください。 - スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
302	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
303	スキャンした画像を保存するために必要なフォルダーが外部メモリーに作成できません。	他の外部メモリーを挿入してください。
304	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
305	スキャンした画像の保存中に何らかのエラーが発生しました。	コンピューターから外部メモリーにアクセスしているときは、しばらく待ってから再度実行してください。
306	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
307	スキャンした画像のサイズが、作成できるファイルのサイズを超えています。(スキャンtoメモリー)	スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
311	DNSエラーが発生しました。	[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順にタップして、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。

困ったときは

コード	状況	対処方法
312	認証エラーが発生しました。	[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
313	通信エラーが発生しました。	- プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 - 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。[オフ]を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。
314	スキャンした画像のサイズが、メールに添付できるサイズを超えています。	- スキャン設定の[添付最大ファイルサイズ]を大きくしてください。 - スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
315	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了してから再度実行してください。
321	DNSエラーが発生しました。	[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順にタップして、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
322	認証エラーが発生しました。	[保存先] の設定を確認してください。
323	通信エラーが発生しました。	[保存先] の設定を確認してください。 - プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
324	保存先フォルダーに同じ名前のファイルが存在していません。	- 保存先フォルダーにある同じ名前のファイルを削除してください。 [ファイル設定] でファイルヘッダーを別の文字に変更してください。
325 326	保存先フォルダーの容量が不足しています。	- 保存先フォルダーの容量を増やしてください。 - 原稿の枚数を減らしてください。 - スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。
327	プリンターのメモリーが不足しています。	他の実行中のジョブが終了するまで待ってください。
328	保存先フォルダーが見つかりません。	[保存先] の設定を確認してください。
329	スキャンした画像のサイズが、作成できるファイルのサイズを超えています。（スキャンtoフォルダ）	スキャンの解像度を低くするか圧縮率を高くして、スキャンした画像のサイズを小さくしてください。

困ったときは

コード	状況	対処方法
331	通信エラーが発生しました。	プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。
332	スキャンした画像のサイズが、サーバーに送信できるサイズを超えています。	原稿の枚数を減らしてください。
333	選択した宛先の情報がサーバー上で変更されたため、宛先が見つかりません。	宛先を選択し直してください。
334	スキャンした画像の送信中に何らかのエラーが発生しました。	-
341	通信エラーが発生しました。	- プリンターとコンピューターの接続を確認してください。ネットワークで接続しているときは、プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 - Document Capture Proがインストールされているか確認してください。
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度挿入してください。
405	受信文書保存中に書き込みエラーが発生しました。	- 外部メモリーを再度挿入してください。 【保存専用フォルダーの作成】でフォルダーを作成した、別の外部メモリーを挿入してください。
411	DNSエラーが発生しました。	【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【詳細設定】 - 【TCP/IP】の順にタップして、DNS設定を確認してください。 - サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
412	認証エラーが発生しました。	【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【詳細設定】 - 【メールサーバー】 - 【サーバー設定】の順にタップして、サーバー設定を確認してください。
413	受信文書を転送中にエラーが発生しました。	【設定】 - 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【詳細設定】 - 【メールサーバー】 - 【サーバー設定】の順にタップします。メールサーバーの設定内容を確認してください。また、接続診断を行うと、エラー原因が確認できます。 - 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。【オフ】を選択した場合は、メールサーバーの認証がNone（なし）かどうかを確認してください。 - プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。

コード	状況	対処方法
421	DNSエラーが発生しました。	・ [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順にタップして、DNS設定を確認してください。 ・ サーバー、コンピューター、アクセスポイントのDNS設定を確認してください。
422	認証エラーが発生しました。	[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順にタップして、[転送先] で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
423	通信エラーが発生しました。	・ プリンターが正常にネットワーク接続できているか、ネットワーク接続診断をして確認してください。 ・ [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順にタップして、[保存・転送先] で指定されているフォルダーの設定を確認してください。
425	転送先フォルダーの容量が不足しています。	転送先フォルダーの容量を増やしてください。
428	転送先フォルダーが見つかりません。	[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] - [保存・転送設定] の順にタップして、[保存・転送先] で指定されているフォルダーの設定を確認してください。

関連情報

- ➡ [「電話回線に接続する」 55ページ](#)
- ➡ [「本体設定-ネットワーク設定メニューの説明」 41ページ](#)
- ➡ [「本体設定-Webサービス設定メニューの説明」 42ページ](#)
- ➡ [「外部記憶装置のセットと取り出し」 35ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」 110ページ](#)

コピーのトラブル

コピーできない

- ・ 利用者制限されているプリンターでは、コピー時にユーザー名とパスワードが要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
- ・ 紙詰まりなどでプリンターにエラーが発生しているとコピーできません。プリンターの操作パネルを確認し、メッセージに従いエラーを取り除いてください。

関連情報

- ➡ [「利用者制限とログオン」 19ページ](#)
- ➡ [「画面で見る説明」 240ページ](#)

➡ [「紙詰まりを解除するには」 241ページ](#)

コピー品質のトラブル

色合いがおかしい、出ない色がある、スジ（線）が入る、かすれる

プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

関連情報

➡ [「ノズルが目詰まりしていないか確認する」 238ページ](#)

ムラやシミ、斑点、線が出る

- 原稿台とADFをクリーニングしてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿を強く押さえ付けしないでください。
- 印刷用紙が汚れるときは、操作パネルでコピー濃度を薄くしてください。

関連情報

➡ [「本体の清掃」 236ページ](#)

➡ [「コピーの設定項目」 50ページ](#)

コピー結果にモアレ（網目状の陰影）が出る

拡大縮小の設定を変えるか、原稿の角度を少し変えてセットしてください。

関連情報

➡ [「コピーの設定項目」 50ページ](#)

コピーすると裏写りする

- 薄手の原稿は、原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて原稿台にセットしてください。
- 操作パネルでコピー濃度を薄くしてください。

関連情報

➡ [「コピーの設定項目」 50ページ](#)

思ったとおりにコピーできない

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない

- ADFからコピーするときは、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。コピー結果の端が切れたときは、原稿を原点マークから少し離してセットしてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。
- コピー設定の「原稿サイズ」を正しく設定してください。
- 印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」 31ページ](#)
- ➡ [「本体の清掃」 236ページ](#)
- ➡ [「コピーの設定項目」 50ページ](#)

ファクスのトラブル

思ったとおりに送信や受信ができない

ファクスの送信も受信もできない

- 操作パネルで「ファクス診断」を選択してください。電話回線との接続を自動でチェックしますので、結果レポートを印刷し、レポートに従って対処してください。
- 送受信ができなかったファクスジョブのエラーコードを確認し、エラーコード一覧にある対処方法をお試しください。
- 「接続回線」の設定を確認してください。「構内交換機(PBX)」に設定すると通信できることがあります。また、外線発信番号が必要な環境では外線発信番号をプリンターに登録して、電話番号の先頭に#を付けて送信してみてください。
- 通信エラー発生時は、操作パネルで「通信モード」を「9.6kbps(G3)」にしてみてください。
- 電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してみてください。正常に動作しないときはご契約の回線事業者へ問い合わせてください。
- ADSL接続時は、スプリッター内蔵のADSLモデムをお使いになるか、内蔵されていない場合は別途スプリッターを取り付ける必要があります。ご契約のADSLの回線事業者にお問い合わせください。
- ADSL接続時は、プリンターを電話回線に直接接続して送信ができるか確認してください。正常に送信できれば、プリンターではなくスプリッターに問題がある可能性があります。ご契約のADSLの回線事業者にお問い合わせください。
- 構内交換機(PBX)タイプのISDN回線専用環境下では、ご契約の回線事業者へ問い合わせてください。

困ったときは

- 電話回線の接続で、ブロードバンドルーターやターミナルアダプター使用時は、ルーターやアダプターの電源を入れ直してください。
- 操作パネルで [エラー訂正(ECM)] を有効にしてください。無効にするとカラーファクスの送受信ができません。
- コンピューターからのファクス送受信は、プリンターとコンピューターがUSBまたはネットワークで接続され、コンピューターにPC-FAXドライバーがインストールされていることを確認してください。PC-FAXドライバーは、FAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。
- Windowsの場合、[デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）で、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認してください。プリンター（ファクス）は「EPSON XXXXX (FAX)」と表示されます。表示されないときは、FAX Utilityをアンインストールして、再インストールしてください。[デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）フォルダーを表示させる手順は以下です。
 - Windows 10
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] または [ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 7
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] または [ハードウェア] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows Vista
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順に選択します。
 - Windows XP
スタートボタンをクリックし、[設定] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。
- Mac OSの場合、以下を確認してください。
 -  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認します。プリンター（ファクス）は「FAX XXXX (USB)」または「FAX XXXX (IP)」と表示されます。表示されていないときは、[+] をクリックして、お使いのプリンター（ファクス）を登録してください。
 -  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）をダブルクリックします。[一時停止] になっているときは、[再開] をクリックしてください。

関連情報

- ➡ [「ファクス診断」118ページ](#)
- ➡ [「基本設定」110ページ](#)
- ➡ [「ジョブ確認メニューのエラーコードを確認する」244ページ](#)
- ➡ [「構内交換機 \(PBX\) を設定する」60ページ](#)
- ➡ [「プリンターを電話回線に接続する」55ページ](#)
- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール \(削除\) する」233ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」228ページ](#)

メモリー不足のメッセージが表示された

- 受信文書を受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定にしているときは、既読などで不要になった文書を受信ボックスまたは親展ボックスから削除してください。
- 受信ファクスをコンピューターに保存する設定にしているときは、保存する設定にしているコンピューターを起動させてください。受信文書がコンピューターに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。
- 受信ファクスを外部メモリーに保存する設定にしているときは、保存フォルダーを作成した外部メモリーをプリンターに挿入してください。受信文書が外部メモリーに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。外部メモリーの空き容量が不足していないか、書き込み禁止になっていないかも確認してください。
- プリンターのメモリーが不足しているときでも以下の方法で送信できます。
 - モノクロファクス送信の場合は「ダイレクト送信」を有効にして送信する
 - 外付け電話からダイヤルして送信する
 - （「オンフック」）機能を使って送信する
 - 原稿を小分けして送信する
- 受信時に紙詰まりなどのエラーが発生していると、受信文書が印刷されないため、メモリー不足になることがあります。プリンターのエラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する（条件なし保存・転送）」78ページ](#)
- ➡ [「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」83ページ](#)
- ➡ [「受信文書を外部メモリーに保存する（条件なし保存・転送）」80ページ](#)
- ➡ [「受信文書を外部メモリーに保存する（条件保存・転送）」86ページ](#)
- ➡ [「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」67ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」66ページ](#)
- ➡ [「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」66ページ](#)
- ➡ [「画面で見る説明」240ページ](#)
- ➡ [「紙詰まりを解除するには」241ページ](#)

ファクスを送信できない

- 利用者制限されているプリンターではユーザー名とパスワードの入力が要求されます。パスワードが分からないときは管理者に問い合わせてください。
- プリンターの利用者制限設定がされているときにコンピューターからファクスを送信すると、プリンタードライバーで設定してあるユーザー名とパスワードで認証が行われます。認証に失敗して送信ができないときは管理者に問い合わせてください。
- 操作パネルでダイヤル種別の設定が正しいか確認してください。
- 操作パネルで発信元番号を登録してください。送信先によっては発信元番号情報がないファクスを受け付けられないことがあります。
- 非通知設定を解除してください。送信先によっては電話番号を通知することで受信できることがあります。
- 送信先のファクス番号が正しいか、送信先のファクスが受信できる状態か、送信先に確認してください。
- 意図せずにFコードを使った送信になっていないか確認してください。アドレス帳でFコード設定した宛先を選ぶと、Fコードを使った送信になります。

困ったときは

- Fコードを使った送信の場合、送信先のファクスがFコード受信に対応しているかを確認してください。
- Fコードを使った送信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが一致しているか、送信先に確認してください。

関連情報

- ➡ [「基本設定」110ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」252ページ](#)
- ➡ [「Fコード\(SUB\)とパスワード\(SID\)でファクスを送信する」70ページ](#)
- ➡ [「受信側の操作で送信する（ポーリング送信/掲示板ボックス）」71ページ](#)

特定送信先にファクスを送信できない

特定の送信先に送信できず、毎回エラーが表示されるときは以下を確認してください。

- ダイヤル終了後、送信先の応答に50秒以上かかるとエラーになります。 （[オンフック]）機能を使うか、外付け電話機を使ってダイヤルし、ファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。50秒以上かかる場合は、ファクス番号の後ろに続けてポーズを入力して送信してください。ポーズは  をタップして入れます。タップするとポーズマークとしてハイフンが入力されます。1ポーズにつき約3秒、ファクスの送信開始が遅くなります。ポーズの数で調整してください。
- 送信先をアドレス帳から選択したときは、アドレス帳の登録内容が間違っていないか確認してください。間違っていないときはアドレス帳からその送信先を選択し、[編集] で [通信モード] を [9.6kbps(G3)] にして再送信してみてください。

関連情報

- ➡ [「送信先の状況を確認してから送信する（オンフック）」66ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」66ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳の管理」20ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」252ページ](#)

指定時間にファクスを送信できない

操作パネルで日付と日時を正しく設定してください。

関連情報

- ➡ [「指定した時刻に送信する（時刻指定送信）」68ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」110ページ](#)

きれいに送信できない

- 原稿台をクリーニングしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
- 操作パネルで [原稿種類] を調整してください。文字と写真が混在した原稿は [写真] の設定で送信してください。

困ったときは

- 操作パネルで〔濃度〕を調整してください。
- 相手機の性能が分からないときは、〔ダイレクト送信〕をするか、〔画質〕を〔精細〕にして送信してください。〔高精細〕や〔超高精細〕で、〔ダイレクト送信〕を無効にしてモノクロで送信すると、低い解像度に変更されて送信されることがあります。
- 操作パネルで〔エラー訂正(ECM)〕を有効にしてください。

関連情報

- ➡ [「ファクス設定」106ページ](#)
- ➡ [「本体の清掃」236ページ](#)

原稿サイズと違うサイズで送信された

- 原稿台からファクス送信するときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。操作パネルで原稿のサイズを正しく設定してください。
- 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、その位置まで読み取り範囲が拡張されるため、位置が大きくなりすぎたり、画像が小さくなったりします。

関連情報

- ➡ [「ファクス設定」106ページ](#)
- ➡ [「原稿のセット」31ページ](#)
- ➡ [「本体の清掃」236ページ](#)

ファクスを受信できない

- ボイスワープなどの電話転送サービス利用時に受信できないことがあります。サービスを提供している業者に問い合わせてください。
- 外付け電話機をプリンターに接続して1回線を共有して使うときは、操作パネルで〔受信モード〕を〔ファクス/電話自動切替〕に設定してください。
- 外付け電話機を接続していないときは、操作パネルで〔受信モード〕を〔自動〕に設定してください。
- 呼び出し回数を少なく設定してください。呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。
- 以下の状態ではプリンターのメモリー不足のため受信できません。メモリー不足のメッセージが表示されたときの対処方法をご覧ください。
 - 受信ボックスと親展ボックスの受信文書の合計が200件になっている
 - プリンターのメモリー使用率が100%になっている
- Fコードを使った受信の場合、Fコードおよびパスワードが正しいか確認してください。また、Fコードおよびパスワードが一致しているか、送信元に確認してください。
- 送信元のファクス番号が〔拒否番号リスト〕に載っていないか確認してください。〔拒否番号リスト〕-〔ファクス受信拒否〕の設定を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。
- 送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されているか確認してください。〔アドレス帳未登録〕-〔ファクス受信拒否〕の設定を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。

困ったときは

- 送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されているか確認してください。[非通知] - [ファクス受信拒否] の設定を有効にしているときは、アドレス帳に登録されていない番号からのファクスは受信拒否されます。
- 構内交換機 (PBX) 接続で、内線呼び出し (SIR) になっているときは、外線呼び出し (IR) に設定すると解決することがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- ダイヤルインやモデムダイヤルインには対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- Fネット (1300 Hz呼び出し) には対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- 接続されている電話回線が不安定な場合は、受信ファクスがないにもかかわらず着信中の表示が続くことがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。

関連情報

- ➡ [「基本設定」110ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」252ページ](#)
- ➡ [「メモリー不足のメッセージが表示された」254ページ](#)
- ➡ [「掲示板からFコード \(SEP\) とパスワード \(PWD\) を使って受信する \(ポーリング受信\)」76ページ](#)

外部メモリーに受信文書を保存できない

外部メモリーがプリンターに挿入されていることと、[受信設定] を確認してください。

関連情報

- ➡ [「受信文書を外部メモリーに保存する \(条件なし保存・転送\)」80ページ](#)
- ➡ [「受信文書を外部メモリーに保存する \(条件保存・転送\)」86ページ](#)

きれいに受信できない

- 操作パネルで [エラー訂正 (ECM)] を有効にしてください。
- 送信元に、より画質の高いモードで送信できないか確認してください。
- 受信文書を再度印刷してみてください。[ジョブ/状態] の [履歴] から印刷できます。

関連情報

- ➡ [「基本設定」110ページ](#)
- ➡ [「印刷した受信文書を再印刷する」105ページ](#)

A3ファクスを受信できない

- A3サイズ of 用紙を入れている給紙装置の用紙サイズ設定がA3になっているか、またそのA3用紙が入った給紙装置をファクスで使う設定にしているか確認してください。[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [給紙口自動選択] - [ファクス] の順に選択して、有効になっている給紙装置を確認します。
- [受信紙宣言] でA3サイズを選択しているか確認してください。[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [受信紙宣言] の順に選択して、A3サイズが選択されていることを確認します。

関連情報

- ➡ [「本体設定-プリンター設定メニューの説明」 38ページ](#)
- ➡ [「基本設定」 110ページ](#)

受信ファクスが印刷されない

- 紙詰まりなどでプリンターにエラーが発生していると印刷できません。プリンターを確認してください。
- 受信ボックスまたは親展ボックスに保存する設定になっていると受信ファクスの自動印刷はされません。〔受信設定〕を確認してください。

関連情報

- ➡ [「画面で見る説明」 240ページ](#)
- ➡ [「紙詰まりを解除するには」 241ページ](#)
- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する（条件なし保存・転送）」 78ページ](#)
- ➡ [「受信文書を受信ボックス、親展ボックスに保存する（条件保存・転送）」 83ページ](#)

受信ファクスの2ページ目が白紙または数行だけ印刷される

〔ページ分割設定〕で〔分割後の印刷破棄〕をすると、印刷を1ページだけに抑えることができますようになります。
〔分割後の印刷破棄〕設定で、〔上を破棄〕または〔下を破棄〕を選択して〔しきい値〕を調整してください。しきい値を上げると、印刷領域が広がり1ページに収めて印刷できることがあります。

関連情報

- ➡ [「印刷設定」 116ページ](#)

ファクス時のその他のトラブル

プリンターに接続した外付け電話機で通話できない

プリンターのEXT.ポートに外付け電話機を接続し、受話器を上げてダイヤルトーン（ツーン音）が聞こえるかを確認してください。ダイヤルトーンが聞こえないときは、モジュラーケーブルを正しく接続してください。

関連情報

- ➡ [「電話機とプリンターを接続する」 57ページ](#)

留守番電話が応答しない

- 操作パネルで、ファクスを受信するまでの〔呼び出し回数〕を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- 〔受信モード〕が〔ファクス/電話自動切替〕になっているときは、〔自動〕に変更してください。

関連情報

- ➡ [「基本設定」110ページ](#)
- ➡ [「留守番機能付き電話接続時の設定」74ページ](#)

ナンバーディスプレイ機能が働かない

- かかってきた相手先のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示させるには、ナンバーディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- 操作パネルで、[ナンバー・ディスプレイ対応] 設定を変更してください。
- 1回線を電話機とプリンターで共有するときは、電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。並列接続（ブランチ接続）をしているとナンバーディスプレイ機能が使えません。

関連情報

- ➡ [「ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定」74ページ](#)

受信文書に相手先のファクス番号が表示されない、またはファクス番号が間違っ て表示される

送信元のファクス機に発信元番号が設定されていないか、登録が間違っている可能性があります。送信元に確認してください。

スキヤンのトラブル

スキヤンできない

- ADFからのスキヤン時は、原稿カバーやADFカバーが閉まっているか確認してください。
- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。
- コンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB 2.0ケーブルでプリンターを接続すると、通信できないことがあります。以下の方法で接続し直してください。
 - USB 3.0ケーブルを使用する
 - コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
 - 通信できないポート以外のSuperSpeed USBポートに接続する
- ネットワーク接続しているときに高解像度でスキヤンすると、通信エラーが発生することがあります。解像度を下げてスキヤンしてください。
- Epson Scan 2で選択しているスキャナーが正しいことを確認してください。

プリンターがコンピューターに認識されているか確認する（Windows）

Windowsの場合、[スキャナーとカメラ] でお使いのプリンター（スキャナー）が表示されていることを確認してください。プリンター（スキャナー）は「EPSON XXXXX（プリンター名）」と表示されます。表示されないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。[スキャナーとカメラ] を表示させる手順は以下です。

- Windows 10
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順に選択して、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順にクリックして、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] を選択して、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [スキャナとカメラ] の順に選択して、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [スキャナとカメラ] の順に選択して、プリンターが表示されているか確認します。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」233ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」228ページ](#)

スキャン品質のトラブル

原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが現れる

- 原稿台をクリーニングしてください。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。
- 原稿や原稿カバーを強く押さえ付けしないでください。強く押さえ付けると、ムラ、シミ、斑点が出る場合があります。

関連情報

- ➡ [「本体の清掃」236ページ](#)

ADFからスキャンするとき直線が現れる

- ADFをクリーニングしてください。
ADFに付いているゴミや汚れが原因で、画像に直線が出ることがあります。

困ったときは

- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。

関連情報

➡ [「本体の清掃」236ページ](#)

画質が粗い

- Epson Scan 2の〔拡張設定〕タブで、画像を補正してからスキャンしてください。
- 解像度を低く設定しているときは、解像度を上げてスキャンしてください。

関連情報

➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」145ページ](#)

原稿の裏面が写る

原稿の裏面の画像も読み取られ、スキャンした画像に写ることがあります。

- Epson Scan 2で〔拡張設定〕タブを選択し、〔明るさ〕を調整します。
〔基本設定〕タブでの〔イメージタイプ〕の設定、または〔拡張設定〕タブでの設定内容によっては、この機能は設定できません。
- Epson Scan 2で、〔拡張設定〕タブの〔イメージオプション〕で〔文字くっきり〕を選択してください。
- 原稿台からスキャンするときは、原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねてセットしてください。

関連情報

➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」145ページ](#)

➡ [「原稿のセット」31ページ](#)

文字がぼやける

- Epson Scan 2で、〔拡張設定〕タブの〔イメージオプション〕で〔文字くっきり〕を選択してください。
- Epson Scan 2で、〔基本設定〕タブで〔イメージタイプ〕が〔モノクロ〕のときは、〔拡張設定〕タブで〔しきい値〕を調整してください。〔しきい値〕を上げると、黒色の領域が増えます。
- 解像度を低く設定しているときは、解像度を上げてスキャンしてください。

関連情報

➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」145ページ](#)

モアレ（網目状の陰影）が現れる

原稿が印刷物のとき、スキャンした画像にモアレ（網目状の陰影）が現れることがあります。

困ったときは

- Epson Scan 2の〔拡張設定〕タブで、〔モアレ除去〕を設定してください。



- 解像度を変更してスキャンし直してください。

関連情報

➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」145ページ](#)

原稿台で正しい範囲でスキャンできない

- 原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。
- スキャンした画像の端が切れたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。
- 操作パネルから、スキャン範囲の自動切り取り設定でスキャンするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。

関連情報

➡ [「原稿のセット」31ページ](#)

➡ [「本体の清掃」236ページ](#)

検索可能PDFに保存するとき、文字が正しく認識されない

- Epson Scan 2の〔保存形式の設定〕画面で、〔テキスト〕タブの〔テキスト言語〕が正しく設定されているか確認してください。
- 原稿がまっすぐセットされているか確認してください。
- 文字がくっつきしている原稿を使用してください。以下のような原稿は、認識率が下がることがあります。
 - 何度もコピーした原稿
 - ファクスで受信した原稿（解像度が低い原稿）
 - 文字間や行間が狭すぎる原稿
 - 文字に罫線や下線がかかっている原稿
 - 手書き文字の原稿
 - 草書体、行書体、毛筆体、斜体などのフォントや、小さな文字が使われている原稿
 - 折り跡やしわがある原稿
- Epson Scan 2で、〔基本設定〕タブで〔イメージタイプ〕が〔モノクロ〕のときは、〔拡張設定〕タブで〔しきい値〕を調整してください。〔しきい値〕を上げると、黒色の領域が増えます。
- Epson Scan 2で、〔拡張設定〕タブの〔イメージオプション〕で〔文字くっつき〕を選択してください。

関連情報

➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」145ページ](#)

スキャン品質のトラブルが解決しないときは

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2 ユーティリティを使ってEpson Scan 2 の設定を初期化します。

参考 Epson Scan 2 ユーティリティは、Epson Scan 2に付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2 ユーティリティを起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。

2. [その他] タブを選択します。

3. [初期化] をクリックします。

参考 初期化してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。

関連情報

➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」233ページ](#)

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」228ページ](#)

操作パネルから共有フォルダーにスキャンできない

プリンターのメッセージを確認

エラーが発生したときは、操作パネルにエラーメッセージが表示されます。

困ったときは

メッセージ	対処方法
DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。	- プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - コンピューター名にひらがな、カタカナ、漢字、全角英数字の2バイト文字が使用されているときは、半角英数字に直して設定し、アドレス帳に登録し直してください。 - コンピューターのIPアドレスが手動で固定設定されているときは、ネットワークパスのコンピューター名をコンピューターのIPアドレスに置き換えてみてください。 例) \\EPSON02\SCAN → \\192.168.xxx.xxx\SCAN - 保存先コンピューターの電源が入っているか、またはスリープ状態になっていないか確認してください。スリープ状態のときは、共有フォルダーに保存できません。 - 保存先のコンピューターのファイヤーウォール、セキュリティソフトを一時的に停止して確認してください。エラーが解決したら、セキュリティソフトの設定を確認してください。 - ネットワークの場所が「パブリックネットワーク」になっているとき、共有フォルダーに保存できません。ポートの解放設定などを個別に設定してください。 - IPアドレスがDHCPのとき、一度LANを切断すると、次にLANに接続したときにIPアドレスが変わることがあります。IPアドレスの取得をやり直してください。 - DNSの設定に問題がないか確認してください。DNSの設定値は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 - DNSサーバーの管理テーブルが更新されていないとき、コンピューター名とIPアドレスが一致していないことがあります。DNSサーバーの管理者に問い合わせてください。
認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。	フォルダーの共有アクセスを許可しているユーザーのログオン名/パスワードと、アドレス帳に登録しているユーザー名/パスワードが一致しているか確認してください。また、パスワードの有効期限が切れていないか確認してください。
通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。	- Web Configなどで、「Microsoftネットワーク共有を使用する」が無効になっていないかを確認してください。 Web Configでは、「ネットワーク」 - 「MS Network」で確認できます。 - プリンターのアドレス帳に登録しているアドレスと、共有フォルダーのアドレスが同じに設定されているか確認してください。 - アドレス帳に登録しているユーザーのアクセス許可が、共有フォルダーのプロパティの「共有」タブと「セキュリティ」タブの両方に追加されていて、変更の許可にチェックが入っている必要があります。
同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。	ファイル名の変更をしてください。または、共有フォルダーのファイルを移動したり、名前を変更したり、削除したりしてください。
スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。	コンピューターにファイルを保存できる容量がありません。コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。

エラーの発生箇所を確認する

共有フォルダーに保存するとき、以下の項目を上から順に行います。エラーが発生したとき、エラーの発生箇所を判断できます。

項目	動作内容	エラーメッセージ
接続	プリンターから保存先コンピューターに接続する。	DNSエラーが発生しました。DNS設定を確認してください。
コンピューターへのログオン	ユーザー名とパスワードを入れてログオンする。	認証エラーが発生しました。認証方式とアカウント名、パスワードを確認してください。
保存場所の確認	共有フォルダーのネットワークパスを確認する。	通信エラーが発生しました。ネットワーク接続状態を確認してください。
ファイル名の確認	フォルダー内に同じ名前のファイルがないかを確認する。	同じ名前のファイルがあります。ファイル名を変更してスキャンし直してください。
ファイルの書き込み	フォルダーにファイルを書き込む。	スキャンしたファイルが大きすぎます。XXページが送信済みです。保存先を確認してください。

保存に時間がかかる

以下の設定を確認してください。

- DNSの設定に問題がないか確認してください。
- Web Configで確認するとき、各DNSの設定が正しくされているか確認してください。
- DNSドメイン名が正しく設定されているか確認してください。

プライベートネットワークとパブリックネットワークを切り替える

Windows 7以降のバージョンでは、ネットワーク接続に対するプロファイルとして「ネットワークの場所」が設定されています。それに応じて共有の設定やファイヤーウォールが構成されています。

インターネットとルーターで分けられたホーム/社内ネットワークに接続するときは、[プライベートネットワーク]、[ホームネットワーク]、または[社内ネットワーク]を使用します。空港や駅など、公共の場所で公衆無線LAN（Wi-Fi）を使って接続するときは、安全性の高い[パブリックネットワーク]を使用します。

スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、[プライベートネットワーク]、[ホームネットワーク]、または[社内ネットワーク]を使用します。

！重要 ネットワークの場所を変更するときは、管理者に問い合わせてください。

参考 環境によっては[ドメインネットワーク]を使用しています。

初めてネットワークに接続するときに、ネットワークの場所を選びます。ホーム/社内ネットワークに接続した後、ネットワークの場所でパブリックネットワークを選んだとき、そのままでは共有フォルダーに保存できません。ネットワークの場所を設定し直してください。

Windows 10/Windows 8.1/Windows 8とWindows 7では、ネットワークの場所の名称が変更されています。

Windows 10/Windows 8.1/Windows 8	プライベートネットワーク
	パブリックネットワーク

困ったときは

Windows 7	ホームネットワーク
	社内ネットワーク
	パブリックネットワーク

現在のネットワークの設定は [コントロールパネル] - [ネットワークと共有センター] で確認できます。



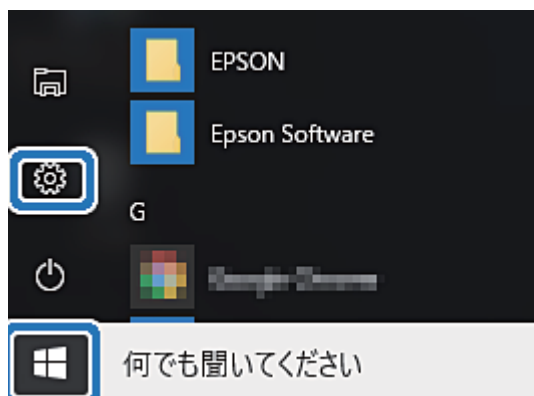
ネットワークの場所を変更

ネットワークの場所の変更方法はOSごとに異なります。

ネットワークの場所を変更する - Windows 10

参考 管理者権限でサインインしてください。

1. Windowsマークをクリックしてスタートメニューを表示させ、設定アイコンをクリックします。



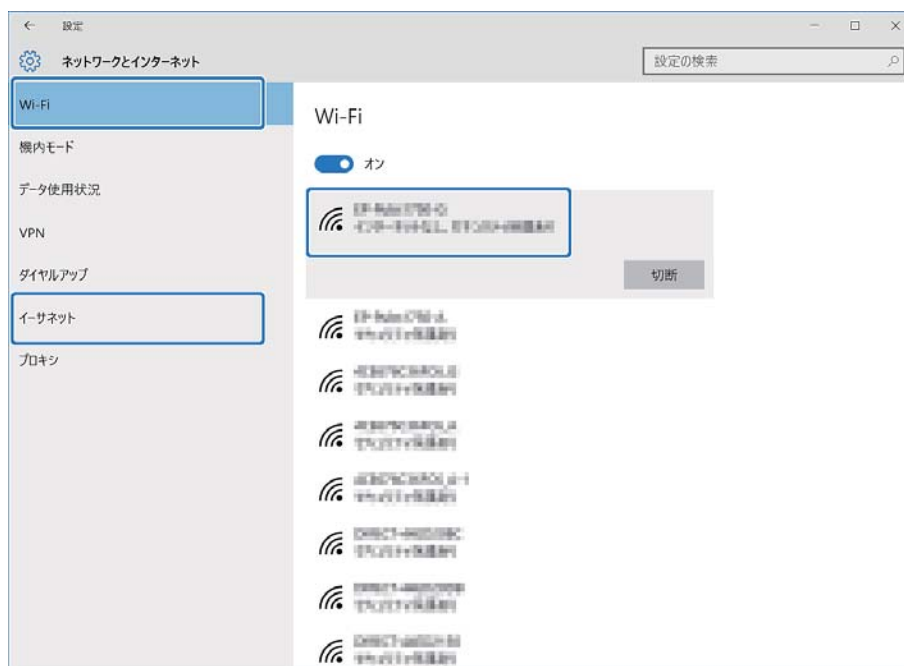
困ったときは

2. 「設定」の画面で「ネットワークとインターネット」をクリックします。



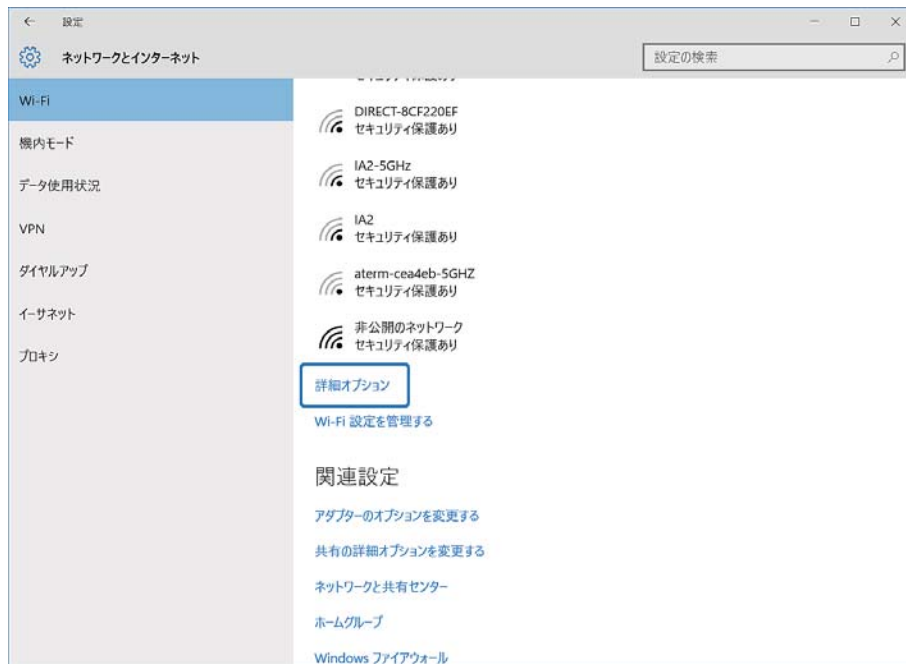
3. 「ネットワークとインターネット」の画面で、接続済みのネットワーク名をクリックします。

- Wi-Fi接続のときは、「Wi-Fi」を選択します。
- 有線LAN接続のときは、「イーサネット」を選択します。



困ったときは

4. 表示されているSSIDが多いときは画面を下にスクロールして、「詳細オプション」をクリックします。



5. 「このPCを検出可能にする」を設定します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、「オン」を選択します。
- ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは「オン」（プライベートネットワーク）を選択します。
 - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは「オフ」（パブリックネットワーク）を選択します。

参考 変更したネットワークの場所の設定は、「ネットワークと共有センター」で確認できます。



ネットワークの場所を変更する - Windows 8.1

参考 管理者権限でサインインしてください。

1. 画面右下の角にマウスポインターを移動してチャームを表示させ、[設定] をクリックします。
2. [設定] の画面で [PC設定の変更] をクリックします。
3. [PC設定の変更] の画面で [ネットワーク] をクリックします。
4. [ネットワーク] の画面で接続済みのネットワークをクリックします。
5. [デバイスとコンテンツの検索] を設定します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、[オン] を選択します。
 - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは [オン] (プライベートネットワーク) を選択します。
 - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは [オフ] (パブリックネットワーク) を選択します。

参考

- [デバイスとコンテンツの検索] は、管理者権限でサインインすると表示されます。
- 変更したネットワークの場所の設定は、[ネットワークと共有センター] で確認できます。

ネットワークの場所を変更する - Windows 8

参考 管理者権限でサインインしてください。

1. 画面右下の角にマウスポインターを移動してチャームを表示させ、[設定] をクリックします。
2. [設定] の画面で、接続済みのネットワークアイコンをクリックします。
3. [ネットワーク] の画面で接続済みのネットワークを右クリックし、表示されるメニューから [共有のオン/オフを切り替える] をクリックします。
4. [PCの共有をオンにしてこのネットワークのデバイスに接続しますか?] と表示されたら、ネットワークの場所に合わせて回答を選択します。スキャンした画像を共有フォルダーに保存するときは、[[はい] を選択します。
 - ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは [[はい] (プライベートネットワーク) を選択します。
 - 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは [いいえ] (パブリックネットワーク) を選択します。

参考 変更したネットワークの場所の設定は、[ネットワークと共有センター] で確認できます。

ネットワークの場所を変更する - Windows 7

参考 管理者権限でログオンしてください。

1. スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。

2. 「ネットワークと共有センター」を開きます。

- 「カテゴリ表示」の場合：「ネットワークとインターネット」 - 「ネットワークと共有センター」をクリックします。
- 「小さいアイコン」の場合：「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「アクティブなネットワークの表示」のネットワークの場所をクリックします。

4. ネットワークの場所を設定します。

- ホームネットワークや社内ネットワークに接続するときは、「ホームネットワーク」または「社内ネットワーク」を選択します。
- 公共の場所にあるネットワークへ接続するときは、「パブリックネットワーク」を選択します。

5. 内容を確認して「閉じる」をクリックします。

スキャン時のその他のトラブル

スキャン速度が遅い

- 解像度を下げて、もう一度スキャンしてください。解像度が高いとスキャンに時間がかかります。
- Epson Scan 2の画質調整機能によっては、スキャン速度が遅くなることがあります。
- Epson Scan 2で  ボタンをクリックすると表示される「環境設定」画面で、「スキャン」タブの「動作音低減モード」が選択されていると、スキャン速度が遅くなることがあります。

関連情報

➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」145ページ](#)

スキャンした画像をメールで送信できない

メールサーバーが設定されていることを確認してください。

PDF/Multi-TIFF形式でスキャンすると動作が止まる

- Epson Scan 2では、PDF形式でスキャンできる原稿は999枚、Multi-TIFF形式では200枚までです。操作パネルでは、ADFからの片面原稿の場合は50ページまで、ADFからの両面原稿および原稿台からの場合は100ページまでです。
- 大量のスキャンは、モノクロでのスキャンをお勧めします。
- コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。十分な空き容量がないと、スキャンが止まる場合があります。
- 解像度を下げてスキャンしてください。総データの容量が制限を超えるとスキャンが止まります。

関連情報

➡ [「Epson Scan 2でスキャンする」145ページ](#)

印刷のトラブル

コンピューターから印刷できない

接続状態をチェック（USB）

- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。
- USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。
- USB接続のプリンターが印刷できなくなった場合は、以下をお試しください。
USBケーブルを取り外します。コンピューターに表示されているプリンターのアイコンを右クリックして、[デバイスの削除]を選択します。その後、USBケーブルを接続して印刷をお試しください。
それでも印刷ができない場合はプリンターの接続設定をやり直してください。



接続状態をチェック（ネットワーク）

ネットワークに接続できなかったり、ネットワーク経由で印刷できなかったりする場合は、システム管理者に問い合わせてください。

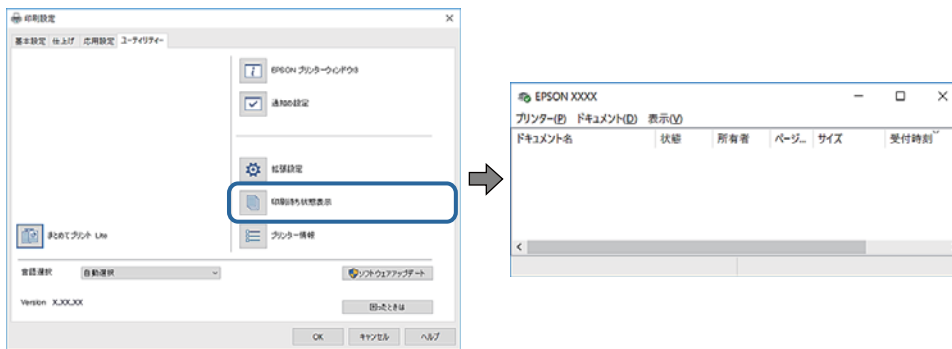
ソフトウェアやデータをチェック

- プリンタードライバーをインストールしてください。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとする、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。

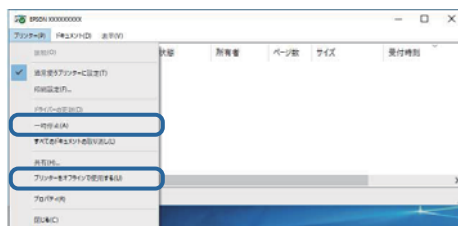
困ったときは

コンピュータでプリンターの状態をチェック（Windows）

プリンタードライバーで「ユーティリティ」タブの「印刷待ち状態表示」をクリックして以下を確認してください。



- 印刷待ちのジョブがないこと
不要な印刷データが残っている場合は、「プリンター」メニューで「すべてのドキュメントの取り消し」を選択してください。
- 一時停止やオフラインになっていないこと
一時停止またはオフラインになっているときは、「プリンター」メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。



- 「プリンター」メニューでお使いのプリンターが通常使うプリンターに設定されている（チェックが付いている）こと
設定されていないときは、通常使うプリンターに設定してください。[コントロールパネル] - [デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）にアイコンが複数ある場合は、以下を参考にして選んでください。
例)
USB ケーブルで接続：EPSON XXXX Series
ネットワークで接続：EPSON XXXX Series（ネットワーク）
何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。
「EPSON XXXX Series（コピー1）」などのコピーができている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、「デバイスの削除」をクリックしてください。
- 「プリンター」メニューの[プロパティ] - [ポート] で、以下の正しいポートが選択されていること
USB接続：[USBXXX]、ネットワーク接続：[EpsonNet Print Port]
ポートを変更できない場合は、「プリンター」メニューの[管理者として開く]を選択してください。[管理者として開く]が表示されないときは、システム管理者に確認してください。

コンピュータでプリンターの状態をチェック（Mac OS）

- 利用者制限されたプリンターでは印刷できないことがあります。管理者に問い合わせてください。

困ったときは

- プリンターのステータスが「一時停止」になっていないか確認してください。



メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターをダブルクリックします。「一時停止」になっているときは、「再開」をクリックしてください。

その他の内容をチェック

一部のコンピューターのSuperSpeed USBポートにUSB 2.0ケーブルを使ってプリンターを接続すると、通信不良が発生することがあります。次のいずれかの方法で接続し直してください。

- USB 3.0ケーブルを使用する
- コンピューターのHi-Speed USBポートに接続する
- 通信不良が発生するポート以外のSuperSpeed USBポートに接続する

関連情報

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 228ページ](#)

スマートデバイス（iPhoneやiPad）から印刷できない

- スマートデバイスにEpson iPrint（エプソン アイプリント）をインストールしてください。
- iPhoneやiPadをプリンターと同じネットワーク（SSID）に接続してください。

関連情報

➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」 226ページ](#)

印刷が中断される

印刷中にカバー類を開けたまま放置すると印刷が中断されます。カバー類を開けたらすぐに閉めてください。

印刷結果のトラブル

色合いがおかしい、出ない色がある、スジ（線）が入る、かすれる

プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

関連情報

➡ [「ノズルが目詰まりしていないか確認する」 238ページ](#)

印刷品質が悪い

印刷品質が悪いときは以下を確認してください。

プリンターをチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

用紙をチェック

- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
- 用紙の取り扱いや保管に注意してください。用紙は湿気の少ない場所に保管し、一度開封した用紙は密封して保管してください。

印刷設定をチェック

- 用紙種類の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。
- 印刷設定で印刷品質を上げて印刷してください。

インクカートリッジをチェック

インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。本製品は純正インクカートリッジを前提に色調整されているため、純正品以外を使用すると印刷品質が低下することがあります。

関連情報

- ➡ [「ノズルが目詰まりしていないか確認する」 238ページ](#)
- ➡ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)
- ➡ [「使用できない用紙」 27ページ](#)
- ➡ [「用紙の保管」 28ページ](#)
- ➡ [「インクカートリッジ」 216ページ](#)

用紙が汚れる、こすれる

- 本製品で使用できる用紙か確認してください。
- セット方法やセット枚数を確認してください。
- 用紙の状態を確認してください。用紙は吸湿すると波打ったり丸まったりして、トラブルの原因になります。
- 頻繁に汚れやこすれが発生する場合は、新しく開封した用紙を使用してみてください。
- 一度開封した用紙は、ポリ袋に入れて密封して保管してください。
- [こすれ軽減] モードをお試しください。[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [こすれ軽減] の順にタップして設定してください。設定値の種類は、本体画面をご覧ください。
- [こすれ軽減] を有効にしてもこすれが軽減できないときは、印刷濃度、コピー濃度を薄くしてください。
- 手動で両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。
- ハガキの両面に印刷するときは、宛名面を先に印刷してください。

関連情報

- ➡ [「印刷できる用紙とセット可能枚数」 24ページ](#)
- ➡ [「使用できない用紙」 27ページ](#)
- ➡ [「用紙の取り扱いについて」 27ページ](#)
- ➡ [「用紙の保管」 28ページ](#)
- ➡ [「セットした用紙種類の設定」 30ページ](#)

ハガキに縦長の写真を印刷すると宛名面と上下が逆になる

縦長写真のデータは撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって上下（天地）が異なります。セットの向きを上下逆にしてください。

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない

- 印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
- 印刷用紙のサイズを正しく設定してください。
- アプリケーションソフトの余白設定を印刷領域内にしてください。

関連情報

- ➡ [「用紙のセット方法」 28ページ](#)
- ➡ [「印刷領域」 282ページ](#)

文字が正しく印刷されない、文字化けする

- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。
- 待機中のジョブがあるときに印刷すると、文字化けすることがあります。
- 印刷中はコンピューターを手動で［休止状態］または［スリープ］にしないでください。次回コンピューター起動時に、文字化けしたデータが印刷されることがあります。
- 以前使用していたプリンタードライバーを使うと、文字化けすることがあります。お使いのプリンタードライバーがこのプリンター用のものか確認してください。プリンタードライバー画面上部のプリンター名を確認してください。

モザイクがかかったように印刷される

画像や写真は、解像度の高いデータで印刷してください。Webページの画像は解像度の低いことが多く、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られないことがあります。

印刷結果のトラブルが解決しない

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」233ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」228ページ](#)

印刷時のその他のトラブル

印刷速度が遅い

- 不要なアプリケーションソフトを終了させてください。
- 印刷品質を下げて印刷してください。印刷品質が高いと印刷速度が遅くなります。
- 印刷速度優先を有効にしてください。
 - 操作パネル
ホーム画面で、[設定] - [本体設定] - [基本設定] - [プリンター設定] の順にタップして、[印刷速度優先] を[オン] にします。
- 動作音低減モードを無効にしてください。動作音低減動作中は印刷速度が遅くなります。
 - 操作パネル
ホーム画面で  をタップして、[動作音低減モード] を無効にします。
- 両面印刷では、用紙の片面を印刷して乾燥した後でもう片面を印刷します。乾燥時間は温度や湿度などの環境により変わるため、印刷速度が遅くなることがあります。
- 高温によるプリンター内部の損傷を防ぐための機能が働いていますが、印刷は継続できます。
- 印刷データやプリンターの使用環境によっては、印刷処理に時間がかかったり、印刷品質を保つために印刷速度を遅くしたりすることがあります。

関連情報

- ➡ [「本体設定-プリンター設定メニューの説明」38ページ](#)

PostScriptプリンタードライバー使用時のトラブル

 **参考** コンピューターの環境によって、プリンタードライバーの表示内容が異なります。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷できない

- 操作パネルで [印刷言語] を [Auto] または [PS3] に設定してください。

- Windowsの場合、大量のジョブを送信すると印刷できないことがあります。プリンターのプロパティの「[詳細設定]」タブで、「[プリンターに直接印刷データを送る]」を選択してください。

関連情報

➡ [「本体設定-プリンター設定メニューの説明」 38ページ](#)

PostScriptプリンタードライバー使用時に正しく印刷できない

- Adobe Photoshopなどのデータ形式を変更できるアプリケーションソフトでデータを作成したときは、プリンタードライバーの設定を作成したデータ形式と合わせてください。
- バイナリー形式で作成したEPSファイルは正常に印刷できないことがあります。アプリケーションソフトでEPSファイルを作成するときはASCII形式にしてください。
- Windowsの場合、USB接続時にはバイナリー形式のデータが印刷できません。プリンターのプロパティの「[デバイスの設定]」タブで、「[出力プロトコル]」を「[ASCII]」または「[TBCP]」に設定してください。
- Windowsの場合、プリンターのプロパティの「[デバイスの設定]」タブで、適切な代替フォントを選択してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷品質が悪い

プリンタードライバーの「[用紙/品質]」タブでは色の設定ができません。「[詳細設定]」をクリックして、「[EPSON スーパーファイン専用ハガキ]」を設定してください。

PostScriptプリンタードライバー使用時に印刷速度が遅い

プリンタードライバーで、「[印刷品質]」を「[厚紙2]」に設定してください。

オプション品のトラブル

フィニッシャーユニットや大容量給紙ユニットが認識されない

プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。

関連情報

- ➡ [「プリンタードライバーでオプションユニットを設定する - Windows」 278ページ](#)
- ➡ [「プリンタードライバーでオプションユニットを設定する - Mac OS」 278ページ](#)

プリンタードライバーでオプションユニットを設定する - Windows

 管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログオンしてください。

1. プリンターのプロパティの「環境設定」タブを表示させます。

- Windows 10
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックし、[プロパティ] を選択して、[環境設定] タブをクリックします。
- Windows XP
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] の [プリンタとFAX] の順に選択します。

2. 「プリンターから取得」を選択して「取得」をクリックします。

3. 「OK」をクリックします。

プリンタードライバーでオプションユニットを設定する - Mac OS

1.  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。
2. オプションユニットの種類に合わせて設定します。
3. 「OK」をクリックします。

フィニッシャーユニットに排紙されない

- フィニッシャーユニットの内部に紙片が残っていたら取り除いてください。
- フィニッシャーユニットのトレイ周囲に物を置いていたら、取り除いてください。

関連情報

- ➡ [「画面で見る説明」 240ページ](#)
- ➡ [「紙詰まりを解除するには」 241ページ](#)

用紙カセットロックのカギを紛失した

保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご連絡ください。

その他のトラブル

代表的なトラブルと対処方法を掲載しています。

印刷結果にスジが入る、色合いがおかしい

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていることがあります。ホーム画面で〔設定〕 - 〔プリンターのお手入れ〕 - 〔プリントヘッドのノズルチェック〕で、画面の指示に従って調整パターンを印刷してください。

関連情報

- ➡ [「ノズルが目詰まりしていないか確認する」 238ページ](#)

電源が入らない、切れない

- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。また壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
- 電源ボタンを少し長めに押してください。
- 漏電ブレーカーがある場合は、漏電ブレーカーのブレーカースイッチがオンになっているか確認してください。ブレーカースイッチがオフになっていたら、オンにして電源を入れてみてください。すぐにオフになる場合は電源コードを抜き、管理者またはサービス担当者にご連絡ください。

関連情報

- ➡ [「電源の入れ方/切り方」 13ページ](#)

操作パネルの画面が暗くなった

スリープモードになっています。操作パネルの画面に触れると元の明るさに戻ります。

プリンターに触れたときに電気を感じる

多数の周辺機器をコンピューターに接続していると、プリンターに触れたとき電気を感じる場合があります。プリンターを接続しているコンピューターからアース（接地）を取ってください。

動作音が大きい

動作音が大きいときは、動作音低減モードを設定します。

ファクス以外：〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔プリンター設定〕 - 〔動作音低減モード〕

ファクス：〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕 - 〔印刷設定〕 - 〔動作音低減モード〕

動作音が気になる場合は、違う場所に設置することをお勧めします。

関連情報

- ➡ [「本体設定-プリンター設定メニューの説明」38ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」110ページ](#)

日時、時刻がずれている

操作パネルで日付と時刻を正しく設定してください。落雷などで停電したり、電源を切ったまま長時間放置したりすると、プリンターの設定時刻がずれることがあります。

関連情報

- ➡ [「本体設定-基本設定メニューの説明」35ページ](#)

外部メモリーが認識されない

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔プリンター設定〕 - 〔外部メモリー〕 で外部メモリーを有効にしてください。

関連情報

- ➡ [「本体設定-プリンター設定メニューの説明」38ページ](#)

外部メモリーにデータを保存できない

ファクスの受信文書が保存できないときは、外部メモリーをプリンターに挿入し、ホーム画面で〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕を選択し、〔保存・転送設定〕 - 〔外部メモリーに保存〕の〔保存専用フォルダーの作成〕を実行してください。この設定をしない外部メモリーは使用できません。

- 外部メモリーが書き込み禁止になっていないか確認してください。
- 外部メモリーの空き容量が十分にあるか確認してください。残量が少ないと保存できません。

関連情報

➡ [「ファクス設定メニューの説明」110ページ](#)

パスワードを忘れた

管理者のパスワードを忘れたときは、保守サービス実施店またはスマートチャージセンターにご相談ください。サービスマンによる対応が必要となります。

関連情報

➡ [「お問い合わせ先」300ページ](#)

両面印刷が遅い

両面印刷の場合、片面を印刷して乾燥してからもう片面を印刷します。温度や湿度など環境や、印刷データによって乾燥待ち時間が変わるため、印刷速度が遅くなることがあります。

操作パネルが反応しない

- タッチパネルにフィルムを貼らないでください。光学式タッチパネルのため反応しなくなります。
- 電源を切り、タッチパネルを乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れていたり、クリップやゴミがあつたりすると反応しません。

付録

プリンターの仕様

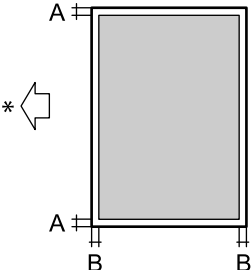
以下は2019年1月現在の情報です。

プリンター部の仕様

プリンター種類	インクジェット
ノズル配列	黒インク：8676ノズル カラーインク：各色8676ノズル

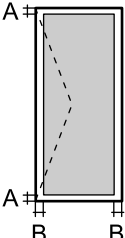
印刷領域

定形紙の印刷領域

	A	3.0mm
	B	3.0mm

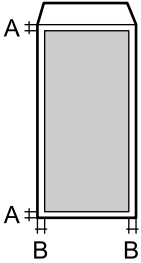
*：用紙の搬送方向

封筒の印刷領域

	A	3.0mm
	B	5.0mm

封筒（長形3、4号、角形2、20号）の印刷領域

宛名面、裏面

	A	3.0mm
	B	5.0mm

省資源機能

両面や割り付け、縮小などの印刷で、用紙の使用枚数が節約できます。

スキャナー部の仕様

スキャナータイプ	フラットベッド
センサー	CIS
有効画素数	7020×20400 pixels (7020 dpi)
最大原稿サイズ	297×431.8mm A3,Tabloid
スキャン解像度	600dpi（主走査） 1200dpi（副走査）
出力解像度	50～9600 dpi（1 dpiで設定可能）
階調	カラー 30bit入力（RGB各色10bit入力） 24bit出力（RGB各色8bit出力） グレースケール 10bit入力 8bit出力 白黒 10bit入力 1bit出力
光源	LED

インターフェイスの仕様

コンピューター接続用	SuperSpeed USB
外部記憶装置接続用	Hi-Speed USB

ファクス部の仕様

ファクス型式	送受信兼用デスクトップ（スーパーG3、カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN）、構内交換機（PBX）
通信速度	最大33.6 kbps
解像度	モノクロ • 普通：8 pel/mm×3.85 line/mm • 精細：8 pel/mm×7.7 line/mm • 高精細：8 pel/mm×15.4 line/mm • 超高精細：16 pel/mm×15.4 line/mm カラー 200×200 dpi
受信ファクス最大保存ページ数	約550ページ（ITU-T標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）
再ダイヤル回数	0～15回（0～15分間隔）
コネクター形状	回線ライン（RJ-11）、外部電話機接続ライン（RJ-11）

ネットワーク機能一覧

機能			対応	備考
ネットワークインターフェイス	有線LAN		✓	-
	無線LAN	インフラストラクチャー	✓	-
		アドホック	-	-
		Wi-Fi Direct（シンプルAP）	✓	-
同時接続	有線LANとWi-Fi Direct（シンプルAP）		✓	-
	無線LAN（インフラストラクチャー）とWi-Fi Direct（シンプルAP）		✓	-

付録

機能			対応	備考
操作パネルで設定できる機能	無線LAN設定	手動設定	✓	-
		プッシュボタン自動設定 (AOSS、WPS)	✓	-
		PINコード自動設定	✓	-
		カンタン自動設定	✓	-
		Epson iPrint接続	-	-
		Wi-Fi Direct設定	✓	-
	ネットワーク基本設定 (デバイス名、TCP/IPアドレス、DNSサーバー、プロキシサーバー)		✓	-
	ネットワーク接続診断		✓	-
	ネットワーク情報の確認		✓	-
	ネットワークステータスシートの印刷		✓	-
	無線LANを無効にする		✓	-
	ネットワーク設定の初期化		✓	-
ネットワーク印刷機能	EpsonNet Print (Windows)	IPv4	✓	-
	Standard TCP/IP (Windows)	IPv4、IPv6	✓	-
	WSD印刷 (Windows)	IPv4、IPv6	✓	Windows Vista以降
	Bonjour印刷 (Mac OS)	IPv4、IPv6	✓	-
	IPP印刷 (Windows、Mac OS)	IPv4、IPv6	✓	-
	UPnP印刷	IPv4	-	情報家電機器
	PictBridge印刷 (無線LAN)	IPv4	-	デジタルカメラ
	Epson Connect (メールプリント)	IPv4	✓	-
	Googleクラウドプリント	IPv4、IPv6	✓	-

機能			対応	備考
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4、IPv6	✓	-
	Event Manager	IPv4	-	-
	Document Capture Pro (Windows) / Document Capture (Mac OS)	IPv4	✓	-
	Epson Connect (スキャン to クラウド機能)	IPv4	✓	-
	ADF (自動両面)		✓	-
ファクス機能	PC送信	IPv4	✓	-
	PC受信	IPv4	✓	-

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11b/g/n ^{*1}
周波数範囲	2.4 GHz
接続モード	インフラストラクチャー、Wi-Fi Direct (シンプル AP) ^{*2}
無線セキュリティ	WEP (64/128bit) 、WPA2-PSK (AES) ^{*3} 、WPA2-Enterprise

*1： IEEE802.11nはHT20のみ

*2： IEEE802.11bは非対応

*3： WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i (10BASE-T) ^{*1} IEEE802.3u (100BASE-TX) ^{*1} IEEE802.3ab (1000BASE-T) ^{*1} IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet) ^{*2}
通信モード	Auto、10 Mbps Full duplex、10 Mbps Half duplex、100 Mbps Full duplex、100 Mbps Half duplex
コネクタ	RJ-45

*1： 社団法人 VCCI 協会の技術基準への適合および電磁障害のリスク低減のため、 カテゴリー 5e 以上の STP (シールドツイストペア) ケーブルを使用すること

*2： IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

セキュリティの Protokol

IEEE802.1X*	
IPsec/IPフィルタリング	
SSL/TLS	HTTPS（サーバー/クライアント）
	IPPS
SMTPS（STARTTLS、SSL/TLS）	
SNMPv3	

*： IEEE802.1Xに対応した接続機器が必要

PostScript Level 3との互換性

このプリンターのPostScriptはPostScript Level 3の互換です。

対応している他社サービス

Google クラウド プrint

外部記憶装置の仕様

外部記憶装置	サポートする最大容量
MOドライブ*	1.3GB
HDD* USBフラッシュメモリー	2TB（FAT、FAT32、またはexFATフォーマット済みのもの）

*： バスパワーでの電源供給不可。ACアダプターを接続してください。

以下の外部記憶装置は使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード、暗号化）機能付きのもの
- USBハブ機能が内蔵されているもの

全ての動作を保証するものではありません。

対応ファイルの仕様

ファイルフォーマット	DCF* ¹ Version 1.0または2.0* ² 規格準拠のデジタルカメラで撮影した、JPEG形式の画像データ TIFF6.0準拠の以下の画像 - RGBフルカラー（非圧縮） 2値（非圧縮もしくは2値CCITT2値エンコーディング） PDF1.7 準拠のデータファイル
有効画像サイズ	横：80～10200ピクセル 縦：80～10200ピクセル
有効ファイルサイズ	2GB未満
最大ファイル数	JPEG：9990個* ³ TIFF：999 PDF：999

*1： 社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称

*2： デジタルカメラの内蔵メモリーに保存されている画像には非対応

*3： 一度に表示できるファイル数は999 個まで（999 個を越えるとグループ単位で表示）

参考 プリンターで認識できない画像ファイルは、プリンターの画面上に「×」と表示されます。複数面レイアウト（自動配置）では、空白（印刷されない）になります。

外形寸法

プリンター本体のみ

外形寸法	収納時： - 幅：674mm - 奥行き：757mm - 高さ：1231mm 印刷時 - 幅：1426mm - 奥行き：757mm - 高さ：1231mm 占有寸法* ¹ - 幅：1544mm - 奥行き：1225mm - 高さ：1603mm
------	--

付録

質量*2	約179.0kg
------	----------

*1： 各カバー、排紙用のトレイ、用紙カセットやADFユニットを開けたときに必要な寸法

*2： インクカートリッジ、メンテナンスボックス、電源コードは含まず

プリンター本体+オプション

プリンター本体に、フィニッシャーユニット、フィニッシャー中間ユニット、大容量給紙ユニットを取り付けたときの寸法です。

外形寸法	収納時 - 幅：2170mm - 奥行き：757mm - 高さ：1231mm 印刷時 - 幅：2325mm - 奥行き：757mm - 高さ：1231mm 占有寸法*1 - 幅：2808mm - 奥行き：1271mm - 高さ：1603mm
質量*2	約310.9kg

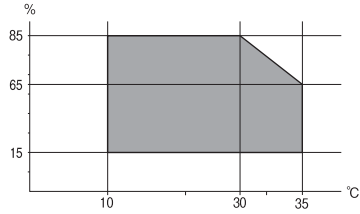
*1： 各カバー、排紙用のトレイ、用紙カセットやADFユニットを開けたときに必要な寸法

*2： インクカートリッジ、メンテナンスボックス、電源コードは含まず

電氣的仕様

定格電圧	AC100-240V	
定格周波数	50～60Hz	
定格電流	9.0～4.5A	
消費電力（有線LANおよびファクス接続時）	LX-10000F	LX-7000F
	コピー時：約180 W (ISO/IEC24712印刷パターン) レディー時：約77W スリープモード時：約1.0W 電源オフ時：約0.1W 最大消費電力：約320W	コピー時：約170 W (ISO/IEC24712印刷パターン) レディー時：約77W スリープモード時：約1.0W 電源オフ時：約0.1W 最大消費電力：約300W

動作時と保管時の環境仕様

動作時	グラフで示した範囲で使用してください。  温度：10～35° C 湿度：15～85%（非結露）
保管時	温度（インク初期充填実施後）：-14～40° C* 温度（インク初期充填実施前）：-20～40° C* 湿度：5～85%（非結露）

*： 40° Cでは1カ月間保管可能

対応OS

最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/taiou/os/>

- Windows 10 (32-bit、64-bit) /Windows 8.1 (32-bit、64-bit) /Windows 8 (32-bit、64-bit) /Windows 7 (32-bit、64-bit) /Windows Vista (32-bit、64-bit) /Windows XP SP3以降 (32-bit) /Windows XP Professional x64 Edition/Windows Server 2016/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003 SP2以降
- macOS Sierra/OS X El Capitan/OS X Yosemite/OS X Mavericks/OS X Mountain Lion/Mac OS X v10.7.x/Mac OS X v10.6.8



- Mac OSでは一部のアプリケーションソフトや機能が対応していないことがあります。
- Mac OS のUNIXファイルシステム（UFS形式）には非対応です。

オプション品の仕様

以下は2019年1月現在の情報です。

フィニッシャーユニット仕様

型式	外付け式
----	------

付録

フィニッシング種類	オフセット排紙、ステープル
使用できる用紙	用紙種類：普通紙 サイズ： 幅：139.7～297 mm 長さ：182～431.8 mm 厚さ（坪量）：60～160 g/m ²
トレイ容量	フィニッシャー下トレイ：約4000枚（80 g/m ² ） フィニッシャー上トレイ：約200枚（80 g/m ² ）
ステープル対応枚数*	用紙サイズ：Letter、A4、B5、16K 厚さ（坪量）： 60～90 g/m ² ：50枚 91～105 g/m ² ：30枚 106～160 g/m ² ：表紙2枚のみ 用紙サイズ：A3、Ledger、B4、Legal、8.5x13、8K 厚さ（坪量）： 60～90 g/m ² ：30枚 91～105 g/m ² ：20枚 106～160 g/m ² ：表紙2枚のみ
電源	プリンター本体より供給
外形寸法	収納時： 幅：681mm 奥行き：669mm 高さ：1062mm A4トレイを引き出すと、幅は798.5mmです。
質量：	約 41.6 kg

*： この数値は弊社での評価によるものです。用紙種類やサイズが範囲内であっても、紙の特性や環境などによってはステープル可能枚数までステープルできないことがあります。

フィニッシャー中間ユニット仕様

電源	プリンター本体より供給
外形寸法	幅：486mm 奥行き：669mm 高さ：1040mm
質量：	約 62.0 kg

大容量給紙ユニット仕様

使用できる用紙	用紙種類：普通紙 サイズ*：A4またはLetter 厚さ（坪量）：60～160 g/m ²
セットできる枚数	約3500枚（64 g/m ² ）
電源	プリンター本体より供給
外形寸法	幅：321mm 奥行き：620mm 高さ：504mm
質量：	約 27.3 kg

*： 使用できる用紙サイズは、設置時に決められています。

フォント情報

対応フォント（PostScript 3）

フォント名	ファミリー	HP互換
Nimbus Mono	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Courier
Letter Gothic	Medium、Bold、Italic	Letter Gothic
Nimbus Mono PS	Regular、Bold、Oblique、Bold Oblique	CourierPS
Nimbus Roman No4	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	CG Times
URW Classico	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	CG Omega
URW Coronet	-	Coronet
URW Clarendon Condensed	-	Clarendon Condensed
URW Classic Sans	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Univers
URW Classic Sans Condensed	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Univers Condensed
Antique Olive	Medium、Bold、Italic	Antique Olive
Garamond	Antiqua、Halbfett、Kursiv、Kursiv Halbfett	Garamond
Mauritius	-	Marigold
Algiers	Medium、Extra Bold	Albertus

フォント名	ファミリー	HP互換
NimbusSansNo2	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Arial
Nimbus Roman No9	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Times New Roman
Nimbus Sans	Medium、Bold、Oblique、Bold Oblique	Helvetica
Nimbus Sans Narrow	Medium、Bold、Oblique、Bold Oblique	Helvetica Narrow
Palladio	Roman、Bold、Italic、Bold Italic	Palatino
URW Gothic	Book、Demi、Book Oblique、Demi Oblique	ITC Avant Garde
URW Bookman	Light、Demi、Light Italic、Demi Italic	ITC Bookman
URW Century Schoolbook	Roman、Bold、Italic、Bold Italic	New Century Schoolbook
Nimbus Roman	Medium、Bold、Italic、Bold Italic	Times
URW Chancery Medium Italic	-	ITC Zapf Chancery Italic
Symbol	-	Symbol
URW Dingbats	-	Wingdings
Dingbats	-	ITC Zapf Dingbats
Standard Symbol	-	SymbolPS

規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはコンピューター、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

外部記憶装置に関するご注意

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、外部記憶装置内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき

- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

譲渡と廃棄

外部記憶装置を譲渡、廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、外部記憶装置内のデータを完全に消去することをお勧めします。コンピューター上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、外部記憶装置を物理的に破壊することをお勧めします。

液晶ディスプレイの特性

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

タッチパネル使用上のご注意

- パネルは指でタッチしてください。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- パネルを強く押さえ付けたり、強い衝撃を与えたりしないでください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、お問い合わせ先にご連絡ください。

揮発性物質の放散

本製品はRAL-UZ171およびエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：WLU6320-D69 (RoHS)

- 認証番号：204-330030

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業、科学、医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本製品の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
- 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お問い合わせ先にお問い合わせください。

参考

- 本製品はWi-Fi Allianceの承認を受けた無線機器です。他メーカーのWi-Fi承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi対応製品の詳細はWi-Fi Allianceのホームページ（<http://www.wi-fi.org>）をご参照ください。
- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS、OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS/OF 4

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の保存情報の消去

本製品の利用環境を変更する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（ネットワーク設定、ファクス搭載機の電話番号や宛先名称など）や自動的に保存されている情報（印刷やコピーデータ、フォントやマクロの作業領域など）の消去を、以下の手順で行ってください。

1. [設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [初期設定に戻す] - [全て初期化] の順に選択して行ってください。
2. [設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [HDD消去設定] - [メモリー全消去] - [上書き] または [高速] の順に選択して行ってください。「上書き」と「高速」のどちらでもHDD内のデータは完全に消去できます。「上書き」はメモリーに無効データを上書きするため、処理に時間がかかります。
3. [設定] - [本体設定] - [管理者用設定] - [内部メモリーデータ削除] - [PDLのフォントとマクロと作業領域] の順に選択して行ってください。

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Epson Scan 2 software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- libtiff
Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac OS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、iPad、iPhone、iPod touch、iTunesおよびTrueTypeは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Chrome™、Chrome OS™、Android™はGoogle Inc.の商標です。
- Albertus, Arial, Coronet, Gill Sans, Joanna and Times New Roman are trademarks of The Monotype Corporation registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.
- ITC Avant Garde Gothic, ITC Bookman, Lubalin Graph, Mona Lisa, ITC Symbol, Zapf Chancery and ZapfDingbats are trademarks of International Typeface Corporation registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- Clarendon, Eurostile and New Century Schoolbook are trademarks of Linotype GmbH registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions.
- Wingdings is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.
- CG Omega, CG Times, Garamond Antiqua, Garamond Halbfett, Garamond Kursiv, Garamond Halbfett Kursiv are trademarks of Monotype Imaging, Inc. and may be registered in certain jurisdictions.
- Antique Olive is a trademark of M. Olive.
- Marigold and Oxford are trademarks of AlphaOmega Typography.
- Helvetica, Optima, Palatino, Times and Univers are trademarks of Linotype Corp. registered in the U.S. Patent and Trademark Office and may be registered in certain other jurisdictions in the name of Linotype Corp. or its licensee Linotype GmbH.
- Adobe、Adobeロゴ、Photoshop、PostScriptおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

- The N-Mark is a trademark or registered trademark of NFC Forum, Inc. in the United States and in other countries.
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- Arcfour
This code illustrates a sample implementation of the Arcfour algorithm.
Copyright © April 29, 1997 Kalle Kaukonen. All Rights Reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice and disclaimer are retained.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY KALLE KAUKONEN AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL KALLE KAUKONEN OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

サービスとサポートのご案内

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- スマートチャージセンター

関連情報

➡ [「お問い合わせ先」300ページ](#)

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後7年間です。
改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはスマートチャージセンターまでお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張修理	• 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 • 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	無償	有償 (出張料+技術料+部品代) 修理完了後、その都度お支払いください

*： 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト

epson.jp

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●保守サービス実施店

サービス担当者 連絡先
販売店 電話番号 担当部門 担当者

●スマートチャージセンター

スマートチャージ全般に関するお問い合わせ先

050-3155-8655

お問い合わせ先の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト (epson.jp) にてご確認ください。

エプソン販売株式会社

〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

スマートチャージ 2018.04